年　　報

（第28巻）

2023年

TOWARD
VERY BEST
HOSPITAL
HOKUSETSU GENERAL HOSPITAL

社会医療法人 仙養会　北摂総合病院

巻頭のことば

2023年度（令和5年度）は、病院運営にとって大変厳しい一年となりました。2020年1月から始まり3年以上続いたコロナ感染は、世界中で甚大な被害を及ぼしましたが、当院における医療活動も大きく変化せざるを得ませんでした。コロナ感染が院内に持ち込まれないよう、玄関先で厳重な感染対策が行われました。コロナ患者のための入院病床を確保するために、一定数の一般病床を休床にし、コロナ患者用に手厚い看護配置が敷かれました。多くの病院でコロナ患者の診療に時間と人手を取られ、一般患者の診療は二の次になった場合も度々あったのではないでしょうか。新型コロナ感染症の影響を受けて、入院患者数や外来患者数は大きく減少しました。一般患者数の減少による医業収益の減少分は、一時的に国からの病床確保料等の様々な補助策で補填されましたが、2023年5月連休明けから、コロナ感染症は2類から5類へ変更され、各種の補助額は半減、そして10月からはコロナ関連の補助は全て廃止されました。コロナ感染症が2類から5類に変更されたとしても、病院におけるコロナ感染症に対する医療活動が変わる訳ではありません。院内で感染が広がらないよう細心の注意を払いながら医療活動が続けられました。内科系の患者さんが多数を占める病棟では特に顕著に影響が現れましたが、コロナ感染で減少した外来患者数や入院患者数がコロナ前の状況に戻ってこないのです。一方、光熱費の高騰、給食費や委託費、諸物価の上昇で医療提供に関わる経費は大幅に増加しました。その結果、2023年度の医業収支は大変厳しい結果となりました。

2023年度は、“Very Best Hospitalを目指して、道経一体経営”を行動指針として掲げ、職員全員で医療活動に取り組んでまいりました。道経一体とは、道徳と経済は一体であり、不可分であるということです。道徳と経済は、人間生活を支える両面です。精神生活の法則が道徳であり、物質生活の法則が経済です。このどちらかに偏るのではなく、この両者が一体となって機能する必要があります。私たちの活動の究極の目的は、すべての人の安心と安全を願い、幸せを実現することです。病院で勤務する我々は、医療を取り巻く環境の変化で様変わりする医療提供体制と患者ニーズの変化を敏感に感じ取り病院運営を担っていく必要があると痛感しております。

このような厳しい現実の中でも、皆様のご協力、ご支援のお蔭を持ちまして令和5年度も病院運営を全うすることができました。ありがとうございました。ここに令和5年度の活動を年報としてまとめました。皆様方の忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。私たちの活動を様々な場面でご支援、ご協力いただいておりますことに心より感謝し、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年7月

理事長　木野 昌也

目　　次

巻頭のことば

Ⅰ．現　況

1. 病院沿革 …… 1 ～ 5
2. 病院概要 …… 6 ～ 8
3. 病院組織 …… 9 ～ 12
4. 医療体制 …… 13 ～ 17
   登録医名簿 …… 18 ～ 30
5. 職員構成 …… 31
6. 医療環境と当院の医療実績 …… 32 ～ 33

Ⅱ．患者の状況

1. 外来	（1）外来延べ患者数の推移	35
	（2）科別 外来患者構成比の推移	35
	（3）新来患者数・紹介患者数の推移	36
	（4）月別 診療科別平均通院回数	37 ～ 38
	（5）地域別 外来患者構成比	39
	（6）年齢別・男女別 外来患者構成比	40
	（7）コールセンター実績	41
	（8）外来診療予約率	42
	（9）外来診療待ち時間調査結果	43
2. 入院	（1）在院患者延べ数の推移	44
	（2）科別 入院患者構成比の推移	44
	（3）新入院患者数・紹介患者数の推移	45
	（4）１日平均在院数・平均在院日数の推移	45
	（5）地域別 入院患者構成比	46
	（6）年齢別・男女別 入院患者構成比	47
3. 時間外・救急	（1）時間外・救急患者数	48
	（2）月別・科別・入外別 救急車搬入数	48 ～ 49
	（3）消防署別・入外別 救急車搬入数	49
4. 病歴統計	（1）死亡患者数【ICD-10 大分類 科別】	50
	（2）退院患者 ICD-10 大分類統計【科別】	51 ～ 52
	（3）退院患者 ICD-10 大分類統計【在院日数別】	53 ～ 54
	（4）退院患者 ICD-10 大分類統計【年齢別】	55 ～ 56
	（5）退院患者 ICD-10 大分類・中分類統計【科別】	57 ～ 67
	（6）DPC 診断群分類別 退院患者入院期間構成比	68 ～ 75
	（7）退院患者クリニカルパス（電子パス）使用件数	76
	（8）臨床評価指標	77
5. アンケート調査結果	（1）外来患者満足度	78
	（2）入院患者満足度	79

Ⅲ．診療活動等の状況

1-1. 2023 年度　理事長活動報告 …… 81 ～ 82
1-2. 2023 年度　病院長　院外活動報告 …… 83 ～ 84
2-1. 循環器科 …… 85 ～ 88
2-2. 消化器内科・血液内科 …… 89 ～ 98
2-3. 呼吸器内科 …… 99 ～ 100
2-4. 糖尿病・内分泌内科 …… 101 ～ 102
2-5. 総合内科 …… 103 ～ 104
2-6. 内科症例検討会 …… 105
3. 小児科 …… 106 ～ 107
4. 一般・消化器外科 …… 108 ～ 109
5. 呼吸器外科 …… 110
6. 心臓血管外科 …… 110
7. 整形外科 …… 111 ～ 114
8. 婦人科 …… 115 ～ 116
9. 眼科 …… 117 ～ 119
10. 皮膚科 …… 120 ～ 121
11. 泌尿器科 …… 122
12. 救急診療科 …… 123 ～ 124
13. 放射線科 …… 125
14. 麻酔科 …… 126
15. 病理診断科 …… 127 ～ 129
16. 血液浄化療法科 …… 130
17. 健診科 …… 130
18. 診療部医薬品勉強会 …… 131
19. 地域研修実績 …… 132 ～ 133
20. 卒後臨床研修実績 …… 134 ～ 135
21. 看護部　（１）北摂ラダー・教育の実績 …… 136
（２）認定看護師取得状況と活動実績 …… 137 ～ 161
（３）院内研修一覧 …… 162 ～ 166
（４）院外研修出張一覧 …… 167 ～ 169
（５）活動実績と看護学生臨床実習受け入れ実績 …… 170
22. 中央手術センター　（１）科別・術式別（手術室）手術件数 …… 171 ～ 195
（２）科別麻酔手技別件数 …… 195
23. 内視鏡センター　内視鏡的検査及び処置・手術件数（月別・手技別） …… 196
24. カテーテル治療センター　月別検査・治療件数 …… 197
25. 薬剤科　（１）処方箋枚数・剤数及び薬剤管理指導件数 …… 198
（２）採用・削除医薬品集計 …… 199
（３）持参薬件数 …… 199
（４）学会発表・学術研修会参加実績 …… 200
（５）実務実習受入れ実績 …… 200

（6）職員向け研修会実績 …… 200
（7）薬剤科内研修実績 …… 200
26. 放射線科　（1）年間活動報告 …… 201
（2）月別 検査件数…… 202 ～ 204
27. 臨床検査科　（1）年間活動報告 …… 205 ～ 208
（2）月別 検体検査件数…… 209
（3）月別 その他検査件数…… 209
（4）月別 生理機能検査件数…… 210 ～ 211
（5）眼科機器別検査件数 …… 211
（6）臨床検査科設置主要機器一覧 …… 212 ～ 213
28. 臨床工学科　（1）業務 …… 214
（2）医療機器 安全管理体制…… 214 ～ 215
（3）血液浄化室業務 …… 216
（4）人工呼吸器業務 …… 217
（5）カテーテル治療センター業務 …… 217
（6）ペースメーカ業務 …… 218
（7）内視鏡センター業務 …… 218
（8）研修・学会活動 等…… 219
29. リハビリテーション科（1）施設基準 等…… 220
（2）認定資格 …… 220
（3）学術集会・研究会・勉強会等 参加実績…… 221 ～ 222
（4）実習生受け入れ実績 …… 223
（5）月別・理学療法実績 …… 224
30. 地域医療連携室　（1）市町村別 登録医届出数…… 225
（2）登録医新規届出数 …… 225
（3）紹介患者総数 …… 225
（4）登録医紹介患者数 …… 225
（5）登録医回診数 …… 226
（6）介護・福祉施設・その他医療機関からの紹介患者数 …… 226
（7）逆紹介数 …… 226
（8）MSW 業務実績 …… 226 ～ 227
（9）登録医向け情報誌「Link」発刊実績 …… 228
(10) 登録医会議・懇親会 …… 229
31. 健康事業室　（1）ドック種別・月別 受検者数…… 230
（2）人間ドック結果要精密検査数 …… 230
（3）ドック種別 個人負担別受検者数…… 231
32. 栄養科 …… 232
33. 医療秘書係 …… 233
34. 訪問看護ステーション（1）利用状況 …… 234
（2）実習受け入れ状況 …… 234
（3）地域活動 …… 235

35. ケアプランセンター　（1）居宅介護支援・委託業務実績 …… 236
（2）地域活動マネジメント（地域住民対象） …… 236
（3）地域役員・地域ケア会議参加実績 …… 236
（4）実習受入実績 …… 236
36. 各種委員会活動　（1）医療安全対策室／医療安全管理委員会 …… 237 ～ 240
（2）クリニカルパス委員会 …… 241 ～ 244
（3）院内学会運営委員会 …… 245 ～ 246
（4）感染防止対策室・院内感染対策委員会 …… 247 ～ 254
（5）薬事審議会 …… 255 ～ 259
（6）救急委員会 …… 260
（7）褥瘡対策委員会 …… 261 ～ 262
（8）労働安全衛生委員会 …… 263 ～ 264
（9）臨床検査管理運営委員会 …… 265 ～ 266
（10）輸血管理委員会 …… 267 ～ 270
（11）治験審査委員会 …… 271
（12）職員教育研修委員会 …… 272 ～ 273
（13）病床・ICU 運営管理委員会 …… 274 ～ 277
（14）地域医療支援病院運営委員会 …… 278 ～ 279
（15）がん治療・化学療法委員会・緩和ケア委員会及びレジメン管理委員会 …… 280 ～ 284
（16）診療録管理（監査）委員会 …… 285 ～ 286
（17）診療報酬適正化委員会 …… 287 ～ 290
（18）栄養委員会 …… 291 ～ 296
（19）診療材料委員会 …… 297 ～ 299
（20）病院情報管理運営委員会 …… 300
（21）勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善委員会 …… 301
（22）FLS 委員会 …… 302
37. 学会実績報告　各種学会・論文・講演会等実績 …… 303
38. 病院見学等受入実績 …… 304
39. 国際医学医療研修受入実績 …… 304
40. 信条学習会 …… 305
41. 病院機関誌「ほくせつ」…… 306
42. 奉仕活動　（1）出前健康教室の実績 …… 307
（2）認知症カフェの開催実績 …… 307
（3）献血奉仕活動 …… 308
（4）「小さな親切」運動 …… 308
43. 院内コンサート …… 309 ～ 310
44. ホームページ閲覧件数 …… 311 ～ 312

Ⅰ. 現　　況

1. 病院沿革

1965年 4月	医療法人仙養会 北摂病院開設　認可病床数 80 床
	初代病院長・理事長 芳川 仙作
	標榜診療科目 内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・泌尿器科
1967年 6月	理事長に木野 猛　就任
1967年10月	認可病床 22 床増床、102 床
	標榜診療科目に整形外科・産婦人科を追加
1968年 5月	総合病院の承認
1969年 4月	院内保育所を開設（大阪府下で第 1 号）
1970年 3月	看護学生寮完成　看護学生 36 名が入寮
1971年 4月	高槻市医師会准看護学院、実習受入れ開始
1971年 7月	認可病床 55 床増床、157 床
1971年 9月	職員の誕生祝い開始
1971年10月	病院情報誌「ほくせつ」新聞創刊
1973年 8月	認可病床 26 床増床、183 床
1975年 4月	創立 10 周年記念行事
1977年 1月	「親切係」制度開始
1978年 4月	認可病床 18 床増床、201 床
1981年 4月	医事コンピュータ導入
1981年10月	認可病床 16 床増床、217 床
1983年 9月	初代院長 芳川 仙作　死去
	2 代目病院長に芳川 浩男　就任
1985年 4月	20 周年記念行事
1985年11月	（財）大阪府三島救命救急センターが開設され、初代院長 芳川 仙作 祈念成就
1986年 3月	3 代目病院長に木野 昌也　就任　（現理事長）
1988年 3月	院長回診へコメディカルの同行開始
1988年 7月	ＣＩマーク制定
1988年 8月	院内ビデオ放送開始
1989年 4月	心臓血管造影・腹部血管造影検査開始
1989年 6月	院内ＦＡＸ網の整備
	日本病院学会への演題発表開始
1990年10月	再来自動受付システムのオンライン稼動開始
1990年12月	ＱＣサークル活動開始
1991年 2月	京都銀行ＡＴＭが病院玄関に設置
1991年 3月	人工透析開始
1993年 3月	医薬分業（完全型）実施
1994年 4月	病院の基本姿勢（患者の権利憲章）制定
1994年 5月	患者満足度アンケート調査開始
1994年 7月	病院機能評価（医療の質に関する研究会）受審
1995年 8月	リハビリテーション（理学療法施設基準Ⅱ）の開始
1995年11月	30 周年記念事業（たかつき京都ホテル）
1997年 4月	年間行動計画（事業計画）による病院運営開始
1997年 6月	地域医療連絡室の設置
1997年 8月	開放型病院の承認
1997年 9月	第 1 回北摂病院 登録医会議 / 懇親会 開催

1997年 9月	北摂病院「年報」の発刊開始（第1巻1996年度版）
1997年10月	開放型病院登録医数100名を超える
1997年11月	訪問看護サービスの開始
1998年 4月	医療法改正で総合病院の名称独占廃止
	病歴室を設置
1998年 6月	開放型病院登録医数150名を超える
	クリニカルパス委員会の設置
1998年 9月	登録医用「病診連携プレート」の制定
1999年 1月	ご意見箱の設置
	医療事故防止対策委員会の設置
1999年 3月	治験審査委員会の設置
	開放型病院登録医数250名を超える
1999年 4月	登録医向け月刊情報誌「Link」創刊
1999年 5月	登録医紹介患者搬送サービス開始
1999年 7月	第1回院内クリニカルパス大会開催
1999年 9月	訪問看護ステーション開設
1999年10月	Home Page 公開
1999年12月	救急告示指定を受ける
2000年 2月	病院名称変更　北摂病院から「北摂総合病院」へ
2000年 3月	ケアプランセンター開設
2000年 4月	200床以上の病院の初診の特定療養費徴収開始
	地域医療連絡室から「地域医療連携室」へ名称変更
2000年 5月	外来 Information の刷新
2000年 6月	国際内科を開設
2000年 8月	Hokusetsu Doctor's Site 稼動
2000年11月	リスクマネージャーの設置
2001年 1月	第1回米国病院視察研修の実施
2001年 4月	脳神経外科・呼吸器外科・放射線科の標榜
	高階国際クリニック（淀川区）開設
	委員会・会議の再編
2001年 6月	病院機能評価（一般病院Ｂ）の受審
2001年 7月	MRI（GE社製1.5テスラ）の稼動開始
2001年 9月	第5回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
	Hokusetsu Doctor's Site の画像レポート機能付加とインターネット公開
2001年11月	一群一般病棟入院診療基本料Ⅰ及び急性期病院加算の承認を受ける
2002年 4月	200床以上の病院の再診の特定療養費徴収開始
2002年 7月	麻酔科の標榜
2002年 8月	財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院B）認定を受ける
2002年 9月	第6回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2003年 9月	第7回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2003年10月	厚生労働省より「管理型　臨床研修病院」の指定を受ける
2003年12月	第15回QC大会開催（茨木市民会館内ドリームホール）
	病院新築計画発表
2004年 4月	卒後臨床研修医の研修開始

2004年 9月	第 8 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2004年12月	第 16 回 QC 大会開催（茨木市福祉文化会館文化ホール）
2005年 9月	第 9 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2005年12月	第 17 回 QC 大会開催（茨木市福祉文化会館文化ホール）
2006年 4月	Vision、Mission、Strategy 刷新
	DPC 準備病院となる
2006年 5月	病院新築移転
	PET-CT（GE 社）の稼動開始
	CT（GE 社 16 列）の稼動開始
	病院情報システム（亀田医療情報研究所社、ドリームアクセス社）の稼動開始（フィルムレス・完全ペーパーレス化）
	グループウェア（コメディクス社）の稼動開始
2006年 9月	第 10 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2006年12月	透視装置（TOSHIBA 社）の機器更新
2007年 1月	血管造影装置（PHILIPS 社）の機器更新
2007年 3月	第 18 回 QC 大会開催（北摂総合病院 3 階多目的ホール）
	標榜診療科に循環器科を追加
2007年 7月	病院機能評価更新（Ver.5）（財団法人日本医療機能評価機構）
2007年 9月	第 11 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
	VHJ 研究会・機構加入
2007年11月	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.5 認定
2008年 2月	第 19 回 QC 大会開催（北摂総合病院 3 階多目的ホール）
2008年 3月	DPC 対象病院となる
2008年 7月	CT（GE 社 64 列）の稼動開始
2008年 9月	第 12 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
2008年11月	地域医療支援病院の承認（大阪府）
2009年 1月	QC 大会を発展的に解消し第 1 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2009年 3月	大阪ガス「もっと Save」エネルギー監視システム導入
2009年 4月	大阪府がん診療拠点病院の指定（大阪府）
2009年 9月	第 13 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
	医療秘書科の設置
2010年 1月	第 2 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2010年 9月	第 14 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
2011年 1月	第 3 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2011年 3月	3 階屋上緑化（癒しの庭）完成（大阪府みどりの基金）
2011年 4月	東北地方太平洋沖地震で被害のあった岩手県大鎚町で医療支援活動実施
2011年 9月	第 15 回登録医会議 / 懇親会
2012年 1月	第 4 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2012年 2月	第 1 回　緩和ケア研修会開催（高槻市生涯学習センター）
2012年 7月	病院機能評価更新（Ver.6）（財団法人日本医療機能評価機構）
2012年 9月	第 16 回登録医会議 / 懇親会
2012年11月	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.6 認定
2013年 1月	第 5 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2013年 9月	第 17 回登録医会議 / 懇親会

2014年 1月	2代目理事長　木野　猛　死去
	3代目理事長に木野 昌也　就任
	第6回院内学会開催（高槻現代劇場）
2014年 2月	病院情報システム（亀田医療情報株式会社・富士フィルムITソリューションズ）
	ハードリプレイス
2014年 7月	7対1看護配置基準　取得
2014年 9月	第18回登録医会議 / 懇親会
2014年12月	骨塩定量装置（GE社）の稼動開始
2015年 1月	第7回院内学会開催（茨木福祉文化ホール）
2015年 4月	ＭＲＩ（SIEMENS社　3テスラ）の稼動開始
2015年 8月	第1回　多職種連携の会　開催
2015年 9月	50周年記念講演　並びに記念式典（ヒルトン大阪）
	透視装置（HITACHI社）の機器更新
2015年10月	第2回 多職種連携の会　開催
2016年 1月	第8回院内学会開催（茨木福祉文化ホール）、50周年記念祝賀会（グランヴィア大阪）
	院内売店リニューアル
2016年 2月	おおさかストップ温暖化賞　優秀賞受賞　（資材・施設課）
2016年 6月	第3回 多職種連携の会　開催
2016年 7月	社会医療法人に認定
2016年 8月	フルデジタル乳房X線撮影装置、泌尿器検査・処置用X線透視テーブルシステム、
	一般撮影装置FPD（フラットパネルディテクタ）導入
2016年 9月	第19回登録医会議 / 懇親会
2016年10月	第4回 多職種連携の会　開催
2017年 1月	第9回 院内学会開催（高槻現代劇場大ホール）
2017年 2月	病院機能評価更新（3rdG:Ver.1.1）（財団法人日本医療機能評価機構）
2017年 3月	第5回 多職種連携の会　開催
2017年 4月	標榜診療科に心臓血管外科を追加
2017年 6月	日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG:Ver1.1認定
	第6回 多職種連携の会　開催
2017年 9月	第20回 登録医会議 / 懇親会
2017年10月	VHJ研究会　第28回 職員交流研修会（当院主幹）
2017年11月	第7回 多職種連携の会　開催
2018年 1月	第10回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2018年 3月	第8回 多職種連携の会　開催
	緩和ケア研修会開催（高槻市生涯学習センター）
2018年 4月	近隣コミュニティセンターでの出前健康教室開始
2018年 5月	呼吸器センター開設
2018年 6月	第9回 多職種連携の会　開催
2018年 9月	第21回 登録医会議 / 懇親会
2018年10月	第10回 多職種連携の会　開催
2019年 1月	第11回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2019年 2月	病院ホームページリニューアル
2019年 3月	第11回 多職種連携の会　開催
2019年 4月	高槻市営バス 北柳川町（北摂総合病院前）停留所新設

2019年 7月	第 12 回 多職種連携の会　開催
2019年 9月	第 22 回 登録医会議 / 懇親会　開催
2020年 1月	第 12 回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2020年 2月	第 14 回 多職種連携の会　開催（第 13 回は中止）
2020年 3月	仙養会 高階国際クリニック　閉院
	新型コロナウイルス感染対策本部設置（2 月より帰国者・接触者外来開始）
2020年 4月	小林病院長代理が病院長就任
	発熱外来開設・稼働開始
2020年 6月	高槻市地域外来検査センターの稼働開始
2020年 8月	標榜診療科に病理診断科を追加
2020年10月	標榜診療科を産婦人科から婦人科へ変更
2021年 1月	病院情報システム（亀田医療情報株式会社・富士フィルムメディカル IT ソリューションズ 他）ハード・ソフトリプレイス
	CT 装置更新（SIEMENS 社 2 管球ＣＴ）
	新型コロナ協力医療機関（最大 2 床）申請
2021年 2月	新型コロナ重点医療機関（最大 5 床）申請
2021年 5月	新型コロナ重点医療機関（最大 9 床）申請
2021年 7月	新型コロナ中等症重症一体化病院②（重症 2 床、軽中等症 7 床）申請
2021年 9月	第 23 回 登録医会議　開催（WEB 開催）
2021年11月	新型コロナ中等症重症一体化病院②（重症 2 床、軽中等症 9 床）申請
2021年12月	血管造影装置（PHILIPS 社）の機器更新
2022年 1月	第 13 回 院内学会開催（病院内 WEB ＋集合）
2022年 6月	新型コロナ中等症・重症病院（重症 2 床、軽中等症 9 床）移行
2022年 7月	新型コロナ中等症・重症病院（重症 2 床、軽中等症 10 床）申請
2022年 9月	第 24 回 登録医会議　開催（グランヴィア大阪）
2023年 1月	第 14 回 院内学会開催（病院内 WEB ＋集合）
2023年 2月	学校法人藍野大学と包括連携協定締結
	緩和ケア研修会　開催（多目的ホール）
	第 15 回 多職種連携の会　開催
2023年 5月	病院機能評価更新審査（3rdG:Ver.2.0）（財団法人日本医療機能評価機構）
2023年 6月	第 16 回多職種連携の会　開催
2023年 8月	日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver2.0 認定
2023年 9月	第 25 回登録医会議　開催（グランヴィア大阪）
2023年10月	第 17 回多職種連携の会　開催
2023年12月	JCEP（NPO 法人卒後臨床研修評価機構）受審
2024年 1月	緩和ケア研修会　開催（多目的ホール）
	第 15 回院内学会、職員親睦会開催（毎日新聞オーバルホール他）
2024年 3月	第 18 回多職種連携の会　開催
	改正感染症法に基づく　感染症医療措置協定　締結

2. 病院概要

（令和6年7月1日現在）

1. 病　院　名	社会医療法人仙養会　北摂総合病院
2. 開　設　者	社会医療法人仙養会　理事長　木野 昌也
3. 管　理　者	病院長　小林 一朗
4. 所　在　地	大阪府高槻市北柳川町 6-24　（〒 569-8585）
5. 標榜科目	内科、循環器科、心臓血管外科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、病理診断科、麻酔科
6. 診療科目	循環器科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、総合内科、血液内科、脳神経内科、心臓血管外科、小児科、一般消化器外科、乳腺外科、脳神経外科、呼吸器外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、病理診断科
7. 病院開設	1965 年
8. 病院種別	地域医療支援病院、大阪府がん診療拠点病院、基幹型臨床研修指定病院
9. 認可病床	217 床（HCU14 + 一般 203）
10. 診療指定	医療保険、国民健康保険、結核予防法、公害健康被害補償法、生活保護法、身体障害者福祉法、児童福祉法、戦傷病者特別援護法、原爆被爆者医療、母子保険法、大阪府特定疾患、大阪府小児特定疾患、高槻市一般健康審査、高槻市乳癌・子宮癌・肺癌検診、他
11. 救急医療	救急告示病院（内科、循環器科、外科、整形外科、小児科（火））
12. 教育施設	大阪医科薬科大学、高槻市医師会看護学校、宝塚大学看護学科、藍野大学看護学科、藍野大学短期大学部第一看護学科、大阪医療看護専門学校、大阪保健福祉専門学校看護科、大阪府病院協会看護専門学校、梅花女子大学看護保健学部看護学科、藍野大学理学療法学科、大阪河崎リハビリテーション大学理学療法学科、東洋医療専門学校　他
13. 学会認定等	財団法人日本医療機能評価機構　病院機能評価 3rdG:Ver.2.0 認定病院 大阪府肝炎専門医療機関 日本内科学会認定医制度教育関連病院（日本内科学会） 日本消化器病学会認定医制度認定施設（日本消化器病学会） 日本消化器内視鏡学会認定指導施設（日本消化器内視鏡学会） 日本循環器専門医研修施設（日本循環器病学会） 日本小児科学会認定医制度研修施設（日本小児科学会） 日本小児科専門医研修施設（日本小児科学会） 日本外科学会認定医制度修練施設（日本外科学会） 日本大腸肛門病学会専門医修練施設（日本大腸肛門学会） 日本脳神経外科学会専門医認定指定訓練場所（日本脳神経外科学会） 呼吸器外科専門研修連携施設（呼吸器外科専門医合同委員会） 日本呼吸器学会認定施設（日本呼吸器学会） 日本整形外科学会認定医制度研修施設（日本整形外科学会） 日本整形外科学会専門医制度研修施設（日本整形外科学会） 日本眼科学会専門医制度研修施設（日本眼科学会） 日本皮膚科学会認定専門医研修施設（日本皮膚科学会）

日本泌尿器科専門医教育施設（日本泌尿器科学会）
日本放射線科専門医修練協力機関（日本医学放射線学会）
マンモグラフィ検診施設画像認定（マンモグラフィ検診制度管理中央委員会）
被ばく線量低減推進施設認定証（全国循環器撮影研究会）
日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設（日本医療薬学会）
日本がん治療認定医機構認定研修施設（日本がん治療認定医機構）
薬学生実務実習受入施設（薬学教育協議会）
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設（日本超音波医学会）
ゼンセン同盟指定日帰り人間ドック実施病院（全日本病院協会）
健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施病院（全日本病院協会）
日本優良人間ドック施設（日本病院会）
日本手外科学会研修施設（日本手外科学会）
CVIT 研修関連施設（日本心血管インターベンション治療学会）
病院総合医　育成プログラム認定施設（日本病院会）

14.施 設 基 準　【基本診療料】

医療 DX 推進体制整備加算／一般病棟入院基本料／救急医療管理加算／臨床研修病院入院診療加算（1 基幹型)／診療録管理体制加算 1 ／医師事務作業補助体制加算 1　30 対 1 ／急性期看護補助体制加算（25 対 1 ／夜間 50 対 1)／看護補助体制充実加算 1 ／看護職員夜間配置加算　16 対 1 ／療養環境加算／重症者等療養環境特別加算／無菌治療室管理加算 2 ／栄養サポートチーム加算／地域加算 3 ／医療安全対策加算 1 ／医療安全対策地域連携加算 1 ／感染対策向上加算 1 ／感染対策向上加算 1　指導強化加算／患者サポート体制充実加算／重症者初期支援充実加算／報告書管理体制加算／褥瘡ハイリスク患者ケア加算／ハイリスク妊娠管理加算／後発医薬品使用体制加算 1 ／病棟薬剤業務実施加算 1 ／病棟薬剤業務実施加算 1(小児入院医療管理料含む)病棟薬剤業務実施加算 2 ／データ提出加算 2　イ／入退院支援加算 1 ／入院時支援加算／総合機能評価加算／地域連携診療計画加算／認知症ケア加算 3 ／せん妄ハイリスク患者ケア加算／精神疾患診療体制加算／地域医療体制確保加算／協力対象施設入所者入院加算／ハイケアユニット入院医療管理料 1 ／早期離床・リハビリテーション加算／早期栄養介入管理加算／小児入院医療管理料 5 ／短期滞在手術等基本料 1 ／看護職員処遇改善評価料 61

【特掲診療料】

遠隔モニタリング加算（ペースメーカー指導管理料）／糖尿病合併症管理料／がん性疼痛緩和指導管理料／がん患者指導管理料イ／がん患者指導管理料ロ／がん患者指導管理料ハ／小児運動器疾患指導管理料／婦人科特定疾患治療管理料／二次性骨折予防継続管理料１／二次性骨折予防継続管理料３／下肢創傷処置管理料／院内トリアージ実施料／夜間休日救急搬送医学管理料／外来腫瘍化学療法診療料２／ニコチン依存症管理料／開放型病院共同指導料／がん治療連携計画策定料／薬剤管理指導料／地域連携診療計画加算／医療機器安全管理料１／在宅療養後方支援病院／遺伝学的検査／ BRCA1 ／２遺伝子検査（卵巣癌　血液・腫瘍細胞）／HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）／検体検査管理加算（Ⅰ）／検体検査管理加算（Ⅳ）／時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト／ヘッドアップティルト試験／小児食物アレルギー負荷検査／画像診断管理加算２／ CT 撮影及びＭＲＩ撮影／冠動脈 CT 撮影加算／心臓 MRI 撮影加算／抗悪性腫瘍剤処方管理加算／外来化学療法加算１／無菌製剤処理料／心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）／脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）／運動器リハビリテーション料（Ⅰ）／呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）／がん患者リハビリテーション料／静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）／人工腎臓１／導入期加算１／透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算／下肢末梢動脈疾患指導管理加算／ストーマ合併症加算／緊急整復固定加算及び緊急挿入加算／椎間板内酵素注入療法／緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）／緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法））／乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算１又は乳がんセンチネルリンパ節加算２を算定する場合に限る。）／食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）／経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）／ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術／大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）／腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）／腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術／早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術／膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）／胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）／輸血管理料２／輸血適正使用加算／人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算／胃瘻造設時嚥下機能評価加算／病理診断管理加算１／悪性腫瘍病理組織標本加算／外来・在宅ベースアップ評価料１／入院ベースアップ評価料 71 ／訪問看護ベースアップ評価料１／入院時食事療養・入院時生活療養（Ⅰ）

3. 病院組織

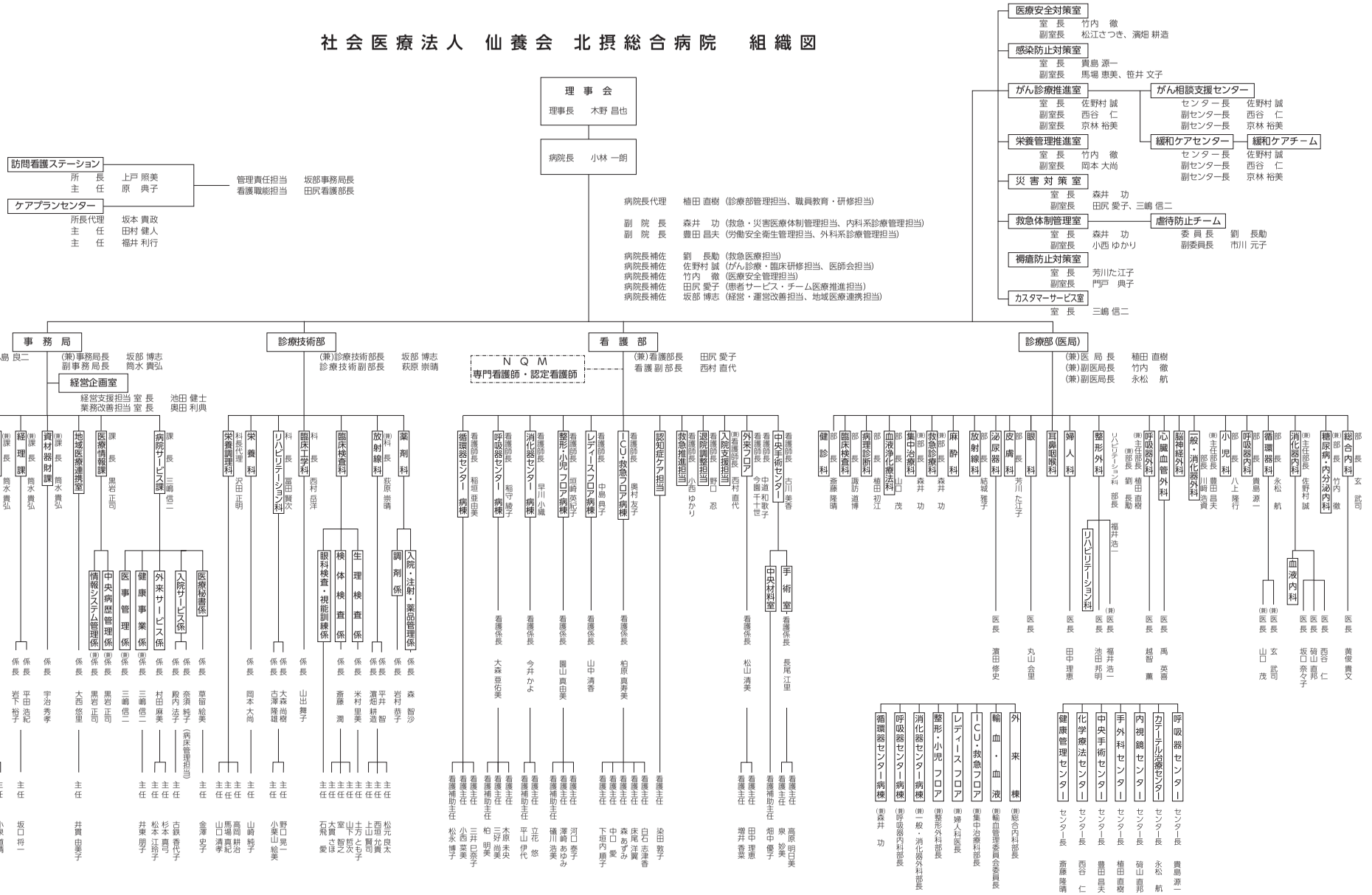
2023年4月1日 現在

理事・監事	理事長	木野昌也
	理事	芳川た江子
	理事	松尾浩
	理事	小林一朗
	理事	木野圭一朗
	理事	斎藤隆晴
	理事	辻節子
	監事	勝山武彦
	監事	小糸仁史

病院管理責任者	理事長		木野昌也
	病院長		小林一朗
	病院長代理	診療部管理担当、職員教育・研修担当	植田直樹
	副院長	救急・災害医療体制管理担当、内科系診療管理担当	森井功
	副院長	労働安全衛生管理担当、外科系診療管理担当	豊田昌夫
	病院長補佐	救急医療担当	劉長勘
	病院長補佐	がん診療・臨床研修・医師会担当	佐野村誠
	病院長補佐	医療安全管理担当	竹内徹
	病院長補佐	患者サービス・チーム医療推進担当	田尻愛子
	病院長補佐	経営・運営改善担当、地域医療連携担当	坂部博志

令和5年4月1日 現在

社会医療法人 仙養会 北摂総合病院 組織図



社会医療法人 仙養会　北摂総合病院　会議・委員会　一覧

2023年4月1日現在

	会議・委員会名	目　　的	定期開催日	構　　成　　◎は議長　○司会
0	社員総会・理事会	毎事業年度の計画、収支予算・決算、他重要事項の決定及び変更	年2回（3・6月）及び、臨時開催	理事、社員、監事
1	病院運営企画会議	医業運営全般に関する企画提案会議	随時	理事長、病院長、病院長代理、副院長、看護部長、事務局長、副事務局長　事務局：誉田課長
2	経営幹部会	医業運営全般に関する最高意思決定会議	毎週木曜	理事長、◎病院長、病院長代理、芳川理事、副院長、病院長補佐、看護（副）部長、診療技術（副）部長、（副）事務局長、経営企画室、人事課長、または病院長が指名した者
3	診療部長会	診療施策に関する運営・連絡・検討、意思決定・実行運営会議	毎週火曜	理事長、◎病院長、病院長代理、副院長、病院長補佐、各診療科部長、看護部長、診療技術（副）部長、（副）事務局長、経営企画室
4	朝会	病院運営上の諸問題（患者の権利・臨床および職業倫理などを含む）の連絡・共有・検討と日常的意思決定会議	毎週月･金曜	理事長、◎病院長、病院長代理、医局長、副医局長、看護（副）部長、看護師長、診療技術部長、(副)事務局長、室長・科長・課長、もしくは各部署代表者
5	プラス会	病院運営上に関する問題などの連絡・共有会議	毎月第3土曜	理事長、病院長、病院長代理、医局長、看護部・診療技術部・事務局の役職者全員 ○事務局：濵田係長
6	地域医療支援病院運営委員会	地域医療支援病院としての適切な運営の確保・評価	4･7･10･1月第2木曜	委員長：高槻市医師会島津保生　事務局：池田室長
7	臨床研修管理委員会	医師卒後臨床研修の統括管理	7･11･3月第4木曜	委員長：佐野村病院長補佐
8	医療安全管理委員会	医療安全管理対策の実行	毎月第2金曜	委員長：竹内病院長補佐
9	院内感染対策委員会	院内感染対策の実行	毎月第3火曜	委員長：貴島呼吸器内科部長、副委員長：馬場看護師長・笹井看護師長
10	病院情報管理運営委員会	病院情報システムを含む全ての情報の保管・運営・管理と活用促進	毎月第2火曜	委員長：山口血液浄化療法科部長、副委員長：黒岩課長　事務局：黒岩課長
11	診療録管理（監査）委員会	診療記録内容の適切性の監査	毎月第3月曜	委員長：諏訪臨床検査科部長、副委員長：奥村看護師長　事務局：黒岩課長
12	個人情報検討委員会	個人情報に関する計画・立案・指示・監査	随時	委員長：小林病院長
13	クリニカル・パス運営委員会	クリニカル・パス法の研究開発と導入・普及	毎月1回	委員長：福井リハビリテーション科部長、副委員長：山中看護係長
14	院内学会運営委員会	院内学会の運営・実行を、計画・支援・実施	2ヶ月に1回	委員長：植田病院長代理　事務局：大森係長
15	治験審査委員会	治験の可否審査	毎月第2火曜	委員長：芳川皮膚科部長、外部有識者２名
16	薬事審議会	院内採用薬の採否判定	毎月第3月曜	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：岩村係長
17	臨床検査管理運営委員会	臨床検査の適切な施行管理	月1回	委員長：諏訪臨床検査科部長
18	病床・ICU 運営管理委員会	病床の効率的利用推進及び ICU 運営上の諸問題の検討・評価	毎月第1火曜	委員長：小林病院長　事務局：奈須係長
19	救急委員会	救急診療の適切性評価及び運営上の諸問題の検討	毎月1回以上	委員長：森井副院長、副委員長：劉病院長補佐・小西看護師長　事務局：石橋病院サービス課係員
20	中央手術センター運営会議	手術室の安全で効率的な運営推進	毎月1回	委員長：豊田中央手術センター長、副委員長：古川看護師長
21	輸血管理委員会	輸血治療の安全性確保と輸血副作用報告の検討	年2回以上	委員長：劉病院長補佐、副委員長：川﨑一般・消化器外科部長
22	栄養委員会	患者給食における栄養管理の円滑化、NST 活動の検討・推進・評価	年2回以上	委員長：竹内病院長補佐、副委員長：岡本係長
23	褥瘡対策委員会（チーム）	褥創の管理及び予防対策	月1回以上	委員長：芳川皮膚科部長、副委員長：門戸看護主任
24	倫理委員会	臨床研究・臨床倫理・職業倫理及び人権に係わる事案の検討及び承認	年1回以上	委員長：森井副院長
25	労働安全衛生委員会	職員の健康保持及び労働災害等の防止	毎月1回	委員長：豊田副院長、副委員長：富田科長　事務局：誉田課長・井澤主任
26	医療ガス安全管理委員会	医療ガス設備の安全管理	年2回以上	委員長：豊田副院長　事務局：濵田係長・藤中主任
27	放射線防護安全管理対策委員会	放射線障害防止及び公共の安全の確保	毎月1回	委員長：結城放射線科部長、副委員長：萩原副部長
28	診療材料委員会	診療材料の標準化及び効率的な利用	毎月1回	委員長：森井副院長、副委員長：劉病院長補佐　事務局：吉本資材係員
29	職員教育研修委員会	全職員を対象とした教育研修計画の立案・実施・評価	毎月1回	委員長：植田病院長代理、副委員長：田尻・坂部病院長補佐　事務局：村田係長・上松人事課係員
30	接遇委員会	全職員を対象とした接遇の QOL	年2回以上	委員長：田尻病院長補佐　事務局：村田係長（病院サービス課）
31	広報検討会	広報活動の評価	年2回以上	委員長：坂部病院長補佐
32	診療報酬適正化委員会	診療報酬請求の適切性の確保と維持	毎月第4火曜	委員長：森井副院長、副委員長：豊田副院長　事務局：坂下医療情報課係員
33	地域医療従事者等研修委員会	地域の医療従事者等に対する研修会等の企画及び年間プログラムの作成・評価	年3回以上	委員長：植田病院長代理、副委員長：田尻・坂部病院長補佐　事務局：池田室長
34	がん治療・化学療法委員会	がん化学療法と集学的がん治療の促進・質向上	毎月第4金曜	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林看護係長、増井看護主任　事務局：金澤病院サービス課主任
35	緩和ケア委員会（チーム）	緩和ケアの専門的評価と提供	週1回程度	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林看護係長、増井看護主任　事務局：金澤病院サービス課主任
36	勤務医負担軽減・処遇改善委員会	勤務医の負担軽減及び処遇改善に関わる計画を検討・策定・評価	年2回以上	委員長：小林病院長　事務局：金澤病院サービス課主任
37	カテーテル治療センター運営委員会	カテーテルセンター運営上の諸問題の検討・評価	毎月1回	委員長：永松循環器科部長　事務局：西村科長
38	レジメン管理委員会	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	毎月1回	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林看護係長　事務局：金澤病院サービス課主任
39	透析機器安全管理委員会	血液浄化室の運営及び関連装置に関する安全管理	毎月1回　水曜	委員長：山口血液浄化療法科部長　事務局：西村科長
40	院内メディカルコントロール委員会	救急救命士の業務や救急処置の検討と評価を行い質の保証	毎月1回	委員長：森井副院長、副委員長：小西看護師長　事務局：石橋病院サービス課係員
41	患者サポート委員会	多職種の連携による患者サービスと支援の向上	毎月第３火曜	委員長：竹内病院長補佐、副委員長：田尻・坂部病院長補佐
42	認知症ケア委員会	認知症ケアの促進とケアの質的向上	毎月１回	委員長：森井副院長、副委員長：染田看護主任　事務局：古鉄病院サービス課主任

社会医療法人 仙養会　北摂総合病院　委員会メンバー　一覧

2023年4月1日現在

部署	委員長及び副委員長	看護部	中央手術センター	外来フロア	ICU・救急フロア	レディースフロア	整形・小児フロア	消化器センター	呼吸器センター	循環器センター	看護補助	診療技術部	薬剤科	放射線科	臨床検査科	臨床工学科	リハビリ	栄養科栄養調理	事務局	病院サービス課	経営企画医療情報	地域医療連携室	資材・経理総務課	人事課保育所	訪問看護ケアプラン	診療部
地域医療支援病院運営委員会	長：高槻市医師会　島津 保生	田尻																	坂部	★池田		坂口				小林病院長、森井副院長
		外部委員：高槻市保健所　森定 一稔、高槻警察署　澤越 修、高槻市消防署　津田 裕士、高槻市歯科医師会　美濃 律、高槻市薬剤師会　石田 佳弘、茨木市保健所　水井 仁美、茨木市医師会　中島 周三、茨木市消防本部　倉橋 亘、摂津市医師会　馬場 義親																							
臨床研修管理委員会	長：佐野村病院長補佐	田尻										坂部・萩原							坂部							小林病院長、副院長
		外部委員：新阿武山病院　院長　岡村 武彦、郷クリニック　院長　郷 栄禎、高槻市医師会看護専門学校　副校長　辻 節子、高野 正子、大阪医科薬科大 小児科学教室　教授　芦田 明、大阪医科薬科大　産婦人科学教室　講師（准）佐々木 浩																							玄部長
医療安全管理委員会	長：竹内病院長補佐 副：松江看護師長	田尻・西村 松江	古川	中道	奥村	中島	垣崎	早川	稲守	稲垣		坂部 萩原	岩村	濱畑	齊藤	西村	冨田			坂部 筒水	三鳴	池田 奥田			天野		小林病院長、植田病院長代理 （顧問）斎藤部長
院内感染対策委員会	長：貴島部長 副：馬場看護師長・笹井看護師長	田尻	古川	中道	奥村	中島	垣崎	早川	稲守	稲垣		坂部 萩原	岩村		大貫			山本・小林 山口・中村		坂部 筒水							小林病院長、診療部長、越智医長
病院情報管理運営委員会	長：山口部長 副：黒岩課長	小西 松江											岩村	濱畑	米村 齊藤	西村	大森	岡本 狩野		満永	★黒岩					永松部長
診療録管理（監査）委員会	長：諏訪部長 副：奥村看護師長				柏原				稲守				岩村							松本	★黒岩 金谷					永松部長
個人情報検討委員会	長：小林病院長	田尻																	坂部		黒岩					森井副院長、植田病院長代理 劉病院長補佐、佐野村病院長補佐
クリニカルパス運営委員会	長：福井部長 副：山中看護係長		松本	山下	濵畑	藪田 寺田	坂井	厳	宗澤	久保田			柚友	西川	石井	河野	遠近 宗實	山本 小林		島村	黒岩	井貫				川崎部長
院内学会運営委員会	長：植田病院長代理						早川										★大森			金澤	黒岩	大西		上松		永松部長
治験審査委員会	長：芳川部長	田尻											岩村		齊藤				坂部	三鳴,村田			平田			碕山医長
		外部委員：高野 正子																								
薬事審議会	長：佐野村病院長補佐 副：岩村係長	田尻										坂部 萩原	岩村						坂部				吉本			小林病院長、植田病院長代理 竹内病院長補佐、山口部長、貴島部長
臨床検査管理運営委員会	長：諏訪部長	馬場		中道		中島									米村 齊藤					橋本						
病床・ICU 運営管理委員会	長：小林病院長	田尻		中道	奥村	中島	垣崎	早川	稲守	稲垣										殿内 ★奈須						副院長、診療部部長
救急委員会	長：森井副院長 副：劉病院長補佐、小西看護師長	藤井	松永 松下	森本	迫	寺田	坂井	知久	羽渕	篠原真			森	谷尾	林	山出	野口			★石橋		岩渕				
中央手術センター運営会議	長：豊田副院長 副：古川看護師長		長尾								畑中					伊丹										外科・整形・泌尿器・婦人 呼吸器外科・眼科　各部医長
輸血管理委員会	長：劉病院長補佐 副：川崎部長		長尾	川原	森田	奥成	澤崎	下園	木原	稲垣			霞中		米村 大鰐,池田					岸野						山口部長
栄養委員会	長：竹内病院長補佐 副：岡本係長			橋本	下垣内 青山	中田	高井	荒金	有田	竹ノ内			森,霞中 洪		坂本良		福田・小栗 西本	山口・山岡 高岡		上山		井町				川崎部長
褥瘡対策委員会（チーム）	長：芳川部長 副：門戸看護主任		清水	猪飼	佐藤	中田	高井	北村	納富	岸本	平山		洪 霞中				良田 遠近	岡本 山本			金谷	上田				
倫理委員会	長：森井副院長	田尻										坂部 萩原							坂部 筒水							副院長、病院長補佐、芳川部長
労働安全衛生委員会	長：豊田副院長 副：冨田科長	馬場		田中	奥村							坂部 萩原	岩村 森	西垣				沢田 山崎	坂部	杉本			宇治 平田	★箭田・井澤 森部	上戸 坂本	産業医：黄俊医長
医療ガス安全管理委員会	長:豊田副院長		古川										森			釜我							★濵田・藤中			越智医長
放射線防護安全管理対策委員会	長：結城部長 副：萩原副部長	小西		中道								萩原		濱畑					坂部							結城部長
診療材料委員会	長：森井副院長 副：劉病院長補佐	西村	古川	中道										上山	在間	西村		岡本		古鉄			★吉本・古賀			小林病院長 永松部長
職員教育研修委員会	長：植田病院長代理 副：田尻病院長補佐・坂部病院長補佐	西村 野口・笹井															古澤			三鳴	奥田			箭田 ★村田・上松		永松部長
接遇委員会	長：田尻病院長補佐		才巻	夏川	青山	田村	宮元	早川	長谷川	大塚			原	岩城	山村	伊丹	西本	狩野・山本 馬場		三鳴 ★村田		藤井	梶本	本門		植田病院長代理 竹内病院長補佐、永松部長
広報検討会	長：坂部病院長補佐	田尻										坂部 萩原							坂部 筒水		池田,奥田 黒岩	大西	濵田・宇治	天野	坂本	病院長、副院長、病院長補佐
診療報酬適正化委員会	長：森井副院長 副：豊田副院長	小西										坂部 萩原	岩村							殿内 村田	★坂下 金谷					副院長、診療部部医長
地域医療従事者等研修委員会	長：植田病院長代理 副：田尻病院長補佐・坂部病院長補佐	野口											岩村	濵畑	土方		古澤	山本 小林		井東	★池田 奥田	井貫				永松部長
がん治療・化学療法委員会	長：佐野村病院長補佐 副：京林看護係長、増井看護主任			小川	大塚	新井	北平	管	永井	岸本			森 松谷・仁熊				野口 毛利	岡本 山崎		★金澤		大西				西谷医長
緩和ケア委員会（チーム）	長：佐野村病院長補佐 副：京林看護係長、増井看護主任			小川	大塚	新井	北平	管	永井	岸本			森 松谷・仁熊				野口 毛利	岡本 狩野		★金澤		大西				西谷医長
勤務医等負担軽減・処遇改善委員会	長：小林病院長	田尻										坂部 萩原	岩村 森		齊藤		冨田		坂部	三鳴 ★金澤	奥田			箭田		植田病院長代理、竹内病院長補佐、永松部長
カテーテル治療センター運営委員会	長：永松部長				奥村					篠原真				西垣	室	★西村 山出										森井副院長
レジメン管理委員会	長：佐野村病院長補佐 副：京林看護係長			山下	大塚	新井	北平	管	永井	岸本			松谷				野口 毛利	岡本 山崎		★金澤		大西				貴島部長、西谷医長 田中医長、濵田医長
透析機器安全管理委員会	長：山口部長			中道												★西村 久保										
院内メディカルコントロール委員会	長：森井副院長 副：小西看護師長	松江 藤井			奥村 床尾															★石橋						竹内病院長補佐
患者サポート委員会	長:竹内病院長補佐 副：田尻病院長補佐・坂部病院長補佐	西村 野口・小西											岩村		齊藤	西村	冨田	岡本		村田		大西			上戸 坂本	
認知症ケア委員会	長:森井副院長 副:染田看護主任		古川	榎本	村井	早河	北平	早川	西岡	横山			岩村				千原 小栗山	岡本 山崎		★古鉄		花田				

医療安全対策室・感染防止対策室・がん診療推進室・災害対策室・児童虐待防止チーム　メンバー 一覧

部署	室長又は副	看護部	中央手術センター	外来フロア	ICU・救急フロア	レディースフロア	整形・小児フロア	消化器センター	呼吸器センター	循環器センター	看護補助	診療技術部	薬剤科	放射線科	臨床検査科	臨床工学室	リハビリ	栄養科栄養調理	事務局	病院サービス課	経営企画医療情報	地域医療連携室	資材・経理総務課	人事課保育所	訪問看護ケアプラン	診療部
医療安全対策室 リスクマネージャー	長：竹内医療安全対策室長 副：松江看護師長・濵畑係長	楠田	泉	松山	柏原	山中	園山	今井	木原	稲垣 小西	畑中		岩村		室	西村 釜我	良田 毛利	山崎・狩野 高岡・得居		吉本			吉本			禹医長
報告書確認対策チーム	西村報告書確認管理者	松江												濵畑	室					久保田	黒岩					竹内室長・結城部長・植田部長（病理）
感染防止対策室 （ICT／AST）	長：貴島感染防止対策室長 副：馬場看護師長・笹井看護師長				（森）						（松永）		大坂 （仙友）		大貫 小野原											越智医長
ICM委員会	長：森看護主任 副：笹井看護師長	馬場 神崎	山田	守谷	河村	武本	原野	藤原	宗澤	藤本	松永		原	阪元	宜保	首藤	毛利 田村	山本 高岡・得居		松本			古賀			
がん診療推進室	長：佐野村がん推進室長 副：西谷医長、京林係長			小川									松谷							金澤		大西				
災害対策室	長：森井副院長 副：田尻病院長補佐・三嶋課長	小西												松元	室	西村						★濵田 藤中・柏木	天野			
虐待防止チーム	長：劉病院長補佐 副：市川看護師	小西 野口	松永 松下	森本	迫	寺田	坂井	知久	羽渕	篠原真			森	阪元	室	山出	野口			★井東		岩渕				

※各委員の役職は、省略しています。　★…事務局

4. 医療体制

2023年4月1日 現在

理事長		木野昌也
病院長		小林一朗
病院長代理		植田直樹（診療部管理担当、職員教育・研修担当）
副院長		森井　功（救急・災害医療体制管理担当、内科系診療管理担当）
副院長		豊田昌夫（労働安全衛生管理担当、外科系診療管理担当）
病院長補佐		劉　長勘（救急医療担当）
病院長補佐		佐野村　誠（がん診療・臨床研修担当、医師会担当）
病院長補佐		竹内　徹（医療安全管理担当）
病院長補佐		田尻愛子（患者サービス・チーム医療推進担当）
病院長補佐		坂部博志（経営・運営改善担当、地域医療連携担当）
総合内科	部長	玄　武司（循環器科医長）
	医長	黄俊貴文
	非常勤	西村　綾（循環器科）
糖尿病・内分泌内科	部長	竹内　徹（病院長補佐、医療安全管理担当）
消化器内科	主任部長	佐野村　誠（病院長補佐、がん診療・臨床研修担当、医師会担当、緩和ケアセンター長）
	医長	西谷　仁（化学療法センター長）
	医長	碕山直邦（内視鏡センター長）
	医長	坂口奈々子
	医員	冨永真央
	医員	辻　沙也佳
	医員	山田達明
	非常勤	佐々木有一
	非常勤	朝井　章
	非常勤	西川知宏
	非常勤	西岡　伸
	非常勤	由上博喜
血液内科	非常勤	岡崎俊朗
	非常勤	長谷川　稔
	非常勤	越智陽太郎
腎臓内科	非常勤	中嶋章貴

循環器科		木野昌也	（理事長）
	部長	永松　航	（カテーテル治療センター長）
		森井　功	（副院長・救急診療科部長）
	医長	玄　武司	（総合内科部長）
	医長	山口　茂	（血液浄化療法科部長）
	医員	諏訪道博	（臨床検査科部長）
	医員	斎藤隆晴	（健診科部長）
	医員	津田浩佑	
	医員	藤田正紘	
	医員	水谷早希	
	非常勤	西村　綾	（総合内科）
呼吸器内科	部長	貴島源一	（呼吸器センター長）
	非常勤	田村洋輔	
	非常勤	鶴岡健二郎	
	非常勤	辻　博行	
	非常勤	船本智哉	
	非常勤	坂口翔平	
精神科	非常勤	豊田勝孝	
	非常勤	今津伸一	
	非常勤	辻　明里	
神経内科	非常勤	澤井大樹	
小児科	部長	八上隆行	
	医員	水谷　翠	
	非常勤	清水達雄	
	非常勤	黒柳裕一	
一般・消化器外科	主任部長	豊田昌夫	（副院長）
	部長	川﨑浩資	
	医員	西内善彦	
	医員	阿部信貴	
	非常勤	鈴木悠介	
乳腺外科	非常勤	碇　絢菜	
	非常勤	高井早紀	

脳神経外科	非常勤	梶　本　宜　永	
	非常勤	梶　本　佐知子	
	非常勤	野々口　直　助	
	非常勤	古　瀬　元　雅	
心臓血管外科	医　長	禹　　英　喜	
	顧　問	勝間田　敬　弘	
	非常勤	森　本　大　成	
	非常勤	前　田　和　人	
呼吸器外科	医　長	越　智　　薫	
	非常勤	佐　藤　　澄	
整形外科	主任部長	植　田　直　樹	（副院長・手外科センター長）
	部　長	劉　　長　勣	（病院長補佐・救急医療担当）
	医　長	福　井　浩　一	（リハビリテーション科部長）
	医　長	池　田　邦　明	
	医　員	高　島　雅　俊	
	医　員	新　保　高志郎	
	非常勤	中　野　敦　之	
	非常勤	廣　藤　真　司	
	非常勤	藤　野　圭太郎	
	非常勤	木　野　圭一朗	
	非常勤	三　宅　克　広	
	非常勤	杉　島　慎太郎	
	非常勤	上　田　拓　司	
リハビリテーション科			
	部　長	福　井　浩　一	（整形外科医長）
婦人科	医　長	田　中　理　恵	
	非常勤	田　中　良　道	
	非常勤	橋　田　宗　祐	
耳鼻咽喉科	非常勤	寺　田　哲　也	
	非常勤	東　野　正　明	
	非常勤	乾　　崇　樹	
	非常勤	稲　中　優　子	
	非常勤	綾　仁　悠　介	
	非常勤	谷　内　政　崇	
	非常勤	西　村　尋　眸	

眼科	医　長	丸　山　会　里
	医　員	田　端　珠　美
	医　員	延　藤　綾　香
皮膚科	部　長	芳　川　た江子
	非常勤	中　島　有　香
泌尿器科	医　長	濵　田　修　史
	医　員	田　中　幹　人
	非常勤	東　　治　人
放射線科	部　長	結　城　雅　子
	医　員	大　村　尚　子
	非常勤	田　中　康　敬
	非常勤	土　井　健　司
	非常勤	新　保　大　樹
	非常勤	堀　　章　裕
麻酔科	非常勤	辰　巳　真　一
	非常勤	中　平　淳　子
	非常勤	中　野　祥　子
	非常勤	今　川　憲太郎
	非常勤	城　戸　晴　規
	非常勤	上　野　健　史
	非常勤	北　埜　　学
	非常勤	藤　澤　貴　信
	非常勤	米　原　周　吾
	非常勤	山　崎　紘　幸
	非常勤	愛　甲　一　樹
救急診療科	部　長	森　井　　功（副院長）
集中治療科	部　長	森　井　　功（副院長）
血液浄化療法科	部　長	山　口　　茂（循環器科医長）
病理診断科	部　長	植　田　初　江
	非常勤	松　本　　学
	非常勤	服　部　公　亮
	非常勤	雨　宮　　妃

臨床検査科	部　長	諏　訪　道　博（循環器科）
健診科	部　長	斎　藤　隆　晴（健康管理センター長、循環器科）
臨床研修	研修医	疋　田　千　晶
	研修医	星　山　大　成
	研修医	中　瀬　亜　子
	研修医	三　澤　風　花

2024年6月 現在

登録医名簿

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	喜　田　　衛	喜田医院	高槻市柱本新町
高槻市	中　川　義　明	福井医院	高槻市大畑町
高槻市	澤　田　賢　市	澤田医院	高槻市城北町
高槻市	伊　藤　　祐	伊藤診療所	高槻市寿町
高槻市	大　津　彌　平	大津耳鼻咽喉科・ボイスクリニック	高槻市西町
高槻市	櫟　原　茂　之	櫟原医院	高槻市川添
高槻市	津久田　康　成	津久田医院	高槻市栄町
高槻市	荘　野　忠　泰	荘野医院	高槻市郡家新町
高槻市	市　岡　五　道	市岡医院	高槻市古曽部町
高槻市	稲　毛　昭　彦	末光・稲毛クリニック	高槻市柳川町
高槻市	稲　毛　　和	末光・稲毛クリニック	高槻市柳川町
高槻市	川　口　憲　明	川口内科	高槻市寿町
高槻市	北　川　　眞	北川クリニック	高槻市別所新町
高槻市	川　口　清　敏	川口医院	高槻市津之江町
高槻市	藤　村　宣　夫	藤村診療所	高槻市春日町
高槻市	門　田　俊　一	門田内科・心療内科クリニック	高槻市富田丘町
高槻市	保　田　　浩	やすだクリニック	高槻市神内
高槻市	丸　山　優　子	川添丸山眼科	高槻市川添
高槻市	花　田　尚　志	花田内科	高槻市天王町
高槻市	丸　山　俊　郎	丸山眼科医院	高槻市登美の里町
高槻市	宮　城　健　一	筒井・宮城医院	高槻市本町
高槻市	服　部　登志夫	はっとり内科・皮フ科	高槻市庄所町
高槻市	中　嶋　　洋	なかじま整形外科	高槻市富田町
高槻市	石　河　清　彦	石河診療所	高槻市上土室
高槻市	松　尾　源一郎	松尾医院	高槻市大畑町
高槻市	小　林　春　三	小林診療所	高槻市昭和台町
高槻市	西　川　佳　枝	パナソニックライティングデバイス株式会社　高槻健康管理室	高槻市幸町
高槻市	井　上　裕　之	井上クリニック	高槻市富田町
高槻市	田　崎　龍之介	田崎医院	高槻市川西町
高槻市	上　島　嘉　美	上島内科医院	高槻市上土室
高槻市	津久田　康　成	酉島診療所	高槻市宮田町
高槻市	渡　邊　尚　代	中村耳鼻咽喉科	高槻市富田町
高槻市	坂　谷　則　彰	坂谷クリニック	高槻市津之江町
高槻市	吉　川　剛　司	よしかわ皮フ科	高槻市川添
高槻市	川　部　伸一郎	川部医院	高槻市弥生が丘町
高槻市	横　井　英　之	横井整形外科	高槻市上牧南駅前
高槻市	福　田　治　彦	福田クリニック	高槻市出丸町
高槻市	福　田　美弥子	福田クリニック	高槻市出丸町
高槻市	坂　本　好　治	坂本医院	高槻市紺屋町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	天野忠温	あまの小児科	高槻市日吉台
高槻市	西　律	西医院	高槻市高槻町
高槻市	岡本良三	阿武山こどもクリニック	高槻市奈佐原
高槻市	小西和孝	阿武山こどもクリニック	高槻市奈佐原
高槻市	大桑　隆	大桑皮膚科	高槻市北園町
高槻市	横山　永	横山医院	高槻市城北町
高槻市	松下弘二	まつしたクリニック	高槻市城西町
高槻市	吉田政雄	吉田耳鼻咽喉科医院	高槻市天神町
高槻市	藤田日出雄	フジタ医院	高槻市昭和台町
高槻市	岩瀬方人	岩瀬クリニック	高槻市津之江町
高槻市	藤村圭祐	藤村医院	高槻市春日町
高槻市	野田友一	野田皮フ科クリニック	高槻市白梅町
高槻市	平野敏行	平野眼科	高槻市北園町
高槻市	津本　学	木村診療所	高槻市南芥川町
高槻市	三田村有二	三田村整形外科	高槻市川添
高槻市	荘野美詠子	荘野医院	高槻市郡家新町
高槻市	高橋　徳	高橋医院	高槻市藤の里町
高槻市	東山信彦	東山産婦人科	高槻市辻子
高槻市	宗光博文	宗光診療所	高槻市寺谷町
高槻市	西野弘志	西野医院	高槻市柳川町
高槻市	藤井利武	藤井内科医院	高槻市東上牧
高槻市	杉本啓司	すぎもと整形外科・麻酔科	高槻市城南町
高槻市	彦坂　寛	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	古賀　旭	古賀眼科	高槻市天神町
高槻市	湯浅文雄	湯浅医院	高槻市紺屋町
高槻市	藤本良介	藤本クリニック	高槻市高槻町
高槻市	今津好秀	今津診療所	高槻市高槻町
高槻市	清水　篤	清水クリニック	高槻市北園町
高槻市	島津保生	宮田診療所	高槻市宮田町
高槻市	平野建二	新阿武山クリニック	高槻市天神町
高槻市	難波繁伸	難波クリニック	高槻市富田町
高槻市	近藤基之	近藤診療所	高槻市南平台
高槻市	井上隆夫	大関医院	高槻市紺屋町
高槻市	坂中　勝	坂中内科クリニック	高槻市奈佐原
高槻市	土居宗算	土居整形外科	高槻市高槻町
高槻市	中田知伸	中田眼科	高槻市栄町
高槻市	高松順太	高松内科クリニック	高槻市紺屋町
高槻市	陵本清剛	おかもと整形外科	高槻市奈佐原
高槻市	中島立博	中島荘野クリニック	高槻市永楽町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	荘　野　明　希	中島荘野クリニック	高槻市永楽町
高槻市	末　吉　公　三	末吉クリニック	高槻市東五百住町
高槻市	中　谷　祐　子	中谷医院	高槻市登町
高槻市	松　尾　俊　介	松尾医院	高槻市大畑町
高槻市	竹　内　　望	摂津診療所	高槻市富田町
高槻市	千　葉　恭　士	ちばクリニック	高槻市宮野町
高槻市	中　西　一　吉	なかにし産婦人科クリニック	高槻市芝生町
高槻市	下　谷　麻里子	下谷内科	高槻市川添
高槻市	山　賀　　保	山賀歯科クリニック	高槻市赤大路町
高槻市	入　野　　健	入野内科	高槻市玉川
高槻市	西　﨑　一　志	西﨑クリニック	高槻市如是町
高槻市	尾　原　幹　啓	尾原内科医院	高槻市芥川町
高槻市	白　神　哲　也	しらかみ歯科医院	高槻市西町
高槻市	岡　田　　聡	おかだ歯科クリニック	高槻市東和町
高槻市	福　田　拓　也	福田歯科クリニック	高槻市京口町
高槻市	西　垣　昌　人	にしがき眼科	高槻市芥川町
高槻市	下　江　文　子	しもえ皮フ科クリニック	高槻市奈佐原
高槻市	荻　原　博　美	おぎはらこども医院	高槻市川添
高槻市	阿　部　邦　美	阿部整形外科内科	高槻市郡家新町
高槻市	阿　部　奈々美	阿部整形外科内科	高槻市郡家新町
高槻市	平　井　　景	三康診療所	高槻市郡家新町
高槻市	冨　永　正　夫	冨永クリニック	高槻市南平台
高槻市	梁　　壽　男	りょうクリニック	高槻市川添
高槻市	山　口　研一郎	やまぐちクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	黒　川　浩　史	黒川医院	高槻市日吉台一番町
高槻市	田　村　雅　一	たむらクリニック	高槻市桜ヶ丘南町
高槻市	森　口　暁　仁	森口胃腸科内科クリニック	高槻市深沢町
高槻市	佐久間　　勲	さくま歯科クリニック	高槻市富田町
高槻市	大　西　邦　夫	大西歯科医院	高槻市上土室
高槻市	矢　野　善　之	矢野歯科医院	高槻市大畑町
高槻市	齋　藤　総一郎	さいとう眼科	高槻市富田町
高槻市	鋲　　啓　司	くろがね内科循環器科	高槻市城北町
高槻市	合　田　公　志	医療法人合仁堂 ごうだ内科	高槻市大畑町
高槻市	大　隈　正　純	おおくま医院	高槻市天神町
高槻市	鄭　　栄　植	鄭クリニック	高槻市北柳川町
高槻市	小　西　研　史	小西けんじ皮フ科クリニック	高槻市富田町
高槻市	丸　山　耕　一	川添丸山眼科	高槻市川添
高槻市	岸　本　吉　史	岸本歯科医院	高槻市藤の里町
高槻市	森　田　英次郎	森田内科・胃腸内科	高槻市城南町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	川　村　　俊	川村産婦人科医院	高槻市松が丘
高槻市	川　村　　真	川村産婦人科医院	高槻市松が丘
高槻市	宮　内　章　光	宮内内科クリニック	高槻市芥川町
高槻市	伊　藤　　奏	清水クリニック	高槻市北園町
高槻市	藤　村　　紫	藤村診療所	高槻市春日町
高槻市	角　辻　　格	角辻医院	高槻市宮田町
高槻市	永　田　明　義	永田医院	高槻市高垣町
高槻市	成　清　道　博	なりきよ医院	高槻市富田町
高槻市	楢　原　敬二郎	楢原産婦人科	高槻市春日町
高槻市	後　藤　　栄	後藤レディースクリニック	高槻市白梅町
高槻市	芥　川　知　明	芥川きどクリニック	高槻市真上町
高槻市	真　野　利　之	まの・すぎのここどもクリニック	高槻市氷室町
高槻市	田　辺　敏　明	おかだクリニック	高槻市東和町
高槻市	森　　敏　純	森内科	高槻市城南町
高槻市	鈴　木　俊　明	かねはらクリニック	高槻市城北町
高槻市	金　原　裕　則	上牧かねはらクリニック	高槻市神内
高槻市	瀬　川　直　樹	上牧かねはらクリニック	高槻市神内
高槻市	山　根　一　眞	高槻ファミリー歯科	高槻市大塚町
高槻市	辻　　雄一郎	富田つじ耳鼻咽喉科	高槻市大畑町
高槻市	森　田　　勇	もりた内科・胃腸内科	高槻市川添
高槻市	齊　藤　　純	さいとう内科クリニック	高槻市西冠
高槻市	辻　　宏　明	つじ・クリニック	高槻市辻子
高槻市	田　中　芳　人	田中歯科クリニック	高槻市紺屋町
高槻市	稲　田　　陽	いなだ訪問クリニック	高槻市中川町
高槻市	緒　方　敏　子	マーガレット出張助産院	高槻市大畑町
高槻市	大　橋　　一	大橋内科	高槻市宮之川原
高槻市	扇　谷　大　輔	おおぎたに内科・胃腸内科	高槻市宮田町
高槻市	櫟　原　新　平	西冠いちはら耳鼻咽喉科皮膚科	高槻市西冠
高槻市	稲　本　　潤	いなもと こどもクリニック	高槻市富田町
高槻市	白　石　龍　哉	白石整形外科	高槻市藤の里町
高槻市	福　永　崇　樹	ふくなが眼科	高槻市大畑町
高槻市	下　村　裕　章	しもむら内科クリニック	高槻市藤の里町
高槻市	武　田　維　明	武田消化器内科	高槻市春日町
高槻市	中　村　昭　文	中村整形外科	高槻市大蔵司
高槻市	岡　﨑　英　明	おかざき内科クリニック	高槻市芝生町
高槻市	服　部　　智	服部整形外科	高槻市安岡寺町
高槻市	福　森　達　郎	福森医院	高槻市竹の内町
高槻市	河　本　浩　二	かわもとこどもクリニック	高槻市登町
高槻市	山　野　　剛	やまの内科・胃腸内科クリニック	高槻市庄所町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	中　村　信　之	（医）整形外科なかむらクリニック	高槻市郡家本町
高槻市	北　浦　俊　哉	きたうら整形外科	高槻市庄所町
高槻市	林　　麻衣子	はやし眼科クリニック	高槻市栄町
高槻市	髙　田　　潤	たかだクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	鳥　居　芳太郎	とりい内科クリニック	高槻市大蔵司
高槻市	白　石　将　史	白石クリニック	高槻市芥川町
高槻市	白　石　奈々子	白石クリニック	高槻市芥川町
高槻市	松　井　広　登	まつい血管内科・静脈瘤クリニック	高槻市芥川町
高槻市	清　水　義　臣	しみず内科クリニック	高槻市桜ヶ丘北町
高槻市	櫟　原　崇　宏	櫟原医院	高槻市川添
高槻市	角　田　　力	南平台かどたクリニック	高槻市南平台
高槻市	森　　京　子	もり耳鼻咽喉科クリニック	高槻市城北町
高槻市	鍋　島　敏　也	鍋島クリニック	高槻市大冠町
高槻市	庄　田　裕　美	おおしま眼科クリニック	高槻市西冠
高槻市	村　上　詩　郎	村上医院	高槻市野見町
高槻市	村　上　晴　郎	村上医院	高槻市野見町
高槻市	安　東　里　真	上島内科医院	高槻市上土室
高槻市	奥　田　　稔	奥田歯科医院	高槻市牧田町
高槻市	奥　田　高　大	奥田歯科医院	高槻市牧田町
高槻市	中　山　明　子	中山クリニック	高槻市真上町
高槻市	渡　辺　昭　典	渡辺内科クリニック	高槻市氷室町
高槻市	杉　　和　憲	すぎ胃腸内科クリニック	高槻市北園町
高槻市	藤　原　俊　介	（医）俊優会 ふじわら診療所	高槻市栄町
高槻市	稲　田　泰　之	（医）悠仁会　稲田クリニック	高槻市城北町
高槻市	稲　田　礼　子	（医）悠仁会　稲田クリニック	高槻市城北町
高槻市	杉　浦　　希	高槻南仁寿会診療所	高槻市栄町
高槻市	福　井　　潤	高槻福井整形外科・内科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	糟　谷　彰　宏	かすや整形外科・骨粗しょう症クリニック	高槻市西冠
高槻市	田　中　基　晴	（医）晴聖会　天神田中内科クリニック	高槻市芥川町
高槻市	人　見　克　司	ひとみクリニック	高槻市柱本
高槻市	人　見　宣　江	ひとみクリニック	高槻市柱本
高槻市	米　田　雅　子	北摂皮膚科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	松　木　勇　人	北摂皮膚科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	櫟　原　維　華	西冠いちはら耳鼻咽喉科皮膚科	高槻市西冠
高槻市	堺　　正	堺医院	高槻市高槻町
高槻市	人　羅　俊　貴	ひとら内科クリニック	高槻市西冠
高槻市	川　口　哲　史	川口医院	高槻市津之江町
高槻市	大　東　淳　子	だいとう皮フ科クリニック	高槻市西冠
高槻市	富　田　誠　司	とみた整形外科クリニック	高槻市白梅町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	田　中　　覚	駅前さとるブレストクリニック	高槻市北園町
高槻市	松　本　浩　明	松本ほがらかクリニック	高槻市日吉台七番町
高槻市	宗　光　俊　博	むねみつホームメディカルクリニック	高槻市野見町
高槻市	森　　毅	もりクリニック	高槻市大手町
高槻市	布　谷　健太郎	ぬのたに眼科	高槻市氷室町
高槻市	佐々木　智　康	ささき医院	高槻市岡本町
高槻市	林　　宏　一	新阿武山クリニック	高槻市天神町
高槻市	徳　嶋　良　輔	Ｔ内科クリニック 高槻院	高槻市宮野町
高槻市	井　元　恵津子	しらかわ・いもとクリニック	高槻市西冠
高槻市	谷　川　　淳	内科・循環器内科たにがわクリニック	高槻市上土室
高槻市	大　関　道　薫	おおぜき医院	高槻市高槻町
高槻市	石　河　二　郎	渡辺婦人科	高槻市南松原町
高槻市	城　戸　晴　規	芥川きどクリニック	高槻市真上町
高槻市	藤　林　稔　和	医療法人至誠会 藤林クリニック	高槻市芥川町
高槻市	大　杉　友　顕	大杉内科	高槻市永楽町
高槻市	池　田　昌　人	いけだ内科・呼吸器内科	高槻市古曽部町
高槻市	大　尾　充　剛	みつたけこころのクリニック	高槻市古曽部町
高槻市	紀　　貴　之	きい内科クリニック	高槻市城北町
高槻市	彦　坂　　誠	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	彦　坂　祐　子	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	西　原　賢太郎	（医）共生会　アールクリニック	高槻市辻子
高槻市	吉　田　卓　也	吉田耳鼻咽喉科	高槻市白梅町
高槻市	堀　内　裕　子	ほくせつデンタルクリニック	高槻市富田町
高槻市	堀　内　信　子	ほくせつデンタルクリニック	高槻市富田町
高槻市	野　原　裕　貴	つむぎの森ホームクリニック	高槻市庄所町
高槻市	中　嶋　哲　史	なかじま整形外科	高槻市富田町
高槻市	信　田　みすみ	みすみ内科クリニック	高槻市上田辺町
高槻市	堤　　明　裕	堤レディースクリニック	高槻市城北町
高槻市	上　野　信　之	三康病院附属診療所	高槻市野見町
高槻市	松　浦　　潤	つむぎの森ホームクリニック	高槻市庄所町
高槻市	内　山　敬　達	うちやま小児科こどもクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	大　津　和　弥	大津耳鼻咽喉科・ボイスクリニック	高槻市西町
高槻市	中　坪　弥　生	なかつぼ眼科	高槻市西町
高槻市	今　津　伸　一	今津診療所	高槻市高槻町
高槻市	今　岡　靖　浩	今岡内科クリニック	高槻市氷室町
高槻市	谷　口　重　俊	しげとオリーブ歯科	高槻市宮田町
高槻市	橋　村　直　英	内科・消化器内科 はしむらクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	白　石　将　史	奥天神　白石クリニック	高槻市奥天神町
三島郡	西　本　　孝	西本医院	三島郡島本町広瀬

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
三島郡	栗　山　隆　信	楠薫堂医院	三島郡島本町青葉
三島郡	藤　吉　健　司	ふじよし医院	三島郡島本町広瀬
三島郡	難　波　　健	ナンバ眼科医院	三島郡島本町江川
三島郡	山　口　三　男	山口診療所	三島郡島本町水無瀬
三島郡	大　村　正　樹	大村耳鼻咽喉科	三島郡島本町広瀬
三島郡	高　島　哲　哉	高島クリニック	三島郡島本町山崎
三島郡	中小路　隆　裕	なかこうじ内科・循環器内科	三島郡島本町水無瀬
三島郡	加　藤　和　光	加藤産婦人科クリニック	三島郡島本町水無瀬
三島郡	森　　拓　美	もり整形外科リウマチ科クリニック	三島郡島本町水無瀬
三島郡	加　藤　壮　介	加藤産婦人科クリニック	三島郡島本町水無瀬
茨木市	大　島　正　義	大島整形外科	茨木市庄
茨木市	山　本　員　久	三康クリニック	茨木市総持寺
茨木市	別　役　聡　士	ベッチャククリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	岩　松　克　彦	岩松クリニック	茨木市東太田
茨木市	角　本　永　彦	角本医院	茨木市南安威
茨木市	中　村　育　子	中村医院	茨木市太田
茨木市	森　脇　　昭	森脇内科	茨木市双葉町
茨木市	田　中　孝　二	田中胃腸科クリニック	茨木市稲葉町
茨木市	奥　野　真知子	奥野眼科	茨木市総持寺駅前町
茨木市	奥　村　泰　啓	奥村クリニック	茨木市元町
茨木市	大　谷　峯　久	大谷クリニック	茨木市別院町
茨木市	中　迎　憲　章	なかむかいクリニック	茨木市下中条町
茨木市	辰　見　宣　夫	辰見医院	茨木市大字大岩
茨木市	北　野　福　男	北野外科内科	茨木市星見町
茨木市	中　尾　　誠	中尾内科クリニック	茨木市春日
茨木市	川　尻　勝　久	川尻クリニック	茨木市舟木町
茨木市	吉　田　　剛	よしだ内科	茨木市新中条町
茨木市	茂　松　茂　人	茂松整形外科	茨木市真砂
茨木市	濵　口　尚　重	浜口内科	茨木市舟木町
茨木市	徳　永　五輪雄	徳永医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	今　井　政　治	いまい内科ハートクリニック	茨木市双葉町
茨木市	韓　　鴻　濱	かん整形外科	茨木市並木町
茨木市	河　原　みどり	なかむかいクリニック	茨木市下中条町
茨木市	大　嶋　一　徳	大嶋クリニック	茨木市双葉町
茨木市	小　林　　誠	小林整形外科	茨木市春日
茨木市	増　田　一　裕	増田内科医院	茨木市下中条町
茨木市	橋　本　善　造	橋本診療所	茨木市島
茨木市	都　田　慶　一	都田泌尿器科医院	茨木市舟木町
茨木市	安　達　克　郎	公益財団法人 淀川勤労者厚生協会茨木診療所	茨木市元町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	勝　田　　隆	勝田クリニック	茨木市玉島
茨木市	細　見　洋　一	細見医院	茨木市下中条町
茨木市	泉　　善　雄	泉内科医院	茨木市西中条町
茨木市	西　里　枝久子	西里医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	高　島　孝　之	高島整形外科	茨木市沢良宜西
茨木市	須　永　匡　彦	須永内科小児科医院	茨木市耳原
茨木市	八　木　英　晴	八木耳鼻咽喉科	茨木市鮎川
茨木市	渡　辺　洋一郎	横山・渡辺クリニック	茨木市春日
茨木市	柴　崎　浩　一	しばさき小児科	茨木市下穂積
茨木市	大　森　研　史	大森医院	茨木市玉櫛
茨木市	佐久川　政　尚	佐久川クリニック	茨木市中津町
茨木市	奥　田　弘　賢	奥田産婦人科	茨木市竹橋町
茨木市	好　田　　康	こうだクリニック	茨木市上穂東町
茨木市	吉　岡　宣史朗	吉岡歯科クリニック	茨木市舟木町
茨木市	江　川　真　人	江川産婦人科医院	茨木市総持寺
茨木市	鈴　木　良　紀	鈴木医院	茨木市駅前
茨木市	石　田　丈　雄	石田診療所	茨木市寺田町
茨木市	平　山　公　三	平山皮フ科クリニック	茨木市沢良宜西
茨木市	阪　上　博　史	阪上耳鼻咽喉科医院	茨木市駅前
茨木市	岸　本　康　朗	岸本クリニック	茨木市沢良宜西
茨木市	北　川　慶　幸	北川クリニック	茨木市東中条町
茨木市	半　田　忠　利	はんだクリニック	茨木市玉櫛
茨木市	宇　野　耕太郎	たかおか耳鼻・甲状腺クリニック	茨木市中穂積
茨木市	佐々木　良　高	佐々木外科内科医院	茨木市西駅前町
茨木市	永　井　隆　子	永井眼科医院	茨木市水尾
茨木市	富　田　智　史	とみたクリニック	茨木市星見町
茨木市	杉　本　　清	すぎもとクリニック	茨木市総持寺駅前町
茨木市	内　海　　隆	内海眼科医院	茨木市元町
茨木市	居　相　浩　之	居相整形外科	茨木市三島丘
茨木市	中　島　周　三	なかじま内科	茨木市鮎川
茨木市	江　川　泰　人	江川クリニック	茨木市総持寺駅前町
茨木市	小　笠　智　嗣	おがさ整形外科	茨木市白川
茨木市	溪　　浩　司	たに医院	茨木市天王
茨木市	山　田　しのぶ	成田クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	木　原　幸　一	きはら内科クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	橋　本　裕　美	橋本こどもクリニック	茨木市太田
茨木市	岡　本　文　雄	岡本クリニック	茨木市西中条町
茨木市	河　村　英　輔	河村メディカルクリニック	茨木市別院町
茨木市	西　尾　　聖	聖クリニック	茨木市郡

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	近　藤　浩　之	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	近　藤　章　子	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	寺　村　智　子	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	安　成　隆　治	吉原眼科医院	茨木市舟木町
茨木市	片　山　尚　典	片山メンタルクリニック	茨木市双葉町
茨木市	上　野　眞　徳	上野歯科医院	茨木市白川
茨木市	杉　田　久美子	すぎた子どもクリニック	茨木市見付山
茨木市	篠　永　安　秀	篠永医院	茨木市真砂
茨木市	田　中　　聡	たなかクリニック	茨木市白川
茨木市	須　永　恭　司	須永医院	茨木市玉水町
茨木市	金　本　裕　吉	かねもとクリニック	茨木市見付山
茨木市	上　野　　豊	上野医院	茨木市大手町
茨木市	平　　通　也	希ファミリークリニック	茨木市永代町
茨木市	城　谷　敬　子	いしが城谷クリニック	茨木市大手町
茨木市	大　宮　由　香	おおみや形成外科クリニック	茨木市大手町
茨木市	生　越　まち子	おごし皮フ科	茨木市玉櫛
茨木市	岩　井　博　司	岩井医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	根　来　伸　行	ねごろ内科循環器科	茨木市大池
茨木市	川　床　　聡	さと在宅クリニック	茨木市玉櫛
茨木市	橋　爪　喜代子	はしづめ内科	茨木市天王
茨木市	野　瀬　隆　夫	のせ皮ふ科	茨木市双葉町
茨木市	長谷川　　稔	長谷川内科	茨木市園田町
茨木市	大　崎　　尚	大崎医院	茨木市別院町
茨木市	堀　井　孝　容	堀井医院	茨木市舟木町
茨木市	北　野　貴　弘	北野外科内科	茨木市星見町
茨木市	河　本　陽　介	こうもと内科・小児科クリニック	茨木市水尾
茨木市	大　谷　晃　司	おおたに内科医院	茨木市西中条町
茨木市	山　本　紀　彦	やまもとクリニック	茨木市永代町
茨木市	岩　﨑　正　洋	岩﨑正洋クリニック	茨木市鮎川
茨木市	野　瀬　　優	のせ整形外科クリニック	茨木市東中条町
茨木市	村　西　美智子	むらにし皮フ科	茨木市見付山
茨木市	井　上　俊　宏	いのうえ内科	茨木市竹橋町
茨木市	丸　山　栄　勲	北川クリニック	茨木市東中条町
茨木市	木　戸　良　子	きどレディースクリニック	茨木市舟木町
茨木市	高　島　美智子	きどレディースクリニック	茨木市舟木町
茨木市	石　川　一　彦	辰見クリニック	茨木市白川
茨木市	岡　部　宇　彦	耳鼻咽喉科　岡部医院	茨木市橋の内
茨木市	村　井　基　修	むらい内科循環器内科	茨木市中穂積
茨木市	釘　抜　正　明	釘抜医院	茨木市下穂積

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	井　上　　隆	いのうえ整形外科	茨木市見付山
茨木市	朝　田　浩　司	朝田歯科	茨木市玉櫛
茨木市	城　谷　知　彦	いしが城谷クリニック	茨木市大手町
茨木市	梅　田　達　也	うめだクリニック	茨木市舟木町
茨木市	田　中　マ　キ	マキレディースクリニック	茨木市春日
茨木市	河　﨑　千恵子	かわさき眼科クリニック	茨木市舟木町
茨木市	平　岩　哲　也	ひらいわクリニック	茨木市大手町
茨木市	徳　永　博　正	徳永医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	井　上　秀　治	井上クリニック	茨木市大手町
茨木市	月　山　芙　蓉	つきやまクリニック	茨木市双葉町
茨木市	栗　原　裕　彦	栗原医院	茨木市宮元町
茨木市	原　　啓　太	はら小児科クリニック	茨木市学園南町
茨木市	加　藤　明　子	かとう眼科	茨木市別院町
茨木市	瀬　下　　巖	せしも胃腸肛門クリニック	茨木市元町
茨木市	山　口　和　男	やまぐち整形外科・リウマチクリニック	茨木市天王
茨木市	久保田　泰　隆	くぼた眼科	茨木市白川
茨木市	菅　野　　亘	中菅野医院	茨木市南春日丘
茨木市	澤　　明　子	澤眼科医院	茨木市庄
茨木市	平　田　美　幸	平田整形外科クリニック	茨木市寺田町
茨木市	高　原　　寛	ももたろう　痛みのクリニック	茨木市宮元町
茨木市	名　越　　充	名越歯科診療所	茨木市元町
茨木市	今　井　道　生	いまい内科ハートクリニック	茨木市双葉町
茨木市	高　原　順　矢	医療法人　高原クリニック	茨木市沢良宜
茨木市	得　居　将　文	とくいクリニック	茨木市大池
茨木市	元　廣　高　之	もとひろクリニック	茨木市並木町
茨木市	峯　　尚　志	峯クリニック	茨木市春日
茨木市	朝　倉　　勉	朝倉歯科医院	茨木市南春日丘
茨木市	伊　藤　嘉　啓	アイルすまいるクリニック	茨木市園田町
茨木市	成　田　基　良	成田クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	大　嶋　太　郎	大嶋クリニック	茨木市双葉町
茨木市	水戸守　寿　洋	みともり子どもクリニック	茨木市舟木町
茨木市	平　田　哲　朗	平田整形外科クリニック	茨木市寺田町
茨木市	中　　禎　二	なかクリニック	茨木市中穂積
茨木市	金　原　　太	きんばらホームクリニック	茨木市南春日丘
茨木市	谷　口　寛　昌	谷口内科循環器クリニック	茨木市中河原町
茨木市	岡　本　光　豊	岡本医院	茨木市末広町
茨木市	柚　木　孝　仁	北摂クリニック	茨木市大池
茨木市	林　　与志子	勝田クリニック	茨木市玉島
茨木市	担　　当　　医	立命館大学　茨木診療所	茨木市岩倉町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	中　嶋　真一郎	アイルすまいるクリニック	茨木市園田町
茨木市	立　花　宏　一	たちばなクリニック	茨木市双葉町
茨木市	中　林　博　道	きずな友愛クリニック	茨木市永代町
茨木市	須　藤　正　治	須藤耳鼻咽喉科	茨木市大池
茨木市	澤　　雄　大	澤眼科医院	茨木市庄
茨木市	萩　野　眞奈美	萩野医院	茨木市新郡山
茨木市	國　里　洋　子	医療法人　国里整形外科	茨木市永代町
茨木市	前　羽　宏　史	前羽クリニック	茨木市春日
茨木市	竹　村　博　一	竹村耳鼻咽喉科クリニック	茨木市真砂
茨木市	梅　田　直　也	うめだ整形外科	茨木市双葉町
茨木市	大河内　寿　一	大河内医院	茨木市駅前
茨木市	杉　田　光　司	すぎたクリニック	茨木市三島丘
茨木市	巽　　昭　雄	たつみ内科クリニック	茨木市新中条町
茨木市	塩　見　俊　行	しおみ整形外科・痛み・関節クリニック	茨木市新中条町
茨木市	坂　口　正　展	さかぐち皮フ科クリニック	茨木市新中条町
茨木市	光　田　輝　彦	みつだクリニック	茨木市駅前町
茨木市	横　山　如　人	横山・渡辺クリニック	茨木市春日
茨木市	奥　田　和　人	おくだ内科クリニック	茨木市双葉町
茨木市	金　子　元　春	健彰会クリニック整形外科リウマチ科	茨木市総持寺台
茨木市	米　田　直　人	よねだレディースクリニック	茨木市上郡
茨木市	水　野　裕　太	じんないクリニック	茨木市中津町
茨木市	高　原　　健	医療法人　高原クリニック	茨木市沢良宜
茨木市	中　河　秀　生	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	渡　辺　克　哉	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	佐々木　有　一	ささき内科・内視鏡クリニック	茨木市総持寺
茨木市	高　坂　祐加子	佐久川クリニック	茨木市中津町
茨木市	亀　井　宏　治	かめい内科消化器クリニック	茨木市西駅前町
茨木市	木野田　　茂	ファミリークリニック　ゆい	茨木市玉櫛
茨木市	宮　崎　敬　士	みやざきちびっこ診療所	茨木市総持寺
茨木市	東　野　亮　太	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	砂　野　彰　宏	ノダ・砂野歯科	茨木市鮎川
茨木市	中　谷　宏　幸	なごみ整形外科リウマチクリニック	茨木市総持寺
茨木市	山　本　誠　士	やまもとホームケアクリニック	茨木市本町
茨木市	上　田　真由美	茨木市駅うえた眼科	茨木市双葉町
茨木市	森　岡　貴　勢	しらべの森ホームクリニック	茨木市星見町
茨木市	山　本　　彩	あやフラウクリニック	茨木市舟木町
茨木市	吉　田　洋　平	しらべの森ホームクリニック	茨木市星見町
茨木市	髙　岡　勇　稀	たかおか耳鼻・甲状腺クリニック	茨木市中穂積
茨木市	亀　井　里　実	かめい眼科	茨木市下中条町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	中　村　　玄	なかむら整形外科	茨木市沢良宜浜
茨木市	吉　野　茂　雄	医療法人 SKY　スカイクリニック	茨木市双葉町
茨木市	瀬　戸　洋　一	医療法人 SKY　スカイクリニック	茨木市双葉町
茨木市	田　中　雄一朗	医療法人 SKY　スカイクリニック	茨木市双葉町
茨木市	吉　田　修　平	よしだ内科・呼吸器内科クリニック	茨木市西中条町
茨木市	中　神　太　志	中神クリニック	茨木市水尾
摂津市	山　内　榮　樹	山内医院	摂津市千里丘東
摂津市	高　山　　実	高山クリニック	摂津市千里丘東
摂津市	白　川　貴　浩	白川整形外科	摂津市千里丘
摂津市	松　井　保　憲	温優会松井クリニック	摂津市三島
摂津市	川　西　秀　夫	川西内科循環器科	摂津市正雀本町
摂津市	黒　本　成　人	黒本診療所	摂津市香露園
摂津市	岩　本　久　雄	岩本医院	摂津市千里丘
摂津市	近　藤　桂　一	近藤診療所	摂津市鳥飼野々
摂津市	細　川　眞　哉	細川医院	摂津市鳥飼上
摂津市	今　村　育　男	千里丘協立診療所	摂津市千里丘東
摂津市	稲　垣　一　道	いながきクリニック	摂津市南千里丘
摂津市	村　田　卓　士	むらた小児科	摂津市南千里丘
摂津市	長　谷　一　郎	はせクリニック	摂津市香露園
摂津市	福　地　みさよ	みさよ内科クリニック	摂津市東一津屋
摂津市	中　嶋　直　子	中嶋・清川とりかいクリニック	摂津市鳥飼八防
摂津市	清　川　裕　美	中嶋・清川とりかいクリニック	摂津市鳥飼八防
摂津市	近　藤　正　子	近藤診療所	摂津市鳥飼野々
摂津市	馬　場　義　親	馬場内科・循環器内科クリニック	摂津市千里丘東
池田市	山　田　祥　晴	やまだクリニック	池田市室町
池田市	天　野　利　男	天野内科循環器科	池田市上池田
池田市	井　海　江利子	おおたクリニック	池田市満寿美町
池田市	角　岡　　潔	つのおか循環器内科クリニック	池田市呉服町
吹田市	糠　谷　伝　一	糠谷医院	吹田市片山町
吹田市	占　部　　健	占部内科クリニック	吹田市山田西
吹田市	井　上　了　豪	井上クリニック	吹田市上山手町
吹田市	野　中　親　哉	野中内科クリニック	吹田市津雲台
吹田市	野　﨑　元　子	のざきクリニック	吹田市千里丘下
吹田市	木　村　眞　一	きむら訪問クリニック	吹田市五月が丘東
吹田市	中　村　嘉　宏	医療法人ウェルビー　なかむらレディースクリニック	吹田市豊津町
吹田市	西　原　承　緒	あいぜん診療所	吹田市山田東
吹田市	徳　田　光　章	医療法人とくだクリニック	吹田市五月が丘東
吹田市	山　村　憲　幸	やまむらクリニック	吹田市片山町
吹田市	謝　　新	ひかりクリニック	吹田市春日

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
豊中市	野　井　　理	野井耳鼻咽喉科	豊中市新千里南町
豊中市	永　谷　憲　歳	ながや内科　循環器内科・呼吸器内科	豊中市新千里西町
箕面市	澄　川　　司	すみかわ整形外科	箕面市桜ヶ丘
箕面市	大日向　由　光	おおひなた耳鼻咽喉科クリニック	箕面市箕面
守口市	東　　功	アイル在宅医療クリニック	守口市寺内町
枚方市	森　川　浩　志	森川クリニック	枚方市伊加賀東町
枚方市	梅　本　真三夫	うめもとクリニック	枚方市杉
枚方市	奥　田　信　昭	奥田クリニック	枚方市新町
枚方市	上　田　　新	上田クリニック	枚方市宮之阪
枚方市	岡　﨑　英　俊	田中泌尿器医院　人工透析センターひらかた	枚方市津田元町
枚方市	亀　岡　慶　一	亀岡内科	枚方市西禁野
大阪市	木　戸　友　幸	木戸医院	大阪市東淀川区井高野
大阪市	横　田　和　男	横田クリニック	大阪市東淀川区井高野
大阪市	中　尾　正　俊	中尾医院	大阪市東淀川区菅原
大阪市	塘　　二　郎	ツツミ内科循環器科	大阪市天王寺区生玉町
大阪市	古　林　光　一	梅田血管外科クリニック（旧古林内科医院）	大阪市北区曽根崎
大阪市	石　村　孝　夫	石村内科循環器科	大阪市北区天神橋
大阪市	黒　川　彰　夫	黒川梅田診療所	大阪市北区梅田
大阪市	光　井　英　昭	光井診療所	大阪市東淀川区豊里
大阪市	岡　部　　眞	岡部内科	大阪市東住吉区東田辺
大阪市	小　嶌　美恵子	こじま眼科クリニック	大阪市阿倍野区松崎町
大阪市	廣　實　俊　郎	ひろざね内科・循環器科	大阪市東淀川区豊里
大阪市	飯　田　紀　彦	飯田クリニック	大阪市淀川区十三東
大阪市	塘　　義　明	ツツミ内科循環器科	大阪市天王寺区生玉町
大阪市	山　下　能　毅	うめだファティリティークリニック	大阪市北区豊崎
大阪市	小　出　泰　道	小出内科神経科	大阪市天王寺区生玉寺町
大阪市	森　本　義　晴	HORAC グランフロント大阪クリニック	大阪市北区大深町
八尾市	栗　岡　宏　彰	しろばとクリニック	八尾市光町
尼崎市	浜　本　順　博	浜本クリニック	兵庫県尼崎市尾浜町
尼崎市	西　口　完　二	内科外科にしぐち医院	兵庫県尼崎市南塚口町
京田辺市	新　田　昌　稔	新田クリニック	京都府京田辺市山手東
京都市	野　原　丈　裕	のはらクリニック	京都府京都市西京区桂南巽町
西宮市	徐　　東　舜	徐クリニック	兵庫県西宮市松籟荘
奈良市	松　尾　隆　広	まつお内科	奈良県奈良市中登美ヶ丘

5. 職員構成

		2023年4月1日			備　考　（ ）内は再掲
診 療 部		医師 45.0 臨床研修医 4.0		**49.0**	**常勤数 49.0** **非常勤常勤換算数 8.9** **非常勤実人数 76**
看護部 計				**288.00**	
	部長	看護師	1.00	**1.00**	
	退院調整担当	看護師	1.00	**1.00**	
	救急推進担当	看護師 救急救命士	1.00 5.00	**6.00**	
	入院支援担当	看護師	3.00	**3.00**	
	医療安全対策担当	看護師	1.00	**1.00**	
	感染予防対策担当	看護師	2.00	**2.00**	看護師 215.32
	がん診療推進担当	看護師	1.00	**1.00**	常勤数 203
	褥瘡予防対策担当	看護師	1.00	**1.00**	非常勤常勤換算数 12.32
	認知症ケア担当	看護師	1.00	**1.00**	非常勤実人数 18
	中央手術センター	看護師 准看護師 看護補助	20.00 2.00 8.00	**30.00**	准看護師 11 常勤数 11 非常勤常勤換算数 0 非常勤実人数 3
	外来フロア	看護師 准看護師 看護補助	30.00 7.00 1.00	**38.00**	救急救命士 5 常勤数 5
	ＩＣＵ・救急フロア	看護師	33.00	**33.00**	
	レディースフロア	看護師	18.00	**18.00**	看護補助 26.2 常勤数 25 非常勤常勤換算数 1.2 非常勤実人数 3
	整形・小児フロア	看護師 准看護師 看護補助 准看学生	25.00 3.00 6.00 5.00	**39.00**	
	消化器センター	看護師 准看護師 看護補助 准看学生	28.00 1.00 4.00 6.00	**39.00**	看護学生 5.75 非常勤常勤換算数 5.75 非常勤実人数 20
	呼吸器センター	看護師 看護補助 准看学生	26.00 4.00 5.00	**35.00**	
	循環器センター	看護師 准看護師 看護補助 准看学生	29.00 1.00 5.00 4.00	**39.00**	
診療技術部 計				**102.02**	薬剤師 14.66 診療放射線技師 14.78 臨床検査技師 21.96 視能訓練士・眼科検査士 4 臨床工学技士 11 理学療法士 9 作業療法士 4.18 管理栄養士 5 調理師 10
	薬剤科			15.66	
	放射線科			14.78	
	臨床検査科			26.06	
	臨床工学科			11.0	
	リハビリテーション科			13.18	
	栄養科			5.0	
	栄養調理科			16.34	
事務局 計				**109.93**	
	事務局			2.93	
	経営企画室			2.00	
	病院サービス課			57.70	
	医療情報課			5.00	診療情報管理士 12 ケースワーカー 8 社会福祉士 (7) 保育士 7
	地域医療連携室			9.96	
	資材器財課			3.00	
	経理課			4.00	
	総務課			10.15	
	人事課			7.00	
	保育所			8.20	
訪問看護ステーション				**7.00**	看護師 6
ケアプランセンター				**9.00**	ケアマネジャー 9
合　　計				**564.95**	

6. 医療環境と当院の医療実績

2023（令和 5）年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけは、2023 年 5 月 8 日に「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる 2 類相当）」から「5 類感染症」になりました。これに伴い、感染防止対策と社会経済活動の両立を目指した多種多様な取り組みが再開されています。

当院でも、地域貢献活動の一環としての健康教室、地域包括ケアシステムの医療・介護・福祉連携強化としての多職種連携の会、登録医との連携強化のための登録医会議・懇親会、そして職員間交流のための院内学会・懇親会など様々な院内外での活動を再開しました。

また、病院機能の体系的な第三者評価として、病院機能評価（機能種別一般病院 2 <3rdG:Ver.2.0> ）と臨床研修評価（卒後臨床研修評価機構〈略称 JCEP〉）を受審しました。これらの中では、高く評価されたものがある一方、課題もいくつか指摘されました。この結果を踏まえて、病院全体で継続的な質改善への取り組みが定着することが重要であると考えます。

医療提供体制としては、感染防止対策を維持しながらの病床運営となりました。5 類移行後は、新型コロナウイルス感染症について一般市民の認識は医療従事者と大きく乖離する様相を呈しており、あたかも終息したかのように社会では捉えられています。その影響もあるのか、2023 年度を通じて感染患者の外来受診や入院患者は途切れることがなく、さらに当院でも院内クラスターが複数回発生して病床制限を余儀なくされ、加えて後方病院での転院受け入れ制限が発生するなど、病床運営上、困難な場面に幾度も遭遇しました。

生産年齢人口の減少に伴い、医療界においても人材の確保が以前から問題になっていましたが、それに追い打ちをかけるように、コロナ後は様々な理由による医療職の離職に加えて、人材会社による求人活動の活発化などによる人材獲得競争の激化もあり、当院においても働き手の不足が深刻化しています。このような状況下において、2023 年 9 月に初めて実施した職員やりがい度調査については、肯定的な意見も多くありましたが、それ以上に多くの職員から、病院に対しての要望や厳しい意見をいただきました。ただし、見方を変えると、数々の課題が明白になり、改善に向けた多くの貴重なヒントを職員から与えられたと考えております。これらの課題を経営幹部会のメンバーで共有し、一つ一つ解決するように進めていかなければなりません。そして、そのプロセスが職員にわかるように可視化することも重要です。

2023 年度の医業収益については、上述の院内クラスターなどによる病床制限の影響や、人員不足、そして光熱費、材料費の高騰などが相まって、医業収益は伸び悩み、厳しい結果になりました。

2024 年度については、診療報酬改定年度であり、診療報酬本体がプラス 0.88％、薬価等がマイナス 1％、全体ではマイナス 0.12％となりました。物価高騰や未だ続く感染症対策に対応するためには全く不十分な中での病院運営となります。

このように、困難な課題は山積していますが、当院の役割として、地域包括ケアシステムを推進し、地域医療を支えている医療・介護・福祉に関わる方々との連携をさらに密接に行い、当院の特長を発揮していくことが基本であると考えています。この方針を進めることが、地域医療支援病院として当院がこれまで築き上げてきた役割と機能を発揮し、さらに地域住民の方々への責任を果たすことになると考えております。

このためには、2024 年度は、職員からの貴重な意見を真摯に受け止め、すべての職員が、働きやすい、働きがいがあり成長できる環境を創出することによって、職員それぞれが定着し、その能力を十分に発揮できるようになるような真の働き方改革への組織づくりを、最優先課題として取り組んでいきます。

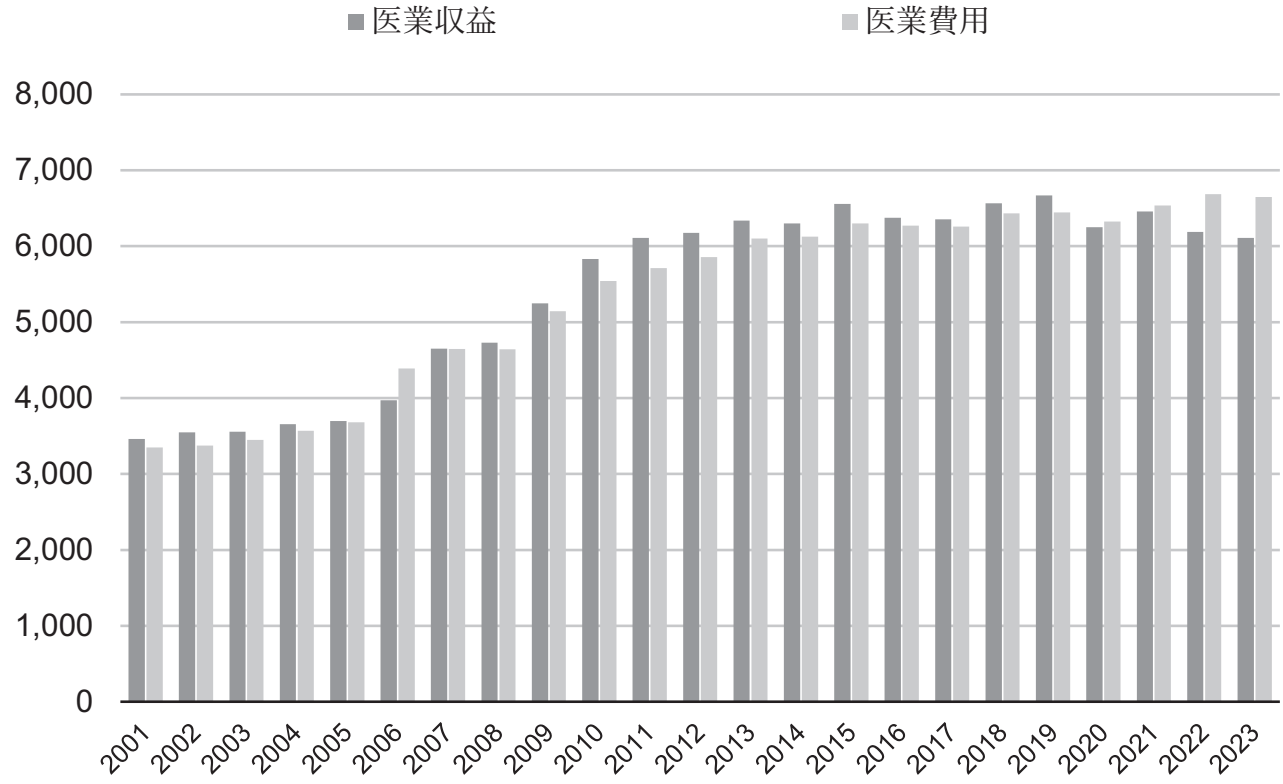
それとともに人員確保を確実に行いながら、217 床での病床運用を再開、平時からの新興感染症への体制を整備しつつ、今後の地域医療構想、病院拡充計画などの未来への課題にも取り組んでいきます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024 年 7 月

病院長　小林 一朗

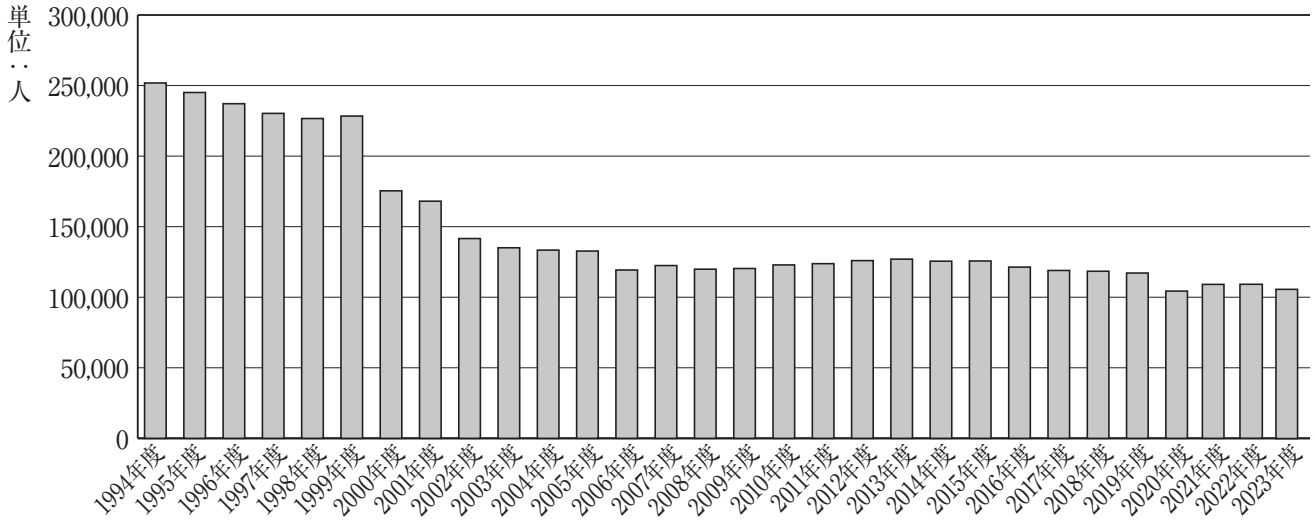
医業収益と医業費用の推移（百万円）



Ⅱ. 患者の状況

1．外来

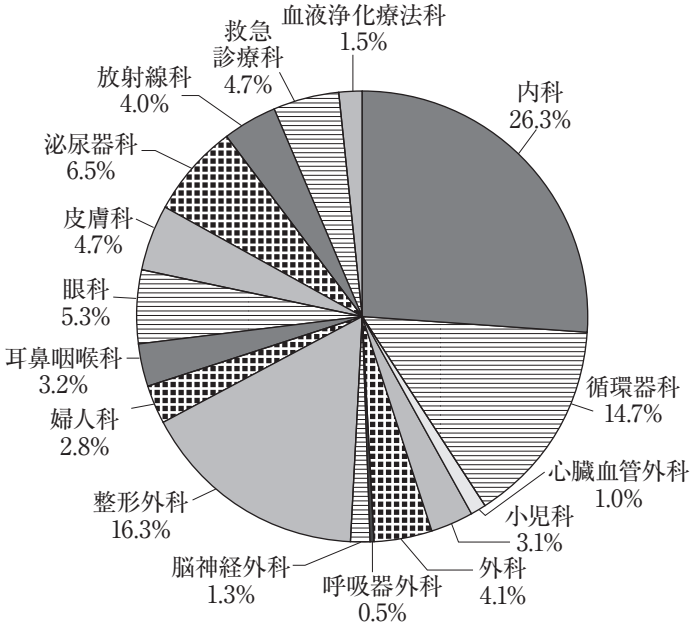
(1)外来延べ患者数の推移



外来延べ患者数

1994年度	251,820	2000年度	175,395	2006年度	119,293	2012年度	125,951	2018年度	118,410
1995年度	245,087	2001年度	168,053	2007年度	122,441	2013年度	127,002	2019年度	117,147
1996年度	237,138	2002年度	141,586	2008年度	119,865	2014年度	125,534	2020年度	104,355
1997年度	230,273	2003年度	135,045	2009年度	120,363	2015年度	125,685	2021年度	109,098
1998年度	226,636	2004年度	133,385	2010年度	122,899	2016年度	121,354	2022年度	109,312
1999年度	228,376	2005年度	132,729	2011年度	123,785	2017年度	118,964	2023年度	105,762

(2)科別 外来患者構成比の推移

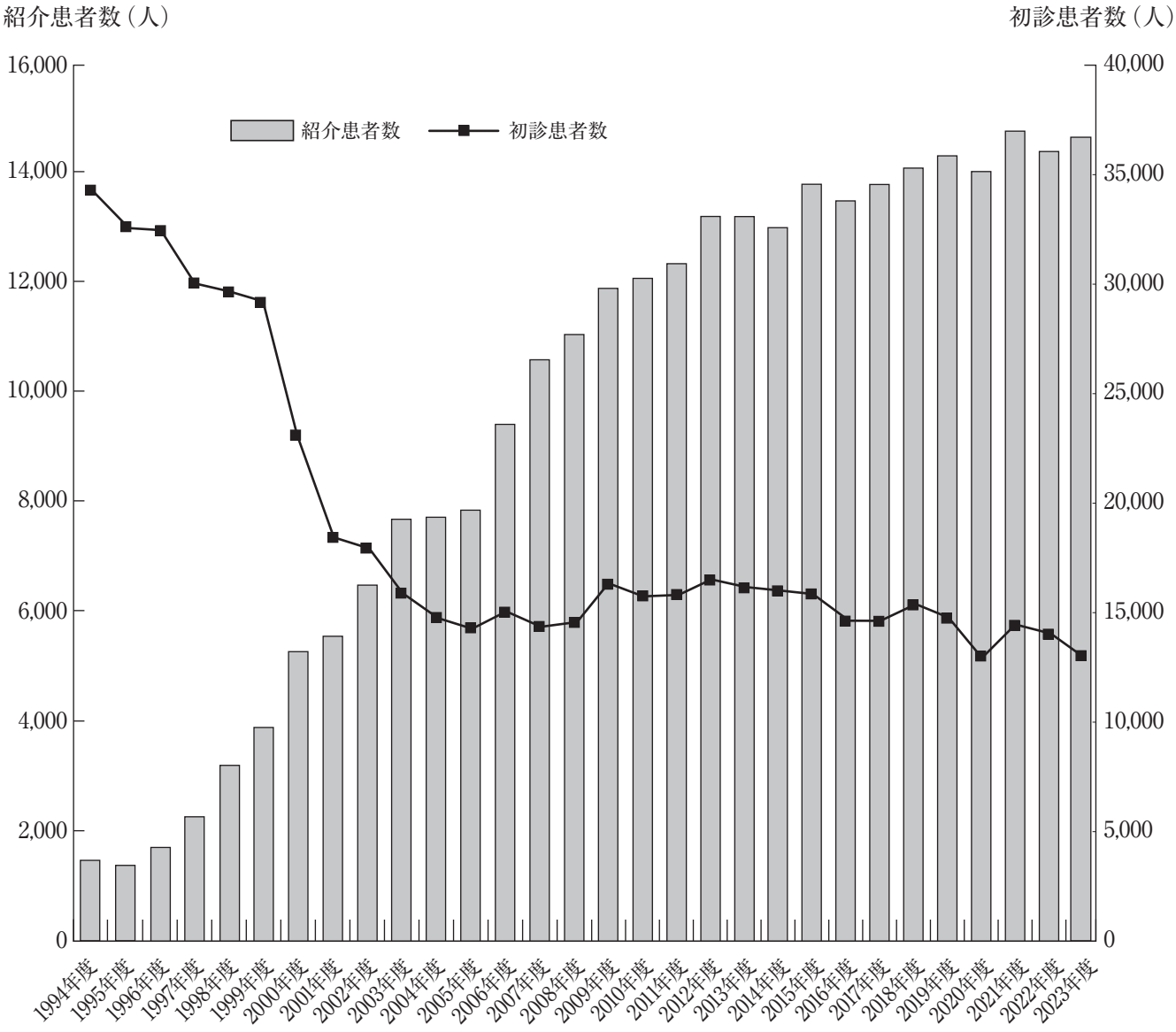


	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
内　科	28.8%	29.4%	28.3%	26.3%
循環器科	15.6%	15.7%	15.1%	14.7%
心臓血管外科	0.8%	0.8%	1.1%	1.0%
小 児 科	1.7%	1.5%	2.5%	3.1%
外　科	5.0%	4.7%	4.4%	4.1%
呼吸器外科	0.5%	0.6%	0.6%	0.5%
脳神経外科	1.4%	1.3%	1.4%	1.3%
整形外科	14.8%	14.7%	14.8%	16.3%
婦 人 科	2.9%	2.8%	2.8%	2.8%
耳鼻咽喉科	1.9%	2.1%	2.5%	3.2%
眼　科	5.8%	5.6%	5.4%	5.3%
皮 膚 科	4.8%	4.9%	4.7%	4.7%
泌尿器科	6.1%	6.0%	6.6%	6.5%
放射線科	3.4%	3.5%	3.7%	4.0%
救急診療科	5.1%	5.2%	4.9%	4.7%
血液浄化療法科	1.4%	1.2%	1.4%	1.5%

(3)新来患者数・紹介患者数の推移

	紹介患者数	初診患者数	(再掲) 病院新来数		紹介患者数	初診患者数	(再掲) 病院新来数
1994年度	1,470	34,475	7,602	2009年度	11,929	16,555	8,830
1995年度	1,378	32,875	6,981	2010年度	12,112	15,958	8,175
1996年度	1,718	32,776	6,822	2011年度	12,380	16,024	8,016
1997年度	2,278	30,342	6,763	2012年度	13,243	16,732	8,020
1998年度	3,217	29,982	6,674	2013年度	13,241	16,381	7,714
1999年度	3,909	29,525	6,720	2014年度	13,038	16,217	7,736
2000年度	5,294	23,420	6,818	2015年度	13,831	16,064	7,907
2001年度	5,575	18,745	6,468	2016年度	13,527	14,846	7,642
2002年度	6,509	18,268	6,332	2017年度	13,827	14,841	7,665
2003年度	7,712	16,101	7,250	2018年度	14,126	15,603	7,815
2004年度	7,749	14,963	7,232	2019年度	14,350	14,991	7,713
2005年度	7,878	14,479	5,622	2020年度	14,063	13,148	7,516
2006年度	9,445	15,270	8,279	2021年度	14,801	14,674	7,361
2007年度	10,625	14,569	8,132	2022年度	14,429	14,258	8,318
2008年度	11,086	14,786	7,918	2023年度	14,640	13,231	8,210

単位(人)



（4）月別 診療科別平均通院回数

月別 / 診療科別	2023.4			2023.5			2023.6			2023.7			2023.8			2023.9			2023.10		
	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院
全科	8,686	7,264	1.2	8,513	7,176	1.2	9,153	7,794	1.2	8,991	7,606	1.2	9,087	7,654	1.2	8,926	7,550	1.2	8,822	7,414	1.2
消化器内科	969	788	1.2	843	730	1.2	974	814	1.2	920	783	1.2	887	743	1.2	847	735	1.2	895	748	1.2
消化器内科	910	739	1.2	784	673	1.2	899	742	1.2	870	733	1.2	830	690	1.2	764	654	1.2	832	687	1.2
肝臓内科	59	49	1.2	59	57	1.0	75	72	1.0	50	50	1.0	57	53	1.1	83	81	1.0	63	61	1.0
循環器科	1,304	1,201	1.1	1,221	1,131	1.1	1,380	1,294	1.1	1,305	1,224	1.1	1,334	1,238	1.1	1,303	1,211	1.1	1,282	1,190	1.1
心臓血管外科	92	81	1.1	88	76	1.2	107	100	1.1	99	90	1.1	80	76	1.1	98	84	1.2	114	97	1.2
呼吸器内科	291	250	1.2	330	289	1.1	333	283	1.2	301	261	1.2	347	303	1.1	307	272	1.1	312	262	1.2
総合内科	501	457	1.1	512	461	1.1	560	491	1.1	565	501	1.1	677	610	1.1	552	490	1.1	554	490	1.1
糖尿病･内分泌内科	348	338	1.0	287	278	1.0	350	343	1.0	303	298	1.0	375	365	1.0	319	309	1.0	312	299	1.0
血液内科	115	88	1.3	117	89	1.3	104	77	1.4	102	84	1.2	115	90	1.3	114	87	1.3	110	91	1.2
神経内科	116	103	1.1	121	110	1.1	108	106	1.0	100	98	1.0	110	107	1.0	102	100	1.0	113	109	1.0
小児科	214	175	1.2	256	200	1.3	266	194	1.4	301	235	1.3	231	188	1.2	308	241	1.3	270	208	1.3
外科	385	267	1.4	320	246	1.3	346	263	1.3	355	249	1.4	398	282	1.4	379	273	1.4	373	268	1.4
一般消化器外科	332	218	1.5	264	191	1.4	283	200	1.4	304	199	1.5	341	229	1.5	321	221	1.5	324	221	1.5
乳腺外科	53	49	1.1	56	55	1.0	63	63	1.0	51	50	1.0	57	53	1.1	58	52	1.1	49	47	1.0
呼吸器外科	40	32	1.3	50	44	1.1	43	40	1.1	40	40	1.0	37	32	1.2	35	32	1.1	54	44	1.2
脳神経外科	115	106	1.1	108	101	1.1	122	114	1.1	109	101	1.1	105	95	1.1	133	124	1.1	129	113	1.1
整形外科	1,395	1,078	1.3	1,340	1,058	1.3	1,471	1,186	1.2	1,461	1,149	1.3	1,476	1,129	1.3	1,545	1,194	1.3	1,418	1,094	1.3
整形外科	1,395	1,078	1.3	1,340	1,058	1.3	1,471	1,186	1.2	1,461	1,149	1.3	1,476	1,129	1.3	1,545	1,194	1.3	1,418	1,094	1.3
形成外科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
婦人科	246	209	1.2	232	189	1.2	245	208	1.2	228	195	1.2	215	174	1.2	232	202	1.1	247	216	1.1
耳鼻咽喉科	325	213	1.5	294	181	1.6	263	195	1.3	283	192	1.5	285	210	1.4	256	189	1.4	282	205	1.4
眼科	458	372	1.2	465	367	1.3	508	412	1.2	472	369	1.3	444	373	1.2	452	380	1.2	464	382	1.2
皮膚科	391	295	1.3	434	320	1.4	423	342	1.2	449	344	1.3	445	332	1.3	395	299	1.3	414	323	1.3
泌尿器科	554	494	1.1	537	488	1.1	636	555	1.1	590	524	1.1	577	500	1.2	638	552	1.2	597	519	1.2
放射線科	354	352	1.0	342	339	1.0	379	376	1.0	338	336	1.0	312	308	1.0	373	369	1.0	383	381	1.0
救急診療科	368	354	1.0	480	467	1.0	400	389	1.0	540	521	1.0	512	488	1.0	410	395	1.0	372	363	1.0
救急科内科	194	188	1.0	270	262	1.0	247	241	1.0	327	315	1.0	312	296	1.1	246	237	1.0	191	189	1.0
救急科小児科	12	12	1.0	22	22	1.0	15	15	1.0	29	29	1.0	28	27	1.0	15	15	1.0	18	18	1.0
救急科外科系	161	153	1.1	188	183	1.0	138	133	1.0	184	177	1.0	171	164	1.0	148	142	1.0	162	155	1.0
救急科産婦人科	1	1	1.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
血液浄化療法科	105	11	9.5	136	12	11.3	135	12	11.3	130	12	10.8	125	11	11.4	128	12.0	10.7	127	12	10.6

月別 / 診療科別	2023.11			2023.12			2024.1			2024.2			2024.3			平均		
	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院
全科	8,711	7,398	1.2	9,210	7,735	1.2	8,364	7,124	1.2	8,536	7,329	1.2	8,763	7,503	1.2	105,762	89,547	1.2
消化器内科	907	759	1.2	983	827	1.2	878	747	1.2	874	762	1.1	897	785	1.1	10,874	9,221	1.2
消化器内科	851	706	1.2	895	745	1.2	825	697	1.2	806	697	1.2	818	711	1.2	10,084	8,474	1.2
肝臓内科	56	53	1.1	88	82	1.1	53	50	1.1	68	65	1.0	79	74	1.1	790	747	1.1
循環器科	1,260	1,182	1.1	1,390	1,286	1.1	1,127	1,047	1.1	1,322	1,226	1.1	1,301	1,209	1.1	15,529	14,439	1.1
心臓血管外科	101	92	1.1	72	67	1.1	88	83	1.1	83	79	1.1	84	75	1.1	1,106	1,000	1.1
呼吸器内科	333	293	1.1	341	279	1.2	297	258	1.2	307	269	1.1	307	259	1.2	3,806	3,278	1.2
総合内科	539	481	1.1	545	486	1.1	556	494	1.1	559	503	1.1	474	431	1.1	6,594	5,895	1.1
糖尿病・内分泌内科	363	343	1.1	350	331	1.1	321	305	1.1	345	339	1.0	320	313	1.0	3,993	3,861	1.0
血液内科	98	83	1.2	94	80	1.2	95	82	1.2	83	74	1.1	116	95	1.2	1,263	1,020	1.2
神経内科	104	103	1.0	119	117	1.0	88	84	1.0	115	107	1.1	101	94	1.1	1,297	1,238	1.0
小児科	273	217	1.3	323	250	1.3	282	230	1.2	259	205	1.3	325	255	1.3	3,308	2,598	1.3
外科	378	289	1.3	398	276	1.4	341	244	1.4	367	270	1.4	334	253	1.3	4,374	3,180	1.4
一般消化器外科	309	223	1.4	331	213	1.6	294	198	1.5	310	217	1.4	271.0	194.0	1.4	3,684	2,524	1.5
乳腺外科	69	66	1.0	67	63	1.1	47	46	1.0	57	53	1.1	63.0	59.0	1.1	690	656	1.1
呼吸器外科	48	40	1.2	55	44	1.3	49	42	1.2	42	33	1.3	53.0	46.0	1.2	546	469	1.2
脳神経外科	148	134	1.1	121	110	1.1	93	89	1.0	112	104	1.1	113	107	1.1	1,408	1,298	1.1
整形外科	1,396	1,120	1.2	1,487	1,178	1.3	1,380	1,123	1.2	1,338	1,094	1.2	1,480	1,195	1.2	17,187	13,598	1.3
整形外科	1,396	1,120	1.2	1,487	1,178	1.3	1,380	1,123	1.2	1,338	1,094	1.2	1,480	1,195	1.2	17,187	13,598	1.3
形成外科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
婦人科	264	233	1.1	254	224	1.1	244	212	1.2	233	215	1.1	272	248	1.1	2,912	2,525	1.2
耳鼻咽喉科	268	180	1.5	325	206	1.6	260	195	1.3	259	192	1.3	318	194	1.6	3,418	2,352	1.5
眼科	485	386	1.3	463	377	1.2	432	350	1.2	451	363	1.2	459	383	1.2	5,553	4,514	1.2
皮膚科	410	318	1.3	400	318	1.3	421	323	1.3	408	307	1.3	339	273	1.2	4,929	3,794	1.3
泌尿器科	532	483	1.1	570	519	1.1	553	490	1.1	516	460	1.1	575	527	1.1	6,875	6,111	1.1
放射線科	322	321	1.0	345	341	1.0	309	305	1.0	375	366	1.0	387	385	1.0	4,219	4,179	1.0
救急診療科	338	329	1.0	425	407	1.0	428	408	1.0	368	350	1.1	380	365	1.0	5,021	4,836	1.0
救急科内科	194	189	1.0	242	231	1.0	239	230	1.0	223	218	1.0	220	212	1.0	2,905	2,808	1.0
救急科小児科	13	13	1.0	12	12	1.0	17	17	1.0	12	12	1.0	16	16	1.0	209	208	1.0
救急科外科系	129	125	1.0	171	164	1.0	172	161	1.1	133	120	1.1	143	136	1.1	1,900	1,813	1.0
救急科産婦人科	2	2	1.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	1	1.0	7	7	1.0
血液浄化療法科	144	12	12.0	150	12	12.5	122	13	9.4	120	11	10.9	128	11	11.6	1,550	141	11.0

(5)地域別 外来患者構成比

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2023年度	2022年度	2023年度	2022年度
1km圏内	高槻市	北柳川町	2,157	1,961	20.1%	19.3%
		栄町	5,505	5,375		
		昭和台町	1,484	1,396		
		富田町	5,814	5,933		
		西町	2,955	2,959		
		南総持寺町	2,393	2,566		
		柳川町	2,194	2,073		
		北昭和台町	1,213	981		
	茨木市	鮎川	3,416	3,374	13.3%	13.1%
		庄	2,475	2,442		
		総持寺	1,620	1,397		
		総持寺駅前	575	602		
		総持寺台	869	745		
		中総持寺町	790	1,002		
		橋の内	4,465	4,658		
		中村町	433	448		
		学園町	1,116	1,157		
小　計			39,474	39,069		

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2023年度	2022年度	2023年度	2022年度
1km〜2km圏内	高槻市	唐崎	0	7	29.7%	30.0%
		唐崎北	21	84		
		唐崎中	512	574		
		唐崎西	387	407		
		唐崎南	46	86		
		川添	2,422	2,483		
		寿町	4,383	4,754		
		桜ヶ丘北町	527	508		
		桜ヶ丘南町	509	548		
		玉川	1,140	1,144		
		津之江町	3,380	3,676		
		津之江北町	392	390		
		西五百住町	344	373		
		東五百住町	2,261	2,230		
		如是町	1,227	1,284		
		牧田町	5,260	5,552		
		登町	460	494		
		芝生町	5,885	6,116		
		登美の里町	456	388		
		柱本	784	555		
		柱本新町	1,176	1,072		
		富田丘町	1,278	1,134		
		大畑町	795	851		
		幸町	13	19		
		赤大路町	903	903		
		宮田町	567	631		
小　計			35,128	36,263		

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2023年度	2022年度	2023年度	2022年度
1km〜2km圏内	茨木市	白川	1,778	1,544	13.8%	12.9%
		西河原	989	1,081		
		東太田	1,978	1,866		
		三島丘	1,791	1,881		
		三島町	471	504		
		学園南町	380	361		
		新堂	1,130	1,067		
		五十鈴町	656	736		
		桑田町	125	196		
		寺田町	476	459		
		中津町	527	465		
		園田町	538	748		
		別院町	106	120		
		末広町	205	220		
		太田	538	389		
		上野町	261	256		
		奈良町	113	96		
		双葉町	129	113		
		舟木町	361	292		
		戸伏町	262	188		
		大住町	86	121		
		竹橋町	183	164		
		星見町	769	512		
		大同町	159	126		
		大池	902	786		
		稲葉町	196	211		
		大手町	88	84		
		元町	138	66		
		本町	59	56		
		片桐町	127	123		
		宮元町	127	116		
		東宮町	86	36		
		上泉町	151	202		
		田中町	230	166		
		西田中	140	123		
		上中条	111	106		
		永代町	8	20		
小　計			16,374	15,600		

距離	患者数		構成比	
	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度
2km圏内	90,976	91,240	79.9%	79.7%
2km圏外　高槻市	9,876	10,802	8.7%	9.4%
2km圏外　茨木市	10,985	10,404	9.7%	9.1%
摂津市	1,983	2,017	1.7%	1.8%
①合計(2次保健診療圏)	113,820	114,463	100.0%	100.0%
吹田市	410	451	9.3%	7.2%
その他　大阪府内	2,724	3,174	61.5%	50.8%
京都府	637	502	14.4%	8.0%
兵庫県	398	399	9.0%	6.4%
奈良県	22	41	0.5%	0.7%
その他　都道府県	238	1,683	5.4%	26.9%
②合計(2次保健診療圏)	4,429	6,250	100.0%	100.0%
総合計(①+②)	118,249	120,713		

(6)年齢別・男女別 外来患者構成比

診療科		内科	循環器内科	小児科	一般消化外	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外	脳神経外科	整形外科	婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	放射線科	血液浄化療	合計
年齢	性別	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比
0～3歳	男	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
	女	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
4～6歳	男	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
	女	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
7～15歳	男	0.0%	0.0%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.5%
	女	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
16～19歳	男	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	女	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
20歳代	男	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	1.2%
	女	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.3%
30歳代	男	0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	1.7%
	女	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	1.8%
40歳代	男	0.9%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	3.5%
	女	0.9%	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.7%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.3%	0.1%	4.0%
50歳代	男	1.9%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.2%	0.0%	5.7%
	女	1.7%	0.5%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	2.5%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.4%	0.0%	6.8%
60歳代	男	2.4%	1.4%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	1.5%	0.0%	0.2%	0.5%	0.3%	0.5%	0.2%	0.2%	7.8%
	女	1.8%	0.7%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	2.3%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%	0.3%	0.4%	7.0%
70歳以上	男	7.5%	5.1%	0.0%	1.4%	0.0%	0.2%	0.3%	0.4%	3.8%	0.0%	0.7%	1.6%	1.5%	3.9%	0.6%	0.3%	27.3%
	女	6.9%	4.3%	0.0%	1.2%	0.3%	0.1%	0.4%	0.4%	6.8%	0.6%	0.6%	1.5%	1.2%	0.9%	0.9%	0.2%	26.2%
科内男女比	男	52.7%	57.3%	52.6%	57.2%	2.2%	57.0%	44.8%	52.1%	42.0%	0.0%	50.4%	53.4%	55.6%	79.6%	41.2%	51.3%	50.5%
	女	47.3%	42.7%	47.4%	42.8%	97.8%	43.0%	55.2%	47.9%	58.0%	100.0%	49.6%	46.6%	44.4%	20.4%	58.8%	48.7%	49.5%
総数男女比	男	13.8%	7.8%	1.6%	2.7%	0.0%	0.3%	0.4%	0.6%	10.3%	0.0%	1.5%	2.5%	2.3%	4.6%	1.5%	0.7%	50.5%
	女	12.4%	5.8%	1.4%	2.0%	0.6%	0.2%	0.5%	0.6%	14.2%	2.5%	1.4%	2.2%	1.9%	1.2%	2.1%	0.6%	49.5%
総数比		26.1%	13.6%	3.0%	4.7%	0.6%	0.5%	0.9%	1.2%	24.4%	2.5%	2.9%	4.7%	4.2%	5.8%	3.6%	1.3%	100.0%
総合計（人）		30,874	16,027	3,514	5,603	692	546	1,120	1,413	28,895	2,919	3,429	5,582	4,957	6,901	4,220	1,557	118,249

(7)コールセンター実績

■月別･時間帯別　交換電話件数

交換	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヵ月平均	1日平均	時間帯別構成率
9：00	498	543	549	543	617	546	587	518	543	467	505	561	6,477	540	22.0	17.7%
10：00	363	450	458	445	479	433	470	419	450	429	400	448	5,244	437	17.8	14.3%
11：00	387	373	377	375	443	395	393	365	376	372	414	408	4,678	390	15.9	12.8%
12：00	258	300	273	294	327	334	287	292	305	316	257	319	3,562	297	12.1	9.7%
13：00	314	359	349	335	392	384	363	343	379	328	366	341	4,253	354	14.5	11.6%
14：00	391	390	365	369	413	375	398	328	339	359	340	394	4,461	372	15.2	12.2%
15：00	355	348	366	392	390	366	368	371	400	341	383	357	4,437	370	15.1	12.1%
16：00	299	289	296	276	293	275	305	264	313	290	280	331	3,511	293	11.9	9.6%
合計	2,865	3,052	3,033	3,029	3,354	3,108	3,171	2,900	3,105	2,902	2,945	3,159	36,623	3,052	124.6	100.0%

■月別･時間帯別　コールセンター件数

コールセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヵ月平均	1日平均	時間帯別構成率
9：00	563	597	612	541	634	596	648	568	606	573	553	554	7,045	587	24.0	29.8%
10：00	353	346	334	353	370	395	411	385	321	326	340	347	4,281	357	14.6	18.1%
11：00	264	286	257	230	267	246	325	270	204	263	241	257	3,110	259	10.6	13.1%
12：00	172	187	180	161	176	191	191	154	149	187	170	168	2,086	174	7.1	8.8%
13：00	188	191	190	195	205	227	220	168	173	188	186	190	2,321	193	7.9	9.8%
14：00	194	232	211	214	199	219	257	200	161	201	203	215	2,506	209	8.5	10.6%
15：00	194	217	216	213	197	200	198	185	185	187	148	185	2,325	194	7.9	9.8%
合計	1,928	2,056	2,000	1,907	2,048	2,074	2,250	1,930	1,799	1,925	1,841	1,916	23,674	1,973	80.5	100.0%

■曜日別･時間帯別　交換電話件数

交換	計							曜日別平均					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9：00	1,162	1,194	1,066	1,149	1,033	873	6,477	25.3	23.4	21.8	23.0	21.5	17.5
10：00	942	964	911	943	875	609	5,244	20.5	18.9	18.6	18.9	18.2	12.2
11：00	785	918	833	851	797	494	4,678	17.1	18.0	17.0	17.0	16.6	9.9
12：00	623	695	636	633	600	375	3,562	13.5	13.6	13.0	12.7	12.5	7.5
13：00	790	813	691	821	736	402	4,253	17.2	15.9	14.1	16.4	15.3	8.0
14：00	815	882	811	811	782	360	4,461	17.7	17.3	16.6	16.2	16.3	7.2
15：00	771	885	834	813	787	347	4,437	16.8	17.4	17.0	16.3	16.4	6.9
16：00	652	738	655	635	616	215	3,511	14.2	14.5	13.4	12.7	12.8	4.3
合計	6,540	7,089	6,437	6,656	6,226	3,675	36,623	142.2	139.0	131.4	133.1	129.7	73.5

■曜日別･時間帯別　コールセンター件数

コールセンター	計							曜日別平均					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9：00	1,369	1,260	1,084	1,185	1,074	1,073	7,045	29.8	24.7	22.1	23.7	22.4	21.5
10：00	883	856	665	637	711	529	4,281	19.2	16.8	13.6	12.7	14.8	10.6
11：00	651	551	536	506	490	376	3,110	14.2	10.8	10.9	10.1	10.2	7.5
12：00	423	366	367	328	359	243	2,086	9.2	7.2	7.5	6.6	7.5	4.9
13：00	449	425	411	412	417	207	2,321	9.8	8.3	8.4	8.2	8.7	4.1
14：00	530	473	497	444	443	119	2,506	11.5	9.3	10.1	8.9	9.2	2.4
15：00	508	468	405	464	413	67	2,325	11.0	9.2	8.3	9.3	8.6	1.3
合計	4,813	4,399	3,965	3,976	3,907	2,614	23,674	104.6	86.3	80.9	79.5	81.4	52.3

(8)外来診療予約率

月別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度		
	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	予約率
循環器科	98.8%	97.9%	98.6%	98.3%	99.2%	98.1%	98.0%	96.1%	98.2%	97.9%	98.5%	98.0%	98.1%	98.1%	98.0%	98.6%	98.6%	97.9%	97.1%	97.8%	98.1%	96.3%	99.1%	98.9%	98.4%	97.8%	98.2%
消化器内科	96.8%	97.8%	97.8%	95.3%	97.5%	96.7%	96.6%	97.7%	97.0%	94.9%	95.9%	94.4%	97.7%	95.8%	96.6%	96.3%	97.1%	95.9%	98.0%	96.2%	97.6%	96.4%	96.9%	96.0%	97.1%	96.1%	96.9%
呼吸器内科	97.6%	－	97.4%	－	97.1%	－	97.2%	－	96.4%	－	99.0%	－	96.6%	100.0%	96.0%	100.0%	96.1%	100.0%	97.0%	100.0%	97.6%	－	97.9%	－	97.1%	－	97.1%
糖尿病内科	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%	100.0%	100.0%	98.8%	99.7%	99.0%	99.6%	99.0%	99.6%	98.8%	99.6%	98.0%	98.9%	98.9%	99.1%	98.6%	99.6%	99.0%	99.0%	100.0%	99.4%	99.1%	99.4%
総合内科	74.4%	－	78.1%	－	71.7%	－	80.7%	－	78.2%	－	77.8%	－	81.5%	－	81.1%	－	71.7%	－	68.4%	－	75.9%	－	77.4%	－	76.2%	－	76.2%
神経内科	－	97.4%	－	100.0%	－	99.1%	－	97.2%	－	100.0%	－	100.0%	－	97.2%	－	96.6%	－	97.0%	－	98.1%	－	97.5%	－	97.8%	－	98.2%	98.2%
血液内科	92.0%	98.4%	100.0%	98.3%	100.0%	98.4%	100.0%	96.6%	96.7%	93.8%	93.8%	98.7%	97.8%	100.0%	97.5%	100.0%	95.0%	97.1%	92.9%	95.8%	93.3%	97.7%	100.0%	100.0%	96.6%	97.9%	97.3%
肝臓内科	98.3%	－	97.3%	100.0%	97.1%	100.0%	97.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.8%	100.0%	100.0%	98.5%	100.0%	97.2%	94.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%	99.0%	98.9%
小児科	68.5%	98.4%	57.5%	95.2%	53.5%	98.5%	60.7%	97.3%	64.1%	100.0%	52.7%	97.3%	57.3%	100.0%	51.4%	100.0%	52.8%	96.8%	50.9%	100.0%	57.3%	100.0%	62.9%	94.9%	57.0%	98.2%	67.1%
一般消化器外科	93.0%	100.0%	92.4%	100.0%	91.4%	100.0%	85.5%	100.0%	89.6%	100.0%	88.0%	100.0%	86.4%	100.0%	87.6%	94.4%	88.8%	100.0%	88.3%	100.0%	85.9%	90.0%	91.1%	100.0%	88.9%	98.4%	89.3%
乳腺外科	100.0%	100.0%	100.0%	97.2%	100.0%	97.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.2%	100.0%	100.0%	97.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	99.3%	99.4%
心臓血管外科	100.0%	97.7%	100.0%	93.2%	85.7%	95.7%	100.0%	95.3%	100.0%	93.5%	－	97.8%	87.5%	98.9%	100.0%	100.0%	－	98.4%	100.0%	97.1%	100.0%	97.2%	－	98.1%	95.8%	96.9%	96.8%
呼吸器外科	97.5%	－	95.1%	－	94.9%	－	94.6%	－	100.0%	－	100.0%	－	91.7%	－	95.2%	－	100.0%	－	97.8%	－	94.9%	－	100.0%	－	96.7%	－	96.7%
脳神経外科	85.9%	73.9%	83.9%	68.2%	83.0%	82.4%	87.9%	91.7%	78.9%	96.8%	87.1%	63.6%	85.9%	69.2%	86.5%	81.5%	90.6%	81.3%	90.6%	61.5%	85.6%	57.1%	90.6%	71.4%	86.3%	83.0%	85.5%
整形外科	91.8%	98.2%	89.4%	93.8%	93.5%	96.6%	90.9%	100.0%	91.5%	98.5%	93.4%	100.0%	92.6%	98.8%	91.6%	100.0%	92.6%	100.0%	89.5%	98.4%	91.5%	100.0%	93.1%	97.4%	91.8%	98.9%	92.1%
形成外科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
婦人科	96.9%	100.0%	97.6%	100.0%	98.2%	－	96.5%	－	99.6%	－	96.4%	100.0%	98.4%	100.0%	99.1%	－	97.9%	－	97.2%	－	97.9%	－	99.5%	－	97.9%	100.0%	97.9%
眼科	89.9%	90.7%	94.5%	100.0%	92.1%	94.9%	94.5%	88.9%	92.5%	88.6%	92.5%	92.5%	92.9%	95.0%	94.4%	91.3%	94.3%	98.1%	90.8%	98.6%	93.0%	96.3%	93.2%	97.3%	92.9%	95.0%	93.1%
耳鼻咽喉科	83.9%	100.0%	77.1%	100.0%	77.1%	75.8%	77.1%	100.0%	73.3%	100.0%	72.9%	97.9%	81.1%	100.0%	76.2%	92.3%	78.8%	100.0%	70.6%	100.0%	73.1%	100.0%	75.2%	100.0%	76.6%	97.3%	79.1%
皮膚科	87.6%	－	81.4%	－	86.1%	－	78.9%	－	77.9%	－	85.0%	－	82.6%	－	75.4%	－	79.1%	－	84.6%	－	81.9%	－	83.9%	－	82.0%	－	82.1%
泌尿器科	93.1%	91.4%	95.0%	96.8%	92.8%	96.6%	93.8%	94.4%	93.2%	96.2%	89.3%	93.9%	94.5%	98.4%	90.1%	91.5%	80.2%	96.3%	90.1%	94.4%	91.2%	97.0%	94.3%	91.3%	91.6%	94.9%	92.0%
公的検診・特定健診・予防接種	100.0%	100.0%	99.0%	93.8%	100.0%	87.5%	99.4%	85.7%	100.0%	84.6%	100.0%	71.4%	100.0%	96.3%	100.0%	100.0%	100.0%	94.5%	100.0%	77.8%	100.0%	100.0%	100.0%	92.3%	99.9%	93.1%	98.7%
精神科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
予約率	91.6%	97.2%	90.6%	97.0%	91.2%	96.9%	90.6%	96.5%	90.7%	97.0%	90.9%	96.7%	91.8%	97.3%	90.5%	97.3%	89.6%	97.4%	88.5%	97.0%	89.9%	96.8%	91.9%	97.4%	90.6%	97.0%	91.7%

曜日別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度		
	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	予約率
月曜日	90.6%	93.9%	89.7%	95.0%	88.2%	96.0%	88.1%	94.5%	88.5%	94.3%	88.5%	95.8%	90.7%	95.3%	89.5%	94.4%	86.6%	97.1%	89.8%	98.1%	90.5%	94.3%	90.3%	96.1%	89.2%	95.4%	90.1%
火曜日	92.3%	96.7%	91.1%	98.7%	91.5%	97.0%	90.4%	94.9%	91.5%	98.7%	90.7%	97.2%	90.8%	96.8%	92.6%	97.8%	90.8%	98.7%	90.2%	97.7%	90.2%	97.5%	93.1%	97.9%	91.2%	97.5%	92.4%
水曜日	93.3%	98.2%	91.8%	94.8%	92.5%	97.6%	90.6%	97.0%	90.1%	98.0%	91.6%	92.7%	92.0%	95.5%	90.6%	94.9%	90.5%	94.2%	89.7%	97.0%	88.4%	93.4%	94.5%	94.8%	91.2%	95.8%	91.7%
木曜日	91.0%	98.4%	93.5%	97.6%	91.9%	98.3%	91.0%	98.3%	91.7%	96.7%	91.4%	98.0%	91.5%	98.3%	90.7%	99.1%	90.9%	97.7%	88.2%	96.1%	89.8%	98.1%	90.6%	97.0%	91.0%	97.8%	92.6%
金曜日	92.7%	98.1%	90.2%	97.6%	92.3%	95.2%	93.0%	97.6%	93.3%	96.4%	90.6%	97.4%	93.5%	99.2%	92.7%	98.1%	88.2%	97.7%	85.8%	96.6%	90.8%	98.0%	90.8%	99.1%	91.0%	97.6%	92.7%
土曜日	90.0%	－	88.3%	－	91.3%	－	91.6%	－	90.3%	－	92.1%	－	93.2%	－	88.6%	－	90.9%	－	86.5%	－	90.1%	－	92.9%	－	90.5%	－	90.5%
合　計	91.6%	97.2%	90.6%	97.0%	91.2%	96.9%	90.6%	96.5%	90.7%	97.0%	90.9%	96.7%	91.8%	97.3%	90.5%	97.3%	89.6%	97.4%	88.5%	97.0%	89.9%	96.8%	91.9%	97.4%	90.6%	97.0%	91.7%

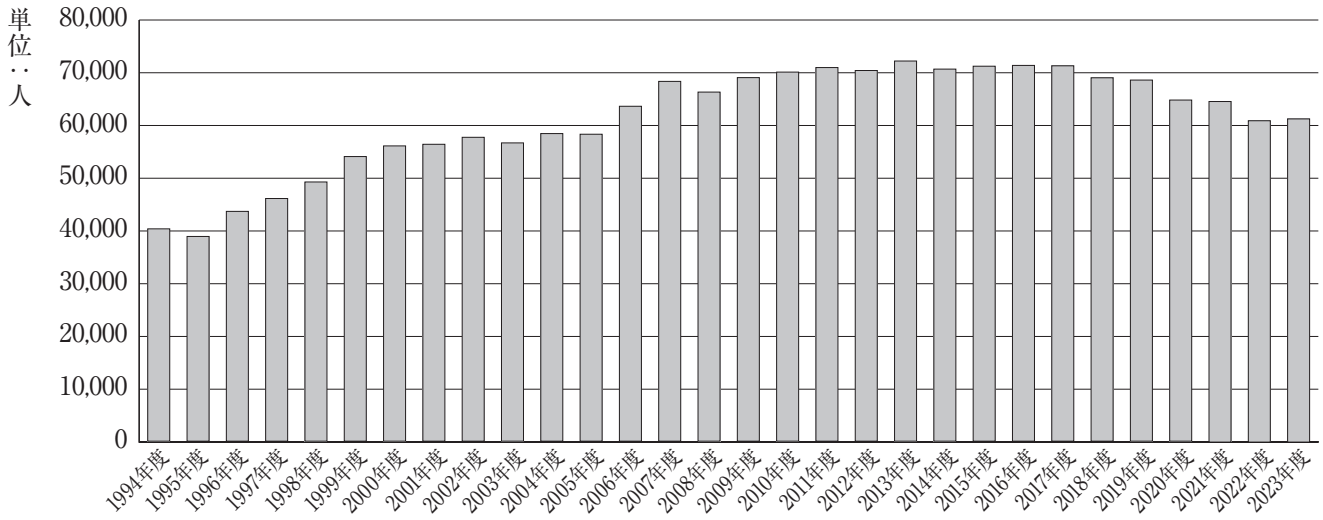
(9)外来診療待ち時間調査結果

科別/曜日別	月	火	水	木	金	土	平均
循環器科	0:23	0:28	0:22	0:38	0:48	1:14	0:38
消化器内科	0:28		0:17	0:19	0:11	0:46	0:26
呼吸器内科	0:36	1:03	0:38	1:04	0:20		0:41
糖尿病内科		1:02	1:03	0:23			0:54
総合内科	0:36	0:40	0:23	0:24	0:30	0:28	0:31
神経内科	0:07			0:08			0:08
血液内科		0:19			0:18		0:18
肝臓内科				0:52	0:11		0:38
小児科	0:26	0:23	0:12	0:30	0:06	0:20	0:20
一般消化器外科	0:02	0:26	0:10	0:43	0:15	0:16	0:25
乳腺外科							
呼吸器外科		0:14					0:14
心臓血管外科		0:27		0:25			0:26
脳神経外科	0:32		0:07			0:28	0:24
整形外科	0:29	0:40	0:34	0:30	0:22	0:42	0:35
形成外科							
婦人科	0:32	0:13	0:44		0:19		0:34
眼科	0:23		0:23	0:25		0:30	0:25
耳鼻咽喉科	0:48	0:29	0:13	0:14	0:16	0:23	0:20
皮膚科	0:14	0:22	0:18	0:16			0:17
泌尿器科	0:27	0:16	0:40	0:38	0:34	0:17	0:29
平均	0:28	0:36	0:33	0:31	0:31	0:41	0:33

■単位：分　　■待ち時間 = 診療呼び出し時間 − 予約時間（当日直来予約を含む）
※予約時間前呼出者は除く

2. 入院

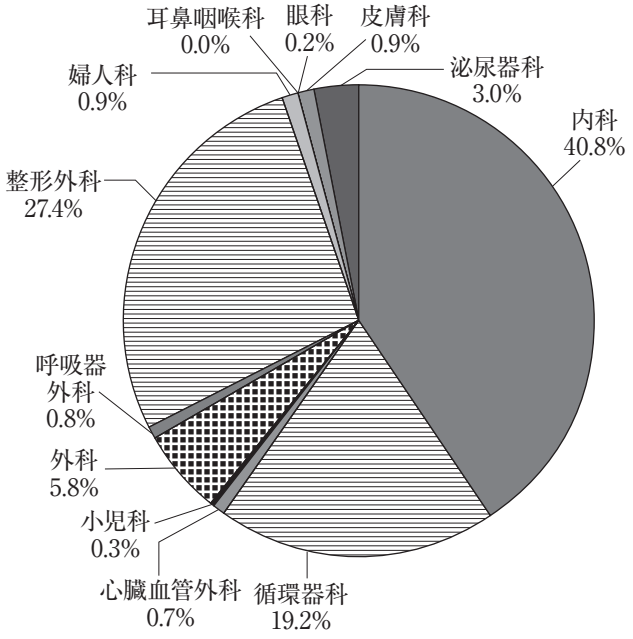
(1)在院患者延べ数の推移



在院延べ患者数

1994年度	40,260	2000年度	55,985	2006年度	63,499	2012年度	70,280	2018年度	68,900
1995年度	38,815	2001年度	56,291	2007年度	68,217	2013年度	72,078	2019年度	68,468
1996年度	43,570	2002年度	57,615	2008年度	66,189	2014年度	70,546	2020年度	64,679
1997年度	46,010	2003年度	56,554	2009年度	68,930	2015年度	71,095	2021年度	64,572
1998年度	49,146	2004年度	58,321	2010年度	69,978	2016年度	71,245	2022年度	60,926
1999年度	53,965	2005年度	58,197	2011年度	70,838	2017年度	71,172	2023年度	61,273

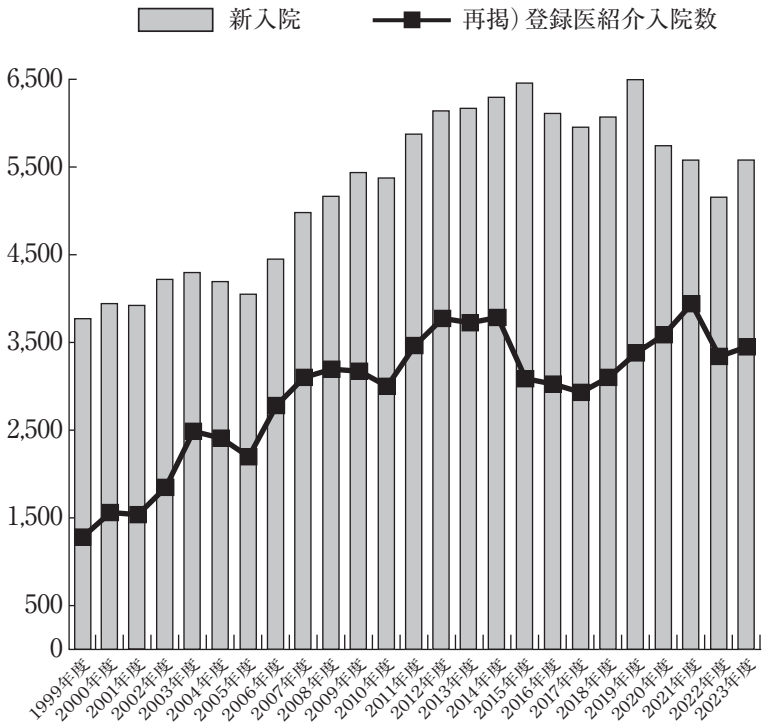
(2)科別 入院患者構成比の推移



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
内　　科	42.5%	42.2%	41.3%	40.8%
循環器科	20.8%	19.6%	17.6%	19.2%
心臓血管外科	0.2%	0.3%	0.5%	0.7%
小　児　科	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%
外　　科	7.0%	7.4%	7.5%	5.8%
呼吸器外科	1.3%	0.9%	1.4%	0.8%
整形外科	24.8%	25.6%	26.7%	27.4%
婦　人　科	1.0%	0.9%	1.2%	0.9%
耳鼻咽喉科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
眼　　科	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%
皮　膚　科	0.6%	0.9%	0.7%	0.9%
泌尿器科	1.3%	1.9%	1.9%	3.0%

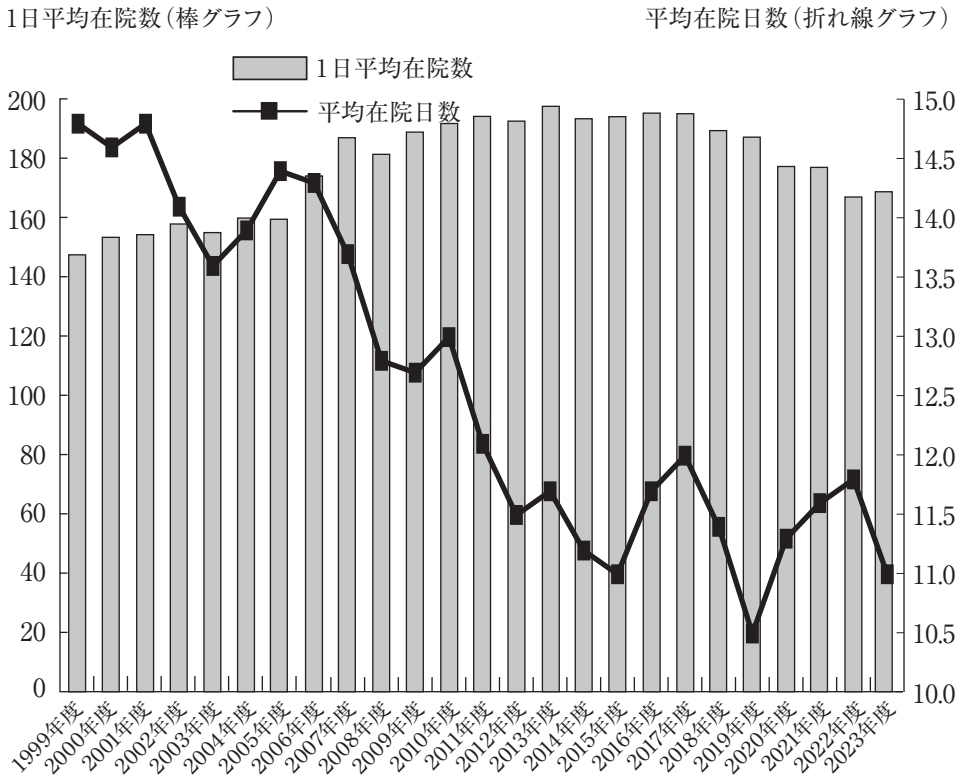
(3)新入院患者数・紹介患者数の推移

年度	新入院	(再掲)登録医紹介入院数	退院数	分娩数
1999年度	3,768	1,273	3,751	324
2000年度	3,940	1,553	3,928	275
2001年度	3,916	1,529	3,923	236
2002年度	4,216	1,840	4,210	186
2003年度	4,294	2,479	4,294	131
2004年度	4,191	2,401	4,188	87
2005年度	4,047	2,189	4,056	77
2006年度	4,447	2,773	4,421	82
2007年度	4,978	3,094	4,978	90
2008年度	5,163	3,187	5,153	83
2009年度	5,434	3,164	5,436	105
2010年度	5,372	2,992	5,378	85
2011年度	5,872	3,457	5,880	78
2012年度	6,137	3,766	6,130	87
2013年度	6,166	3,717	6,159	92
2014年度	6,292	3,777	6,299	71
2015年度	6,454	3,079	6,451	101
2016年度	6,108	3,017	6,113	32
2017年度	5,951	2,923	5,946	0
2018年度	6,067	3,094	6,070	0
2019年度	6,493	3,373	6,504	0
2020年度	5,740	3,580	5,758	0
2021年度	5,576	3,934	5,571	0
2022年度	5,153	3,333	5,168	0
2023年度	5,577	3,442	5,574	0



(4)１日平均在院数・平均在院日数の推移

	1日平均在院数	平均在院日数
1999年度	147.4	14.8
2000年度	153.3	14.6
2001年度	154.2	14.8
2002年度	157.8	14.1
2003年度	154.9	13.6
2004年度	159.8	13.9
2005年度	159.4	14.4
2006年度	174.0	14.3
2007年度	186.9	13.7
2008年度	181.3	12.8
2009年度	188.8	12.7
2010年度	191.7	13.0
2011年度	194.1	12.1
2012年度	192.5	11.5
2013年度	197.5	11.7
2014年度	193.3	11.2
2015年度	194.0	11.0
2016年度	195.2	11.7
2017年度	195.0	12.0
2018年度	189.3	11.4
2019年度	187.1	10.5
2020年度	177.2	11.3
2021年度	176.9	11.6
2022年度	166.9	11.8
2023年度	167.4	11.0



(5)地域別 入院患者構成比

距離	市名	町名	構成比
1km圏内	高槻市	北柳川町	16.4% (15.1%)
		栄町	
		昭和台町	
		富田町	
		西町	
		南総持寺町	
		柳川町	
		北昭和台町	
	茨木市	鮎川	12.7% (12.7%)
		庄	
		総持寺	
		総持寺駅前	
		総持寺台	
		中総持寺町	
		橋の内	
		中村町	
		学園町	
小計			29.1%(27.8%)

距離	市名	町名	構成比
1km〜2km圏内	高槻市	唐崎	25.7% (26.7%)
		唐崎北	
		唐崎中	
		唐崎西	
		唐崎南	
		川添	
		寿町	
		桜ヶ丘北町	
		桜ヶ丘南町	
		玉川	
		津之江町	
		津之江北町	
		西五百住町	
		東五百住町	
		如是町	
		牧田町	
		登町	
		芝生町	
		登美の里町	
		柱本	
		柱本新町	
		富田丘町	
		大畑町	
		幸町	
		赤大路町	
		宮田町	

※構成比:2023年度、(　)は2022年度

距離	市名	町名	構成比
1km〜2km圏内	茨木市	白川	16.9% (15.8%)
		西河原	
		東太田	
		三島丘	
		三島町	
		学園南町	
		新堂	
		五十鈴町	
		桑田町	
		寺田町	
		中津町	
		園田町	
		別院町	
		末広町	
		太田	
		上野町	
		奈良町	
		双葉町	
		舟木町	
		戸伏町	
		大住町	
		竹橋町	
		星見町	
		大同町	
		大池	
		稲葉町	
		大手町	
		元町	
		本町	
		片桐町	
		宮元町	
		東宮町	
		上泉町	
		田中町	
		西田中	
		上中条	
		永代町	
小計			42.6%(42.4%)

距離	構成比
2km圏内	71.7%(70.6%)
2km圏外 高槻市	8.7%(9.0%)
2km圏外 茨木市	13.9%(12.5%)
摂津市	1.7%(1.9%)
合計(2次保健診療圏)	96.0%(93.9%)

距離	構成比
吹田市	0.5%(0.7%)
その他 大阪府内	2.2%(2.9%)
京都府	0.4%(0.4%)
兵庫県	0.4%(0.5%)
奈良県	0.1%(0.0%)
その他 都道府県	0.4%(1.6%)
合計(2次保健診療圏外)	4.0%(6.1%)

(6)年齢別・男女別 入院患者構成比

診療科		総合内科	循環器内科	消化器内科	呼吸器内科	血液内科	糖尿病内科	小児科	一般消化外	呼吸器外科	心臓血管外	整形外科	婦人科	眼科	皮膚科	泌尿器科	合計
年齢	性別	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比
0～3歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
4～6歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
7～15歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
16～19歳	男	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	女	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
20歳代	男	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
	女	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
30歳代	男	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
	女	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
40歳代	男	0.0%	0.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	2.9%
	女	0.1%	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
50歳代	男	0.1%	0.6%	1.8%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	4.9%
	女	0.2%	0.1%	1.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
60歳代	男	0.2%	0.9%	2.2%	0.7%	0.0%	0.2%	0.0%	0.6%	0.1%	0.1%	1.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	6.6%
	女	0.1%	0.4%	1.2%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%	1.8%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	4.8%
70歳以上	男	1.8%	6.9%	9.9%	3.4%	0.0%	0.4%	0.0%	2.3%	0.5%	0.4%	3.8%	0.0%	1.0%	0.2%	1.6%	32.2%
	女	3.2%	5.6%	10.0%	1.6%	0.0%	0.3%	0.0%	1.5%	0.2%	0.6%	8.4%	0.4%	1.0%	0.3%	1.0%	34.3%
科内男女比	男	38.9%	58.1%	53.6%	68.0%	50.0%	59.5%	51.2%	59.1%	69.0%	46.8%	41.5%	0.0%	50.4%	54.1%	64.1%	51.2%
	女	61.1%	41.9%	46.4%	32.0%	50.0%	40.5%	48.8%	40.9%	31.0%	53.2%	58.5%	100.0%	49.6%	45.9%	35.9%	48.8%
総数男女比	男	2.5%	8.8%	15.3%	4.5%	0.0%	0.8%	0.4%	4.2%	0.7%	0.7%	9.7%	0.0%	1.1%	0.4%	2.1%	51.2%
	女	3.9%	6.3%	13.2%	2.1%	0.0%	0.5%	0.4%	2.9%	0.3%	0.8%	13.7%	2.0%	1.1%	0.3%	1.2%	48.8%
総数比		6.5%	15.2%	28.5%	6.6%	0.0%	1.3%	0.8%	7.1%	1.0%	1.4%	23.5%	2.0%	2.3%	0.7%	3.2%	100.0%
総合計（人）		360	845	1,590	366	2	74	43	396	58	79	1,308	111	127	37	181	5,577

3. 時間外・救急

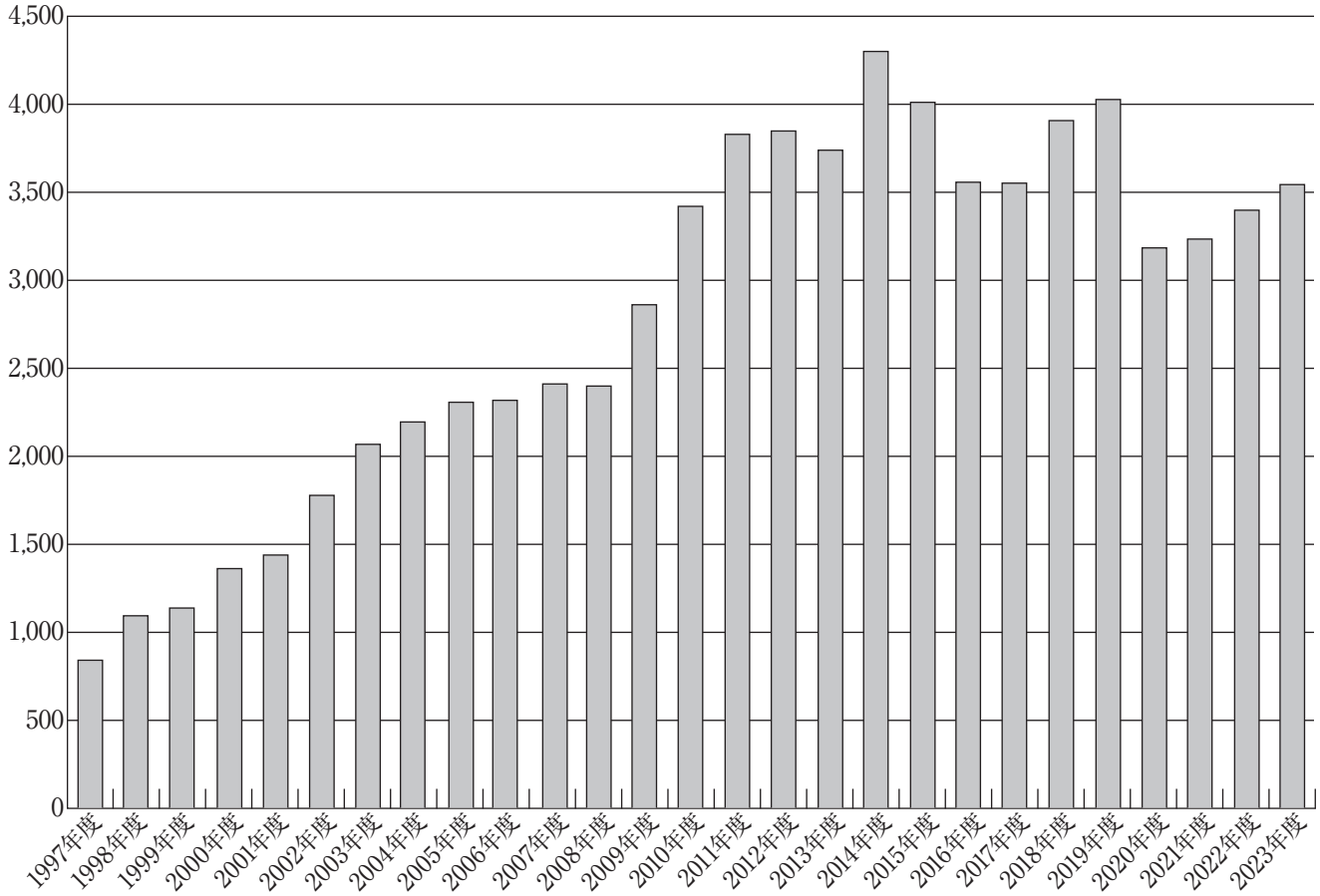
(1)時間外・救急患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内　科	212	251	248	313	285	233	184	199	190	182	203	229	2,729
外　科	118	148	103	142	110	111	122	95	109	116	107	96	1,377
婦人科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小児科	5	13	8	12	10	5	11	8	5	13	8	8	106
計	335	412	360	467	405	349	317	302	304	311	318	333	4,213

(2)月別・科別・入外別 救急車搬入数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内　科	入院	74	78	103	100	102	92	69	85	81	85	71	84	1,024
	外来	86	104	104	144	151	101	68	66	86	76	81	82	1,149
循環器科	入院	17	15	11	11	13	10	17	10	23	14	10	22	173
	外来	1	7	7	3	8	5	9	15	12	9	8	11	95
小児科	入院	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	5
	外来	5	6	0	8	6	3	6	3	7	2	2	1	49
外　科	入院	2	2	1	1	1	2	1	0	0	1	0	0	11
	外来	14	18	10	20	14	10	14	8	14	5	9	9	145
呼吸器外科	入院	1	0	1	4	2	2	2	0	0	1	1	2	16
	外来	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
心臓血管外科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外科	入院	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
	外来	1	0	2	5	3	2	4	3	2	1	2	0	25
整形外科	入院	17	30	23	26	11	11	24	32	23	23	22	19	261
	外来	36	38	39	35	40	30	34	38	40	49	26	48	453
婦人科	入院	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	外来	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	0	6
耳鼻科	入院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	外来	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	3	8
眼　科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	外来	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	入院	1	1	2	4	2	2	0	0	0	0	0	1	13
	外来	4	7	12	14	8	10	7	5	10	6	5	5	93
合　計	入院	113	126	142	147	131	120	117	127	131	124	104	128	1,510
	外来	150	180	175	230	232	162	143	139	174	149	134	159	2,027
総　計		263	306	317	377	363	282	260	266	305	273	238	287	3,537

年間救急車搬入数の推移



年間救急車搬入数	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	837	1,091	1,135	1,359	1,436	1,775	2,065	2,192	2,304	2,315	2,408	2,396	2,858	3,417	3,826	3,845	3,736	4,297	4,008	3,554	3,548	3,904	4,024	3,181	3,231	3,395	3,537

(3)消防署別・入外別 救急車搬入数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高槻消防	入院	51	56	77	91	62	54	62	60	75	74	51	53	766
	外来	76	88	97	113	112	78	87	72	77	74	68	82	1,024
茨木消防	入院	56	65	62	52	59	60	48	63	53	46	47	71	682
	外来	69	86	75	109	116	83	54	64	93	72	63	75	959
その他	入院	6	5	3	4	10	6	7	4	3	4	6	4	62
	外来	5	6	3	8	4	1	2	3	4	3	3	2	44
合　計	入院	113	126	142	147	131	120	117	127	131	124	104	128	1,510
	外来	150	180	175	230	232	162	143	139	174	149	134	159	2,027
総　計		263	306	317	377	363	282	260	266	305	273	238	287	3,537

4. 病歴統計 (1)死亡患者数【ICD-10大分類 科別】

大分類名	性別	一般・消化器外科	呼吸器外科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	整形外科	総合内科	糖尿病・内分泌内科	泌尿器科	皮膚科	婦人科	総計
01. 感染症及び寄生虫症	女			1	1	1		2					5
	男				1	1		1	1	1			5
02. 新生物	女	1		1		16						1	19
	男	3		6		18				1			28
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	女					1							1
	男							1					1
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	女					1		4					5
	男				2			2					4
09. 循環器の疾患	女				29	7		1				1	38
	男				11	6	1	1	1				20
10. 呼吸器の疾患	女			4	2	2							8
	男		1	20	5	3			1	1			31
11. 消化器の疾患	女	2			1	2							5
	男	1		1	1	6							9
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	女					1	1				1		3
	男										2		2
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	女							1					1
	男						2						2
14. 尿路性器系の疾患	女				3			2					5
	男	1		1	2			1					5
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	女			1		3		1					5
	男		1		1	3				1			6
総　計		8	2	35	59	71	4	17	3	4	3	2	208

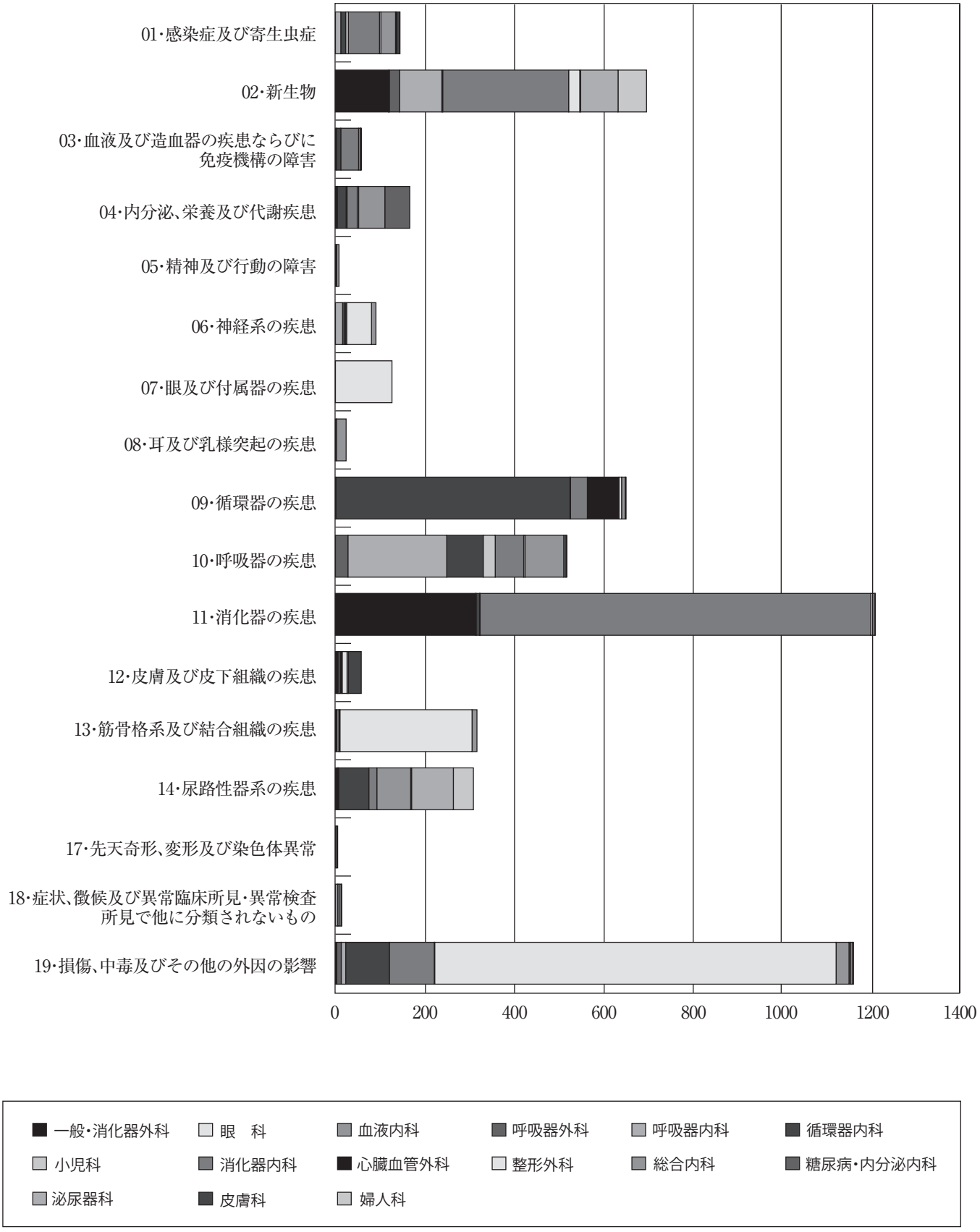
(人)

(2)退院患者ICD-10大分類統計【科別】

大分類名	一般・消化器外科	眼科	血液内科	呼吸器外科	呼吸器内科	循環器内科	小児科	消化器内科	心臓血管外科	整形外科	総合内科	糖尿病・内分泌内科	泌尿器科	皮膚科	婦人科	総計
01. 感染症及び寄生虫症					12	11	6	70		3	33	1	2	6	1	145
02. 新生物	119		2	23	95	2		283		25	2		84		64	699
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害					2	10		40			4	1			1	58
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	2			1	1	20	2	23		3	59	56				167
05. 精神及び行動の障害						1		2			5					8
06. 神経系の疾患					16	5	1	3		56	10					91
07. 眼及び付属器の疾患		127														127
08. 耳及び乳様突起の疾患								2			22					24
09. 循環器の疾患	1					526	1	38	71	6	8	1			1	653
10. 呼吸器の疾患				28	222	82	27	64		3	87	5	2			520
11. 消化器の疾患	315				1	8	1	878		4	5		1			1,213
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	4					2		4	5	11	3			29		58
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患						1	2	5	2	297	11					318
14. 尿路性器系の疾患	5				2	68		18			76	2	94		45	310
17. 先天奇形、変形及び染色体異常								3		2						5
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの					5		3	5		1						14
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3			10	10	98		101	1	902	29	4	4		2	1,164
総　計	449	127	2	62	366	834	43	1,539	79	1,313	354	70	187	35	114	5,574

(人)

退院患者ICD-10大分類統計【科別】

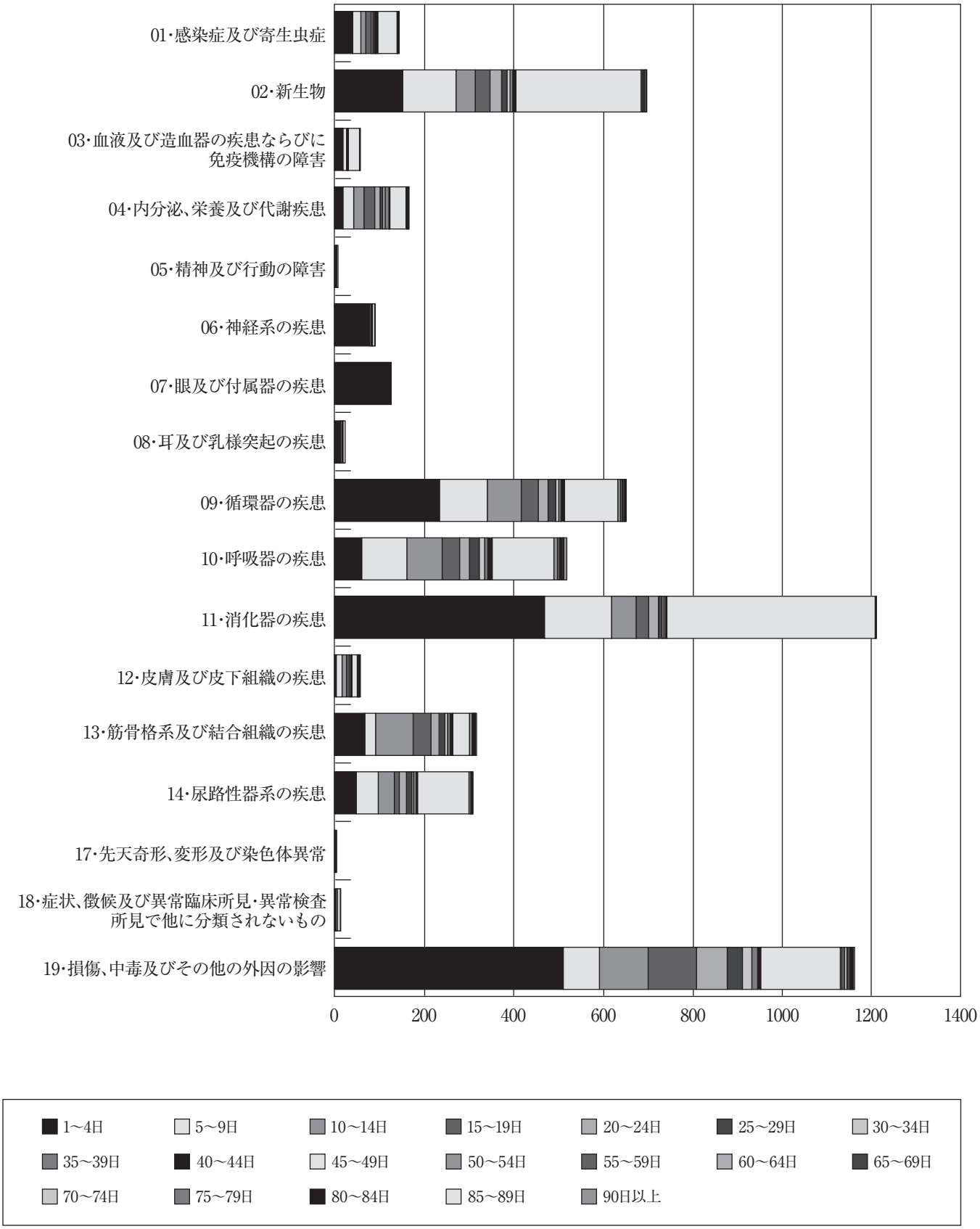


(3)退院患者ICD-10大分類統計【在院日数別】

大分類名	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20～24日	25～29日	30～34日	35～39日	40～44日	45～49日	50～54日	55～59日	60～64日	65～69日	70～74日	75～79日	80～84日	85～89日	90日以上	総計
01. 感染症及び寄生虫症	41	18	11	12	4	4	2	2	3	43	2		1						2	145
02. 新生物	153	119	43	33	26	12	7	6	7	280	3	3	2		3		1		1	699
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	19	8	2	1				1		25	1	1								58
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	19	24	23	24	12	6	5	9	2	36		2	2	1			1		1	167
05. 精神及び行動の障害	3		1			1				3										8
06. 神経系の疾患	79	3	2	1						5	1									91
07. 眼及び付属器の疾患	127																			127
08. 耳及び乳様突起の疾患	14	3	2							5										24
09. 循環器の疾患	235	107	76	38	22	17	7	5	8	119	6	4	1	4	2				2	653
10. 呼吸器の疾患	61	101	79	39	22	22	12	7	10	138	8	5	2		2	3	2		7	520
11. 消化器の疾患	470	150	55	28	22	8	4	4	3	466	1								2	1213
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	4	13	10	6	3	1	1	1		12	1		2	1		1			2	58
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	68	24	84	40	18	13	6	6	6	37	6	1	2	1		2		1	3	318
14. 尿路性器系の疾患	49	49	36	11	16	12	4	6	3	115	4	1	2		1	1				310
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	1	1	1							2										5
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4	3								6		1								14
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	512	81	109	108	69	34	21	13	7	178	3	6	6	7	1	2	2	2	3	1,164
総　計	1,859	704	534	341	214	130	69	60	49	1,470	36	24	20	14	9	9	6	3	23	5,574

（人）

退院患者ICD-10大分類統計【在院日数別】

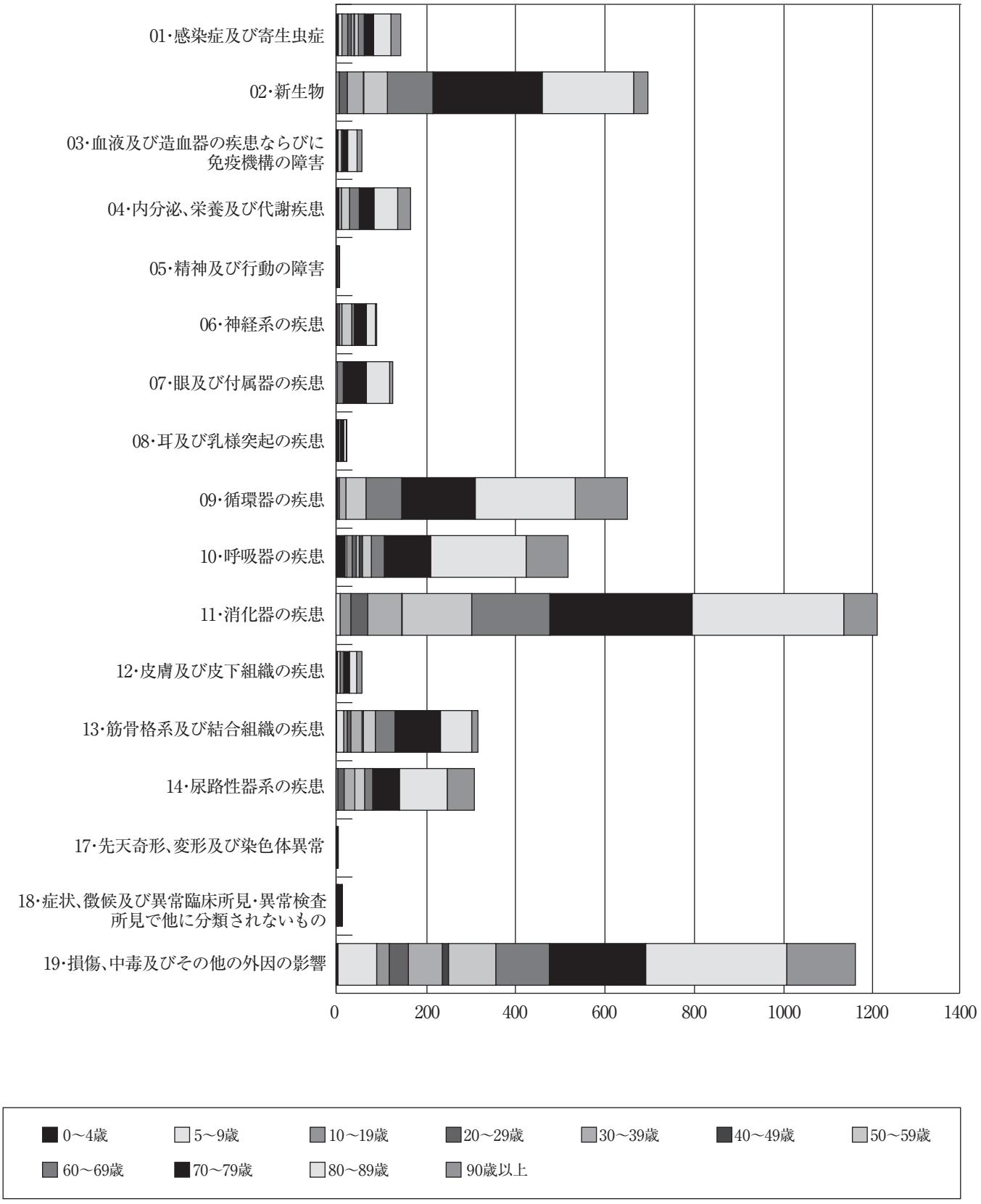


（4）退院患者ICD-10大分類統計【年齢別】

大分類名	0～4歳	5～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	総計
01. 感染症及び寄生虫症	5	8	13	8	6	1	9	13	21	39	22	145
02. 新生物			7	18	36	1	53	102	245	205	32	699
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害				2	2		8	3	11	21	11	58
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		2	2	2	6		18	22	33	53	29	167
05. 精神及び行動の障害			2		1			3		2		8
06. 神経系の疾患		1	1	5	6		22	6	27	20	3	91
07. 眼及び付属器の疾患							3	13	52	52	7	127
08. 耳及び乳様突起の疾患			1	2	2		1	4	7	6	1	24
09. 循環器の疾患		1	2	4	15		45	80	165	224	117	653
10. 呼吸器の疾患	20	4	12	9	7	7	20	29	104	214	94	520
11. 消化器の疾患		9	24	38	76	1	156	175	319	340	75	1,213
12. 皮膚及び皮下組織の疾患		1			2		6	8	13	16	12	58
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	16	8	8	25	3	27	44	102	70	14	318
14. 尿路性器系の疾患			4	14	24		22	18	60	107	61	310
17. 先天奇形、変形及び染色体異常		2							1	2		5
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3			1				1	7	1	1	14
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	87	28	43	76	14	106	120	216	316	154	1164
総　計	33	131	104	154	284	27	496	641	1,383	1,688	633	5,574

（人）

退院患者ICD-10大分類統計【年齢別】



(5)退院患者ICD-10大分類・中分類統計【科別】

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
一般･消化器外科			**449**
	02. 新生物		119
		02. 消化器	91
		07. 乳房	12
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	1
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	4
		17. 良性新生物	4
		18. 性状不詳または不明の新生物	7
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		2
		02･糖尿病	1
		08. 代謝障害	1
	09. 循環器の疾患		1
		07. 脳血管疾患	1
	11. 消化器の疾患		315
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	1
		03. 虫垂の疾患	65
		04. ヘルニア	90
		06. 腸のその他の疾患	58
		07. 腹膜の疾患	9
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	83
		10. 消化器系のその他の疾患	3
		なし	6
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		4
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	4
	14. 尿路性器系の疾患		5
		03･腎不全	1
		06. 尿路系のその他の障害	2
		10. 女性性器の非炎症性障害	2
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		3
		08. 股関節部および大腿の損傷	1
		12. 部位不明の大幹もしくは四肢の損傷または部位不明の損傷	1
		13. 自然開口部からの異物侵入の作用	1
眼科			**127**
	07. 眼及び付属器の疾患		127
		04. 水晶体の障害	127
血液内科			**2**
	02. 新生物		2
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	2

診療科名	大分類名	中分類名	人数（人）
呼吸器外科			**62**
	02. 新生物		23
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	12
		06. 中皮および軟部組織	4
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	3
		17. 良性新生物	1
		18. 性状不詳または不明の新生物	3
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		1
		08. 代謝障害	1
	10. 呼吸器の疾患		28
		02. インフルエンザおよび肺炎	1
		08. 下気道の化膿性および壊死性病態	3
		09. 胸膜のその他の疾患	23
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		10
		03. 胸部＜郭＞損傷	9
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1
呼吸器内科			**366**
	01. 感染症及び寄生虫症		12
		01. 腸管感染症	1
		02. 結核	2
		04. その他の細菌性疾患	7
		15. 真菌症	1
		19. 感染症および寄生虫症の続発. 後遺症	1
	02. 新生物		95
		02. 消化器	1
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	89
		06. 中皮および軟部組織	4
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	1
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		2
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	1
		05. 血液および造血器のその他の疾患	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		1
		06. その他の栄養欠乏症	1
	06. 神経系の疾患		16
		06. 挿間性および発作性障害	15
		07. 神経、神経根および神経そう＜叢＞の障害	1
	10. 呼吸器の疾患		222
		02. インフルエンザおよび肺炎	68
		03. その他の急性下気道感染症	9
		05. 慢性下気道疾患	53
		06. 外的因子による肺疾患	43
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	25
		08. 下気道の化膿性および壊死性病態	10

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		09. 胸膜のその他の疾患	8
		10. 呼吸器系のその他の疾患	6
	11. 消化器の疾患		1
		06. 腸のその他の疾患	1
	14. 尿路性器系の疾患		2
		06. 尿路系のその他の障害	1
		07. 男性性器の疾患	1
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの		5
		01. 循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	5
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		10
		01. コロナウイルス感染症	9
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	1
循環器内科			**834**
	01. 感染症及び寄生虫症		11
		01. 腸管感染症	1
		02. 結核	1
		04. その他の細菌性疾患	9
	02. 新生物		2
		02. 消化器	1
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	1
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		10
		01. 栄養性貧血	7
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	2
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		20
		02・糖尿病	3
		03. その他のグルコース調節および膵内分泌障害	2
		05. 栄養失調(症)	1
		08. 代謝障害	14
	05. 精神及び行動の障害		1
		04. 気分[感情]障害	1
	06. 神経系の疾患		5
		03. 錐体路障害および異常行動	2
		11. 神経系その他の障害	3
	09. 循環器の疾患		526
		03. 高血圧性心疾患	8
		04. 虚血性心疾患	148
		05. 肺性心疾患および肺循環疾患	5
		06. その他の型の心疾患	338
		07. 脳血管疾患	4
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	17
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	2
		10. 循環器系のその他および詳細不明の障害	4
	10. 呼吸器の疾患		82
		02. インフルエンザおよび肺炎	32
		03. その他の急性下気道感染症	1

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		05. 慢性下気道疾患	3
		06. 外的因子による肺疾患	38
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	2
		09. 胸膜のその他の疾患	5
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	11. 消化器の疾患		8
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	2
		05. 非感染性腸炎および非感染性大腸炎	1
		06. 腸のその他の疾患	2
		08. 肝疾患	2
		10. 消化器系のその他の疾患	1
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		2
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	1
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		1
		01. 感染性関節障害	1
	14. 尿路性器系の疾患		68
		01. 糸球体疾患	2
		02. 腎尿細管間質性疾患	1
		03・腎不全	56
		05. 腎および尿管のその他の障害	1
		06. 尿路系のその他の障害	8
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		98
		01. コロナウイルス感染症	91
		01. 頭部損傷	1
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	1
		05. 肩および上腕の損傷	1
		08. 股関節部および大腿の損傷	1
		20. 外因その他および詳細不明の作用	2
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1
小児科			**43**
	01. 感染症及び寄生虫症		6
		01. 腸管感染症	1
		04. その他の細菌性疾患	3
		11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	1
		14. その他のウイルス疾患	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		2
		08. 代謝障害	2
	06. 神経系の疾患		1
		06. 挿間性および発作性障害	1
	09. 循環器の疾患		1
		10. 循環器系のその他および詳細不明の障害	1
	10. 呼吸器の疾患		27
		01. 急性上気道感染症	6
		02. インフルエンザおよび肺炎	11
		03. その他の急性下気道感染症	9

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		05. 慢性下気道疾患	1
	11. 消化器の疾患		1
		06. 腸のその他の疾患	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		2
		05. 全身性結合組織障害	2
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの		3
		08. 全身症状および徴候	3
消化器内科			**1,539**
	01. 感染症及び寄生虫症		70
		01. 腸管感染症	47
		04. その他の細菌性疾患	14
		12. ウイルス肝炎	5
		14. その他のウイルス疾患	4
	02. 新生物		283
		02. 消化器	219
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	3
		07. 乳房	1
		10. 尿路	2
		12. 甲状腺およびその他の内分泌腺	1
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	20
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	16
		17. 良性新生物	3
		18. 性状不詳または不明の新生物	18
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		40
		01. 栄養性貧血	26
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	12
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	2
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		23
		06. その他の栄養欠乏症	3
		08. 代謝障害	20
	05. 精神及び行動の障害		2
		01. 症状性を含む器質性精神障害	1
		04. 気分[感情]障害	1
	06. 神経系の疾患		3
		03. 錐体路障害および異常行動	2
		07. 神経、神経根および神経そう<叢>の障害	1
	08. 耳及び乳様突起の疾患		2
		03. 内耳疾患	2
	09. 循環器の疾患		38
		06. その他の型の心疾患	15
		07. 脳血管疾患	7
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	1
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	13
		10. 循環器系のその他および詳細不明の障害	2
	10. 呼吸器の疾患		64

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		02. インフルエンザおよび肺炎	23
		05. 慢性下気道疾患	1
		06. 外的因子による肺疾患	37
		09. 胸膜のその他の疾患	2
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	11. 消化器の疾患		**878**
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	82
		03. 虫垂の疾患	1
		04. ヘルニア	8
		05. 非感染性腸炎および非感染性大腸炎	11
		06. 腸のその他の疾患	471
		07. 腹膜の疾患	10
		08. 肝疾患	78
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	157
		10. 消化器系のその他の疾患	54
		なし	6
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		4
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	2
		02. 水疱症	1
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		5
		02. 炎症性多発関節障害	2
		09. 筋障害	3
	14. 尿路性器系の疾患		18
		03･腎不全	3
		04. 尿路結石症	1
		06. 尿路系のその他の障害	14
	17. 先天奇形、変形及び染色体異常		3
		06. 消化器系その他の先天奇形	3
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの		5
		02. 消化器系および腹部に関する症状および徴候	1
		08. 全身症状および徴候	4
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		101
		01. コロナウイルス感染症	88
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	1
		08. 股関節部および大腿の損傷	1
		13. 自然開口部からの異物侵入の作用	1
		20. 外因その他および詳細不明の作用	1
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	9
心臓血管外科			**79**
	09. 循環器の疾患		71
		06. その他の型の心疾患	3
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	5
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	63
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		5
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	2

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	3
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		2
		02. 炎症性多発関節障害	2
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		1
		08. 股関節部および大腿の損傷	1
整形外科			**1,313**
	01. 感染症及び寄生虫症		3
		04. その他の細菌性疾患	2
		11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	1
	02. 新生物		25
		06. 中皮および軟部組織	1
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	2
		17. 良性新生物	3
		18. 性状不詳または不明の新生物	19
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		3
		02・糖尿病	1
		08. 代謝障害	2
	06. 神経系の疾患		56
		07. 神経、神経根および神経そう<叢>の障害	56
	09. 循環器の疾患		6
		07. 脳血管疾患	1
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	5
	10. 呼吸器の疾患		3
		02. インフルエンザおよび肺炎	1
		06. 外的因子による肺疾患	1
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	11. 消化器の疾患		4
		07. 腹膜の疾患	4
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		11
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	3
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	8
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		297
		01. 感染性関節障害	12
		02. 炎症性多発関節障害	8
		03・関節障害	108
		04. その他の関節障害	25
		07. 脊椎障害	60
		08. その他脊柱障害	26
		10. 滑膜および腱の障害	12
		11. その他軟部組織障害	8
		12. 骨の密度および構造の障害	21
		13. その他の骨の障害	10
		14. 軟骨障害	2
		15. 筋骨格系および結合組織のその他の障害	5
	17. 先天奇形、変形及び染色体異常		2
		09. 筋骨格系の先天奇形および変形	2

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの		1
		01. 循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		902
		01. コロナウイルス感染症	3
		01. 頭部損傷	9
		03. 胸部<郭>損傷	31
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	85
		05. 肩および上腕の損傷	113
		06. 肘および前腕の損傷	205
		07. 手首および手の損傷	97
		08. 股関節部および大腿の損傷	185
		09. 膝および下腿の損傷	129
		10. 足首および足の損傷	34
		11. 多部位の損傷	4
		12. 部位不明の大幹もしくは四肢の損傷または部位不明の損傷	3
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	4
総合内科			**354**
	01. 感染症及び寄生虫症		33
		01. 腸管感染症	2
		04. その他の細菌性疾患	27
		11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	2
		14. その他のウイルス疾患	1
		15. 真菌症	1
	02. 新生物		2
		10. 尿路	1
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	1
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		4
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	2
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	1
		05. 血液および造血器のその他の疾患	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		59
		01. 甲状腺障害	1
		02・糖尿病	1
		03. その他のグルコース調節および膵内分泌障害	1
		04. その他の内分泌腺障害	2
		05. 栄養失調(症)	6
		06. その他の栄養欠乏症	2
		08. 代謝障害	46
	05. 精神及び行動の障害		5
		02. 精神作用物質使用による精神および行動の障害	4
		04. 気分[感情]障害	1
	06. 神経系の疾患		10
		01. 中枢神経系の炎症性疾患	1
		03. 錐体路障害および異常行動	1
		06. 挿間性および発作性障害	5

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		08. 多発(性)ニューロパシーおよびその他の末梢神経系の障害	1
		11. 神経系その他の障害	2
	08. 耳及び乳様突起の疾患		22
		03. 内耳疾患	20
		04. 耳その他の障害	2
	09. 循環器の疾患		8
		06. その他の型の心疾患	6
		07. 脳血管疾患	1
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	1
	10. 呼吸器の疾患		87
		01. 急性上気道感染症	8
		02. インフルエンザおよび肺炎	47
		03. その他の急性下気道感染症	1
		04. 上気道のその他の疾患	1
		05. 慢性下気道疾患	1
		06. 外的因子による肺疾患	26
		09. 胸膜のその他の疾患	1
		10. 呼吸器系のその他の疾患	2
	11. 消化器の疾患		5
		01. 口腔、唾液腺および顎の疾患	2
		03. 虫垂の疾患	1
		06. 腸のその他の疾患	1
		08. 肝疾患	1
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		3
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	3
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		11
		01. 感染性関節障害	1
		02. 炎症性多発関節障害	2
		05. 全身性結合組織障害	3
		09. 筋障害	4
		11. その他軟部組織障害	1
	14. 尿路性器系の疾患		76
		01. 糸球体疾患	1
		02. 腎尿細管間質性疾患	13
		03・腎不全	4
		06. 尿路系のその他の障害	57
		07. 男性性器の疾患	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		29
		01. コロナウイルス感染症	14
		18. 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	4
		19. 薬用を主としない物質の毒作用	1
		20. 外因その他および詳細不明の作用	8
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	2
糖尿病・内分泌内科			**70**
	01. 感染症及び寄生虫症		1

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		04. その他の細菌性疾患	1
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		1
		01. 栄養性貧血	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		56
		02・糖尿病	49
		03. その他のグルコース調節および膵内分泌障害	5
		08. 代謝障害	2
	09. 循環器の疾患		1
		06. その他の型の心疾患	1
	10. 呼吸器の疾患		5
		02. インフルエンザおよび肺炎	2
		05. 慢性下気道疾患	2
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	14. 尿路性器系の疾患		2
		02. 腎尿細管間質性疾患	2
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		4
		01. コロナウイルス感染症	4
泌尿器科			**187**
	01. 感染症及び寄生虫症		2
		04. その他の細菌性疾患	2
	02. 新生物		84
		09. 男性性器	4
		10. 尿路	75
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	2
		18. 性状不詳または不明の新生物	3
	10. 呼吸器の疾患		2
		06. 外的因子による肺疾患	2
	11. 消化器の疾患		1
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	1
	14. 尿路性器系の疾患		94
		01. 糸球体疾患	2
		02. 腎尿細管間質性疾患	19
		03・腎不全	3
		04. 尿路結石症	6
		05. 腎および尿管のその他の障害	1
		06. 尿路系のその他の障害	40
		07. 男性性器の疾患	23
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		4
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	2
		08. 股関節部および大腿の損傷	1
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1
皮膚科			**35**
	01. 感染症及び寄生虫症		6
		04. その他の細菌性疾患	2
		11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	3
		18. シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生虫	1

診療科名	大分類名	中分類名	人数（人）
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		29
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	18
		02. 水疱症	1
		03. 皮膚炎および湿疹	1
		05. 蕁麻疹および紅斑	1
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	8
婦人科			**114**
	01. 感染症及び寄生虫症		1
		05. 主として性的伝播様式をとる感染症	1
	02. 新生物		64
		08. 女性性器	26
		17. 良性新生物	27
		18. 性状不詳または不明の新生物	11
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		1
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	1
	09. 循環器の疾患		1
		05. 肺性心疾患および肺循環疾患	1
	14. 尿路性器系の疾患		45
		09. 女性骨盤臓器の炎症性疾患	5
		10. 女性性器の非炎症性障害	40
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		2
		01. コロナウイルス感染症	2
総計			**5,574**

(6)DPC診断群分類別 退院患者入院期間構成比

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
神経系疾患						
脳腫瘍	3	17.0	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	1	5.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脳梗塞	6	9.0	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%
一過性脳虚血発作	2	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脳卒中の続発症	7	15.3	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
脳脊髄の感染を伴う炎症	2	28.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
免疫介在性・炎症性ニューロパチー	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
遺伝性ニューロパチー	1	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
パーキンソン病	3	7.0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
不随意運動	1	9.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
水頭症	1	52.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
認知症	1	15.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
てんかん	3	14.3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
片頭痛、頭痛症候群(その他)	2	5.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
ウェルニッケ脳症	2	34.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
自律神経系の障害	4	6.0	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
計	40	13.3	25.0%	27.5%	40.0%	2.5%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
眼科系疾患						
白内障、水晶体の疾患	125	2.0	0.0%	99.2%	0.8%	0.0%
計	125	2.0	0.0%	99.2%	0.8%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
耳鼻咽喉科系疾患						
唾液腺炎、唾液腺膿瘍	2	7.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	11	6.7	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%
伝染性単核球症	4	7.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
睡眠時無呼吸	15	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
上気道炎	4	3.8	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
慢性副鼻腔炎	1	8.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
顔面神経障害	1	18.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
前庭機能障害	20	5.0	30.0%	35.0%	35.0%	0.0%
めまい(末梢前庭以外)	2	10.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
突発性難聴	2	9.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
計	62	5.3	9.7%	59.7%	30.6%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
呼吸器系疾患						
縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍	1	14.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
縦隔の良性腫瘍	1	4.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
呼吸器系の良性腫瘍	1	11.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
肺の悪性腫瘍	98	8.8	11.2%	53.1%	18.4%	3.1%
胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	12	11.8	25.0%	50.0%	16.7%	8.3%
インフルエンザ、ウイルス性肺炎	18	9.3	5.6%	22.2%	66.7%	5.6%
肺炎等	164	14.7	18.3%	48.2%	32.3%	1.2%
誤嚥性肺炎	141	25.1	17.0%	41.8%	37.6%	3.5%
急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）	24	8.0	8.3%	29.2%	62.5%	0.0%
喘息	18	5.7	27.8%	55.6%	16.7%	0.0%
間質性肺炎	46	25.8	19.6%	23.9%	47.8%	8.7%
慢性閉塞性肺疾患	37	23.2	13.5%	24.3%	48.6%	13.5%
呼吸不全（その他）	5	9.6	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
気道出血（その他）	5	8.6	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
肺・縦隔の感染、膿瘍形成	15	23.9	13.3%	40.0%	46.7%	0.0%
呼吸器の結核	3	18.3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
抗酸菌関連疾患（肺結核以外）	5	5.4	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
胸水、胸膜の疾患（その他）	19	16.1	47.4%	21.1%	26.3%	5.3%
気胸	21	8.7	28.6%	47.6%	23.8%	0.0%
気管支拡張症	2	9.5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
横隔膜腫瘍・横隔膜疾患（新生児を含む。）	6	13.3	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
血胸、血気胸、乳び胸	1	10.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
急性呼吸窮＜促＞迫症候群	3	34.7	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
肺高血圧性疾患	2	7.0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
その他の呼吸器の障害	3	8.0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
計	651	16.5	18.0%	41.3%	34.7%	3.4%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
循環器系疾患						
急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞	46	11.7	13.0%	37.0%	50.0%	0.0%
狭心症、慢性虚血性心疾患	105	5.9	8.6%	56.2%	34.3%	1.0%
心筋症（拡張型心筋症を含む。）	3	12.0	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
頻脈性不整脈	39	7.5	7.7%	48.7%	43.6%	0.0%
弁膜症（連合弁膜症を含む。）	3	12.0	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
心内膜炎	2	20.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
心筋炎	1	8.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
急性心膜炎	2	12.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
心不全	237	19.3	16.9%	41.4%	39.7%	2.1%
高血圧性疾患	8	10.4	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%
大動脈解離	3	13.7	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
閉塞性動脈疾患	22	12.7	36.4%	27.3%	36.4%	0.0%
静脈・リンパ管疾患	64	3.7	29.7%	39.1%	31.3%	0.0%

肺塞栓症	5	27.6	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%
循環器疾患(その他)	7	3.7	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
徐脈性不整脈	29	7.9	44.8%	37.9%	17.2%	0.0%
その他の循環器の障害	7	8.0	28.6%	57.1%	0.0%	14.3%
計	583	12.4	18.9%	42.9%	36.5%	1.7%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患						
食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)	15	12.3	26.7%	26.7%	40.0%	6.7%
胃の悪性腫瘍	91	14.3	9.9%	40.7%	37.4%	5.5%
小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	4	10.8	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	84	16.2	4.8%	51.2%	40.5%	3.6%
直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	55	13.9	3.6%	49.1%	45.5%	1.8%
肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	12	17.5	8.3%	8.3%	66.7%	8.3%
胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	14	15.4	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
膵臓、脾臓の腫瘍	30	12.9	23.3%	20.0%	53.3%	3.3%
胃の良性腫瘍	12	7.8	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	229	2.4	0.0%	83.0%	17.0%	0.0%
穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	91	6.8	20.9%	51.6%	27.5%	0.0%
食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	98	9.4	30.6%	25.5%	40.8%	3.1%
胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの)	38	10.0	13.2%	52.6%	34.2%	0.0%
胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴うもの)	1	14.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
虫垂炎	66	7.2	7.6%	57.6%	34.8%	0.0%
鼠径ヘルニア	81	3.5	0.0%	86.4%	13.6%	0.0%
閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア	13	7.8	23.1%	53.8%	23.1%	0.0%
クローン病等	3	6.7	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
潰瘍性大腸炎	2	8.0	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
虚血性腸炎	59	6.5	20.3%	71.2%	8.5%	0.0%
ヘルニアの記載のない腸閉塞	117	10.0	10.3%	60.7%	28.2%	0.9%
直腸脱、肛門脱	1	8.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
肛門周囲膿瘍	3	8.3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
痔瘻	3	4.0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
痔核	12	4.9	0.0%	58.3%	41.7%	0.0%
尖圭コンジローム	1	3.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
裂肛、肛門狭窄	2	28.5	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎	4	11.5	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
アルコール性肝障害	40	9.8	45.0%	25.0%	20.0%	2.5%
慢性C型肝炎	2	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	33	14.7	9.1%	48.5%	36.4%	6.1%
肝膿瘍(細菌性・寄生虫性疾患を含む。)	5	14.8	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
肝嚢胞	2	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
胆嚢疾患(胆嚢結石など)	36	6.0	5.6%	63.9%	30.6%	0.0%
胆嚢炎等	63	9.4	11.1%	34.9%	50.8%	3.2%
胆管(肝内外)結石、胆管炎	106	8.9	22.6%	38.7%	38.7%	0.0%

急性膵炎、被包化壊死	27	11.0	11.1%	48.1%	40.7%	0.0%
慢性膵炎(膵嚢胞を含む。)、自己免疫性膵炎、膵石症	5	5.6	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%
腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性器臓器を除く。)	41	15.8	31.7%	41.5%	24.4%	2.4%
ウイルス性腸炎	34	5.4	20.6%	44.1%	32.4%	2.9%
細菌性腸炎	14	7.4	7.1%	64.3%	28.6%	0.0%
偽膜性腸炎	1	8.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の消化器等の障害	34	6.7	38.2%	29.4%	29.4%	2.9%
計	1,584	8.8	13.8%	52.5%	31.4%	1.6%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
筋骨格系疾患						
骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)	16	2.8	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%
骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)	4	13.5	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
軟部の悪性腫瘍(脊髄を除く。)	1	72.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
肩関節炎、肩の障害(その他)	1	20.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
手肘の関節炎	1	9.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
骨髄炎(上肢)	1	11.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
骨髄炎(上肢以外)	4	18.3	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症(上肢)	2	4.5	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症(上肢以外)	12	9.3	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%
筋炎(感染性を含む。)	1	4.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
化膿性関節炎(下肢)	14	57.1	14.3%	21.4%	50.0%	14.3%
上肢末梢神経麻痺	55	2.2	89.1%	10.9%	0.0%	0.0%
上肢・手の変形(偽関節を除く。)	1	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
手関節症(変形性を含む。)	20	3.4	85.0%	10.0%	5.0%	0.0%
下肢の変形	4	14.5	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
膝関節症(変形性を含む。)	67	19.6	1.5%	58.2%	40.3%	0.0%
動揺関節症	2	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
膝蓋骨の障害	2	10.5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
骨端症、骨軟骨障害・骨壊死、発育期の膝関節障害	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上肢関節拘縮・強直	4	2.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
筋拘縮・萎縮(その他)	4	11.8	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
脊椎感染	8	66.5	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%
脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)　頸部	9	21.1	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%
脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)　腰部骨盤、不安定椎	43	22.5	0.0%	34.9%	65.1%	0.0%
椎間板変性、ヘルニア	15	13.3	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%
ガングリオン	3	2.7	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
線維芽細胞性障害	5	2.8	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む。)	23	20.7	8.7%	26.1%	56.5%	4.3%
神経異栄養症、骨成長障害、骨障害(その他)	1	3.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
関節リウマチ	2	11.5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
脊椎関節炎	3	12.3	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
痛風、関節の障害(その他)	8	7.1	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
リンパ節、リンパ管の疾患	2	7.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	5	16.4	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
血管腫、リンパ管腫	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
骨折変形癒合、癒合不全などによる変形(上肢)	5	4.0	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
骨折変形癒合、癒合不全などによる変形(骨盤部・大腿)	1	9.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の筋骨格系・結合組織の疾患	28	22.8	21.4%	17.9%	53.6%	7.1%
計	379	16.2	32.7%	33.5%	31.4%	2.1%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
皮膚・皮下組織の疾患						
皮膚の良性新生物	1	4.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
膿皮症	31	11.9	19.4%	41.9%	35.5%	3.2%
帯状疱疹	3	5.7	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
疱疹（帯状疱疹を除く。）、その類症	1	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
痒疹、蕁麻疹	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
薬疹、中毒疹	1	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
水疱症	2	14.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
母斑、母斑症	1	5.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
褥瘡潰瘍	13	45.2	38.5%	23.1%	30.8%	7.7%
計	54	19.0	25.9%	38.9%	31.5%	3.7%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
乳房の疾患						
乳房の悪性腫瘍	14	4.9	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%
乳房の良性腫瘍	1	3.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	15	4.8	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
内分泌・栄養・代謝に関する疾患						
糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	21	20.2	19.0%	14.3%	52.4%	14.3%
2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	30	21.8	13.3%	23.3%	43.3%	20.0%
その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	4	20.5	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
糖尿病足病変	9	34.0	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%
甲状腺機能低下症	1	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
低血糖症	7	10.3	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%
ADH分泌異常症	2	27.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
代謝性疾患（糖尿病を除く。）	2	6.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
栄養障害（その他）	11	30.9	18.2%	18.2%	54.5%	9.1%
代謝障害（その他）	5	18.4	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
体液量減少症	28	16.0	14.3%	32.1%	39.3%	14.3%
低カリウム血症	14	20.4	21.4%	0.0%	64.3%	14.3%
カルシウム代謝障害	1	21.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	39	14.1	12.8%	38.5%	41.0%	7.7%
計	174	19.2	13.8%	28.2%	46.0%	10.9%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患						
腎腫瘍	2	14.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
後腹膜疾患	5	18.6	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%
腎盂・尿管の悪性腫瘍	4	8.0	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
膀胱腫瘍	76	8.1	2.6%	75.0%	19.7%	2.6%

前立腺の悪性腫瘍	4	10.3	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
精巣腫瘍	1	6.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
上部尿路疾患	7	8.7	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%
下部尿路疾患	4	10.8	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
前立腺肥大症等	17	8.1	0.0%	52.9%	47.1%	0.0%
男性生殖器疾患	6	5.8	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
ネフローゼ症候群	2	43.5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
慢性腎炎症候群･慢性間質性腎炎･慢性腎不全	56	17.9	12.5%	32.1%	44.6%	10.7%
急性腎不全	17	20.9	17.6%	29.4%	35.3%	17.6%
腎臓又は尿路の感染症	139	14.7	15.8%	45.3%	30.9%	7.9%
腎、泌尿器の疾患(その他)	2	19.5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
水腎症等	1	4.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
計	343	13.5	11.7%	47.2%	34.4%	6.7%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩						
卵巣･子宮附属器の悪性腫瘍	11	5.3	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%
子宮頸･体部の悪性腫瘍	18	6.0	0.0%	88.9%	5.6%	5.6%
子宮の良性腫瘍	18	6.3	5.6%	83.3%	11.1%	0.0%
卵巣の良性腫瘍	19	6.3	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%
子宮内膜症	5	6.6	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
子宮･子宮附属器の炎症性疾患	5	10.0	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
卵巣･卵管･広間膜の非炎症性疾患	1	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
女性生殖系の炎症性疾患(その他)	1	9.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
女性性器のポリープ	25	3.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
子宮の非炎症性障害	4	4.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
生殖･月経周期に関連する病態	2	3.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	109	5.5	1.8%	62.4%	34.9%	0.9%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
血液・造血器・免疫臓器の疾患						
急性白血病	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
非ホジキンリンパ腫	18	11.8	5.6%	33.3%	55.6%	5.6%
多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	6	11.0	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%
骨髄異形成症候群	2	5.0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
白血球疾患(その他)	2	11.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
貧血(その他)	49	7.8	38.8%	38.8%	20.4%	2.0%
播種性血管内凝固症候群	10	34.7	20.0%	20.0%	50.0%	10.0%
出血性疾患(その他)	1	15.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
アレルギー性紫斑病	2	7.5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
血液疾患(その他)	5	17.8	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%
凝固異常(その他)	1	14.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	97	12.1	28.9%	36.1%	30.9%	4.1%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
新生児疾患、先天性奇形						
腸管の先天異常	2	9.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
胆道の先天異常（拡張症）	1	6.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
手足先天性疾患	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
股関節先天性疾患、大腿骨先天性疾患	1	19.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	5	9.2	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
小児疾患						
熱性けいれん	3	2.7	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
川崎病	2	11.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
計	5	6.0	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
外傷・熱傷・中毒						
頭蓋･頭蓋内損傷	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
胸郭･横隔膜損傷	7	12.1	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%
肺･胸部気管･気管支損傷	6	11.0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
肝･胆道･膵･脾損傷	1	11.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
腸管損傷（胃以外）	2	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
腹壁損傷	5	12.0	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
四肢神経損傷	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四肢筋腱損傷	48	6.9	60.4%	22.9%	12.5%	4.2%
肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）	24	7.8	25.0%	33.3%	41.7%	0.0%
皮下軟部損傷･挫滅損傷、開放創	5	4.2	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸･腰髄損傷を含む。）	79	23.5	5.1%	24.1%	68.4%	2.5%
鎖骨の骨折	42	3.0	16.7%	78.6%	4.8%	0.0%
肩関節周辺の骨折･脱臼	44	8.0	54.5%	29.5%	15.9%	0.0%
肘関節周辺の骨折･脱臼	34	4.3	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%
前腕の骨折	133	3.2	51.1%	42.1%	4.5%	0.0%
前腕の開放骨折	2	4.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手関節周辺の骨折･脱臼	77	2.6	58.4%	39.0%	2.6%	0.0%
手関節周辺の開放骨折	3	6.7	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
股関節･大腿近位の骨折	175	26.5	4.0%	47.4%	44.0%	4.6%
膝関節周辺の骨折･脱臼	36	17.5	22.2%	44.4%	27.8%	5.6%
膝関節周辺の開放骨折	1	13.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
下腿足関節周辺の骨折	18	13.4	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
足関節･足部の骨折･脱臼	54	12.6	46.3%	29.6%	22.2%	1.9%
足関節･足部の開放骨折･開放脱臼	2	23.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
頸椎頸髄損傷	8	16.5	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%
腎･尿管損傷	1	9.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
骨盤損傷	26	23.5	19.2%	15.4%	61.5%	3.8%
多部位外傷	5	12.8	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%

体温異常	3	15.7	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
詳細不明の損傷等	6	2.3	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
薬物中毒（その他の中毒）	5	2.4	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	854	12.9	31.3%	39.0%	27.5%	1.9%

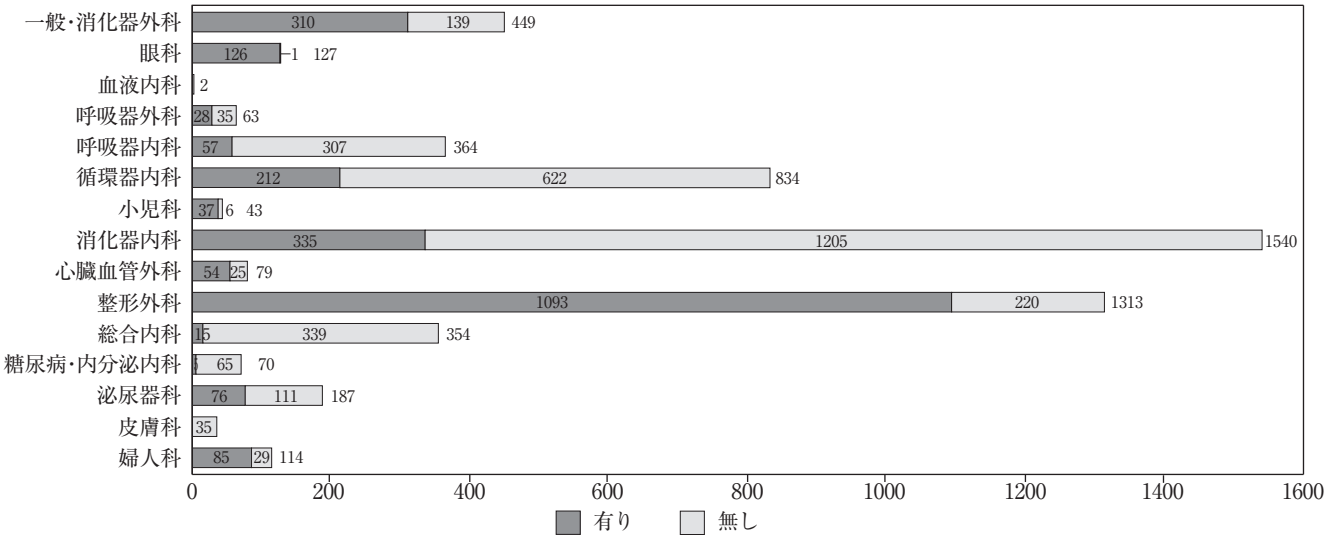
名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
精神疾患						
アルコール依存症候群	1	8.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3	1.3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
気分［感情］障害	1	6.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	5	3.6	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%

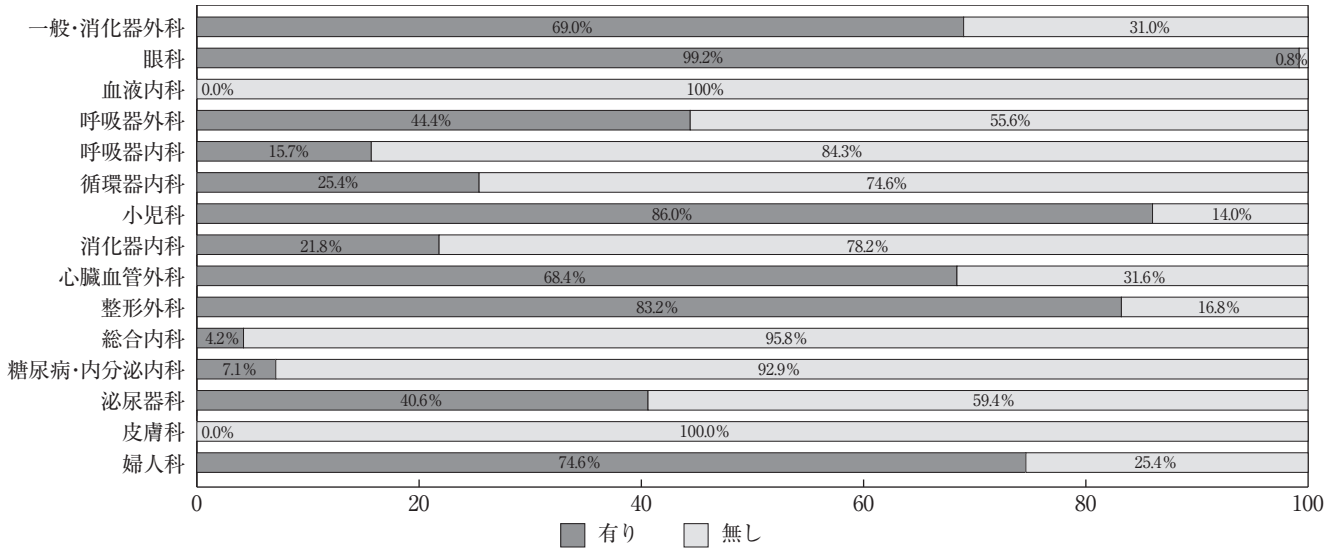
名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
その他						
敗血症	60	27.6	20.0%	36.7%	35.0%	8.3%
その他の感染症（真菌を除く。）	240	12.6	2.5%	5.0%	5.0%	0.4%
その他の真菌感染症	2	6.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
手術・処置等の合併症	18	15.2	5.6%	27.8%	5.6%	5.6%
その他の悪性腫瘍	6	12.0	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
その他の新生物	9	3.7	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%
計	335	15.1	7.2%	13.4%	11.9%	2.1%

総　計	5,420	12.2	18.4%	43.8%	30.6%	2.5%

※注釈1：入院期間構成比とは退院患者がその症例件数に対してどの期間に退院したかを比率で示したものである。
※注釈2：入院時より出来高算定のDPCの場合は、入院期間Ⅲ超の割合を100%とする。

(7)退院患者クリニカルパス(電子パス)使用件数





退院科	パス使用の有無		
	有り	無し	総計
一般・消化器外科	310	139	449
眼科	126	1	127
血液内科		2	2
呼吸器外科	28	35	63
呼吸器内科	57	307	364
循環器内科	212	622	834
小児科	37	6	43
消化器内科	335	1,205	1,540
心臓血管外科	54	25	79
整形外科	1,093	220	1,313
総合内科	15	339	354
糖尿病・内分泌内科	5	65	70
泌尿器科	76	111	187
皮膚科		35	35
婦人科	85	29	114
総計	2,433	3,141	5,574

退院科	パス使用の有無	
	有り	無し
一般・消化器外科	69.0%	31.0%
眼科	99.2%	0.8%
血液内科	0.0%	100.0%
呼吸器外科	44.4%	55.6%
呼吸器内科	15.7%	84.3%
循環器内科	25.4%	74.6%
小児科	86.0%	14.0%
消化器内科	21.8%	78.2%
心臓血管外科	68.4%	31.6%
整形外科	83.2%	16.8%
総合内科	4.2%	95.8%
糖尿病・内分泌内科	7.1%	92.9%
泌尿器科	40.6%	59.4%
皮膚科	0.0%	100.0%
婦人科	74.6%	25.4%
総計	43.6%	56.4%

(8)臨床評価指標

1.基本的な臨床指標

項　目	設定した臨床評価項目と説明		臨床指標	
			2022年度	2023年度
症例数/死亡率	全疾患	全入院症例　死亡率 【全入院症例のうち、同一入院期間内で死亡した割合】	4.01%	2.97%
		救急搬送症例　死亡率 【救急搬送された症例のうち、同一入院期間内で死亡した症例の割合】	8.12%	6.07%
診療プロセス	血液培養検査実施率　【敗血症症例に対する、血液培養検査の実施率】		85.21%	95.33%
	凝固系検査実施率　【DIC症例に対する、凝固系検査の実施率】		100.00%	96.55%
	肺血栓塞栓症予防管理料　【全身麻酔実施症例に対する、PTE予防措置の実施率】		98.40%	91.16%
感染症	院内感染	1)中心静脈注射から敗血症	14.79%	7.38%
		2)人工呼吸器から肺炎	1.03%	1.00%
		3)膀胱留置カテーテルから尿路感染	3.01%	3.62%
	手術創感染	1)膝関節形成術実施症例	0.00%	1.82%
		2)腹式子宮摘出術実施症例	0.00%	0.00%
再入院	再入院率(30日以内の再入院)	1)全症例	2.91%	3.08%
		2)慢性閉塞性肺疾患症例	0.00%	4.76%
		3)肺炎(15歳以上)	0.89%	0.48%
		4)心不全	4.63%	0.38%
		5)狭心症	2.42%	2.68%
		6)急性心筋梗塞	0.00%	0.00%

2.薬剤に関する臨床指標

項　目	薬剤名と評価指標	臨床指標	
		2022年度	2023年度
高額薬剤	血液製剤 1)アルブミン　使用率・使用日数	2.64%・3.02日	1.85%・2.94日
	血液製剤 2)グロブリン　使用率・使用日数	0.28%・3.21日	0.24%・2.77日
	アンチトロンビンⅢ　使用率	0.02%	0.04%
	MRSA用製剤　使用率・使用日数	0.86%・8.98日	0.77%・9.64日
	脳梗塞 オザグレルナトリウム　使用率・使用日数	0.00%・0.00日	0.00%・0.00日
	脳梗塞 エダラボン　使用率・使用日数	33.33%・7.50日	66.67%・6.25日
	心不全 ハンプ(カルペリチド)　使用率・使用日数	23.58%・3.09日	23.63%・2.41日

3.手術に関連する指標

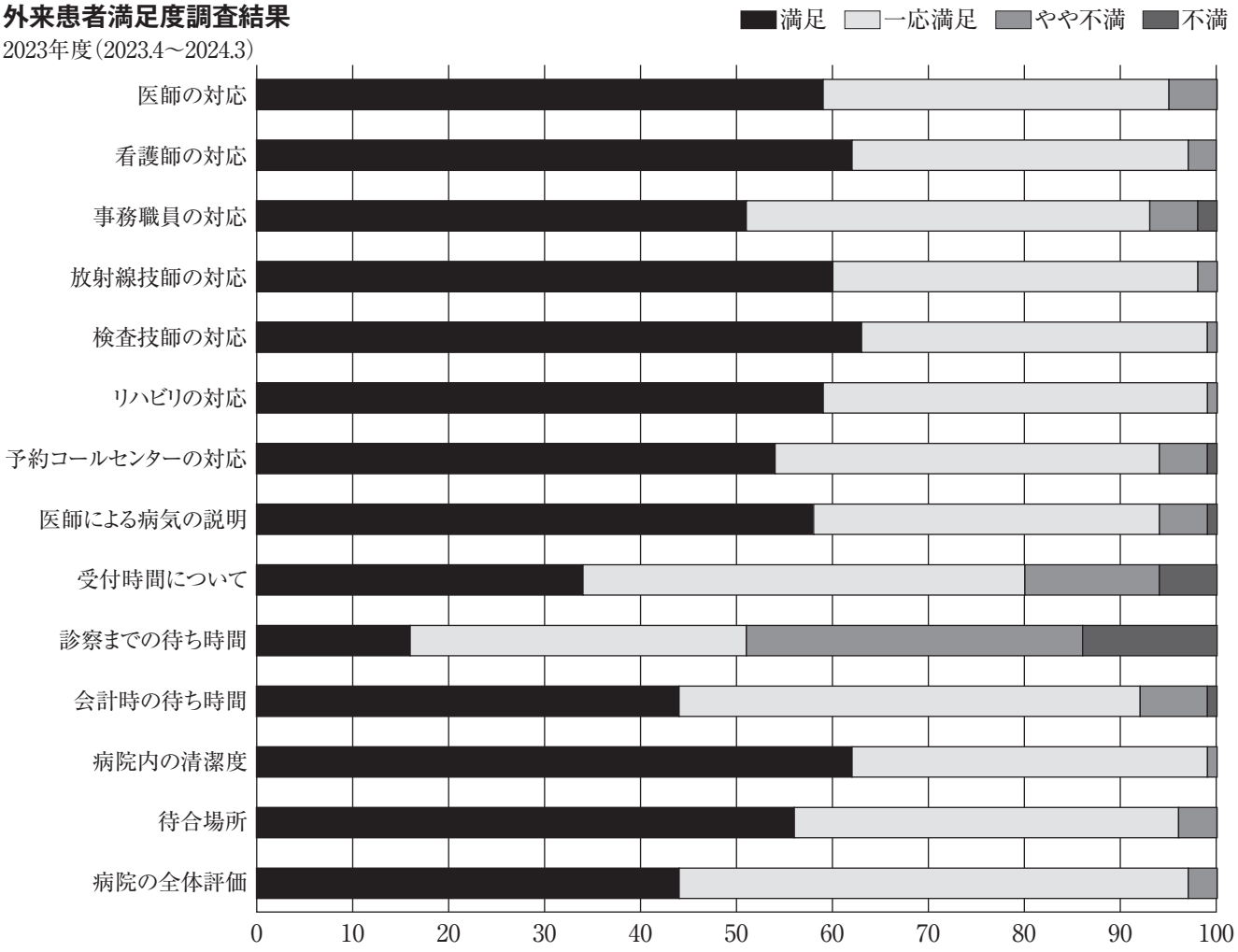
項　目	設定した臨床評価項目と説明	臨床指標	
		2022年度	2023年度
全手術	手術実施率	51.11%	48.32%
	予定入院手術割合	73.48%	73.35%
	緊急入院手術割合	26.52%	26.65%
初回手術	手術在院日数	11.89日	10.86日
	術前検査・画像の入院実施率	66.64%	66.41%
	術後創傷ケア実施率・実施日数	23.55%・2.57日	26.77%・2.55日
	術後ドレーン実施率・実施日数	13.87%・7.18日	13.90%・4.95日
	術後膀胱留置カテーテル実施率	38.01%	36.81%
	術後中心静脈注射実施率・実施日数	3.16%・12.10日	2.21%・9.53日
	術後リハビリ実施率・開始日数	36.45%・1.99日	40.59%・1.73日

5. アンケート調査結果 (1)外来患者満足度

外来		医師の対応	看護師の対応	事務職員の対応	放射線技師の対応	検査技師の対応	リハビリの対応	予約コールセンターの対応	医師による病気の説明	受付時間について	診察までの待ち時間	会計時の待ち時間	病院内の清潔度	待合場所	病院の全体評価
2023年度(2023.4～2024.3)	満　足	58%	62%	52%	60%	63%	59%	54%	57%	34%	16%	44%	63%	56%	43%
	一応満足	36%	35%	42%	38%	36%	40%	40%	37%	46%	35%	49%	37%	40%	53%
	やや不満	5%	3%	5%	2%	1%	1%	5%	5%	14%	35%	7%	1%	4%	3%
	不　満	0%	0%	2%	0%	0%	0%	1%	1%	6%	15%	1%	0%	0%	0%

外来患者満足度調査結果

2023年度(2023.4～2024.3)

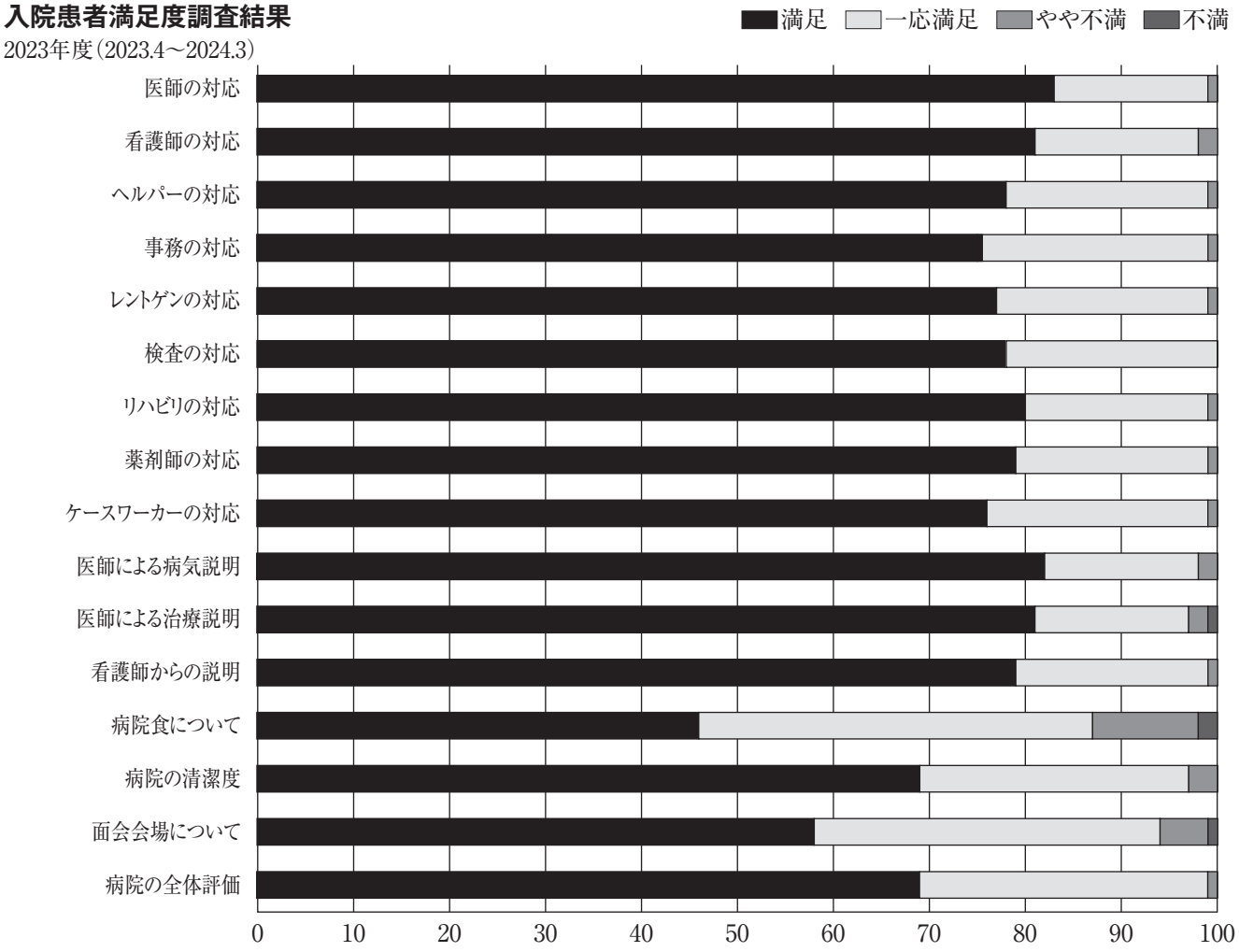


(2)入院患者満足度

入院		医師の対応	看護師の対応	ヘルパーの対応	事務の対応	レントゲンの対応	検査の対応	リハビリの対応	薬剤師の対応	ケースワーカーの対応	医師による病気説明	医師による治療説明	看護師からの説明	病院食について	病院の清潔度	面会会場について	病院の全体評価
2023年度(2023.4～2024.3)	満　足	83%	81%	78%	75%	77%	78%	80%	79%	76%	82%	81%	79%	46%	69%	58%	69%
	一応満足	16%	17%	21%	24%	22%	22%	19%	20%	23%	16%	16%	20%	41%	28%	36%	30%
	やや不満	1%	2%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	1%	2%	2%	1%	11%	3%	5%	1%
	不　満	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	2%	0%	1%	0%

入院患者満足度調査結果

2023年度(2023.4～2024.3)



Ⅲ. 診療活動等の状況

1-1. 2023年度　理事長活動報告

理事長発表論文、主な講演その他

1. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（126)、公的医療保険制度と診療報酬制度について（6)、DPC制度について（2)、ニューライフ、2023 年 3 月号、通巻 736 号、vol 70 No3; 46-52
2. 木野 昌也：　主張：医療・介護の非営利性と時代のニーズ、大阪府私立病院ニュース、2023 年 7 月 1 日
3. 木野 昌也：　銷夏随筆：情けは人の為ならず、日本病院会雑誌、2023、vol 70, No7, p21
4. 木野 昌也：　医療と介護の構造的課題、主潮、日本病院会ニュース、第 1100 号、p2、令和 5 年 8 月 10 日
5. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（127)、我が国の医療制度と病院が抱える課題（1)、新型コロナウイルス感染の影響、ニューライフ、2023 年 9 月号、通巻 737 号、vol 70 No9; 45-52
6. 加納 繁照、馬場 武彦、木野 昌也、生野 弘道：
   第 22 回「大阪病院学会」記念特別座談会、超高齢社会を迎える都市部の医療モデルを大阪から発信する！　最新医療経営 PHASE3、2023 年 10 月号
7. 木野 昌也、宮崎 俊一：
   ドクターズアンテンション対談、提言「新専門医制度における都道府県別シーリングと内科医不足の問題に、どう対応していくか」、Doctor's Attention 10 月号、p4 ～ 5, 2023 年
8. 木野 昌也：　主張：医療機関の経営危機とその要因、大阪府私立病院ニュース、2023 年 12 月 1 日
9. 加納 繁照、永田 昌敬、飯尾 雅彦、蔭山 尚正、木野 昌也、多根 一之、長尾 喜一郎、西川 覚、露口 隆一、橘 克英、焦 昇、松木 智子、山川 智之、幸原 晴彦、樋口 洋子：
   大阪府医師会医療保険委員会、会長諮問委員会答申書「次回診療報酬改定要望について」、令和 5 年 12 月 12 日
10. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（128)、我が国の医療制度と病院が抱える課題（2)、地域医療構想について（1)、ニューライフ、2024 年 1 月号、通巻 738 号、vol 71 No1; 46-49
11. 黒岩 祐治、生野 弘道、加納 繁照、木野 昌也：
    第 17 回ドクターズアテンション医療セミナー、Doctor's Attention 1 月号、p1 ～ 4、2024 年
12. 木野 昌也：　深化する関西圏の医療～ 2040 年への課題と解決～激変する医療環境に如何に対応するか、メディカルジャパン基調講演、2024 年 1 月 17 日、インテックス大阪
13. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（129)、我が国の医療制度と病院が抱える課題（3)、地域医療構想について（2)、ニューライフ、2024 年 3 月号、通巻 739 号、vol 71 No3; 48-52
14. 木野 昌也：　医師不足と多職種連携の意義、Preface、Monthly Bulletin Osaka Heart Club, vol. 10; 1~2, March, 2024
15. 木野 昌也：　年頭所感（病院経営管理士通信教育「通教月報 1 月号」より)、日本病院会雑誌、2024、vol71, No3, p68

理事長資格・加盟学会（令和６年７月現在）

●医学博士　●日本内科学会認定総合内科専門医　●日本内科学会指導医
●日本循環器学会認定循環器専門医　●人間ドック指定医
● Best Doctors in Japan（2022 － 2023）
●米国心臓病学会フェロー（Fellow of the American College of Cardiology）
●米国心臓協会フェロー（Fellow of the American Heart Association）
●米国内科学会フェロー（Fellow of the American College of Physicians）
●日本心臓病学会会員　他

主な公職（令和６年７月現在）

●大阪府病院協会会長　●臨床心臓病学教育研究会（JECCS）会長
●大阪府私立病院協会副会長　●全国病院経営管理学会副会長　●日本病院会理事
● VHJ 機構理事　●大阪府医療法人協会理事　●大阪府私立病院協同組合理事
●大阪旭こども病院理事　●大阪医科薬科大学評議員　●新阿武山病院評議員
●高槻市医師会顧問、裁定委員

●地域医療構想アドバイザー（厚生労働省）　●大阪府医療審議会委員（大阪府）
●大阪府医療対策協議会委員（大阪府）
●大阪府感染対策協議会委員（大阪府）
●大阪府感染対策審議会委員、大阪府感染対策部会委員（大阪府）
●大阪府感染対策審議会新型インフルエンザ等対策部会委員（大阪府）
●大阪府感染対策審議会　エイズ対策及び医療連携部会委員（大阪府）
●大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議構成員（大阪府）
●大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会委員（大阪府）
●大阪府薬事審議会委員（大阪府）
●大阪府薬事審議会　医療機器安全対策推進部会委員（大阪府）
●大阪府後発医薬品安心使用促進のための協議会委員（大阪府）
●大阪府国民健康保険運営協議会委員（大阪府）
●大阪府消防広域化推進審議会委員（大阪府）
●大阪府医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員（大阪府）
●日本病院会病院経営管理士教育委員会委員長
●日本病院会医療政策委員会委員
●大阪府病院協会看護専門学校運営検討委員会委員
●大阪府医師会病院委員会副委員長
●大阪府医師会医療保険委員会委員
●箕面新市立病院整備審議会委員

1-2. 2023年度　病院長　院外活動報告

2023年

4月 12日　水　　北摂血液連携セミナー
4月 15日　土　　新仁会病院内覧会
4月 18日　火　　茨木消防本部来訪
4月 20日　木　　VHJ第12回　医師の働き方検討会
4月 21日　金　　救急搬送困難事案への対応に向けた取組を三島圏域で実施するための病院説明会
4月 28日　金　　北摂医療安全ネットワーク会議
5月　2日　火　　高槻市　市長来訪
5月 10日　水　　m3.com取材
5月 13日　土　　SQUE研修会講演
5月 16日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
5月 17日　水　　藍野大学 学長来訪、医療法人楽樹会しらべの森ホームクリニック来訪
6月 14日　水　　大阪医科薬科大学病院　第13回医療安全業務外部監査委員会
6月 20日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
6月 22日　木　　大阪府感染症法に基づく協定締結に先立つ事前調査のWeb説明会
6月 30日　金　　三島医療圏医療安全ネットワーク会議
7月　7日　金　　北摂医療安全ネットワーク会議
7月 18日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
7月 20日　木　　VHJ検討会
7月 21日　金　　三島医療圏医療安全ネットワーク会議
8月　9日　水　　茨木みどりヶ丘病院　病院長来訪
8月 15日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
8月 29日　火　　三島医療圏医療安全ネットワーク会議
9月 15日　金　　日本看護評価学会学術集会講演、三島医療圏医療安全ネットワーク合同研修
9月 16日　土　　社会医療法人有隣会　東大阪病院　新病院内覧会
大阪医科薬科大学病院 連携強化のつどい
9月 19日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
9月 26日　火　　高槻市健康保健医療課来訪
9月 28日　木　　介護老人保健施設ひまわり施設長来訪、VHJ医師の働き方検討
10月　8日　日　　大阪病院学会
10月 18日　水　　三島医療圏医療安全ネットワーク会議
10月 23日　月　　介護老人保健施設　ローズマリー施設長来訪
11月　2日　木　　高槻市薬剤師会　会長来訪
11月 10日　金　　大阪医科薬科大学病院　第14回医療安全業務外部監査委員会

11月 15日　水　　日本看護協会神戸研修センター　サードレベル研修講師
11月 16日　木　　令和5年度大阪医科薬科大学病院連携病院長会総会、同役員会
11月 17日　金　　VHJ職員交流研修会（沖縄市）
11月 18日　土　　VHJ職員交流研修会（沖縄市）、高槻市医師会秋季臨時総会
11月 20日　月　　2023年度第1回特定機能病院管理者研修（継続）講師
11月 21日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
11月 25日　土　　日本医療の質・安全学会
11月 26日　日　　日本医療の質・安全学会
12月　6日　水　　藍野病院　病院長来訪
12月　8日　金　　北大阪ほうせんか病院　院長来訪
12月 15日　金　　2023年度第2回特定機能病院管理者研修（継続）講師
12月 19日　火　　令和5年度三島二次医療圏域病院連絡会、大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
12月 20日　水　　三島医療圏医療安全ネットワーク会議
12月 26日　火　　高槻市消防本部来訪
12月 27日　水　　高槻市　市長来訪

2024年
1月　4日　木　　高槻市新年年賀交換会
1月 13日　土　　大阪医科薬科大学整形外科学教室同門会総会
1月 15日　月　　2023年度第3回特定機能病院管理者研修（継続）講師
1月 16日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
1月 26日　金　　2023年度第4回特定機能病院管理者研修（継続）講師
2月　6日　火　　2023年度第5回特定機能病院管理者研修（継続）講師
2月 15日　木　　高槻市医師会勤務医総会
2月 20日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
2月 26日　月　　2023年度第6回特定機能病院管理者研修（継続）講師
3月 16日　土　　大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室教授　退任祝賀会
3月 19日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
3月 22日　金　　大阪府健康医療部 健康推進室 健康づくり課 総務・歯科・栄養グループ、大阪府歯科医師会来訪
3月 23日　土　　大阪医科薬科大学整形外科学教室教授　退任祝賀会

2-1. 循環器科

スタッフ

部　　長：永松 航（カテーテル治療センター長兼任）
循環器センター長：森井 功（副院長・救急診療科部長兼任）
医　　長：山口 茂（血液浄化療法科部長兼任）

上記に加え、木野昌也理事長、斎藤隆晴部長、諏訪道博部長、玄武司部長、西村綾医員、藤田正紘医員の体制で診療にあたっております。

はじめに

北摂総合病院循環器科は患者様に対する全人的な医療提供を使命とし、地域医療の発展に貢献してまいります。

診療内容と特色

1．循環器救急体制

北摂総合病院循環器科は、地域の救急医療の一翼を担うために、24 時間体制で急性心不全や緊急冠動脈カテーテル治療を含む救急診療を提供しています。夜間や休日を問わず、迅速かつ適切な医療サービスを患者様に提供することをお約束いたします。

2．カテーテル検査・治療

近年、カテーテル治療の進歩により、当科では多岐にわたる病変に対応した治療を行っています。特に、ロータブレータ手技を導入し、硬い石灰化病変への治療効果を向上させています。また、最新の CoroFlow 検査を導入し、冠微小循環障害の評価に取り組んでいます。

3．その他疾患

心不全や心筋症、弁膜疾患においても、当院は最新の治療ガイドラインに基づき、経皮的治療（TAVI などのカテーテル治療）を含む手術適応の評価を行っています。さらに、透析シャント血管治療や不整脈治療にも積極的に取り組み、患者様の生活の質（QOL）向上に貢献しています。

4．診療技術の向上

森井功医師による高精度な CT 画像評価は、当院の診療の一翼を担っています。画像診断の精度向上を図り、迅速で正確な診断を患者様に提供することに尽力しています。

5．チーム医療と地域連携

看護部、診療技術部門、地域医療連携室との緊密な連携を通じて、多職種による総合的な医療サービスを提供しています。また、個々の医療ニーズに応じた柔軟なフォローアップ方針策定と実施に努めています。

来年度目標

1．地域支援の強化

開業医の皆様と協力し、地域の患者様に対して最適な医療を提供するためのネットワークを更に強化していきます。症状が安定した患者様に対しては、逆紹介システムを通じて地域医療機関への引き継ぎを行います。

2．救急隊との協力強化

救急患者様の迅速な受け入れと適切な初期治療の実施を目指し、救急隊との連携を一層強化していきます。いかなる緊急事態にもフットワーク軽く対応し、「断らない」をモットーにします。

3. 医療の質的向上

国内外の学会活動や最新の研究成果を積極的に導入し、医療の質を向上させるための取り組みを推進してまいります。患者様にとって安全で効果的な医療を提供するため、常に技術の革新と研鑽を積んでいます。

4. 患者中心の医療

患者様のニーズに合わせた個別化された医療サービスの提供を徹底し、患者様とそのご家族の方々に安心と信頼をお届けします。また、地域社会との緊密な連携を通じて、地域全体の健康増進に貢献してまいります。

2023 年度　診療実績

・入院患者数：845 名（平均在院日数 14.0 日）
・外来延べ患者数：15,529 名（初診患者数 445 名）

■過去のカテーテルインターベンション等実績

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
PCI	187	187	159	112	86
アブレーション	36	21	33	30	20
下肢 PTA	59	57	36	20	16
冠動脈 3D-CT	370	370	400	397	360

5. 循環器科学会活動報告

■津田 浩佑

Tsuda K. at al. A collateral channel from the bronchial artery in chronic total occlusion of proximal right coronary artery. Eur Hear J. 2024;45:1087.

Tsuda K. at al. Fibrosis-4 index identifies worsening renal function associated with adverse outcomes in acute heart failure. ESC Hear Fail. 2023;10:1726-34.

Tsuda K, Morita H, Hikida C, Akamatsu K, Ozawa H, Kanzaki Y, Arima Y, Uchida H, Morii I, Kino M, Katsumata T, Hoshiga M. Klebsiella pneumoniae Invasive Syndrome with Thoracic Aortic Pseudoaneurysm. Circ Cardiovasc Imaging. 2024 in press.

Sakane K, Kanzaki Y, Okuno T, Nakayama S, Hasegawa H, Tokura D, Horai R, Tsuda K, Maeda D, Sakatani Y, Hoshiga M. Left Atrial Remodeling Related to Disproportionately Low B-Type Natriuretic Peptide in Acute Heart Failure Patients with Atrial Fibrillation. Am J Cardiol. 2023 Dec 15;209:128-137.

Maeda D, Kanzaki Y, Sakane K, Tsuda K, Akamatsu K, Hourai R, Okuno T, Tokura D, Hasegawa HT, Morita H, Ito T, Hoshiga M. Prognostic impact of a reduction in the fibrosis-4 index among patients hospitalized with acute heart failure. Heart Vessels. 2023 Oct;38（10）：1235-1243.

Maeda D, Kanzaki Y, Sakane K, Tsuda K, Akamatsu K, Hourai R, Okuno T, Tokura D, Tanaka-Hasegawa H, Morita H, Ito T, Hoshiga M. Prognostic Impact of Multiple Drug Use at Discharge in Patients Hospitalized with Heart Failure. Int Heart J. 2023;64（3）：394-399.

「心タンポナーデ」 Cardiology Mania 心原性ショックの制圧 循環器救急・集中治療のど真ん中に切り

込む！　川上将司・細田勇人編著　2024 年 3 月発行 p150-157.
津田浩佑．気管支動脈蔓状血管腫からの側副血行路を認めた RCA-CTO の一例、第 31 回日本心血管インターベンション治療学会、メディカル一般公演 73、CTO-2, 2023/8/5
侵襲性クレブシエラ感染症治癒後に偶発的に発見された感染性動脈瘤の一例。疋田千晶、津田浩佑、有馬祥彦、赤松加奈子、森田英晃、打田裕明、小澤英樹、森井功、勝間田敬弘、星賀正明　第 135 回日本循環器学会近畿地方会 2023/7/15
急性心膜炎の発症を契機に全身性エリテマトーデスと診断できた一例。水谷早希、津田浩佑、森井功第 135 回日本循環器学会近畿地方会 2023/7/15
冠動脈拡張症に伴う巨大血栓を認めた急性下壁心筋梗塞の 1 例。木下絢奨、宍倉大介、津田浩佑、宮村昌利、藤阪智弘、森田英晃、神﨑裕美子、伊藤隆英、星賀正明　第 135 回日本循環器学会近畿地方会 2023/7/15
津田浩佑．冠動脈疾患と脂質低下療法に関する最近の話題．第 376 回 臨床心臓病研修会　臨床心臓病学教育研究会、大阪、2024 年 1 月 20 日
津田浩佑．虚血性心不全治療の潮流と展望．Next Generation Conference、大阪、2023 年 11 月 17 日
津田浩佑．明日からのアクションが変わる外来フォローアップのポイント．JECCS 第 3 回 多職種症例検討会、オンライン、2023 年 10 月 29 日
津田浩佑．虚血性心疾患と脂質低下療法に関する最近の話題．高槻市病診連携の会、オンライン、2023 年 8 月 17 日
津田浩佑．心不全と鉄欠乏　～ HIF-PH 阻害薬を生かすために～ CRAS Conference、大阪、2023 年 5 月 25 日
津田浩佑．実臨床における心不全治療・高齢心不全患者に対する SGLT2 阻害薬導入．Heart Failure Seminar in 北摂、オンライン、2023 年 4 月 14 日

■永松 航

4/13-15	KCJL 京都、Faculty
5/6-9	TCTAP, Seoul, International faculty
5/25-27	OCC, Shanghai, International faculty
6/2-4	Indo Japanese CTO club, Mumbai, International course director, Live operator
6/9-10	Japan CTO club、名古屋、Course director
6/30-7/1	CTI, Beijing, International faculty
7/8	ASEAN CTO Academy Conference, Bangkok, International faculty, Live operator
7/21-23	CHIP India Summit, Chennai, International faculty, Live operator
7/28	CCT Coronary Web live 2023 Yokohama, CTO PCI Live Course, Live operator
7/29-30	TSCI, Kaohsiung, International faculty
8/3-5	CVIT、福岡、Lectures
9/15-17	India CTO conference, Chennai, International faculty, Live operator
9/17	Sri Lanka college of cardiology annual academic session, Colombo, International faculty
10/8	AP CTO cinema, Hong Kong, Course director
10/19-21	CCT、神戸、Course director

11/10-11　仙台 PTCA ネットワークライブ、仙台、Faculty, Live operator
11/16-19　Kochi CHIP summit, Kochi, International faculty
11/30-12/1　岩手リアルワールドライブ、盛岡、Faculty, Live operator
12/7-10　QICC, Hangzhou, International faculty
12/9　内科学会近畿地方会、大阪、2 演題発表
12/15　Guangzhou CTO summit, International faculty
1/20　Taiwan CTO Club, Kaohsiung, International faculty
2/10　ecaselive CTO PCI salon vol.1, 東京、Course director
2/23-24　中国四国ライブ、倉敷、Faculty
2/29-3/3　India Live, New Delhi, International faculty

2-2. 消化器内科・血液内科

＜消化器内科＞

Ⅰ 消化器内科スタッフ（2024 年 6 月 1 日現在）

【常 勤 医 師】　佐野村 誠（病院長補佐・主任部長）、西谷 仁（化学療法センター長・医長）、
碕山 直邦（内視鏡センター長・医長）、山田 達明（医員）、奥井 寛太（医員）、
門坂 里菜（医員）、疋田 千晶（医員）

【非常勤医師】　佐々木 有一、西岡 伸、由上 博喜、福田 彰、朝井 章、西川 知宏、山田 真規

Ⅱ 消化器内科・血液内科の現状と目標

当院の消化器内科は内視鏡部門として内視鏡センターを有しており、消化器内視鏡検査の積極的な運用を行っている。外来では消化器内科外来の他に、肝臓内科外来、化学療法外来、緩和ケア外来を設置しており、消化器に関連する幅広い疾患・病態に対応している。入院では消化器疾患の患者の他、他臓器がんの緩和医療も担っている。また血液内科の入院患者の主治医・担当医として、血液内科診療をサポートしている。

1. 消化器がん診療の充実

大阪府がん診療拠点病院・日本がん治療認定医機構認定研修施設・日本消化器病学会認定施設・日本消化器内視鏡学会指導施設として、消化器がんの診断・内視鏡治療・抗がん剤治療・緩和医療の充実を図り、消化器がん診療の更なる発展を目指す。がん化学療法においては、外来化学療法センターを中心に大阪医科薬科大学化学療法センターと連携して更なる充実を図る。

2. 新規入院患者数の増加

登録医への営業活動、研究会などを通じて登録医との連携を更に強化する。また消化器内科患者の入院数増加を図り、退院支援・MSW の協力のもと平均在院日数の減少を目指す。

3. 外来診療の強化

登録医との連携を通じて消化器内科外来診療を効率的に行う。大阪医科薬科大学第 2 内科からの派遣医師による肝臓内科外来・化学療法外来の専門外来を更に充実させる。

4. 消化器内科診療の質的向上

消化器内科スタッフの拡充・充実を目指し、専攻医・臨床研修医への指導体制を強化して、消化器内科診療の質的向上を図る。また内科専門医制度にも対応した専攻医の研修体制を確立し、魅力ある診療科を目指す。

5. 登録医との密な連携

紹介状での診療情報提供だけではなく、登録医との“顔の見える”連携により地域医療に貢献する。登録医の先生に講演会の座長 / 講師を依頼するなど、登録医との更なる連携強化を図る。

6. 消化器内視鏡検査件数の増加

検査・治療施行医の充足を目標に、内視鏡・周辺機器などの新規導入・更新により消化器内科検査件数の増加を目指すとともに、安全で質の高い消化器内科検査・治療を行う。またオープン検査の広報を行うことによる紹介検査件数の増加を目指す。

7. 学術活動の推進

学会・研究会・論文などの学術的な発表を更に推進し、消化器内科全体のレベルアップを図り、北摂総合病院のブランド力の強化に繋げる。

8. 血液内科の入院患者の担当

当院の消化器内科は血液内科の入院患者も担当しており、京都大学血液・腫瘍内科、高槻赤十字病院血液内科と連携して診療を行う。

Ⅲ 消化器内科　患者数実績

【外来】	初診患者数	再診患者数	外来延べ患者数	1日平均患者数
2014年度	1,161	10,337	11,498	39
2015年度	1,350	10,847	12,197	41
2016年度	1,235	10,211	11,446	39
2017年度	1,181	10,803	11,984	41
2018年度	1,062	11,019	12,081	41
2019年度	1,014	11,359	12,373	42
2020年度	999	10,909	11,908	41
2021年度	1,133	11,540	12,673	39
2022年度	1,030	10,665	11,695	40
2023年度	998	9,876	10,874	37

【入院】	新入院数	退院数	在院延べ患者数	1日平均在院数	平均在院日数
2014年度	1,723	1,672	16,481	45.2	9.7
2015年度	1,760	1,677	17,219	47.0	10.0
2016年度	1,902	1,825	18,775	51.4	10.1
2017年度	1,821	1,764	20,720	56.8	11.6
2018年度	1,655	1,617	18,083	49.7	11.1
2019年度	1,772	1,750	17,086	46.7	9.7
2020年度	1,823	1,748	16,786	46.0	9.4
2021年度	1,801	1,750	16,862	46.2	9.5
2022年度	1,542	1,497	14,814	40.6	9.7
2023年度	1,590	1,539	13,402	36.6	8.6

Ⅳ 消化器専門外来（2024年6月1日現在）

	月	火	水	木	金	土
午前	佐野村		碕山	佐野村	朝井＊	西川
	由上＊＊		西谷＊＊	西谷＊＊		西谷＊＊
				福田＊		
午後	佐野村		佐野村		担当医	

＊：肝臓内科
＊＊：がん化学療法外来・緩和ケア外来

Ⅴ 各種消化器検査

	月	火	水	木	金	土
消化管透視	放射線科	放射線科	放射線科	○	放射線科	放射線科
上部消化管内視鏡検査	○	○＊	○	○＊	○	○＊
逆行性膵胆管造影、胆道処置、肝生検		○＊ △＊				
大腸内視鏡検査	△＊	△＊	△＊	△＊	△＊	△
腹部エコー	△		○		○	

○：午前　△：午後　＊：大阪医大2内科より派遣

Ⅵ 過去５年間における各種消化器検査及び処置件数（2019.4.1 ～ 2023.3.31）

項　目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
○上部消化管内視鏡　経口	1,678	1,615	1,568	1,442	1,451
経鼻	1,341	1,069	1,354	1,250	1,194
緊急止血術	126	123	92	86	127
食道静脈瘤硬化療法（EIS）	1	0	3	5	0
食道静脈瘤結紮術（EVL）	12	24	20	9	19
異物除去	19	10	16	12	9
胃瘻造設術（PEG）	19	17	12	12	8
PEG 交換	29	31	37	33	32
粘膜切除術（EMR）・粘膜下層剥離術（ESD）	18	30	36	32	36
超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）	26	13	10	5	5
超音波内視鏡（EUS）	79	49	68	64	39
カプセル内視鏡	9	18	3	3	2
○下部消化管内視鏡（CF）	1,963	1,816	1,887	1,727	1,625
粘膜切除術（EMR）・粘膜下層剥離術（ESD）	585	633	676	620	460
緊急内視鏡（止血等）	44	39	43	34	37
○逆行性膵胆管造影（ERCP）	255	199	207	175	138
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	3	1	2	0	0
乳頭括約筋切開術（EST）	86	67	91	52	59
胆管ドレナージ（ステント挿入）	159	117	137	121	83
結石除去	75	94	101	57	57
○経皮的胆管ドレナージ（PTCD）	4	2	9	0	0
経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）	5	0	0	2	2
○経皮的エタノール注入療法（PEIT）	0	2	0	0	0
腹部エコー	1,218	1,099	1,021	1,108	940
腹部血管造影	14	10	5	4	0
肝生検	10	22	12	21	7
○イレウス管挿入術	61	46	47	53	40
小腸造影	3	18	3	9	28
上部消化管透視	201	245	133	171	108
注腸	73	33	50	36	11
CV ポート挿入術	42	29	45	31	19

＜血液内科＞

【非常勤医師】　越智 陽太郎、岡崎 俊朗、長谷川 稔

Ⅶ 血液内科　患者数実績

血液内科疾患の入院患者は、京都大学血液・腫瘍内科の先生のサポートを受けながら、消化器内科医が担当している。

血液内科　2023年度退院患者数(大分類別･主病名別)

大分類名	主 病名	計
02・新生物	びまん性大細胞型Ｂ細胞性リンパ腫	8
	リンパ節腫	1
	悪性リンパ腫	4
	急性白血病	1
	骨髄異形成症候群	2
	多発性骨髄腫	6
03・血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	出血性貧血	1
	小球性貧血	9
	腎性貧血	2
	正球性貧血	2
	大球性貧血	2
	鉄欠乏性貧血	12
	播種性血管内凝固	1
	貧血	10
総計		61

Ⅷ 血液内科専門外来

	月	火	水	木	金	土
午前 予約		越智				
午後 予約					岡崎 長谷川	

IX 2023 年度　学会・研究会・論文発表

〈学会発表・研究会発表・講演・座長・司会など〉

■北摂血液連携セミナー　2023.4.12　高槻 /Web 開催
総合司会：佐野村 誠

■兵庫消化器疾患フォーラム　2023.4.20　神戸 /Web 開催
慢性便秘症と大腸癌～ルビプロストンの話題を含めて～
◯佐野村 誠

■第 244 回 大腸疾患研究会　2023.4.21　大阪 /Web 開催
形態変化を来した直腸粘膜脱症候群の 1 例
◯佐野村 誠

■キャリアサポートを考える会　in　高槻　2023.5.9　Web 開催
講演 2　座長：佐野村 誠

■ヴィアトリス Web 講演会　2023.5.24　Web 開催
慢性便秘症診療の課題とルビプロストンの特性
◯佐野村 誠

■第 105 回 日本消化器内視鏡学会総会　2023.5.25-27　東京
一般演題　座長：佐野村 誠

■第 77 回 関西早期大腸癌勉強会　2023.6.6　Web
司会：佐野村 誠

■第 245 回 大腸疾患研究会　2023.6.9　大阪 /Web
盲腸にアフタを伴った家族性地中海熱の 1 例
◯佐野村 誠

■第 245 回 大腸疾患研究会　2023.6.9　大阪 /Web
読影者：碕山 直邦

■第 321 回 広島胃と腸疾患研究会　2023.6.13　広島
A 型胃炎（自己免疫性胃炎）に合併した胃幽門腺腺腫内癌の 1 例
◯佐野村 誠

■消化器疾患 Web セミナー　2023.6.22　Web
大腸粘膜下腫瘍様病変に対する内視鏡診断～エロビキシバットの話題を含めて～
○佐野村 誠

■第 110 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2023.6.24　大阪
Young Endoscopist Session　胃原発胎児消化管類似癌の 1 例
○山田 達明、佐野村 誠、辻 沙也佳、冨永 真央、坂口 奈々子、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、西川 浩樹

■第 240 回 日本内科学会近畿地方会　2023.6.24　神戸
血液維持透析中の十二指腸神経内分泌癌患者に対してカルボプラチン＋エトポシド療法を導入した 1 例
○山田 達明、由上 博喜、武本 憲彦、山﨑 瑛貴、桶本 大、亀石 眞、後藤 昌弘、山口 敏史、西川 浩樹

■ Tea time Conference in Hokusetsu　2023.6.29　Web
抗がん剤治療のトピックス
○西谷 仁

■ Kowa Web Conference　2023.6.29　Web
中性脂肪と脂肪肝～腸内細菌の話題を含めて～
○佐野村 誠

■ IBD Lecture tour in Osaka　2023.6.30　大阪
AZA と妊娠
○碕山 直邦

■北河内慢性便秘症治療 WEB セミナー　2023.7.6　大阪 /Web
慢性便秘症と大腸癌～エロビキシバットの話題を含めて～
○佐野村 誠

■第 7 回 岡山排便障害研究会　2023.7.8　岡山
慢性便秘症と大腸癌～ルビプロストンの話題を含めて～
○佐野村 誠

■第 23 回 臨床消化器病研究会　2023.7.15　Web
消化管癌（形態学）下部消化管：「直腸・肛門病変の鑑別診断」
読影者：佐野村 誠

■第 485 回 大阪胃研究会　2023.7.19　Web
大腸顆粒細胞腫の 1 例
　○佐野村 誠

■第 37 回 関西腸疾患セミナー　2023.7.21　大阪
診断に苦慮した十二指腸病変の 1 例
　○碕山 直邦

■安芸高田市医師会学術講演会　2023.9.19　安芸高田
慢性便秘症慎重の課題とルビプロストンの特性
　○佐野村 誠

■成人 CD 短腸症候群　Real World Meeting　2023.9.21　Web
Panel Discussion　短腸症候群治療の現状と課題　～ 2 年で明らかになってきたこと～
ディスカッサー：碕山 直邦

■アロカリス発売 1 周年記念講演会　2023.9.23　大阪
ディスカッサント：西谷 仁

■第 119 回 日本消化器病学会近畿支部例会　2023.9.30　大阪
Young Investigator Session　鉄剤の長期投与による続発性ヘモクロマトーシスの 1 例
　○辻 沙也佳、西川 知宏、山田 達明、冨永 真央、坂口 奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、佐野村 誠、植田 初江、
　西川 浩樹

■第 105 回 安佐消化器病フォーラム　2023.10.5　広島
慢性便秘症と大腸癌～リナクロチドの話題を含めて～
　○佐野村 誠

■第 32 回 日本がんチーム医療研究会　2023.10.14　大阪
一般演題　司会：佐野村 誠

■第 65 回 日本消化器病学会大会（JDDW2023） 2023.11.2　神戸
Taclolimus 抵抗性潰瘍性大腸炎に対する Infliximab 追加併用療法の可能性
　○碕山 直邦、柿本 一城、宮嵜 孝子、佐野村 誠、中村 志郎、西川 浩樹

■第 61 回 日本消化器がん検診学会大会（JDDW2023） 2023.11.2　神戸
ランチョンセミナー　大腸がん検診と大腸内視鏡検査～硫酸塩製剤による前処置法～
　○佐野村 誠

■第 78 回 日本大腸肛門病学会学術集会　2023.11.10　熊本
ワークショップ　Taclolimus 抵抗性潰瘍性大腸炎に対する Infliximab 追加併用療法の有用性に関する臨床的検討
○碕山 直邦、柿本 一城、宮嵜 孝子、佐野村 誠、中村 志郎、西川 浩樹

■第 78 回 日本大腸肛門病学会学術集会　2023.11.11　熊本
形態変化を来した直腸粘膜脱症候群の 1 例
○佐野村 誠、山田 達明、辻 沙也佳、冨永 真央、坂口 奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、植田 初江、森川 浩志、西川 浩樹

■第 111 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2023.11.18　大阪
Young Endoscopist Session　自己免疫性胃炎に合併した幽門腺腺腫内癌の 1 例
○山田 達明、佐野村 誠、辻 沙也佳、冨永 真央、坂口 奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、西川 浩樹

■第 111 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2023.11.18　大阪
Fresh Endoscopist Session　内視鏡的に切除した大腸神経鞘腫の 1 例
○疋田 千晶、佐野村 誠、山田 達明、辻 沙也佳、冨永 真央、坂口 奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、植田 初江、西川 浩樹

■第 45 回 日本消化器内視鏡学会近畿セミナー　2023.11.26　Web
大腸腫瘍の内視鏡診断と治療
○佐野村 誠

■第 14 回 日本炎症性腸疾患学会学術集会　2023.12.1-2 神戸
タクロリムス抵抗性潰瘍性大腸炎に対するインフリキシマブ追加併用療法に関する臨床的検討
○碕山 直邦、柿本 一城、宮嵜 孝子、佐野村 誠、中村 志郎、西川 浩樹

■第 45 回 日本肝臓学会西部会　2023.12.7-8　京都
血清 AFP 高値と肝腫瘍を認めた胃原発肝様腺癌の 1 例
○佐野村 誠、西川 知宏、西川 浩樹

■第 242 回 日本内科学会近畿地方会　2023.12.9　豊中
食道粘膜剥離による吐血にて発症した天疱瘡の 1 例
○三澤 風花、佐野村 誠、山田 達明、辻 沙也佳、冨永 真央、坂口 奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、植田 初江、西川 浩樹

■糖尿病×肝臓フォーラム in 三島　2023.12.12　高槻
Special Lecture
座長：佐野村 誠

■ IBD Session with the Expert　2023.12.20　高槻
ディスカッション「クローン病治療の最適化を目指して」
座長：佐野村 誠
パネリスト：碕山 直邦

■内科医 / 外科医クローン病治療連携セミナー　2024.1.18　高槻
内科・外科治療の現状について
座長：佐野村 誠

■消化器フォーラム Day1　2024.1.24　Web
座長：佐野村 誠

■第 120 回 日本消化器病学会近畿支部例会　2024.1.27　神戸
胃壁膿瘍を合併した胃迷入膵の 1 例
○冨永 真央、佐野村 誠、山田 達明、辻 沙也佳、松尾 奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、阿部 信貴、西内 善彦、川﨑 浩資、豊田 昌夫、植田 初江、西川 浩樹

■第 20 回 日本消化管学会総会学術集会　2024.2.9　宜野湾
症例検討セッション（下部消化管）
読影・コメンテーター：佐野村 誠

■第 20 回 日本消化管学会総会学術集会　2024.2.10　宜野湾
タクロリムス抵抗性潰瘍性大腸炎に対するインフリキシマブ追加併用療法による手術回避の可能性
○碕山 直邦、柿本 一城、宮嵜 孝子、佐野村 誠、中村 志郎、西川 浩樹

■第 36 回 高槻市医師会勤務医会総会　2024.2.15　高槻
司会：佐野村 誠

■第 248 回 大腸疾患研究会　2024.2.16　Web
回盲部の単純性潰瘍の 1 例
○佐野村 誠

■慢性便秘症治療講演会　2024.2.17　大阪
大腸内視鏡検査と慢性便秘症～リナクロチドの話題を含めて～
○佐野村 誠

■胃内視鏡検診講演会　2024.2.24　高槻
ヘリコバクター・ピロリ未感染胃腫瘍の症例呈示
〇佐野村 誠

■第 2 回 大阪肝疾患 WEB カンファレンス　2024.2.29　Web
パネルディスカッション：当院における肝性脳症の診断・治療～改訂ガイドラインを踏まえた治療戦略～
パネリスト：佐野村 誠

■消化器疾患と不眠症の関係を考える会 in 三島　2024.3.7　高槻
レンボレキサントによる不眠治療の新潮流～当院のせん妄リスク対策も含めて
〇佐野村 誠

■早期胃癌研究会 3 月度例会　2024.3.13　Web
司会（下部消化管）：佐野村 誠

■第 33 回 日本がんチーム医療研究会　2024.3.16　大阪
中学生に対する“がん教育”の取り組み
〇佐野村 誠、西谷 仁、松尾奈々子、増井香奈、京林裕美

＜論文・著書・その他＞

■碕山 直邦、佐野村 誠、植田 初江、廣瀬 善信、西川 浩樹．Case 4（大腸神経鞘腫）．
胃と腸　58: 1382-1385, 2023

■佐野村 誠、疋田 千晶、山田 達明、辻 沙也佳、冨永 真央、松尾 奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、廣瀬 善信、西川 浩樹．自己免疫性胃炎に合併した幽門腺腺腫内癌の 1 例．
胃と腸　59: 101-109, 2024

■佐野村 誠、山田 達明、辻 沙也佳、冨永 真央、松尾奈々子、碕山 直邦、西谷 仁、朝山 直樹、永田 信二、中沢 啓、川上 研、小木曽 聖、清水 誠治、植田 初江、廣瀬 善信、西川 浩樹．大腸非上皮性ポリープの鑑別診断　腫瘍性ポリープ　内視鏡診断の立場から．
胃と腸　59: 197-210, 2024

2-3. 呼吸器内科

スタッフ

部　　長：貴島 源一

非常勤医師：田村 洋輔（2016 年 10 月～毎週金曜午前外来）

辻 博行（2018 年 4 月～月曜気管支鏡検査）

鶴岡 健二郎（2020 年 4 月～木曜外来と入院患者）

船本 智哉（2021 年 4 月～火曜午前外来）

坂口 翔平（2023 年 4 月～ 2024 年 3 月まで水曜入院患者）

2023 年度も常勤医一人体制で貴島が呼吸器外科の越智の協力で呼吸器内科の診療を行った。非常勤医師も昨年度同様に月曜から金曜まで大阪医科薬科大学からの非常勤医師の協力を得た。特に肺癌症例に関しては、気管支鏡認定医の辻とがん薬物療法専門医の鶴岡、田村との十分な症例検討の下で診断および治療の選択を行った。

〈外来及び入院〉

外来は貴島が月曜と水曜に呼吸器内科外来を、非常勤医師は船本が火曜の外来、鶴岡が木曜の外来、田村が金曜の外来を担当した。尚、鶴岡と田村は肺癌症例の診療を中心とした外来を担当した。

外来の患者数の 1 ヶ月平均は 2020 年度 313 名、2021 年度 360 名、2022 年度 320 名、2023 年度 317 名とほぼ横ばいに推移し 2023 年度の年間紹介患者は 646 名であった。

呼吸器内科 年度別疾患別入院患者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
COPD･喘息	71	34	32	19	48
誤嚥性肺炎	63	45	37	38	34
睡眠時無呼吸症候群	18	22	28	14	15
間質性肺炎	45	36	42	21	20
肺炎･気管支炎	145	76	61	79	80
肺癌	136	121	107	111	95
胸膜炎･気胸	11	9	6	2	18
膿胸	10	6	4	4	10
その他	79	40	62	37	46
計	578	389	379	325	366

入院患者は上記の表に示したように常勤医が一人体制になった 2020 年度以降は 300 人台で経過し、2023 年度は 366 症例とコロナ禍の影響で減少した入院患者数の回復を認めた。しかし、常勤医一人体制のため呼吸器疾患患者の全例を呼吸器内科だけで受け持つことはできず、市中肺炎や高齢の誤嚥性肺炎などの症例は呼吸器内科以外の診療科で入院治療を協力して頂いた。又、膿胸などドレナージなど外科的な対応が必要な症例は主に呼吸器外科に担当して頂いた。

2017 年度からは呼吸器内科と外科が共同して行う新たな気管支鏡検査の体制が整い肺癌手術症例、抗癌剤治療症例も一定数を維持している。（肺癌化学療法レジメン件数参照）

2014 年 10 月より 65 歳以上で定期接種となった肺炎球菌ワクチンは毎週外来で接種を続けており、毎年秋に行っているインフルエンザワクチン接種、呼吸器病棟で行っている誤嚥性肺炎予防のマウスケアなどを推進して今後も積極的な肺炎予防に取り組みたい。

〈肺癌化学療法レジメン件数〉

がん薬物療法専門医である大阪医科薬科大学の田村、鶴岡の協力の下、積極的に入院及び外来での肺癌化学療法の導入を推進し、肺癌化学療法のレジメン件数は下記に示すよう 2021 年以降年間 200 件前後で推移している。

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
肺癌化学療法レジメン件数	116	120	190	212	192

〈気管支鏡検査〉

2016 年 11 月までは呼吸器外科が中心で気管支鏡検査を行っていたが、呼吸器外科医の退職で一時検査は中断し 2017 年度から再開。2019 年度からは呼吸器外科越智と非常勤医辻による毎週月曜の気管支鏡検査の体制を整え、他病院からの紹介症例にも対応している。

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
気管支鏡検査	47	83	75	54	57	43	35

〈外来の在宅酸素療法症例数、CPAP 治療症例数〉

慢性呼吸不全症例に対する在宅酸素療法と、睡眠時無呼吸症候群に対する CPAP 治療の夫々の月平均の外来での管理患者数は以下の通りで、在宅酸素療法に関しては登録医での管理を依頼することもあり 2022 年度はやや減少傾向であったが 2023 年度は再び 20 人台となっている。2005 年頃より開始した CPAP 治療はここ数年 80 人台で推移している。

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
在宅酸素療法	20.1	22.9	23.0	21.1	23.4	13.2	22.0
CPAP 治療	74.8	84.0	80.7	82.7	85	82.3	80.4

〈呼気一酸化窒素測定〉

2024 年 1 月より、気道の好酸球炎症の程度を数値化できる呼気一酸化窒素測定機器（NO breath）を導入し、慢性・遷延性咳嗽の診断や COPD、気管支喘息治療の効果判定に役立っている。2024 年 1 ～ 3 月の検査件数は 67 件であった。

〈学会・研究会発表など〉

2023 年 6 月 16 日　重症喘息を考える Web seminar
【Discussion ～重症喘息を再考する～】
司会：貴島源一　　オンライン開催（Zoom）

2024 年 2 月 13 日　Biological Up to Date
一般公演　司会：貴島源一　　オンライン開催（Zoom）

2-4. 糖尿病・内分泌内科

スタッフ

部　長：竹内 徹

〈外来総括〉

従来週 3 回の糖尿病内分泌内科枠（火午前･水午前･木午後）並びに週 2 回の総合内科枠（月午前･木午前）を中心に予約診療を継続していたが、一部外来枠の調整が行われた。また諸般の事情から昨年末、並びに本年 4 月から各 1 名ずつの非常勤医師を迎え外来需要拡張を図るに至った。一方、当該外来患者数はやや減少傾向にあり、新型コロナ感染症に伴う受診控えや糖尿病随伴合併症の進行・悪化から一般診察から離脱したものが散見された。これらの患者数変動は糖尿病合併症治療介入として他科からの血糖管理依頼数で相殺され、総じて当院として対応している糖尿病患者数に大きな変化はないものと思われる。

昨年より不定ながら協力頂いている糖尿病療養指導（看護師）1 名の診療サポートは本年も継続頂いており、診療補助の役割に止まらず合併症の評価や短時間の診療内では解決できない糖尿病治療における問題点の洗い出しに極めて有効な活動を続けている。また、これらの活動はタスクシフトに繋がっており、若干ながら診療時間の短縮となった。

＞初診・紹介患者について

近年の糖尿病治療の進化やガイドラインの整備から、糖尿病に対する初期治療導入は比較的容易になっており、当院初診となる患者層は概ね登録医からの血糖コントロール悪化症例に対する精査依頼、並びに検診等にて高血糖を指摘された症例であった。前者においては事前に提供された情報から血糖悪化の原因を推察する事が多いが、糖尿病以外の疾患（内分泌疾患や悪性腫瘍等）が認められる事がある。元来 DPC の観点から画像検査や生理検査等は外来での実施が望ましいが、検査スケジュールを組み込むと数週間～数ヶ月に渡る事となり、悪性腫瘍の場合その治療タイミングを失う事になりかね無い事ため、可能な範囲で入院精査を勧める様に対応した。また、特に高齢者において入院後に認知症が指摘される事が多く、入院後の対応を苦慮する場面も多かった。後者においては、糖尿病代謝関連の詳細なデータが無い場合が多く、一旦当方での血液検査再検や栄養指導の介入などを案内し再診対応とし糖尿病教育、指導継続とした。

＞再診患者について

従来通り慢性疾患を扱うため殆どが再診患者であり、数年来の傾向に大きな変化の無かった 1 年であった。特に SGLT2 阻害薬は発売後 10 年を迎えクリニカルエビデンスを多く有する薬剤へとなり外来患者においても治療効果を高める結果が得られている。また体重管理で話題となった GLP-1 受容体作動薬は昨年までの処方制限がなくなり、安定供給がなされる様になったため、これら使用患者も増加傾向にある。これら薬剤は糖尿病治療レベルの向上に繋がっており、引き続き外来患者数受け入れの底上げに繋がっているものと思われる。

〈入院総括〉

一般的な血糖コントロール悪化症例に対する精査目的入院は実数的にも横ばい傾向にあった。また、従来定期的に認められていた高血糖高浸透圧症候群や糖尿病性ケトアシドーシスによる入院も減少、清涼飲料水ケトーシスと思われる急性高血糖が原因の入院が横ばいであった。他院における糖尿病内科が担当する入院患者層を見ると、これら糖尿病急性期合併症の受け入れ割合は多く、2 次救急病院としての役割を

果たしているものと言える。

一般的な糖尿病教育入院数の減少は外来治療レベルの底上げ出来た結果であるが、結果本年度の教育入院数の底上げは出来なかった。入院中の糖尿病教育・指導については従来通りビデオ等の資料や院内作成のパンフレットを通じて実施継続としたが、昨年度検討した古い資料の改定が出来なかったのは反省点である。

■ 2023 年度　外来・入院患者数

外来初診患者数：54

外来延べ患者数：3,993

新　入　院　数：74

在院延べ患者数：1,331

総合内科外来患者数（当方担当患者）：1,145

■ 2023 年度　糖尿病・内分泌内科退院患者数

MDC分類名称	計
グラム陰性桿菌敗血症	1
鉄欠乏性貧血	1
1型糖尿病性ケトアシドーシス	2
2型糖尿病･ケトアシドーシス合併あり	1
2型糖尿病･眼合併症あり	1
2型糖尿病･神経学的合併症あり	2
2型糖尿病･腎合併症あり	5
2型糖尿病･多発糖尿病性合併症あり	1
2型糖尿病･糖尿病性合併症あり	3
2型糖尿病･糖尿病性合併症なし	5
2型糖尿病･末梢循環合併症あり	3
2型糖尿病性ケトーシス	12
2型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	6
2型糖尿病性低血糖性昏睡	5
2型糖尿病性末梢神経障害	1
ステロイド糖尿病･腎合併症あり	1
高カリウム血症	1
高血糖高浸透圧症候群	1
脱水症	1
低血糖	4
低血糖昏睡	1
来院時心肺停止	1
気管支肺炎	2
急性呼吸不全	1
慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	2
急性腎盂腎炎	2
COVID−19	3
COVID−19肺炎	1
総　計	70

2-5. 総合内科

スタッフ

部　　長：玄 武司
医　　長：黄俊 貴文
非常勤医師：西村 綾

総合内科外来診療、入院診療は下記の通りであった。

1. 外来診療

外来は月曜から土曜まで毎日午前診療が行われており西村先生、黄俊先生、玄が担当した。該当患者は紹介患者、直来の初診患者、専門外来以外の症状の専門外来通院患者と健康診断である。初診患者で専門医の診察が必要と判断されればERの協力の下、専門医と連絡をとり専門医の診察を受けて頂いた。問診で可及的迅速に状態把握が必要とされる患者は看護部で診察前バイタルサインのチェックをしていただきバイタルサイン不良患者はERで対応して頂いた。発熱患者は2020年3月から新型コロナウイルス感染防御対策のリモート診療による発熱外来が設置されていたが、同感染者数の減少と軽症化で2023年12月から内科、外科に関係なく専門医先生も参加していただいた従来のリモート発熱外来は一旦廃止し、発熱患者は全面的に総合内科が担当した（PCR陽性患者はリモート診察)。現状では問題なく診療できている。

総合内科1日平均外来患者数は、総合内科／全内科 = 22 ／ 147 = 0.15（15%）であった。

2. 入院診療

総合内科は玄が入院患者振り分けを行い各専門医協力の下、各内科専門外の入院患者の診療に当たった。入院診療は①総合内科入院患者診療と②他科入院中患者のコンサルテーション（対診依頼）である。

① 総合内科入院患者診療

常勤医師のいる専門領域（消化器内科、循環器科、糖尿病内科、呼吸器内科、血液内科）以外の入院患者は黄俊先生が主に主治医、玄が担当医となり一患者二医師制で対応した。この間、ローテート中の臨床研修医の先生方が入院患者診療に加わり研修された。いわゆる不明熱、尿路や皮膚軟部組織を中心とした感染症やそれに伴う敗血症 / 敗血症性ショック、市中肺炎、誤嚥性肺炎、COVID-19感染症、低Na血症、低K血症を中心とする電解質異常、脱水症、熱中症、帰宅困難の耳鼻科関連の末梢性眩暈、急性アルコール中毒、薬物中毒、老衰で経口摂取不良となった患者まで実に多彩で機動力を発揮して対応した。総合内科入院の内訳は下記に記す。

② 他科入院中患者のコンサルテーション（対診依頼）

特に外科系入院中の発熱患者、原因がはっきりしない炎症反応高値患者、電解質異常患者、薬疹を含む皮疹患者、薬剤によると思われる血球減少患者である。入院中の発熱や炎症反応高値患者に対しては後半期に入院中発熱check listを作成して対診診療に役立てた。

2023 年度　総合内科 入院患者数（ICD-10 大分類）

大分類名	計		大分類名	計
01・感染症及び寄生虫症	33		09・循環器の疾患	8
02・新生物	2		10・呼吸器の疾患	87
03・血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	4		11・消化器の疾患	5
04・内分泌、栄養及び代謝疾患	59		12・皮膚及び皮下組織の疾患	3
05・精神及び行動の障害	5		13・筋骨格系及び結合組織の疾患	11
06・神経系の疾患	10		14・尿路性器系の疾患	76
08・耳及び乳様突起の疾患	22		19・損傷、中毒及びその他の外因の影響	29
総　計				354

2-6. 内科症例検討会

内科診療部門の医師が参加して週１回（水曜日朝８時より）症例検討会を行っている。

日　付	年齢	性別	症　例
2023年 3月29日			新型コロナウイルス感染症
	35	F	over dose
2023年 4月 5日			新型コロナウイルス感染症
2023年 4月12日	50	M	胃前庭部 GIST　迷入膵に合併した胃壁腫瘍
2023年 4月19日	42	M	慢性腎不全
2023年 4月26日	62	M	敗血症性ショック　肝膿瘍
2023年 5月10日	81	M	右上葉肺腺癌
2023年 5月17日	62	M	敗血症性ショック
2023年 5月31日	58	F	尋常性天疱瘡疑い
2023年 6月21日	89	F	胆管結石　心不全
	70	M	敗血症性ショック　胆のう炎
2023年 6月28日	81	M	新型コロナウイルス感染症
2023年 7月19日	87	F	右下腿軟部肉腫
2023 年10 月4 日	51	F	皮疹、小腸炎、蛋白尿・顕微鏡的血尿；IgA 血管炎の疑い
2023年10月11日	75	M	腸腰筋膿瘍
	52	M	SMA 解離
2023年10月18日		M	SMA 解離
2023年11月 6日	62	M	大腸癌
	74	F	PAF　大腸癌、腸重積疑い
2023年11月22日	72	M	CD 腸炎
2023 年12 月27 日	78	M	多発性骨髄腫　心アミロイドーシス
2024年 1月15日	42		早期大腸癌
	73	F	横行結腸癌 stage Ⅱ A
	71	M	直腸癌
	73	F	SMA 解離状結腸捻転
2024年 1月22日	39	F	下腹部痛　NRS 10/10

3. 小児科

スタッフ

部　　長：八上 隆行
医　　員：水谷 翠
非常勤医師：清水 達雄
非常勤医師：黒柳 裕一

当院小児科は常勤医師２名（八上、水谷）、非常勤医師２名（清水：小児循環器、黒柳：小児内分泌）体制での診療を行っています。常勤医２名で一般診療を担当しつつ、八上はアレルギー疾患を担当。食物経口負荷試験、舌下免疫療法（スギ・ダニ）も行っています。水谷は心身症を担当。患者数の増加に伴い、初診枠を木曜日午後１枠、新たに設けました。なお、心理士による発達検査も週１回行っています。新型コロナ感染症の五類移行に伴い、感染症や専門外来を含めた患者数は増加傾向にあります。新規紹介患者受け入れにはまだゆとりがありますので、それぞれの専門診療に加え、精査及び入院紹介を登録医先生からお願いしたい状況です。信頼関係を大切に、責任をもって対応いたします。今後とも引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

〈外来診療〉

年　度	2019	2020	2021	2022	2023
外来患者数	2,623	1,778	1,597	2,716	3,308

～ 2021 年 6 月：清水、水谷二人体制　2021 年 7 月～ 2022 年 1 月：清水一人体制
2022 年 2 月～：八上、水谷二人体制

一般外来診療は八上が月・火・水曜日午前、水谷が木・金・土曜日午前を担当。ただし土曜日は患者側受診希望も多く、水谷／八上の２診体制です。なお多忙時は診療枠にとらわれず、八上・水谷が臨機応変に協力して診療を行っています。専門外来は、水谷が心身症外来（初診：木曜日午後予約制、再診：水・金曜日午後予約制）、清水が小児循環器外来（火曜日午前予約制）、黒柳が小児内分泌外来（金曜日午後予約制）を継続して行っています。なお八上のアレルギー診療は現状一般外来枠で診療。ただ、食物経口負荷試験は木曜日午前予約制で行っています。なお毎週火曜日は三島地域広域小児救急の二次輪番救急病院として、夜間小児救急診療を行っています。それ以外の時間外診療も必要に応じ受け入れていますので、必要な場合はぜひご連絡ください。

〈入院診療〉

年　度	2019	2020	2021	2022	2023
入院患者数	113	31	13	26	43
平均在院日数	3.0	2.9	2.7	2.6	3.7

～ 2021 年 6 月：清水、水谷二人体制　2021 年 7 月～ 2022 年 1 月：清水一人体制
2022 年 2 月～：八上、水谷二人体制

登録医の先生からの紹介や救急搬送からの入院が増加傾向にあります。内訳は呼吸器感染症や消化管感染症が主ですが、川崎病、薬疹、蜂窩織炎などにも対応しています。当院で対応できる疾患については責任を持って対応いたしますので、登録医の先生方からのご紹介をぜひよろしくお願いいたします。

【八上 隆行】

資　格

- 日本小児科学会認定小児科専門医
- 日本小児アレルギー学会認定アレルギー専門医（小児科）
- 社団法人日本病院会　臨床研修指導医養成講習会終了（臨床研修指導医）

【水谷 翠】

資　格

- 日本小児科学会認定小児科専門医
- 日本小児心身症学会認定小児心身症専門医
- こどものこころ専門医

■ 2023 年度　小児科退院患者数（大分類別・主病名別）

大分類名	主病名	計
01・感染症及び寄生虫症	ヘルパンギーナ	1
	咽頭結膜熱	1
	感染性胃腸炎	1
	肺炎球菌感染症	3
04・内分泌、栄養及び代謝疾患	ケトン血性嘔吐症	2
06・神経系の疾患	眼性片頭痛	1
09・循環器の疾患	起立性調節障害	1
10・呼吸器の疾患	RS ウイルス気管支炎	2
	RS ウイルス肺炎	2
	アデノウイルス咽頭炎	1
	アデノウイルス肺炎	1
	インフルエンザ気管支炎	1
	インフルエンザ菌気管支炎	1
	ヒトメタニューモウイルス気管支炎	4
	気管支肺炎	5
	急性化膿性扁桃炎	2
	急性気管支炎	2
	急性肺炎	2
	急性扁桃炎	1
	小児喘息性気管支炎	1
	連鎖球菌性咽頭炎	1
	連鎖球菌性扁桃炎	1
11・消化器の疾患	麻痺性イレウス	1
13・筋骨格系及び結合組織の疾患	川崎病	2
18・症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	熱性痙攣	3
総　計		43

4. 一般・消化器外科

スタッフ

主 任 部 長：豊田 昌夫
部　　長：川﨑 浩資
医　　長：なし
医　　員：西内 善彦、阿部 信貴
非常勤医師：一般消化器外科（土曜日）：鈴木 悠介
乳腺外科：高井 早紀（火）、碇 絢菜（木）

まず外科メンバーの人事について報告いたします。2022 年 4 月 1 日より大阪医科薬科大学：救急医療部から外科枠で当院に派遣されていた島津和晃 Dr が、予定通り一年間の後期研修が終了し 2023 年 3 月末で大学に戻りました。しかし大阪医科薬科大学：一般消化器外科学教室からも救急医療部からもこれに代わる補充はありませんでした。このため 5 人体制であった 2022 年度から、2023 年度は外科メンバーが一人減の 4 人での診療体制となりました。ただし現有の 4 名は主任部長の豊田、部長の川﨑、医員の西内、阿部と前年度から変わらず、気心もわかっておりましたので、一人減の 4 人体制になってもしっかりと診療を重ねていきました。

2023 年度は新型コロナ感染の流行が 4 年目に入り、以前より沈静化したため 5 月には 5 類に移行されました。しかし以前ほどではないにしろ、やはり再流行の波があり、外科の主力病棟である 5 階病棟でも患者さんやスタッフでのコロナ感染発症が何度も生じました。特に冬にはコロナ / インフルエンザ両方の同時流行もあり、必要最低限の入院制限を行わざるを得ない時期がありました。そのような中、アフターコロナで入院患者数が減少して全国の病院が四苦八苦されている状況が持続しており、われわれ外科でも何とか入院患者数 / 手術件数を確保することを最大の目標として日々の診療に邁進いたしました。

外科では行動目標として年間 400 例の手術症例数、100 例の癌疾患手術数を掲げて、昨年と同様に≪患者さんを逃がさない、救急を断らない≫を合言葉に日常診療を行いました。その結果、全手術症例数は 420 例と、行動目標に掲げた 400 例を超えて目標達成ができました。5 人体制であった前年度の 425 例よりはわずかに減少したものの、4 人体制でもほぼ同じ件数を得ることができました。悪性腫瘍の手術症例も、前年と同様にコロナ禍で検診控え / 検査控えが進んだ結果、早期癌が少なく高齢者の進行癌が多いという傾向は継続しておりました。悪性腫瘍切除手術症例数は 110 例と、こちらも目標にした 100 例を超えて目標達成し、前年度の 85 件より 20％上昇するという嬉しい結果となりました。このうち最も多い大腸癌は 81 例（2022 年度 55 例、2021 年度 68 例）と昨年、一昨年より増加しました。その一方で、2 番目に多い胃癌は 14 例と前年度の 26 例から半減いたしました。膵臓癌は 2 例（前年度 3 例）の切除手術症例がありました。今年度は悪性腫瘍症例数で特筆すべきことがあります。当院は大阪府がん診療拠点病院に指定されている関係で、五大癌（大腸癌、胃癌、肺癌、肝癌、乳癌）全種類の治療 / 手術が行われていることが望ましい立場でありました。しかし乳癌だけは、乳腺外来は行っているものの、ここ数年は治療や手術は一例も行っておりませんでした。2023 年度は乳腺専門医療機関：りょうクリニックと協力して、乳癌手術を開始し、年間で 13 例の乳癌手術を行いました。これには乳癌手術で必要なセンチネルリンパ節の術中迅速病理診断を、いつも快く受け入れてくださる当院病理診断科：植田初江先生のご尽力の賜物であることも付け加えさせていただきます。

良性疾患では胆石 88 例、虫垂炎 54 例は、全例を腹腔鏡手術で行うことができました。悪性腫瘍でも大腸癌手術症例は 87％を、今まで開腹手術が多かった胃癌は 100％を腹腔鏡手術で行うことができました。

今後も良性疾患はもちろんのこと、消化器悪性腫瘍も積極的に腹腔鏡下手術を行っていきます。アフターコロナで入院患者数が減る中でも、手術症例数・がん手術症例数ともにこれだけ善戦できたのも、地域の開業医先生方や患者様から、当院をお選びいただけているものと深く感謝しております。今後もこの信頼をさらに向上していきたいと考えます。

2023 年度も前年度と同様、悪性腫瘍では有症状の進行癌が多く、良性疾患の胆石・単径ヘルニアでは予防的手術は減少して炎症の強い緊急症例が多い状況は継続しておりました。今年度も初診から診断、診断から外科治療へと、出来るだけ速やかに手術治療ができるように、内科・救急科 / 外科が垣根なく診療にあたることを心がけて対応いたしました。また 1 人体制の婦人科には、今年度も開腹手術はもちろんのこと、腹腔鏡下手術でも手が足らない場合には参加して協力し、良好な院内連携を築いております。

消化器内科の化学療法チームとも連携し、胃癌や大腸癌の再発症例にも積極的に対応し、緩和医療としての外科手術にも引き続き対応しております。また地域の基幹病院として救急疾患のみならず、高齢者や心血管障害・脳血管障害・腎不全での透析導入などの基礎合併疾患を有する手術症例も多く、院内の循環器内科や内分泌内科などの関連他科とも協力し合って予定および緊急手術にも迅速に対応しております。2023 年度の外科は医師一人減の 4 人体制となり、一人一人の負担は増えましたが、症例ごとの最適な外科治療を目指して診療してまいりました。

（2023 年度学会発表 / 論文）

■ 2023 年 7 月 12 日　第 78 回　日本消化器外科学会総会

「移動性盲腸に伴う上行結腸軸捻転症により絞扼性イレウスを発症したⅠ例」

○阿部 信貴、川﨑 浩資、豊田 昌夫

■ 2023 年 4 月～ 2024 年 3 月　一般・消化器外科　手術件数

手　術	全件数	がん件数（再掲）
胃・十二指腸	14（腹腔鏡 14）	14（腹腔鏡 14）
小腸・大腸	100（腹腔鏡 84）	81（腹腔鏡 70）
肝臓	0	0
膵臓	2（腹腔鏡　1）	2（腹腔鏡　1）
食道	0	0
乳腺	13（腹腔鏡　0）	13（腹腔鏡　0）
血管	0	
ヘルニア	94（腹腔鏡 84）	
胆嚢・総胆管結石	88（腹腔鏡 88）	
虫垂炎	54（腹腔鏡 54）	
消化管穿孔・腹膜炎	13（腹腔鏡 12）	
イレウス	17（腹腔鏡 12）	
肛門	7（腹腔鏡　0）	0（腹腔鏡　0）
その他	18（腹腔鏡　1）	
合　計	420	

5. 呼吸器外科

スタッフ

医　　長：越智 薫

2023 年度総評

2017 年 4 月より常勤 1 名、非常勤 1 名（外来）での診療を行なっています。2023 年度には手術は計 26 例行い、肺葉切除 3 例、区域切除 2 例、肺部分切除 2 例、自然気胸 9 例でした。

2023 年度は 2022 年の気胸 10 例と比べ 1 例減少してしまいました。若年者の気胸を紹介いただけるよう、今後、登録医の先生がたとの連携をさらに強めていきたいと考えております。

6. 心臓血管外科

スタッフ

医　　長：禹 英喜

下肢静脈瘤を中心に診療を行っています。2023 年の下肢静脈瘤手術件数は 64 件でした。外観で明らかな下肢静脈瘤以外にも、下腿浮腫や皮膚の色素沈着などの症状でお困りの方がいらっしゃいましたら、下肢静脈瘤も一因として考慮されますので当科受診を検討頂きますようお願い申し上げます。

また、CT やエコー検査などで偶然指摘された動脈瘤についても御紹介賜りましたら幸甚でございます。動脈瘤の手術適応であれば、患者さんの希望に沿いながら紹介しております。手術未適応の場合は当院で定期検査し経過観察しております。

本年 8 月より、常勤医が休職します。この間は大阪医科薬科大学病院より派遣頂きました京都桂病院心臓血管外科前部長の福原慎二医師による外来診療（第 2，4 土曜日午前）となります。外来日が大幅に減りご不便をおかけ致しますが、福原医師の勤務により診療は充実しますので、より一層の御紹介賜りますようお願い申し上げます。

先生方と連携し、地域医療の一翼を担うべく努めてまいります。今後とも御指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

7. 整形外科

スタッフ

病院長代理・主任部長・手外科センター長：植田 直樹
病院長補佐・部長：　劉 長勣
リハビリテーション科部長：　福井 浩一
医長：　池田 邦明
医員（ローテーター）：　高島 雅俊、新保 高志郎（ともに 2024 年 3 月 31 日異動）

2023 年度は、杉島、神谷 医師が 2023 年 3 月 31 日に大学人事による異動のため退職し、4 月 1 日からは新保高志郎医師が常勤医師として着任された。植田、劉整形外科部長、福井リハビリテーション科部長は継続で、池田医師は医長となった。ローテーターが 2 名で合計 6 名（ローテーターの高島医師も専門医であり、整形外科専門医は 5 名）体制でのスタートであった。非常勤医師としては、毎週火曜日には杉島慎一郎医師が勤務することとなった。水曜日には洛西シミズ病院の廣藤真司医師、大阪医科薬科大学の藤野圭太郎医師が引き続き勤務し、二人とも専門である手外科症例の手術などを中心に診療している。木曜日には大阪医科薬科大学三島南病院整形外科の中野敦之医師も引き続き勤務し、脊椎外来と脊椎手術を行っている。また大阪医科薬科大学から大学院生の三宅克広医師が、整形外科レジデントの枠として上田拓司医師が非常勤として診療をしている。金曜日には木野圭一朗医師は新河端病院から継続して勤務している。昨年度と同じ整形外科医員数であるが、非常勤医師スタッフ数は 1 名増員となった。2023 年度の手術件数は昨年度の 1,227 件をさらに上回り、過去最多の 1,355 件であった。

学会研究発表

1. 多発胸椎圧迫骨折を伴う転位型胸骨骨折に対してロッキング機構を有した Mesh Plate にて固定した 1 例
　齋藤 敦徳、植田 直樹、劉 長勣
　中部日本整形外科災害外科学会　2023；66（2）：273 － 274

2. 踵骨関節内骨折に対する外側拡大 L 字皮切術後の軟部組織合併症の検討
　劉 長勣、植田 直樹、高島 雅俊
　第 49 回日本骨折治療学会　2023/6/29-7/1

3. 大腿骨近位部不顕性骨折の診断における Dual Energy CT の有用性
　高島　雅俊、劉　長勣、植田 直樹
　第 49 回日本骨折治療学会　2023/6/29-7/1

4. 尺骨骨折に伴う橈骨急性可塑性変形の 2 例
　植田 直樹、劉 長勣、高島 雅俊
　第 49 回日本骨折治療学会　2023/6/29-7/1

5. シニアサッカー選手の屈曲拘縮を伴う外反膝変形に対して内側閉鎖式楔状大腿骨遠位骨切り術を施行した小経験
池田 邦明
日本スポーツ整形外科学会　2023/6/29-7/1

6. 女性の手外科疾患とエクオールの関わり
植田 直樹
エクオールと女性の健康 Web 講座　2023/7/1-22

7. 手外科疾患とエクオールの関わり
植田 直樹
池田市医師会月例学術講演会　2023/9/20

8. 踵骨関節内骨折後の変形性距骨下関節症に対して関節鏡視下距骨下関節固定術を施行した 1 例
劉 長勣、高島 雅俊
第 48 回日本足の外科学会学術集会　2023/10/26-27

9 .Maisonneuve 骨折の脛腓間固定に suture button と腓骨引き下げの K-wire による一次的固定を併用した 1 例
高島 雅俊、劉 長勣
第 48 回日本足の外科学会学術集会　2023/10/26-27

10. 橈骨遠位端骨折に伴う豆状骨脱臼に対する治療経験
新保 高志郎、植田 直樹、劉 長勣
第 42 回北摂手外科談話会　2023/11/18

11. 両側同時受傷の ACL 損傷に対して一期的に両側 ACL 再建術を施行した 1 例
池田 邦明
第 1 回日本膝関節学会学術集会　2023/12/8-9

12. 徒手整復困難であった母指 IP 関節脱臼の 1 例
神谷 一成、植田 直樹、劉 長勣、福井 浩一、池田 邦明、高島 雅俊、杉島 慎一郎
第 85 回大阪医科薬科大学整形外科関連病院談話会　2023/3/11

13. 大腿骨近位部不顕性骨折の診断における Dual Energy CT の有用性
新保 高志郎、劉 長勣、福井 浩一、池田 邦明、高島 雅俊、植田 直樹
第 86 回大阪医科薬科大学整形外科関連病院談話会　2023/10/21

2023年4月～2024年3月の手術件数

					件数
脊椎手術	頚胸椎		骨折、外傷の手術		6
			直視下手術		17
			鏡視下手術、低侵襲手術		1
	腰仙椎		骨折、外傷の手術		7
			直視下手術		49
			鏡視下手術、低侵襲手術		6
	その他		側弯症手術		0
			腫瘍手術		0
骨盤			骨折、外傷の手術		4
上肢手術	肩関節		骨折、外傷の手術（鎖骨、肩甲骨を含む）		71
			直視下手術	腱板断裂	0
				肩関節不安定症	0
				その他	3
			鏡視下手術	腱板断裂	1
				肩関節不安定症	1
				その他	2
	肘関節		骨折、外傷の手術		38
			直視下手術	肘部管症候群	14
				人工関節置換術	0
				靭帯再建術	0
				その他	2
			鏡視下手術		1
	手部、手関節		骨折、外傷の手術		240
			直視下手術	末梢神経手術	6
				関節形成術（固定術を含む）	21
				腱・靱帯再建術	14
				顕微鏡下手術	1
				その他	103
			鏡視下手術	手根管症候群	39
				その他	2
	骨幹部	上腕	骨折、外傷の手術		5
		前腕			7
下肢手術	股関節		骨折、外傷の手術	人工骨頭挿入術	68
				骨接合術	104
				その他	0
			直視下手術	人工関節置換術	20
				関節形成術（骨切り術）	1
				その他	0
			鏡視下手術		0
	膝関節		骨折、外傷の手術		34
			直視下手術	人工関節置換術	59
				関節形成術（骨切り術）	11
				その他	4

下肢手術	膝関節		鏡視下手術	靭帯再建術	4
				その他	24
	足部、足関節		骨折、外傷の手術		83
			直視下手術	矯正術	1
				関節形成術（固定術を含む）	5
				腱・靱帯再建術	4
				その他	2
			鏡視下手術		5
	骨幹部	大腿	骨折、外傷の手術		2
		下腿			3
腫瘍の手術（脊椎を除く）			良性軟部腫瘍手術		48
			悪性軟部腫瘍手術		1
			良性骨腫瘍手術		8
			悪性骨腫瘍手術		0
内固定材料抜去術					168
その他の手術（上段のいずれにも分類困難な手術）					35
外傷手術合計（各部位の骨折、外傷の手術の合計）					672
疾病手術合計（外傷以外の手術、ただし内固定材料抜去術は除く）					480
総件数（内固定材料抜去術+その他の手術+外傷手術合計+疾病手術合計）					1,355

8. 婦人科

スタッフ

部　長：田中 理恵（2016 年 4 月より現在まで）
非常勤：橋田 宗祐（2020 年 11 月より 2023 年 5 月まで）
非常勤：宮本 瞬輔（2023 年 6 月から 2024 年 3 月まで）
非常勤：田中 良道（2021 年 4 月より現在まで）

2023 年度は昨年度に引き続き、非常勤医師として大阪医科薬科大学病院より橋田宗祐医師、宮本瞬輔医師と田中良道医師に出向いただき、外来診療および手術に従事していただき、3 人体制で診療を行いました。

当科では 2020 年度より卵巣癌・卵管癌などの婦人科悪性腫瘍に対する診療を開始しており、従来の良性疾患に対する腹腔鏡手術を中心とした診療から、婦人科悪性腫瘍に対する診療の割合を徐々に増やしており、遺伝カウンセリング、HBOC（遺伝性乳がん卵巣がん症候群）に対する BRCA1/2 遺伝子検査、進行卵巣癌に対する HRD 検査も導入し、乳がん患者さんを対象としても検査紹介をいただいております。

1. 外来診療：

2023 年度の外来延べ患者数は 2,912 人で、うち紹介患者数は 248 人であり、近隣の先生方からは以前に引き続き多くのご紹介をいただいており、心より感謝申し上げます。

外来での特殊検査としては、子宮内腔病変を精査する「子宮鏡検査」と、子宮がん検診などで頸部細胞診異常を指摘された方に対して行う「腟拡大鏡検査（コルポスコピー）」を行っております。子宮鏡検査には直径 3mm の非常に細い軟性鏡を使用しており、ほぼ痛みを感じることなく患者さんに検査を受けていただいております。また、子宮頸部細胞診異常を指摘された方に対する腟拡大鏡検査（コルポスコピー）での精査および加療も積極的に行っております。

2. 入院診療：

a）手術：

2023 年度の手術は 88 件であり、そのうち腹腔鏡下手術は 46 件で、前年度（44 件）より 2 件の増加でした。内訳は子宮全摘術 19 件、付属器切除術 11 件、筋腫核出術 4 件でした。また、子宮鏡下手術は 25 件でした。

b）悪性腫瘍に対する診療：

悪性腫瘍に対する手術は、2023 年度は子宮体癌 1 件のみで、子宮頸癌、卵巣・卵管癌は 0 件でしたが、2024 年度 6 月末時点では 5 件（子宮頸癌 2 件、子宮体癌 3 件）となっております。また年間の化学療法は計 31 コースで、対象患者は 4 人でした。

術式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
腹腔鏡下膣式子宮全摘術	17	13	10	12	19
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	5	5	5	4	4
腹腔鏡下付属器摘出術	9	12	11	12	11
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	11	9	4	3	1
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術	9	6	6	5	8
腹腔鏡下卵管切除術	5	3	1	2	3
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	0	0	1	2	0
腹腔鏡下腫瘍生検	0	0	0	2	0
その他（膿瘍ドレナージ等）	0	0	1	2	1
腹腔鏡下手術の合計	56	48	39	44	46
腹式子宮全摘術	6	12	11	5	1
腹式子宮筋腫核出術	4	2	0	1	1
腹式卵巣嚢腫摘出術	0	0	1	1	0
子宮悪性腫瘍手術（開腹）	0	2	0	0	1
子宮付属器悪性腫瘍手術	0	2	3	2	0
開腹手術の合計	12（0）	18（0）	15	9	3
子宮鏡下内膜ポリープ切除術	35	38	31	26	25
子宮鏡下筋腫切除術など	7	6	3	0	1
子宮鏡下手術の合計	44	44	34	26	26
子宮頸部円錐切除術	13	5	2	3	4
その他（内膜掻爬、バルトリン腺嚢胞手術等）	3	9	13	11	7
全身麻酔以外の手術合計	16	14	15	14	13
手術総件数	128	124	103	93	88

2024 年度も良性疾患はもちろんのこと、婦人科悪性腫瘍に対する診療も積極的に行ってまいりたいと存じます。当院での治療が困難と思われる患者さんは、大阪医科薬科大学をはじめとする専門施設へ早々にご紹介し早期に治療を開始いただいておりますので、婦人科疾患を疑われた場合、まずはお気軽に当科へご紹介くださいませ。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

9. 眼科

スタッフ

医　長：丸山 会里
医　員：田端 珠美、延藤 綾香

1. 北摂総合病院の病診連携と最近の動静

当院の特色は近隣の先生方と密に連携していることです。最近は白内障手術を開業医自身でも実施する傾向にあり、近隣の新規開業が増えるとともに、紹介件数は減ってきています。

2. 外来診療

2021 年 4 月 1 日からは延藤医師が大阪医科薬科大学より、2023 年 4 月 1 日より田端医師が転任赴任されました。2023 年 5 月現在の診療担当表は下記のようになっています。

外来の設備機器としてはレーザー装置としてニデック社製パターンスキャンレーザ、ヤグレーザーと SLT（選択的線維柱帯形成術）に対応したルミナス社製 Selecta Duet を保有しており、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症をはじめとする網膜疾患の光凝固やレーザー虹彩切開術、選択的線維柱帯形成術などの緑内障疾患に活躍しています。

診断機器としてはニデック社製ミランテが導入され、加算可能な OCT-angio が導入されました。角膜形状解析装置付きのオートレフはトーリックレンズの選択に重宝しています。眼底カメラとしてトプコン社製眼底カメラ DRC-50DS、視野計として、ゴールドマン型視野計とハンフリー視野計が導入されています。ハンフリー視野計では新しい緑内障用プログラムとして 24-2C が導入され、測定時間が片眼 3 ～ 6 分程度とかなり短縮され、患者の疲労も少なくなっており、了解を得た患者様を順次新しいプログラムに切り替えています。眼軸長測定装置としてツァイス社製 IOL マスター、超音波診断装置として UBM も測定可能な A モード B モードとトーメー社製 UD-8000 を保有しています。

診療担当表（2024年6月1日現在）

	月	火	水	木	金	土
午前	丸山、田端	丸山（1.3.5） 延藤（2.4）	丸山、延藤	田端、延藤	延藤（1.3.5） 丸山（2.4）	休診
午後 特外	丸山、田端	手術	丸山、延藤	田端、延藤	手術	休診

特外：特別外来（レーザー、螢光造影、手術説明、外来小手術など）

3. スタッフ（医師以外）

ORT としては現在、森の 1 名が ORT として勤務しています。石飛、高松 2 名が 2023 年 12 月より産休に入ったため、外来の患者減防止目的に、手術日も毎日外来をすることで、1 日の検査数を減らして対応しております。ORT は視力・視野・眼位検査だけでなく蛍光眼底撮影もトーリックレンズを含めた眼内レンズの計算も行ってくれていましたが、現在は医師が手伝ってまわしていっております。また OMA として名越伸子が視力や OCT などを担当してくれています。看護師として松山 Ns、田中 Ns、御手洗 Ns、高添 Ns が内科と眼科をかけもちで担当して頂き、大変助かっています。

4. 診療

	外来受診患者	外来新患数	入院患者数	平均在院日数
2014年度	8,500	603	323	1.8
2015年度	8,285	466	289	2
2016年度	7,662	416	180	1.6
2017年度	6,273	402	120	1.6
2018年度	6,200	372	110	1.7
2019年度	6,551	332	166	1.2
2020年度	6,069	244	153	1.5
2021年度	6,095	267	110	1.5
2022年度	5,945	261	118	1.1
2023年度	5,553	181	127	1.0

5. 手術

顕微鏡はカールツァイス社製顕微鏡 OPM1 Lumera T を使用し、白内障手術装置としてはアルコン社のセンチュリオンが導入されています。購入費はアルコン社の眼内レンズの使用によりペイバックされる仕組みで当院の新たな負担はありません。2022 年度より白内障以外に眼瞼内反症手術、眼瞼下垂手術、翼状片手術が短期滞在手術（2718 点）の算定が可能となり、収益増に貢献すると思われます。

またアイリーアやルセンティスなどの硝子体注射も手術室で施行しその数は徐々に増加しています。

1）手術室手術

年　度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
白内障手術	688	623	516	433	345	373	284	285	306	249
白内障･緑内障 同時手術	4	6	2	3	1	0	5	2	2	0
緑内障手術	16	13	16	14	12	6	13	9	5	1
眼瞼下垂手術	3	16	6	13	11	6	16	0	0	0
内反症手術	7	6	4	4	1	0	0	1	2	0
翼状片手術	8	1	5	1	2	3	2	2	2	2
霰粒腫切除	7	6	0	2	2	0	3	2	1	0
結膜腫瘍摘出	3	5	0	3	5	0	3	0	1	0
斜視手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
硝子体内注射 その他	13	49	80	96	152	210	203	211	250	216
合　計	749	725	629	569	531	598	529	512	569	468

2）外来手術

年　度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
霰粒腫手術	7	4	0	1	3	0	2	0	1	0
麦粒腫手術	8	4	1	1	0	0	1	0	1	1
結膜結石除去	8	6	8	3	3	3	6	0	4	0
合　計	23	14	9	5	6	3	9	0	6	1

3）レーザー手術（外来）

年　度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
網膜光凝固術(特殊)	60	22	19	19	20	20	23	7	15	11
網膜光凝固術(通常)	51	32	39	31	36	36	40	21	12	17
ヤグ後発白内障切開術	118	79	64	95	82	89	52	44	51	31
虹彩光凝固	13	9	3	4	1	6	5	2	2	1
隅角光凝固術	9	4	4	15	5	2	4	8	3	2

10. 皮膚科

スタッフ

部　　長：芳川 た江子

非常勤医師：中島 有香（水曜日 午前診）

～ 2023 年度　1 年間の診療を振り返って～

この 1 年間の外来延べ患者数は、5,026 名で、前年度と比べて 197 名減少しています。

新患は 853 名で、そのうち紹介患者数は 116 名でした。まだまだ紹介患者数を増やしていきたいと思っておりますので、地域の先生方、よろしく御紹介（外来･入院とも）の程、お願いいたします。入院の方は、皮膚科単独の入院は少ないのですが、他科入院の皮膚科依頼は多く、1 年間で 1,514 名ありました。皮膚科単独の入院も増やしていきたいと思っていますので、ぜひ入院紹介よろしくお願いいたします。

又、院内で褥瘡対策チームをつくって、全病棟の患者様の管理やケアを行っております。詳細については、別記しています。

院外活動としては、高槻市医師会の委員（女医会・勤務医会・看護学校）、大阪府女医会の理事、大阪府医師会医学会総会評議員、北摂皮膚科医会の世話人、大阪医科薬科大学皮膚科同門会の会計監査などをしています。2018 年 6 月からは、日本女医会の理事になり、月に 1 回リモートでの理事会に出席しています。又、時間をみつけて、学会や研修会などにも積極的に参加していきたいと思っています。院外活動の詳細は後記しています。

今後とも、地域の先生方との診療連携を上手に活かして、患者様主体の診療を続けていきたいと思っておりますので、よろしく御指導の程お願いいたします。

〈2023 年度　院外活動〉

※毎月第 3 火曜日午後	大阪府女医会理事会	（大阪府医師協同組合）
※毎月第 4 木曜日午後	高槻市医師会看護学校運営委員会	（看護学校）
※毎月第 3 土曜日午後	日本女医会理事会	（リモート会議）

・2023 年　4 月　1 日（土）	大阪府女医会評議員会・春の勉強会	（大阪府医師協同組合 8 階）
・2023 年　4 月 16 日（日）	日本女医会大阪支部総会	（ホテルグランヴィア大阪）
・2023 年　5 月 21 日（日）	日本女医会第 68 回定時総会	（司会）（宇都宮にて）
・2023 年　6 月　3 日（土）4 日（日）	日本皮膚科学会総会	（横浜）
・2023 年　6 月 10 日（土）	当院 理事会	
・2023 年　6 月 18 日（日）	大阪府女医会総会	（グランフロント大阪）
・2023 年　6 月 25 日（日）	日本女医会ブロック懇談会	（司会）（佐賀にて）
・2023 年　9 月　9 日（土）	大阪地方会（リモートで参加）	
・2023 年　9 月 30 日（土）	登録医懇親会（ホテルグランヴィア大阪）	
・2023 年 10 月 28 日（土）29 日（日）	日本皮膚科学会中部支部学術大会	（京都国際会議場）
・2023 年 11 月　5 日（日）	大阪府医師会医学会総会・評議員会（大阪府医師会館）	

・2023 年 12 月 3 日（日）　大阪府女医会忘年会（ホテルグランヴィア大阪）
・2024 年 1 月 30 日（火）　高槻市医師会女性医師の会　委員会
・2024 年 2 月 2 日（金）　大阪医大皮膚科同門会・会計監査（大阪医大）
・2024 年 2 月 3 日（土）　日本皮膚科学会大阪地方会
・2024 年 2 月 15 日（木）　高槻市医師会勤務医会委員会総会（アベストグランデ高槻）
・2024 年 3 月 2 日（土）　日本皮膚科学会大阪地方会
・2024 年 3 月 2 日（土）　大阪医大皮膚科同門会（ホテルグランヴィア大阪）
・2024 年 3 月 30 日（土）　当院　理事会

11. 泌尿器科

スタッフ

泌尿器科医長：濵田 修史
医　　員：東尾 拓弥
非　常　勤：東 治人、大阪医科薬科大学泌尿器科教室医員

常勤医師一人体制で非常勤医師の応援を得て診療を行ってきましたが、2022 年 4 月より常勤医 2 人態勢となりました。泌尿器科の手術加療は、前立腺癌、腎癌、膀胱癌を中心にロボット支援下手術が中心となってきており常勤医が少ない病院での手術件数の増加は難しい環境でありますが、引き続き排尿障害、複雑性尿路感染症、性器感染症、尿路停滞、尿路結石、尿路性器悪性腫瘍に対し大阪医科薬科大学泌尿器科および関連病院と連携をとりつつ診療を行ってまいります。引き続き、地域診療も正しい知識をもって励んでいきますのでよろしくお願いします。

■過去 3 年間の患者数推移

	外来患者数			入院患者数		
	初診患者数	再診患者数	外来延患者数	新入院数	退院数	延べ患者数
2021年度	336	6,246	6,582	143	140	1,244
2022年度	327	6,875	7,202	176	175	1,642
2023年度	270	6,605	6,875	181	187	1,823

■過去 3 年間の手術数推移

手術名	2021年度	2022年度	2023年度
TUR-Bt	68	72	67
TUR-P	1	9	19
膀胱腫瘍切除術	1	2	4
経尿道的止血術	0	2	1
シャント造設術	5	9	9
陰嚢水腫根治術	1	2	4
高位精巣摘除術	0	3	2
腎瘻造設術	0	6	1
膀胱水圧拡張術	0	0	0
腎尿管全摘術	0	3	0
透析シャント作成	1	2	0
シャント血栓除去術	0	0	0
腹腔鏡下腎摘出術	0	1	2
合　計	77	111	109

12. 救急診療科

スタッフ

部　　長：森井 功

医　　員：各診療科　救急当番医　初期研修医　後期研修医　非常勤救急医

新型コロナウィルス感染症例の多くが軽症に止まるようになり、同感染症は 2023 年 5 月に 5 類感染症に移行したが、依然医療・介護の領域における同感染症への対応は一定の配慮を行わざるを得ず入院病床も制限を受けているのが実状である。

本院が属する三島二次医療圏の総救急要請件数は年々増加していると報告されているが、本院の 2023 年度年間救急応需件数は 3,342 件で、ここ数年大きく変わることなく推移している。

ER で同時収容可能な病床は感染管理のためこれまで同様 3-4 床にとどまり、今年度もこの ER 収容ベッドの問題が不応需の最大要因となっている。その対策として現時点では収容ベッド増は困難であることから、ER 滞在時間の短縮、入院症例の病棟への早期受け入れが必須となる。前者については救急・集中治療認定看護師並びに病院救急救命士との連携によりその改善に向けた取り組みを継続的に行っている。

救急診療体制の維持充実は地域医療支援病院の重要な役割であり、本院はこれまで地域で連携頂いている先生並びに三島二次医療圏救急隊と良好な関係を維持しつつ、求められる救急診療の維持に努めてきた。しかしながら内科系診療科医師を中心に年々救急診療を担う医師の確保が困難となっている。そのため今年度は大阪医科薬科大学救急医学教室に支援を依頼し協力を頂くこととなった。今後は大阪医科薬科大学とも連携し役割を分担しながら、本医療圏における救急診療体制の維持・向上に努める所存である。

診療体制

★地域医療支援病院
★基幹型臨床研修指定病院
★大阪府がん診療拠点病院
★大阪府三島二次医療圏災害協力病院
★大阪府三島地区メディカルコントロール参加病院
★ 24 時間 365 日　常時救急対応病院

院外活動

1）高槻・島本災害医療会議
2）三島地域メディカルコントロール協議会（検証会議を含む）
3）大阪府 ICLS コースへの参加（インストラクターを含め、看護部）

院内活動

1）救急委員会（年 12 回）
2）院内メディカルコントロール委員会（年 12 回）
3）院内 ICLS コースの開催（年 12 回、看護部）

2023 年度統計資料

診療科	救急診療科患者数	救急車搬入件数	入院件数
内 科 系	1,857	2,492	1,201
循環器科	448	251	156
外 科 系	1,318	983	303
整形外科	164	116	66
小 児 科	164	62	6
婦 人 科	3	0	0
総数	3,954	3,904	1,732

13. 放射線科

スタッフ

部　　長：結城 雅子、大村 尚子
非常勤医師：田中 康敬、土井 健司、新保 大樹、堀 章裕

専攻医と非常勤医師の協力を得て診療を行った。
入院制限等の影響は少なく、CT/MR の検査件数、紹介率ともに過去最高であった。
STAT 画像報告を開始し、迅速な診断に寄与できた。
専用アプリによる院外専門科常勤医への緊急画像配信を試行した。
検診マンモグラフィ施設認定が再審査となったため、2、3 月の検診を中止した。

・CT、MR 診断は画像加算管理 2 を取得しており、原則 2 日以内に所見を返答している。画像診断用 viewer“Synapse SAI” と、シーメンス社読影用ワークステーション “Syngo via” を用い、診断モニター上で簡便に MRP や 3D 作成、各種 dual energy 解析を実施している。造影の可否や検査指示など、事前に全例に検討している。
・CT では、1 回の検査で確定診断を目指し、造影剤減量や被ばく低減を推進し、腎機能不良例において半量程度の造影剤量で実施した。1 日平均 48 件、紹介率 12%。
・MR では、若年者被ばく回避のため、腰椎分離症評価のための CT 撮像を開始。乳腺 MR 紹介が特に増加している。1 日平均 18 件、紹介率 46%。
・タスクシフトの一環として、救急疾患を中心に、STAT 画像報告システム開始、RIS 上での検索・集計の簡便化、技師からレポートシステムへの通知と、医師から技師への未報告通知システムを構築。医師を含めた勉強会を 1 回施行した。
・放射線医療従事者のための教育訓練を e-learning で開催
・医師、技師、看護師による放射線科ミーティングを毎週開催
・院内医療安全対策会議における画像診断報告書会議が毎月開催され、重要所見の確実な通知と確認、未読削減を喚起している。
・院内では消化器科、呼吸器科との毎週のカンファレンスに参加。
・救急外来（専攻医）担当
・高槻市医師会　乳癌・肺癌読影会に参加。乳がん精度管理委員。

論文

・Evaluation of vestibular function in a case of vestibular migraine with successful treatment with Erenumab. Takaki Inui, F.Kimura, K. Moriyama, T.Kuriyama, T. Shirai, Y. Ayani, Y. Inaka, M. Yuki, S. Haginomori, R. Kawata. Ear, Nose and Throat Journal 1-5, 2023

14. 麻酔科

スタッフ

非常勤麻酔科医：辰巳 真一、中平 淳子、中野 祥子、今川 憲太郎、城戸 晴規、上野 健史、北埜 学、藤澤 貴信、米原 周吾、山崎 紘幸、愛甲 一樹（2023 年 4 月 1 日現在）

麻酔手技別件数　過去 5 年間の推移

麻酔種別	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全身麻酔(吸入)	1,356	1,157	1,137	1,166	1,230
全身麻酔(TIVA)	93	96	103	113	147
全身麻酔（吸入）+硬・脊・伝麻	287	302	286	267	240
全身麻酔（TIVA）+硬・脊・伝麻	1	4	7	7	8
硬膜外麻酔	0	0	0	0	0
脊髄くも膜下麻酔	71	46	46	50	87
伝達麻酔	0	0	0	0	0
その他(局所麻酔等)	991	816	808	951	811
総　計	2,799	2,421	2,387	2,554	2,523
緊急手術	274	323	329	256	290
麻酔科管理症例	1,809	1,605	1,579	1,603	1,712

2023 年度　科別麻酔手技別件数

	一般消化外	眼科	呼吸器外科	循環器内科	心臓血管外	整形外科	泌尿器科	婦人科	総計
全身麻酔(吸入)	345		14			801	35	35	1,230
全身麻酔(TIVA)	17					112	1	17	147
全身麻酔(吸入)+ 硬・脊、伝麻	52		11			170	2	5	240
全身麻酔(TIVA)+ 硬・脊、伝麻	1					5		2	8
脊髄くも膜下麻酔							62	25	87
その他(局所麻酔等)	6	468	2	21	64	237	9	4	811
総　　計	421	468	27	21	64	1,325	109	88	2,523

15. 病理診断科

スタッフ

常　勤：植田 初江　日本病理学会　病理専門医・指導医

非常勤：服部 公亮（大阪医科薬科大病理学教室）　病理専門医、細胞診専門医

波多野 裕一郎（大阪医科薬科大病理学教室）　病理専門医、細胞診専門医

松本 学（国立循環器病研究センター病理部医員　病理専門医 2023 年度取得、循環器内科専門医）

雨宮 妃（国立循環器病研究センター病理部非常勤医師　病理専門医未取得、循環器内科専門医）

病理業務は 1 名の常勤部長と 3 名の非常勤病理専門医によって担当。雨宮は専門医取得を目指し研修中

細胞検査士（中間 愛、松本 仁）2 名　技師 2 名になったため、院内で迅速な細胞診診断が可能となり、実施症例数も増加している。

業務実績

組織診断：2571 件　病理解剖　1 件（大阪医科薬科大学にて施行）

細 胞 診：1,617 件（婦人科　1,112、その他（尿、体腔液）505

術中迅速診断：組織診断　76 件

細 胞 診　49 件

病理解剖（大阪医科薬科大学附属病院にて実施）：1 件（記録・資料などは検査科で保存）

CPC（臨床病理検討会）：第 142 回　6 月開催　石田光明先生（大阪医科薬科大学病理）

検討症例：管理不良の高血圧・糖尿病を背景とした多発性脳梗塞の経過中に急死した 50 代男性の一例

症例番号：剖検番号　H-126　①死亡日 2023/3/19　②剖検日　2023/3/20

臨床診断名：高血圧、肥満、糖尿病、敗血症性ショック疑い

病理診断名：主病変：1. 高血圧性心疾患（新重量 595g）　2. 糖尿尿性腎症　3. 超急性期心筋虚血

学術研究業績

Ⅰ．学会活動：

1. 第 112 回日本病理学会　2023 年 4 月 14 ～ 16 日・下関市　コロナ関連心筋傷害の病理　共同演者
2. 第 45 回心筋生検研究会　2023 年 11 月 17 ～ 18 日　新潟大学循環器内科（現地開催）　座長　植田初江
3. 第 70 回日本心臓病学会　2023 年 9 月 8 ～ 10 日　東京（東京大学心臓外科）　臓突然死と心臓病理　共同演者
4. 第 69 回日本病理学会秋季大会コンパニオンミーティング　座長　“どうする心臓病理：心筋生検、剖検心の扱い”

Ⅱ．学術論文：

1. Amemiya K, Yonemoto Y, Ishibashi-Ueda H, Matsumoto M, Ohta-Ogo K, Ikeda Y, Kobayashi J, Fukushima S, Fujita T, Hatakeyama K. Morphological characteristics of cardiac myxoma causing embolism: a series of 40 years of experience at a single institute. Virchows Arch. 2023 Feb;482（2）：377-384. doi: 10.1007.
2. Kawagoe Y, Otsuka F, Onozuka D, Ishibashi-Ueda H, Ikeda Y, Ohta-Ogo K, Matsumoto M, Amemiya K, Virmani R, Early vascular responses to abluminal biodegradable polymer-coated versus circumferential durable polymer-coated newer-generation drug-eluting stents in humans: a pathological study. Euro Intervention. 2023 Mar 20; 18（15）：1284-1294. doi: 10.4244/EIJ-D-22-00650. PMID: 36448921; PMCID: PMC10018292.
3. Murakami Y, Nishigori M, Yagi H, Osaki T, Wakabayashi M, Shirai M, Son C, Iba Y, Minatoya K, Kusano K, Tomita T, Ishibashi-Ueda H, Matsuda H, Minamino N. Serum proteomic identification and validation of two novel atherosclerotic aortic aneurysm biomarkers, profilin 1 and complement factor D. Proteome Sci. 2023 Aug 5;21（1）：11. doi: 10.1186/s12953-023-00212-x. PMID: 37543598; PMCID: PMC10403969.
4. Ogino H, Iida O, Akutsu K, Chiba Y, Hayashi H, Ishibashi-Ueda H, Kaji S, Kato M, Komori K, Matsuda H, Minatoya K, Morisaki H, Ohki T, Saiki Y, Shigematsu K, Shiiya N, Shimizu H, Azuma N, Higami H, Ichihashi S, Iwahashi T, Kamiya K, Katsumata T, Kawaharada N, Kinoshita Y, Matsumoto T, et al. Japanese Circulation Society, the Japanese Society for Cardiovascular Surgery, the Japanese Association for Thoracic Surgery and the Japanese Society for Vascular Surgery Joint Working Group. JCS/JSCVS/JATS/JSVS 2020 Guideline on Diagnosis and Treatment of Aortic Aneurysm and Aortic Dissection. Circ J. 2023 Sep 25;87（10）：1410-1621. doi: 10.1253/circj.CJ-22-0794. Epub 2023 Sep 1. PMID: 37661428.
5. Nishikawa T, Shiba M, Ikeda Y, Ohta-Ogo K, Kondo T, Tabata T, Oka T, Shioyama W, Yamamoto H, Yasui T, Higuchi Y, Ishibashi-Ueda H, Honma K, Izumi C, Higo S, Hatakeyama K, Sakata Y, Fujita M. Tenascin-C as a potential marker for immunohistopathology of doxorubicin-induced cardiomyopathy. Eur Heart J Open. 2023 Oct 9;3（5）：oead104. doi: 10.1093/ehjopen/oead104. PMID: 37908440; PMCID: PMC10613965.
6. Koda Y, Tsukube T, Hoshino M, Yagi N, Ishibashi-Ueda H, Okada K. Structural properties in ruptured mitral chordae tendineae measured by synchrotron-based X-ray phase computed tomography. J Synchrotron Radiat. 2023 Sep 1;30（Pt 5）：995-1002. doi: 10.1107/S1600577523005167. Epub 2023 Aug 18. PMID: 37594861; PMCID: PMC10481270.
7. Uchihara Y, Saito K, Motoyama R, Ishibashi-Ueda H, Yamaguchi E, Hatakeyama K, et al. Neovascularization From the Carotid Artery Lumen Into the Carotid Plaque. Confirmed by Contrast-Enhanced Ultrasound and Histology. Ultrasound Med Biol. 2023 Aug;49（8）：1798-1803. doi: 10.1016/j.ultrasmedbio.2023.04.002. Epub 2023 May16. PMID: 37202244.
8. Kawai Y, Watanabe Y, Omae Y, Miyahara R, Khor SS, Noiri E, Kitajima K,Shimanuki H, Gatanaga H, Hata K, Hattori K, Iida A, Ishibashi-Ueda H, Kaname T, Kanto T, et al. Exploring the genetic

diversity of the Japanese population: Insights from a large-scale whole genome sequencing analysis. PLoS Genet. 2023 Dec 7;19（12）：e1010625. doi: 10.1371/journal.pgen.1010625. PMID: 38060463; PMCID: PMC10703243.

9. Amemiya K, Nishihira M, Ishibashi-Ueda H, Ohta-Ogo K, Ogo T, Ikeda Y, Hatakeyama K, Sasaki H, Ogino H. A 5-year survivor of endarterectomy for sclerosing undifferentiated intimal sarcoma of the pulmonary artery: Importance of clinical suspicion and careful histologic evaluation. Pulm Circ. 2023 Nov 29;13（4）：e12315. doi: 10.1002/pul2.12315. PMID: 38034856; PMCID: PMC10687324.

Ⅲ．研究活動：

1. AMED 研究プロジェクト「慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査」今中班　研究開発分担者 2025 年 3 月まで
2. “COVID19 ワクチン接種後心筋炎の心筋病理の収集・解析 ” と国立感染症研究所との共同研究
3. 同志社大学生命医科学部（池川雅哉教授との炎症性心筋症動物モデルの開発）

16. 血液浄化療法科

スタッフ

血液浄化療法科部長：山口 茂

外来通院透析、入院透析を中心に下記のような血液浄化療法を実施した。高齢者の新規透析導入患者の割合が増加する傾向が見られる。心血管合併症を有する患者も多く、長期の良好な予後が見込めない場合もある。透析シャフト管理やフットケアにも多職種で取り組んだ。

■ 2023 年度　血液浄化療法科実績

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析回数	127	160	149	141	152	144	139	152	165	134	124	145	1,732
入院透析回数	69	72	90	49	88	69	68	60	71	65	80	44	825
透析導入患者数	1	2	0	0	2	1	1	0	0	1	1	2	11
持続的腎代替療法（CRRT）実施件数	2	4	6	0	5	3	3	6	4	14	24	13	84
潰瘍性大腸炎に対する自己免疫吸着療法（G-CAP）実施件数	0	1	3	2	0	0	0	0	0	2	7	5	20
腹水濃縮潅流法（CART）実施件数	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	6

17. 健診科

スタッフ

部　長：斎藤 隆晴（健康管理センター長、2018 年 1 月～）

内容については、「Ⅲ-31　健康事業室」を参照ください。

18. 診療部医薬品勉強会

開催年月日	主催メーカー	説明会対象薬品
第 1 回　2023年　6月 17日	MSD株式会社	HPVワクチンの現状について（9価HPVワクチン シルガード9）
第 2 回　2023年　8月 22日	アボットジャパン合同会社	Free Styleリブレの基本情報
第 3 回　2023年 10月 24日	大塚製薬株式会社	女性のヘルスケアとエクオールについて
第 4 回　2023年 12月　5日	第一三共株式会社	片頭痛患者さんの現状と予防治療について
第 5 回　2024年　1月 23日	ノバルティスファーマ株式会社	神経内分泌腫瘍最新治療　放射性リガンド療法を中心に
第 6 回　2024年　1月 30日	帝人ヘルスケア株式会社	オスタバロ皮下注　～ 骨粗鬆症と治療について ～

19. 地域研修実績

2023年度　地域医療従事者研修会

年月日	講演名	講演内容	講師名	参加者数	（再掲）外部医療従事者	（再掲）外部一般	備考
2023年4月12日	北摂血液連携セミナーWeb講演（協和キリン）	総合司会 「Opening Remarks」 「血液疾患におけるゲノム医療」	北摂総合病院 病院長補佐 兼 消化器内科 主任部長 佐野村 誠 先生 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 准教授 山下浩平 先生 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授　高折 晃史 先生	30	9	0	3階多目的ホール、WEB
2023年5月11日	第92回 Medical Grand Rounds（ツムラ）	オープニングリマークス 座長 『機能性 消化器症状に対する漢方薬の可機能性 半夏瀉心湯 を中心に～』	北摂総合病院 病院長補佐 兼 消化器内科 主任部長 がん診療推進室 室長　佐野村 誠 先生 大阪医科薬学 内科学 Ⅱ教室 主任教授　西川 浩樹 先生 藤田胃腸科病院 理事長（兼院長）　本郷 仁志 先生	36	21	0	3階多目的ホール、WEB
2023年5月13日	看護オープンセミナー	『このまま様子をみても大丈夫?困ったときに使える呼吸と循環のフィジカルアセスメント』	北摂総合病院 集中ケア認定看護師　中口 愛 先生	29	16	0	3階多目的ホール、WEB
2023年6月24日	多職種連携の会	循環器疾患 ミニレクチャー「末期心不全について」 ミニレクチャー「人生会議のすすめ方」 グループワーク「大阪府人生会議のすすめの使い方」	北摂総合病院 副院長 循環器科部長　森井 功 先生 北摂総合病院 在宅看護専門看護師　野口 忍 先生	53	28	0	3階多目的ホール
2023年6月29日	TeaTimeConference	司会 「抗がん剤治療のトピックス」	津久田医院 院長　津久田 康成 先生 北摂総合病院 化学療法センター長 医長　西谷 仁 先生	17	11	0	3階多目的ホール、WEB
2023年6月29日	Cardiovascular&diabetes Soluion Seminar	座長 「変わりゆく循環器診療と当院の今」 「2型糖尿病におけるトータルケア-心合併症を意識した治療選択-」	北摂総合病院 理事長　木野 昌也 先生 北摂総合病院 副院長・救急診療科部長・循環器科　森井 功 先生 国立大学法人京都大学医学部附属病院 循環器内科 特定病院助教　加藤 恵理 先生	33	25	0	3階多目的ホール、WEB
2023年9月30日	第26回 登録医会議	「子宮頸がんとHPVワクチンの現状」 「当院での大腿骨近位部骨折の取り組み」 「アフターコロナこそ、病診連携がより重要になる」 「CoroFlowによる新たな冠動脈疾患診療への取り組み」	北摂総合病院 婦人科部長　田中 理恵 先生 北摂総合病院 病院長代理 整形外科主任部長　植田 直樹 先生 北摂総合病院 内視鏡センター長 消化器内科医長　碕山 直邦 先生 北摂総合病院 副院長 循環器科部長　森井 功 先生	132	71	0	ホテルグランヴィア大阪
2023年10月28日	多職種連携の会	＜第1部＞14:05～14:35 呼吸器疾患 ミニレクチャー 「肺炎について」 ＜第2部＞14:35～15:50 ・グループワーク 「入退院時の情報共有シートと看護要約の運用方法について」	北摂総合病院 呼吸器内科 部長・呼吸器内科センター長　貴島 源一 先生	44	10	0	3階多目的ホール
2023年11月4日	看護オープンセミナー	「認知症の人が気持ちよく過ごせる療養環境を作る為に」	北摂総合病院 看護部 認知症看護認定看護師　染田 敦子 先生	11	4	0	3階多目的ホール
2023年11月11日	骨粗鬆症治療の継続を考える会	「最新の骨粗鬆症治療および当院でのFLS取り組みについて」	やまぐち整形外科・リウマチクリニック 院長　山口 和男 先生 北摂総合病院 病院長補佐・整形外科部長　劉 長勘 先生	25	5	0	3階多目的ホール
2023年11月16日	TeaTimeConference（第一三共）	冠動脈疾患診療における新たな取り組み　-冠微小循環障害を中心に-	津久田医院 院長　津久田 康成 先生 北摂総合病院 副院長　森井 功 先生	53	50	0	WEB
2023年12月2日	看護オープンセミナー	針刺し・粘膜曝露予防とワクチンのお話	北摂総合病院 看護部 感染管理特定認定看護師　馬場 恵美 先生	8	3	0	3階多目的ホール
2024年1月20日	第22回 北摂総合病院 薬薬連携研修会	『手外科疾患とエクオールの関係』	北摂総合病院 病院長代理・整形外科主任部長　植田 直樹 先生	18	13	0	特別会議室、WEB
2024年2月3日	循環器リハ勉強会	『高齢心疾患のリハビリテーション』	北摂総合病院 診療技術部 理学療法士　古澤 隆雄 先生	7	3	0	WEB
2024年2月10日	看護オープンセミナー	『せん妄研修　-せん妄予防からがんの終末期せん妄まで-』	北摂総合病院 看護部 がん性疼痛看護認定看護師/特定看護師　京林 裕美 先生	13	9	0	特別会議室、WEB
2024年3月2日	北摂栄養セミナー	術前術後の栄養管理について	北摂総合病院 診療技術部 栄養科 栄養管理士　山本 修平 先生	5	1	0	WEB

年月日	講演名	講演内容	講師名	参加者数	（再掲）外部医療従事者	（再掲）外部一般	備考
2024年3月9日	多職種連携の会	「多職種連携について」	北摂総合病院　木野 昌也 理事長	57	23	10	3階多目的ホール
2024年3月16日	救急隊向けセミナー	心電図でわかること・わからないこと	北摂総合病院 副院長 救急診療科部長　森井 功 先生	49	49	0	WEB
2024年3月16日	第23回 北摂総合病院 薬薬連携研修会	「プラチナ製剤の副作用を復習してみよう」 「トレーシングレポートの内容をみんなで考えてみよう」	北摂総合病院 診療技術部 薬剤科 係長　岩村 恭子 先生	9	4	0	3階多目的ホール
			合　計	629	355	10	
			（昨年度）	541	431	0	

20. 卒後臨床研修実績

■ 1 年目研修医（2023 年 4 月～）【プログラム番号：030840303】

中瀬 亜子、三澤 風花

■ 2 年目研修医（2022 年 4 月～）【プログラム番号：030840303】

疋田 千晶、星山 大成

□北摂総合病院臨床研修プログラム【プログラム番号：030840303】

月	研修期間	研修分野	研修病院・施設
1	6ヶ月	内科研修	北摂総合病院
2			
3			
4			
5			
6			
7	3ヶ月	外科研修	北摂総合病院
8			
9			
10	4ヶ月	救急部門研修	北摂総合病院
11			
12			
13			
14	1ヶ月	地域医療研修	鄭クリニック
15	1ヶ月	精神科研修	新阿武山病院（精神）
16	1ヶ月	産婦人科研修	大阪医科薬科大（産婦人科）
17	1ヶ月	小児科研修	大阪医科薬科大（小児科）
18	1ヶ月	一般外来研修	北摂総合病院（総合内科）
19	6ヶ月	選択科目	北摂総合病院
20			
21			
22			
23			
24			

週間予定表（内科基礎研修の例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	早朝報告*1	早朝報告*1	早朝報告*1	早朝報告*1	早朝報告*1	
8:30	職員朝礼	職員朝礼	内科合同カンファレンス 職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	
9:00	指導医回診	指導医回診	指導医回診	指導医回診	院長回診	
12:30	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	
13:30	入院患者診察等	デスカンファレンス、CPC（13時～）入院患者診察等	入院患者診察等	入院患者診察等	入院患者診察等	
16:30						

内科基礎研修中は、担当医の下に 5 ～ 10 名前後の患者を受け持ち、副担当医として診療に従事する。当院内科基礎研修では、消化器内科（3 ヶ月）、循環器内科（2 ヶ月）、呼吸器内科（1 ヶ月）をローテー

トして研修する。さらに週1回程度、副宿直医として、宿直医とともに夜間、時間外における救急医療・時間外診療に従事する。他の研修期間においても、基本的に上記の内科基礎研修とおおむね同様のスケジュールにより実施する。

＊1 早朝報告（Morning report）（7：30 ～ 8：00AM）

一日の診療の開始にあたり、前日までの入院患者の状況を、プログラム責任者である院長と佐野村主任指導医に報告する。それぞれの受け持ち患者や診療を担当した患者の状況を、重要な事項を漏れなく手短にまとめて報告する能力を養成するとともに、他の研修医の診療状況及び病院活動の概要を理解する。

＊2 研修医学術発表会

■ 2023年度　北摂総合病院研修医学術発表会

【開催日】：2024年3月21日（木）

「骨折・脱水を契機とした糖尿病性ケトアシドーシスの1例」：星山大成 医師

「重症急性膵炎の1例」：疋田 千晶 医師

「虫垂炎疑いでＣＴを実施しFitz-Hugh-Curtis症候群の診断となった1例」：中瀬 亜子 医師

「高Ca血症を契機として診断された食道癌の1例」：三澤 風花 医師

＊3 臨床研修管理委員会（年３回）

■第47回臨床研修管理委員会　令和5年7月20日（木）　14時00分～ 15時00分

議題：Ⅰ　令和4年・及び5年度 臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ　EPOC2における症例等の登録状況について

Ⅲ　令和6年度から研修を開始する研修医の募集定員について

Ⅳ　令和5年度臨床研修委員会開催について

Ⅴ　その他

■第48回臨床研修管理委員会　令和5年12月14日（木）　14時～ 15時

議題：Ⅰ　令和4年・5年度臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ　EPOC2における症例等の登録状況について

Ⅲ　令和5年度マッチング結果（令和6年度採用内定者）発表について

Ⅳ　令和5年度 第3回臨床研修委員会開催について

Ⅴ　その他

■第49回臨床研修管理委員会　令和6年3月7日（木）　14時～ 15時

議題：Ⅰ　令和4年・5年度臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ　EPOC2における症例等の登録状況について

Ⅲ　令和6年度研修医採用者について

Ⅳ　令和4年度臨床研修医の修了認定について

Ⅴ　その他

21. 看護部

2023年看護部の取り組み

看 護 部 長：田尻 愛子
看護副部長：西村 直代

看護部のコンセプト『EGAO えがお』の北摂看護師

E	Experience　豊かな経験	**G**	Growing　育てる・人材育成
A	Activity　行動する	**O**	Observation　確かな観察力

2023年度の病院の行動指針である「道経一体経営」すべての人の安心と安全を願い、幸せを実現するために、ベリーベストを目指して一人一人が自分の強みを正しく理解し自覚して行動する。そして、チーム力を向上させ、良い成果を生み出すよう、「ひとり一人が、自分の強みを活かして行動する」を行動指針として取り組んだ。

新型コロナウイルスは変異と感染拡大を繰り返し、蔓延した状況が4年以上続いている。2023年5月より5類に変更されたが、感染力は衰えることがなく感染防止対策は継続中である。感染状況や病欠・離職など看護数の減少に伴い病床制限を行ったことで、救急応需や病床稼働に大きな影響を与える結果となった。

このような中で、延期となっていた病院機能評価（一般病院2）受審に取り組み認定されたことは、日々の看護実践が高く評価された結果であると考えている。

看護師の離職防止や定着については、急性期病院の機能と役割を維持するために、大きな課題と捉えており、看護部一丸となって取り組みを継続していく。

（1）北摂ラダー・教育の実績

専門・認定看護師等で構成する「NQM」（Nursing Quality Management）の活動は看護部のみならず組織横断的に職員教育の充実と、実践力の強化に向けて活動できるコンサルテーションを確立してきた。また、2019年4月に働き方法案が施行され、医療現場においてタスクシフト・シフティングの取り組みが求められるようになった。その中で、専門的な知識と技術を備えた専門看護師（1名）・認定看護師（9名）に加えて特定行為研修修了者（6名）が実践や教育・指導の場面で組織横断的に活躍している。特定行為については、11区分21分野の修了者6名が在籍しており、クリティカルケア領域を中心に手順書に基づき特定行為を実施している。また、院外活動として各部門の専門・認定看護師により、大学や看護協会を中心とした講師・講演活動、地域の学校への啓蒙活動、認知症に対する院内デイケアや認知症カフェなど、活動の幅を広げることができた。

看護管理研修においても主任以上を対象にファーストレベル、セカンドレベル研修を計画的に進めている。加えて医療安全管理研修についても1～2人/年の受講計画を立て安全な職場環境の醸成に努めている。

2019年度に日本看護協会が公表した看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）に添って北摂ラダー院内認定制度の見直しと改定を行い、北摂ラダー制度を継続している。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、新人看護師の研修は、集合研修からナーシング・スキルなどeラーニングを活用した教育プログラムへ移行していたが、2023年度からは、集合研修へ戻すことができた。加えて近隣大学病院の教育研修や学会等への参加も積極的に活動することができた。OJTやeラーニング研修を中心とした根拠に基づいた看護ケアの技術と知識の向上への取り組みを継続している。

ラダーレベル	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
認定者数	11名	49名	36名	16名	7名
新認定	11名	20名	12名	2名	5名

（2）認定看護師取得状況と活動実績

【資格取得】

認定看護管理者		1名
認定看護管理（サードレベル） 研修修了		1名
認定看護管理者教育課程（セカンドレベル）		4名
認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）		24名
臨床実習指導者講習会等		10名
専門看護師（在宅看護）		1名
認定看護師		9名
	感染管理	1名（看護師特定行為研修修了 大阪府看護協会）
	がん性疼痛	1名（看護師特定行為研修修了 大阪府看護協会）
	がん化学療法	1名
	救急看護	1名
	クリティカルケア	1名（特定行為含む）
	皮膚排泄ケア	1名（看護師特定行為研修修了 大阪府看護協会）
	慢性心不全	1名
	集中ケア	1名
	認知症看護	1名（看護師特定行為研修修了 兵庫県看護協会）
特定行為研修修了者		6名
感染制御実践看護師		1名
医療安全管理研修修了者		9名

【認定看護分野：在宅看護】野口 忍 **活動年：2023年4月～2024年3月末日**

実　践

1．入退院支援業務

1）入退院支援加算　算定状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数（退院患者数における割合%）	167 (37.4)	176 (40.0)	191 (39.8)	192 (39.4)	218 (49.2)	183 (39.8)	211 (43.4)	169 (37.3)	232 (45.4)	171 (43.0)	179 (41.8)	191 (38.4)	2,280 (41.2)

2）入院時支援加算　算定状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数（退院患者数における割合%）	13 (2.9)	6 (1.3)	9 (1.8)	18 (3.6)	22 (4.4)	18 (3.9)	17 (3.4)	7 (1.5)	10 (1.9)	13 (3.2)	15 (3.5)	13 (2.6)	161 (2.8)

3）入退院支援加算は前年度より357件増加、入院時加算は前年度より35件増加

4）介護支援連携加算　71件（規定数年間33件以上）　前年度より26件減少

5）Covid-19対応:発熱外来の業務に従事　76回

6）他の役割：多職種連携の会メンバー、患者サポート委員、職員研修委員、地域医療従事者研修委員、看護部教育委員
NQM担当、倫理コンサルテーションチームメンバー、虐待防止チームメンバー、医療メディエーター

7）2023.8.1～　ACPの推進の取り組み
目的：当院の患者に対し等しく人生会議（ACP）の啓発を行なうことで、もしもの時の意向を事前に話し合うきっかけをつくる。
結果、患者の意向が尊重され、家族の心理的負担も軽減され、医療者もスムーズな意思決定支援が行える。
方法：入院患者全員に人生会議のすすめのチラシを配布　外来にもチラシを設置。ケアプランセンターでもCMが全利用者に人生会議の説明と記録を促した。運用については、人生会議啓発資材の運用についてのマニュアル参照。
結果：資材の配布は12件　資材を使わないACP介入は11件　計23件

２．地域活動（調整も含む）

北摂総合病院多職種連携の会運営　2023.6.24、10.28、2024.3.9

３．教育活動（院内）

１）退院支援、意思決定支援関連

2023.4.1-2024.3.31　退院支援研修 Step1-2　22 名、Step3　21 名、Step4　30 名、Step5　32 名
2023.4.1-2024.3.31　多職種対象退院支援研修　Step1-4　21 名（医師 7 名、管理栄養士 3 名、リハビリ 5 名、MSW2 名、CM3 名）
2023.6.10　高齢者ケア　新人看護師対象　11 名
2023.4.26-2024.3.31　高齢者ケア　全看護職対象　e-learning 102 名、全職員対象　e-learning　77 名

２）虐待関連

2024.1.26-3.31　全職員対象　高齢者虐待について　e-learning　335 名

３）北摂ラダー教育関連

2023.4.1-2024.3.31　レポートの書き方　e-learning　75 名

４．その他（相談、調整、倫理調整含む）

１）倫理コンサルテーション：13 件
２）虐待予防チームメンバー：54 件
３）医療メディエーター：1 件
４）精神科リエゾン代替の役割：自殺企図、抑うつ等の精神科相談：19 件
月～金の 9 ～ 17 時限定で、大阪医科薬科大学の精神神経科電話相談（他の対応者は特定行為区分、精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連修了者認定看護師 2 名）

５．院外活動（教育・研究）

１）講義

2023.7.13　大阪府看護協会　高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケアから考える ACP　62 名
2023.9.12　大阪私立病院協会　看護部研修会　入退院支援の取り組み　53 名
2023.10 ～ 11 月
滋賀県立大学　大学院　人間看護研究科　高度実践看護学部門（在宅看護分野）
専門看護師実習の受け入れ　1 名
2024.3.14　大阪医科薬科大学医学部看護学科　がん看護学講義　1 名

2）研究

目的：在宅ケアに関する研究や実践報告で、在宅ケアの向上および広報に努める。

・大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了　大阪大学人間科学博士取得

3）学会発表・参加

・日本緩和医療学会第 28 回学術集会　神戸　示説　2023.6.30-7.1
カテゴリー　退院支援・退院調整「糖尿病性足壊疽による敗血症で緊急入院後、足の切断ではなく緩和ケアを希望した事例」

・日本緩和医療学会第 28 回学術集会　神戸　示説　2023.6.30-7.1
カテゴリー　アドバンス・ケア・プランニング「訪問看護ステーションでの ACP への取り組み 大阪府 ACP 啓発資材「だから今、人生会議」を用いて

・日本看護倫理学会第 16 回年次大会　東京　示説 2023.6.3-4
カテゴリー　事例発表「入院加療中の予後不良の COVID-19 患者の在宅看取りに向けての倫理調整」

・第 35 回日本生命倫理学会年次大会　一般参加　2023.12.9-10

4）論文

査読付き論文　訪問看護師による訪問看護利用者へのアドバンス・ケア・プランニングへの啓発と死亡場所の希望の実現率　ホスピスケアと在宅ケア，88，31，263-266.2024

5）外部資格

日本看護協会　在宅看護専門看護師
日本緩和医療学会　ELNEC-J コアカリキュラム指導者
日本健康科学学会　ELNEC-G 高齢者版プログラム指導者
東京大学大学院医療倫理学講座　研究倫理審査員コース、臨床倫理コンサルテーションコース修了
大阪大学人間科学博士

【認定看護分野：皮膚・排泄ケア】門戸 典子　　活動年：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月末日

2023 年 4 月から大阪府看護協会の特定行為研修を受講し、2024 年 2 月に研修終了。
以下の 3 分野 5 行為の特定行為が実施可能となった。
「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」
・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
・脱水症状に対する輸液による補正
「創傷管理関連」
・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
・創傷に対する陰圧閉鎖療法
「創部ドレーン関連」
・創部ドレーンの抜去

1．実践（件数はカウント可能であった延べ人数で表記、カッコ内は前年度の件数）

【Wound 分野】

創傷・瘻孔ケア・スキン - テア等皮膚障害含む　102（116）件

局所陰圧閉鎖療法　43（33）件

褥瘡ケア　267（226）件・・・褥瘡回診：201（147）件、褥瘡回診以外：66（79）件

・年々創傷の介入件数が増加している。継続看護が行えるよう病棟での管理方法を部署のスタッフへの情報共有・指導を行った。また退院 / 転院時の情報共有が行えるような介入を心掛けた。

・局所陰圧閉鎖療法は皮膚科の褥瘡で適応症例があり、特定行為研修終了後に実施していく。

・褥瘡は入院よりも外来での関わりが増えた。そのため院外で多職種と連携する機会が多かった。院内発生数は今年度も減少。持ち込み / 院内発生に関わらず入院期間中に治癒又は軽快出来るように多職種と共同し特に部署の看護師の連携を密に行った。

フットケア　270（295）件・・・入院：71（94）件、外来：199（201）件

・外来患者数は年々上昇。創傷を有する場合は整形外科 劉医師と共に外来を行い、ハイリスクフットではあるが創傷がなく予防的な関わりの場合はフットケア外来で外来中道看護師長（フットケア指導士）と共に対応している。

・フットの治療には多数の診療科が携わることが多いため、常にコーディネーターとしての立ち位置を意識しシームレスな治療・ケアが行えるように関わった。

・病棟看護師のフットケアの意識は創傷があればコンサルテーションがあるが、予防的な介入が乏しい場面が見受けられた。褥瘡対策委員会内では今年度は糖尿病のフットケアについて講義を行った。次年度は褥瘡対策委員の看護師を中心にフットケアのコンサルテーション時には一緒に爪切りを実施するなど知識・技術の向上を O.J.T 実施していく。

【Ostomy 分野】

ストーマケア　247（278）件・・・入院：88（175）件、外来：159（103）件

ストーマサイトマーキング・術前ストーマオリエンテーション

造設 23 件中 21 件実施、10 件はマーキング実施するが未造設

・マーキングの実施率は 91.3％と高く緊急の手術でも実施できていた。マーキング未実施の際はストーマ造設位置不良によるセルフケア困難・管理困難を招き、オストメイトの Q.O.L を著しく低下させるため、引き続き研修も実施していく。

・今年度も例年と比較しストーマ造設数減少を認めた。入院期間の短縮化により退院後の外来受診頻度を上げるなどフォローを手厚くし、高齢患者の在宅でのストーマ管理が上手く行えるようにサポートした。そのため昨年よりも外来でのストーマケア件数が多かった。今後も患者の背景等で受診頻度を考慮し継続的にサポートしていく。

・ストーマ造設の主病棟の消化器センターの看護師のストーマケアスキルは徐々に上がり、術後の 1 回 1 回のケア指導も充実してきている。次年度は関西ストーマケア講習会に参加した看護師を中心としてストーマケアのスキルアップを図っていきたい。また講習会への参加についても部署役職者と検討していく。

・ストーマ造設患者の局所ケア、精神的ケア

今年度も勤務日は朝の外科回診に参加し医師と連携を取ることでストーマ造設となる情報をキャッチし、ストーマ造設前に早期に関わることができ、ストーマ以外の創傷管理を多職種と共に行えた。また、ストーマ造設主病棟の看護師とストーマケアに関する情報交換やケアや指導の方向性の共有ができ、患者指導がスムーズに行えた。

外来でストーマ造設が決定した場合は、外来看護師がパンフレットで必要な項目について患者指導を行うと共に門戸にも造設となる旨を情報提供してもらえるように体制を整えた。病棟看護師にも入院前から情報提供することで、入院時からオリエンテーションやマーキングが出来、早期からストーマリハビリテーションが実施できる環境となった。

・患者に必要な情報を共有しよりよいケアが継続して提供できるように、訪問看護や入所施設、ケアマネージャーなど必要部署と TEL や必要時は書面で連携をとった。

【褥瘡対策委員会】

・褥瘡発生件数　8 件
（2016 年 74、2017 年 58、2018 年 47、2019 年 38、2020 年 26、2021 年 17、2022 年 12）

・医療関連機器圧迫創傷発生件数　6 件
（2016 年 35、2017 年 54、2018 年 44、2019 年 33、2020 年 18、2021 年 18、2022 年 7）

・褥瘡発生率　0.15％
（2016 年 1.22、2017 年 0.98、2018 年 0.78、2019 年 0.58、2020 年 0.45、2021 年 0.31、2022 年 0.23）

・褥瘡回診患者数　201（147）件

・褥瘡対策委員による院内研修を計 4 回開催。研修担当の褥瘡対策委員に指導を行い実施した。（①スキンケア、スキン - テア、おむつの当て方② DESIGN-R2020 ③体圧分散、ポジショニング④褥瘡ケアの実際）

褥瘡の発生数・発生率の更なる低減を認めた。日々の体圧管理・予防的なスキンケアに加え、必要な患者には栄養士やリハビリの介入を行うなど多職種による活動が低減につながったと思われる。

また、5/25・26 に実施された日本病院機能評価では褥瘡対策において「S 評価」をいただくことが出来たのも、患者に関わる職種全ての日々の関わりの積み重ねを評価していただけたと感じている。

2. 指導（教育）　※研修以外での指導内容は実践の項目参照

・新人教育研修　全 3 回

4/ 7　スキンケア、おむつの当て方
　　医療関連機器圧迫創傷～弾性ストッキング～

4/10　褥瘡とは、体圧分散・ポジショニング

10/ 2　DESIGN-R、スキン - テア、褥瘡対策に関する記録について

・褥瘡対策委員会主催勉強会　全 4 回

7/ 5　スキンケア、スキン - テア、おむつの当て方　（14 名）

9/13　DESIGN-R 2020　（15 名）
11/ 1　体圧分散、ポジショニング　（15 名）
1/17　褥瘡ケアの実際　（10 名）

・ストーマケア　全 4 回
7/31　解剖・生理、ストーマ造設、早期合併症（講師：一般消化器外科 豊田医師）　（25 名）
8/28　ストーマ造設患者の術前・術後の看護　（20 名）
10/16　ストーマケア　実技　（26 名）
11/20　ストーマに関する退院支援、ストーマサイトマーキング　（15 名）

・褥瘡対策委員会内研修
12/6　褥瘡に関する栄養・薬剤
12/7　糖尿病足病変

・手術室看護師対象研修　被膜ケア・剥離ケア
・ICU・救急フロア対象研修　緊急時のストーマサイトマーキング
・看護補助者対象　体圧分散・ポジショニング研修　（16 名）

3．相談

「1. 実践」の項参照。

4．学会、研究会、研修

・9/1 ～ 9/2　第 22 回日本褥瘡学会学術集会（参加）
・11/18 ～ 11/19　第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会（発表　共同演者）
・2/10　第 5 回日本フットケア・足病医学会　関西地方会　学術集会（参加）
・その他　Web 研修に参加

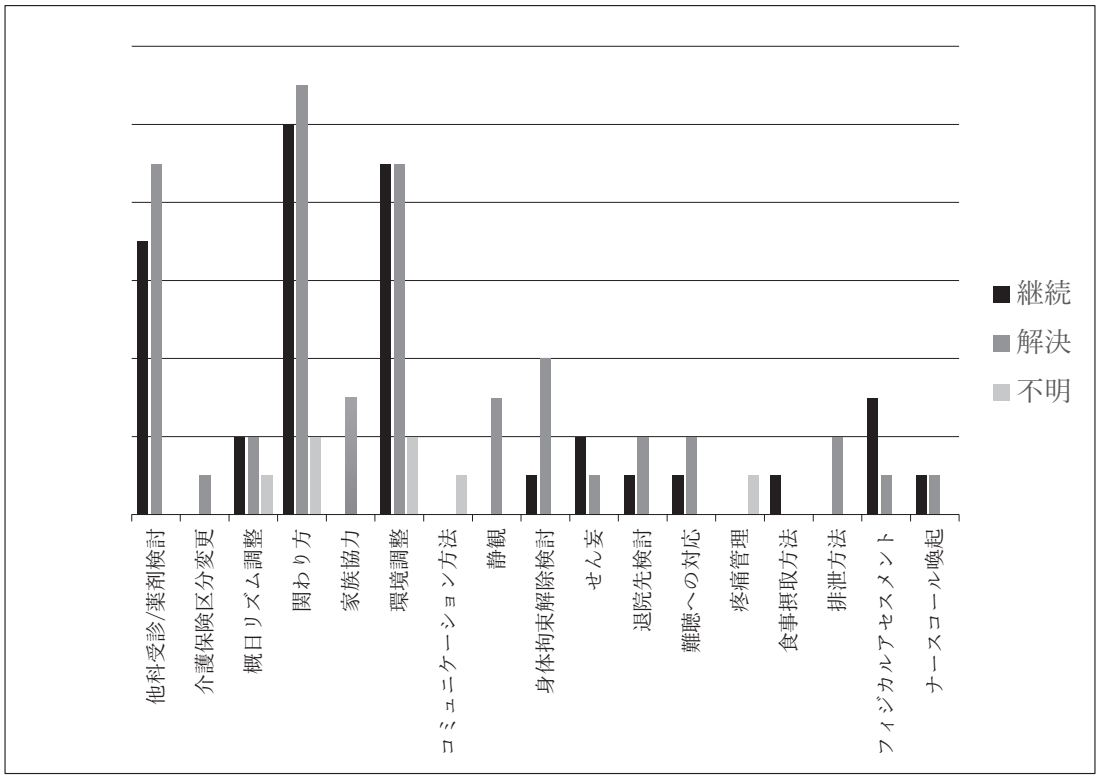
【認定看護分野：認知症看護】染田 敦子　　**活動年：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月末日**

実　践

1．認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の患者へ認知症サポートチーム介入

（チーム構成：認知症サポート医・認知症看護認定看護師・社会福祉士・作業療法士・理学療法士・管理栄養士・事務）

・当院における認知症者の入院割合：65 歳以上の約 33%
（65 歳以上の総入院割合　約 75%）
・認知症サポートチーム介入人数：2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日　696 人
・認知症サポートチーム介入内容：BPSD 出現または憎悪 37.6%　低活動 28.47%
関わり方（コミュニケーション方法）18.8%　せん妄 14.9%
・認知症サポートチーム介入後評価：54.9%解決　37.2%未解決
・認知症サポートチーム実践（助言も含む）：以下グラフ参照



2．認知症院内デイケア

認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の患者へ 2023 年 11 月より院内デイケア開始

週 1 回、14 時から 90 分程度。開催場所は病棟デイルームスペースを使用

感染対策のため、まずは 1 病棟より開催（整形外科病棟から開始）

目　　的：1. 離床を図り概日リズム介入　2. 他者と会話し不安感等の緩和

3. 心地よい環境作り　4. 業務改善　5. 認知症患者との関わりを学ぶ場

参加平均年齢：85.9 歳　参加平均時間：76.3 分　参加人数 41 人（2023 年 11 月～ 2024 年 2 月）

実 施 内 容：集団体操・個別保清・雑談・散歩・音楽鑑賞又は歌唱など

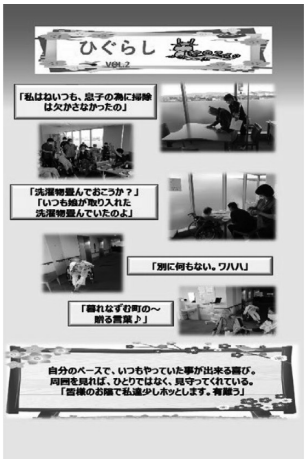
参 加 職 員：リハビリ科・看護師・認知症看護認定看護師

デイケア参加前のせん妄又は BPSD 出現割合：41.4%

デイケア参加翌日のせん妄又は BPSD 出現割合：24.3%

現在の状況：急性期病院としての役割を果たすためにも、他病棟へも拡大を検討中

認知症の患者や職員が病室では見れないリラックスし過ごしている表情を、全職員が見れるようにデイケア通信を定期的に掲載（認知症の患者への偏見を緩和するため）



３．認知症カフェの開催

共生社会の実現を国や地域が一体となって講じていく事がテーマである認知症基本法が 2024 年 1 月 1 日施行された。

2024 年 1 月より当院近隣地区で『かようカフェ』と名称し当院の地域支援事業とし開始した。

目　　的：認知症の人と家族等の居場所作り

参加協力職員：経営企画室　総務課　ケアプラン　訪問看護　外来看護師（認知症ケア専門士取得）
放射線科　リハビリ科　栄養科　調理科　検査科

開催場所：高槻市富田町　久次ビル　3 階フリースペース使用

開催日時：第 2 火曜日（年 7 回　2024 年度実施予定）13 時 30 分から 14 時 30 分

認知症にまつわる相談はもちろん、10 分程度のミニ講座を開催し、当院のあらゆる分野の専門職が市民へ健康にまつわるミニ講座をひらき、病院が行う強みとしての役割も提供とした。

参加者たちは、介護の悩みや、疑問、知識の共有をリラックスした環境で作り和んだ時間を過ごしていた。認知症の当事者は、周囲と会話し「すごいですね」など承認される言葉をかけられると、笑顔となり会話の中に溶け込んでいた。この場所は参加者たちが主役となり和やかな雰囲気を作り上げ、目的である居場所作りができていた。

４．認知症ケア委員会活動

2024 年 4 月 1 日より認知症ワーキンググループより認知症ケア委員会として活動。

目　　的：認知症の患者が安全・安楽に入院生活が経過できるよう継続的・運営的に計画を進める。
　　認知症ケアの促進と質的向上を図る

委員会構成メンバーは、認知症サポート医からなる多職種が委員会構成メンバーである。委員会メンバーの知識の向上をはかるため、毎年 2 回認知症ケア委員会主催の勉強会を全職員へ向けて開催する事とした。

５．認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の患者を対象とした病棟巡回

病棟巡回人数：696 人

巡 回 場 所：7 階病棟から ICU

巡 回 頻 度：各病棟へランダムに最低週 1 回は病室訪問し巡回

巡回優先順位：一般病棟へ入院直後
　　BOSD 出現のある患者
　　せん妄出現している患者
　　生命危機からある程度逸脱した患者

【指導】

《院内》

2023年 6月　看護職員へ認知症病態生理についてバリテス研修を開催
　　6月　認知症看護　新人看護師へ集合研修
　　7月　認知症看護（関わるときの必要な視点について）ラダーレベルⅡ以上看護師対象
　　8月　認知症の患者の言動から本人のニーズを考察する　事例展開　看護師対象
　　9月　認知症看護（コミュニケーションの方法）全職員対象　集合研修
　　11月　認知症看護（食事ケアへの関わり方）看護職員対象　集合研修
2024年 1月　認知症看護（排泄ケアについて）看護職員対象　集合研修

個別指導

・各病棟を週 4 日巡回し、看護目標やケア介入方法についての視点や問題点を助言し、実践しながら指導を行った。
・6 階病棟での患者カンファレンスに毎週 1 回参加し、認知症の人の視点とケアの方向性を助言し知識の提供を行った。

《院外》

2023年 7月31日　とんだ健やかテラス『認知症について+体操』
2023年 9月21日　玉川牧田コミニティセンター『認知症予防』
2023年10月19日　玉川牧田コミニティセンター『認知症予防』
2023年11月12日　柳川コミニティセンター『認知症予防+体操』

【相談】

相談件数：74 人

相談職種：医師　看護師　地域連携室　ケアマネジャー（当院 / 他院も含む）　訪問看護師　介護者（家族等）

相談内容：易怒性・低活動・関わり方・せん妄・排泄行動について等が上位を占めた

【認定看護分野：がん性疼痛看護】京林 裕美　　活動年：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月末日

1. 緩和ケアチーム介入件数：250 件／年（患者重複あり）

緩和ケア回診・カンファレンス回数；40 回／年

・医療用麻薬製剤の適正使用の提唱

・疼痛コントロール・症状マネジメントの実践

・治療に対する患者の意思決定支援と家族ケアをチームで実践

・療養場所の選択に対する患者の意思決定支援

・認知症がん患者の症状コントロールと意思決定支援

2. 外来がん化学療法室・緩和ケア外来

・患者家族に対する抗がん剤副作用の症状マネジメントとセルフケア指導

・緊急受診対応、必要時入院依頼など医師にコンサルト

・家族サポート（個別面談等）と、治療・療養場所の選択での患者の意思決定支援

・苦痛症状マネジメント、多職種連携で在宅療養支援

・在宅療養患者の緩和ケア依頼（PICC 挿入・輸血・緊急対応など）

・連携充実加算　433 件（外来化学療法加算 I 対象者に月 1 回／ 150 点）

3. がん相談 85 件／年（外来予約枠なし）（前年 113 件）

・セカンドオピニオンについて説明、希望者には MSW との連携

・意思決定支援：治療・緩和ケアを受けるための患者への告知の意義について家族と共に検討

・未告知を希望する家族に、患者の意思尊重について相談支援

・病態悪化による患者の苦痛・家族の不安に対する相談支援

・緩和ケア外来受診への調整

・緩和ケアについて、ホスピスについて患者・家族へ情報提供と調整

・他院精査中または治療中患者の家族の不安相談、治療内容や今後の見通しなど（電話・対面）

・就労支援

・他院患者の電話相談

4. 教育（院内・院外）

・専門研修

◯緩和ケア研修

①痛みのマネジメント（6/15）

②痛みの包括的評価の方法（7/20）

③症状マネジメント（8/17）

④苦痛緩和のための鎮静の妥当性と倫理的検討方法（9/21）

◯苦痛スクリーニング研修

苦痛スクリーニングの方法を症例を用いて実践（7/3・8/7）

◯せん妄研修

せん妄の基礎知識、薬物療法、非薬物療法、看護ケア（7/10）

◯看護倫理研修

行動制限と看護倫理研修（9/14）

◯看護オープンセミナー

せん妄研修　せん妄予防からがんの終末期せん妄のケアまで（2/10）

・院外講師・研修会

◯パナソニック（株）高槻地区がんセミナー

講師　（5/11）

○ ACP 支援実践人材育成研修

ファシリテーター　（8/26・10/14）

○ ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育研修

講師・ファシリテーター　（12/9-12/10）

5. がん診療推進室

・がん治療・化学療法委員会／緩和ケア委員会／レジメン管理委員会　12 回／年

①医療用麻薬製剤適正使用の検討

②症例検討

・終末期がん患者の鎮静の評価方法の認識確認

・終末期がん患者への輸血療法について、いつまで投与するかを考える

③苦痛スクリーニングの監査・質的評価と苦痛スクリーニング在り方の見直し（評価）

アセスメントの方法・記録・病棟カンファレンスの在り方など部署ごとに検討したことを委員会全体で共有

④がん相談支援センターの活動報告

⑤北摂がんフォーラム開催（9/29）「がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に対する基本的な考え方」

⑥レスキュー自己管理フローシート改定

⑦オキシコドン内服液の院外採用

⑧苦痛スクリーニングをする事で完結しているケースが増えた→苦痛スクリーニング研修再開

⑨治療抵抗性の苦痛に対する鎮静の勉強会をリンクナースに実施

⑩がん患者カンファレンスを開始；消化器センター・呼吸器センターで週 1 回
⑪北摂がん患者家族サロン開催（5/29・9/9）
⑫ CV ポートケアマニュアル作成
医療安全対策室、感染防止管理対策室、皮膚・排泄ケア認定看護師と協働で作成
⑬大阪府がん診療拠点病院における指定要件の見直し調整
・医療用麻薬製剤使用時の指示の統一：入院患者のレスキュー自己管理の積極的使用
・I.C 事後看護師同席の義務化
・がん患者カンファレンスの定着化：呼吸器・消化器がん患者カンファレンス開始
・医療従事者による患者の苦痛の把握と緩和ケアの提供

・がん相談支援センター会議の開設（月 1 回　初年度は院内周知方法の検討と実践評価）
・三島圏域がん研究会幹事会（3 回／年）
・三島圏域緩和ケア部会・三島圏域がん診療ネットワーク協議会・準備会（各 2 回／年）
・大阪府がん診療連携協議会・緩和ケア部会総会（2 回／年）
・大阪府がん診療連携協議会・看護部会発足（2 回／年）
・がん教育（高槻第三中学高 2 年生　1/18）
・三島医療圏合同がん患者サロン共催（1/20）
・北摂総合病院　緩和ケア研修会 2023 開催（1/21）
・がん治療と仕事の両立支援に関する講演会　医療者向け共催（2/3）

6. がん患者指導管理加算；全 89 件／年　500 点（がん告知時の支援等）39 件／年
200 点（心身的不安などに対する支援）41 件／年

7. 研修・学会・研究会参加
・第 29 回・30 回・31 回　三島圏域がん研究会
・増加する神経内分泌腫瘍と地域連携診療体制の必要性　6/7
・日本緩和医療学会教育セミナー　6/11
・第 28 回日本緩和医療学会学術集会　6/12
演題「認知症がある患者の推定意思決定のプロセスに必要なもの」
「妻の死後、抑うつ状態が続いたがん患者へのサポートに難渋した一例」
・Tea time Confrencs「抗がん剤医のトピックス」 6/29
・令和 5 年度愛知県立大学看護実践センターセミナー「せん妄」 9/24
・厚生労働省委託事業　がんサポートグループ企画・運営者のためのフォローアップ研修会　11/23
・第 4 回がんプロフェッショナル育成プラン主催セミナー「がん患者の自殺者の実態」 2/14
・三重県大学大学院医学系研究科「がん医療に看られる認知機能障害」 3/7

8. 特定行為
・非常勤医師によるリエゾン介入；45 回／年・254 件／年（患者重複あり）

せん妄予防・せん妄悪化予防の薬物療法と看護ケア
精神症状に対する支持療法
精神科医師推奨薬剤の適正使用状況の確認と部署へのフィードバック

9. 修了研修

・がん相談支援センター相談員基礎研修（3）修了

【認定看護分野：慢性心不全看護】三井 巳奈子　　活動年：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月末日

1. 実　践

1）外来・入院心臓リハビリテーション介入継続

理学療法士・管理栄養士と連携を図り、心不全患者への療養指導に努めた。

また、病棟での心臓リハビリテーション実施にあたり、理学療法士と協働し心臓リハビリ実施時間を病棟看護師と共有、双方でスケジュールを調整し効率化に努めた。

2）外来、訪問看護師との連携

心不全療養指導の理解や実施状況など外来看護師、訪問看護師と連携し療養支援に努めた。

3）心不全再入院予防支援

疾病管理指導・環境調整など心不全療養環境を多職種で介入し、再入院予防に努めた。

自宅退院した心不全患者の比較の結果

服薬支援無し群：2016 年 4 月～ 2018 年 7 月

服薬支援あり群：2018 年 8 月～ 2022 年 3 月

	支援なし群	支援あり群	p value
年齢, 歳	78.4 ± 12.9	78.7 ± 12.6	0.71
男性, n(%)	182(56.2)	238(59.1)	0.44
認知機能低下, n(%)	78(24.0)	90(24.1)	0.97
フレイル, n(%)	135(41.5)	134 44.2)	0.50
BMI(kg/m2)	21.5 ± 4.1	21.9 ± 10.1	0.52
独居, n(%)	82(25.2)	86(22.8)	0.28
介護保険, n(%)	94(28.9)	136(34.4)	0.12
服薬カレンダー/ピルケース, n(%)	6(1.8)	34(8.4)	<0.001
訪問看護導入, n(%)	6(1.8)	22(5.4)	0.01
家族協力, n(%)	13(4.0)	54(13.6)	<0.001
退院後　服薬自己管理, n(%)	91(28.0)	181(45.8)	<0.001
全死亡, n(%)	9(2.8)	28(6.9)	0.01
心臓死, n(%)	32(9.8)	32(5.0)	0.01
心不全再入院, n(%)	89(27.4)	115(28.4)	0.74
怠薬による心不全再入院, n(%)	6(1.9)	9(2.2)	0.73

2. 指導

1）心不全看護について、e-ラーニングで実施

2）地域健康教室「薬の飲み方について」

3. 相談

1）心不全看護全般

4. 学会発表・参加

2023年 6 月　心臓リハビリテーション学会　参加

2024年 3 月　日本循環器学会　発表

【認定看護分野：救急看護】小西 ゆかり　　活動年：2023年4月～2024年3月末日

実　践

1. ER関連の実績

【救急車台数】

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年増減
2022年度	268	300	276	262	259	284	288	299	299	294	290	276	3,395	164
2023年度	263	306	317	377	363	282	260	266	305	273	241	287	3,540	145

【不応需総件数】

2022年度：1,794件（応需率：65%）

2023年度：1,532件（応需率：70%）昨年比262件減

【救急患者総数】

2022年度：7,492名

2023年度：7,544名（昨年比52名増）

【ウォークイン数】

2022年度：4,064名

2023年度：3,779名（昨年比285名減）

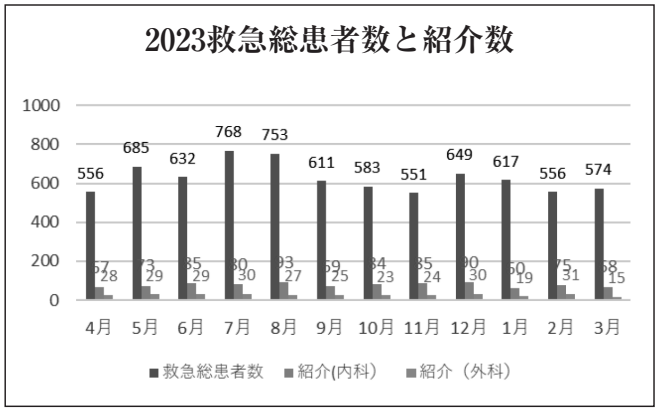
【前方支援・患者からの症状相談】

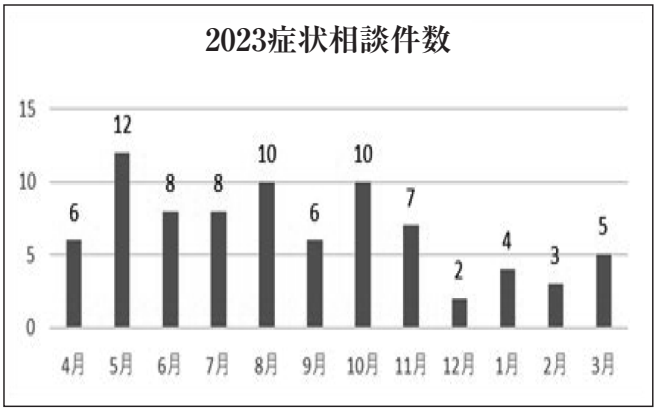
地域のクリニックや診療所からの紹介でER受診した方の年間総数：1,239件（昨年比148件増）内訳はER内科：929件、ER外科：310件であった。

また、患者からの電話もしくは受付での症状相談総件数は81件であった。この症状相談はER受診

につなげられた症例は除外している。単純に自宅での経過観察で可能だと判断した症例に関して万が一、その後状態悪化して搬送された場合に誰もが共有できるよう診療記録に残している。

下記グラフはその件数を示した。





2. 救急委員会の運営、実施（毎月第２金曜日 16:00 ～ 17:00）

1） CPR 実施症例のケースカンファレンス：19 件

7F 循環器センター　　：6 件
6F 呼吸器センター　　：3 件
5F 消化器センター　　：1 件
4F 整形小児フロア　　：1 件
ICU・救急フロア　　：1 件

2） 本年の委員会での決定内容。

①コードブルー放送を 24 時間に変更
②救急カートから舌鉗子を削除
③一部の気管内チューブをスタイレット付に変更

3. トリアージ検証

2022 年度 総トリアージ 4,064 名中 加算対象：155 件
2023 年度 総トリアージ 3,777 名中 加算対象：144 件
内アンダートリアージ件数：125 件（UT 率 3.6%）
内オーバートリアージ件数：239 件

指　導

1．研修実施状況

日　　程	テ　ー　マ	対　象　者	参加人数
2023 年 5 月 1 日	BLS･心電図･フィジカルアセスメント	新人・既卒看護師	19 名
2023 年 5 月 7 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	7 名
2023 年 6 月 4 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	8 名
2023 年 7 月 2 日	ICLS コース	医師・看護師・診療技術	11 名
2023 年 8 月 6 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	5 名
2023 年 9 月 3 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	10 名
2023 年 10 月 1 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	4 名
2023 年 12 月 3 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	8 名
2024 年 2 月 4 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	8 名
2024 年 3 月 4 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	4 名
2023 年 6 月 6 日	「乳児の BLS」研修	北摂保育士対象	5 名
2023 年 6 月 8 日	「乳児の BLS」研修	北摂保育士対象	5 名
2023 年 10 月	BLS 研修	看護補助対象	16 名
2023 年 11 月	BLS 研修	看護補助対象	9 名
2023 年 10 月	BLS 研修	事務局対象	12 名
2023 年 11 月	BLS 研修	事務局対象	18 名
2024 年 2 月	BLS 研修	事務局対象	16 名

2．講演・講師など

【外部講師】

東洋医療専門学校　　救急救命士学科（昼間部 80 名・夜間部 40 名）

2024 年 1 月 23・26 日　「実習前講義：実習レポートの書き方」講義

東洋医療専門学校　　救急救命士実習生受け入れ

2024 年 2 月 2 日～ 3 月 28 日の 42 日間　実習生 12 名

【その他】

2023 年 7 月 16 日（日）　院内で行われた JMECC コースにタスク参加

【相談】

RRS 相談件数：8 件（全体：50 件）

蘇生処置実施件数：19 件（内、ROSC10 件）

【認定看護分野：集中ケア】中口 愛　　**活動年：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月末日**

【実践・相談】

1. RRS 活動

クリティカル領域の認定看護師を中心として RRS 活動を実施している。

院内での RRS の定着のために、実践報告ならびに e- ラーニングでの研修を随時開催している。

コール件数は順調に増加しており、入院部門では全病棟からの RRS 要請がみられている他、今年度は看護師だけでなく離床工学技士からの RRS 要請もみられている。介入内容は多岐にわたるが、表 4 の「その他」の項目については、ICU 入室の手配が最も多く、ついで心肺蘇生が続く結果となっている。蘇生を必要とする前段階でのコールを目指すことは次年度の目標のうちの一つである。

1）コール件数：50 件　平均患者年齢：83.9 歳

2）要請部署及び件数の推移：50 件（表 1）

3）要請理由（表 2）

4）2023 年 3 月末時点の患者の最終転帰（表 3）

5）介入内容（表 4）

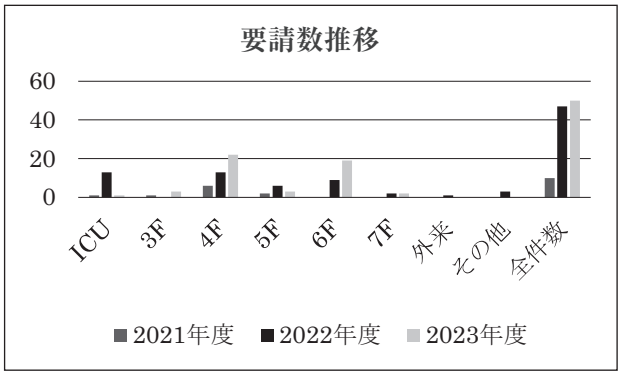


表1

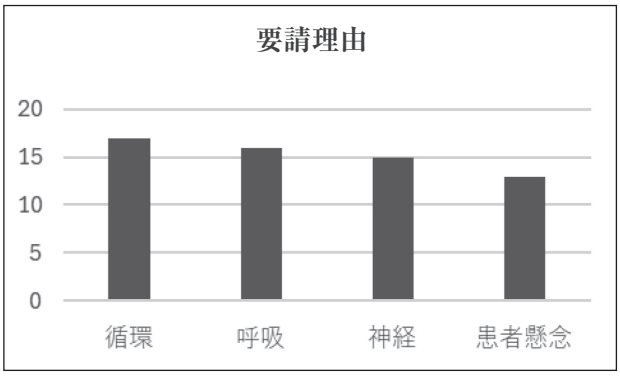


表2

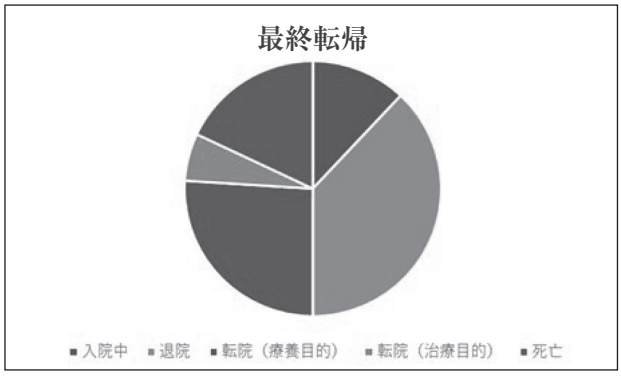


表3

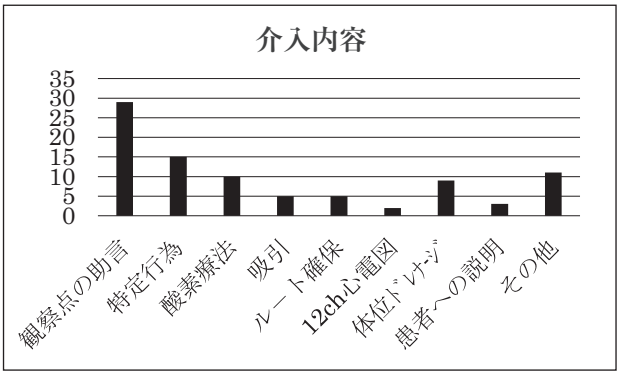


表4

2．循環器カンファレンス

毎週火曜日にICU及び7階病棟にて多職種による循環器カンファレンスに参加している。早期からのゴールの設定や退院支援の介入も重要視しながら、早期回復と継続看護の充実化を目的に看護介入方法の検討などについて受け持ち看護師へ助言を行い、ともに看護実践を行っている。

3．退室後訪問・コンサルテーション

NEWS中リスク以上で退室となった患者を中心にICU退室後訪問を実施している。患者の全身状態をアセスメントし、必要な看護ケアの実践について助言し、主治医やコメディカルと連携し、患者の早期回復と合併症予防に努めている。また、ICU入室中の挿管患者を中心に、コンサルテーションを受けて、看護ケアの実践についての指導を行っている。

1）退室後訪問件数：25件　平均年齢：81.7歳　男女比：男性11名　女性14名
訪問患者の最終転帰は2名が死亡、5名が療養型病院への転院、18名が入院前環境への退院となっている。訪問患者の主科内訳は、消化器外科10名、整形外科7名と続き、以下は表5の通りである。

2）コンサルテーション介入：14件　平均年齢：79.7歳　男女比：男性6名　女性7名

3）コンサルテーション部署（表6）

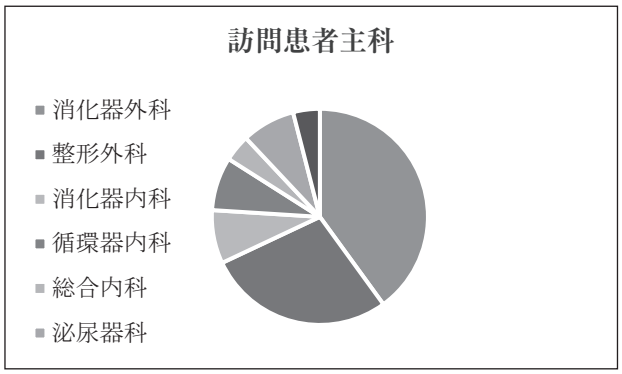


表5

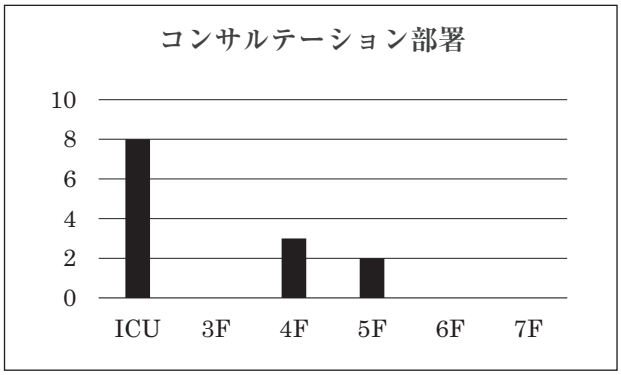


表6

4．早期離床・リハビリテーション

2022年4月よりHCUも早期離床・リハビリテーション加算の対象となったことを踏まえ、同年よりICUでの早期離床・リハビリテーションを開始している。理学療法士・ICU室長と専門チームを構成し、マニュアルを作成した他、ICU・救急フロアの看護師を対象に研修を行い、毎朝ICUで担当看護師とともにカンファレンスを実施し、重症患者が安全かつ早期に離床できるよう助言と介入を行っている。介入開始日の平均は開始初年度と比較し2.2日から1.48日へと短縮しており、ICU内での早期離床・リハビリテーションの定着を実感している。

1）HCU 加算及びリハビリテ－ション加算介入率・収益一覧（表 7）

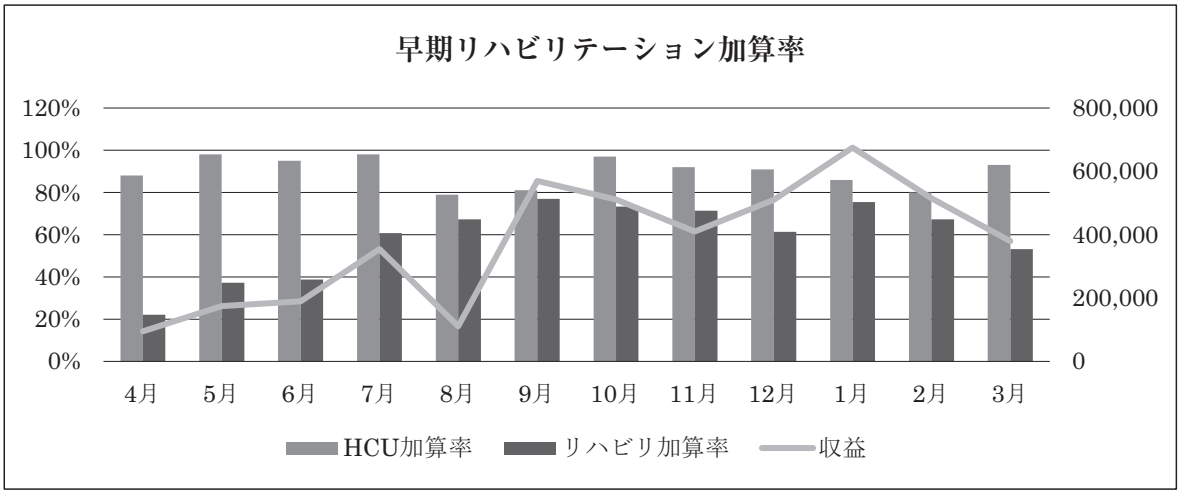


表7

5. 退室評価基準の導入

より安全な一般病棟への退室と有事の際の明確かつ客観的な指標を作ることを目的として、早期警告スコアである NEWS（National Early Warning Score）を ICU の退室基準として導入した。急変リスクが中リスク以上で退室した患者については、退室時に評価の共有と密な観察の継続を病棟看護師に依頼するとともに、退室後訪問の対象者としている。退室後訪問の実際については、【3. 退室後訪問・コンサルテーション】の項目に記載している。

結果、再入室患者数はわずかながら減少しており、一定の成果はみられている。しかしながら、急変リスクが低くても病状の悪化から ICU へ再入室となった患者も見られており、その要因についての評価が今後の課題である。

1）NEWS 導入前後の再入室者数推移（表 8）

2）再入室患者の主科（表 9）

3）再入室者の退室時 NEWS と最終転帰（表 10）

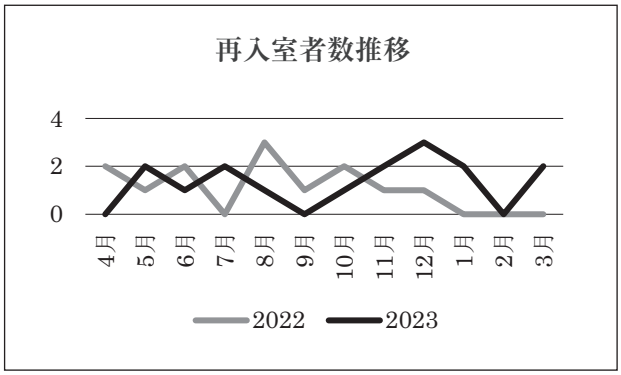


表8

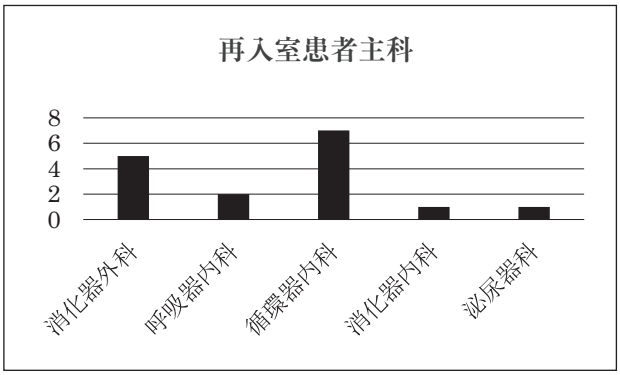


表9

最終転帰	合計人数	低リスク	中リスク	高リスク
死亡	10	4	2	4
転院（治療）	1	1	0	0
転院（療養）	3	3	0	0
退院	2	2	0	0

表10

【指　導】

下記の通り、地域の医療・福祉従事者を対象としたオープンセミナーや地域住民を対象とした健康出前教室を実施した。また、院内では下記の通り研修を開催している。開催内容については、教育委員会からの要請及び、当該部署の看護師からの依頼に基づくものである。ただしICU・救急フロア所属の看護師を対象としたものに関しては当該部署の特殊性を鑑み、知識を深める必要があると感じた内容を別途選定している。

2023年度研修内容と対象者一覧

研修内容	対象者
フィジカルアセスメントコース研修	新人看護師
血液ガス	ICU・救急フロア　新人看護師
人工呼吸器の基礎知識	ICU・救急フロア　2年目看護師
敗血症の基礎知識	3年目看護師
RRS研修	全職員
オープンセミナー	北摂地域の医療・福祉従事者
脳血管疾患	ラダーレベルⅡの看護師
健康出前教室：熱中症予防	市民対象に2回

【学会・研修参加】

・第51回日本集中治療医学会学術集会　参加
・第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会　参加
・呼吸療法認定士認定更新研修会　参加

【認定看護分野：がん化学療法看護】増井 香菜　　活動年：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月末日

【外来化学療法センター】

スタッフ

センター長：西谷医師

常置看護師：3 ～ 4 名（がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛認定看護師含む）

主に、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、婦人科がんに対して薬物療法を行っています。

外来化学療法センターでは、院内他職種以外に保険薬局との連携を図り患者サポートを行っています。

■外来化学療法患者数

132 名 / 年

内服抗がん剤患者数

72 名 / 年

■化学療法レジメン件数

	化学療法レジメン件数	化学療法患者数	内服抗がん剤患者数
4 月	71	50	37
5 月	73	57	28
6 月	58	57	32
7 月	62	49	31
8 月	73	51	22
9 月	53	42	22
10 月	52	39	23
11 月	57	48	28
12 月	54	44	30
1 月	59	44	25
2 月	61	42	28
3 月	60	45	24
延べ数	733	568	330

■連携充実加算件数

476 件 / 年

【認定看護分野：クリティカルケア】床尾 羊翼　　活動年：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月末日

実　践

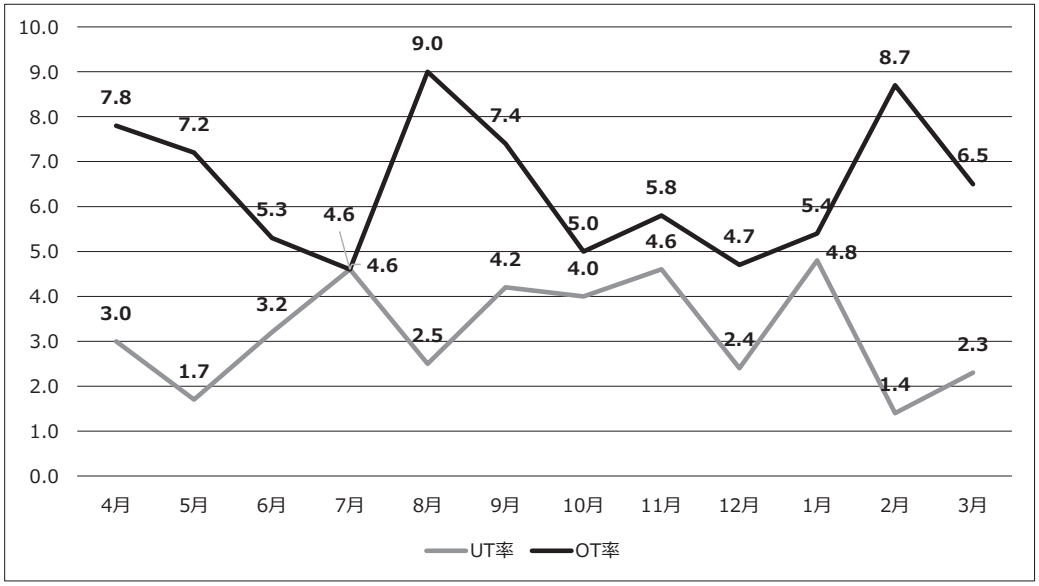
院内トリアージ事後検証、事後評価

2018 年 10 月より JTAS に基づいて院内トリアージを電子カルテ内へ導入。2023.4 ～ 2024.3 の 1 年間で 3446 件の院内トリアージを実施。院内トリアージ総数のうち、全ての院内トリアージの事後評価を行った。記録不備、電子カルテに記載がない院内トリアージ等で評価ができないものは未トリアージと下記する。毎月（第 2 金曜日）の救急委員会内で事後検証会を開催し、妥当性の評価を行った。2022 年度のアンダートリアージ率は 3.7%あったが、研修会等を行うことで 2023 年度のアンダートリアージ率は 3.25%まで減少することができた。引き続き、院内トリアージにおける評価を継続し、改善に努める。

年間総数	2021 年度	2022 年度	2023 年度
全トリアージ数	3,936	3,404	3,446
アンダートリアージ数	170（4.7%）	125（3.7%）	112（3.3%）
オーバートリアージ数	195（5.0%）	232（6.8%）	239（6.9%）
未トリアージ数	23	93	40

（　）内は割合　小数第二位より四捨五入

2023 年度　月別 UT 率・OT 率



院内認定トリアージナースの育成

院内トリアージの質の担保と共に統一性を維持させること、救急看護師のスキルアップにつなげることを目標に院内認定トリアージナースを育成するためのプログラムを作成。約 2 ヵ月間で第 1 クール（第 1 回緊急度判定の基本編、第 2 回補足因子編、第 3 回成人緊急度判定編、第 4 回小児緊急度判定編、第 5 回筆記試験)、第 2 クール（第 6 回シミュレーション前半編、第 7 回シミュレーション後半編、第 8 回模擬試験）と分け、各クールに筆記試験と模擬試験を設けて、すべてに合格したものを院

内認定トリアージナースとした。

2023年度は、看護師1名、救急救命士1名の合計2名の院内認定トリアージナースが誕生。2024年度より19名の院内認定トリアージナース(救急救命士含む)となった。今後も院内認定トリアージナースを育成し、さらなるアンダートリアージ率の減少に努める。

特定行為

2023年6月より特定行為委員会を立ち上げ（6、8，10，12，2月に開催）

看護師が行う特定行為（厚生労働省令で定められた21区分38行為）が院内で円滑かつ安全に実施することができ、解決すべき諸問題を検討・実行するとともに、その質を維持・向上をはかることを目的とする。

2023年3月　特定行為指導者講習会修了

2023年度　特定行為別実施表

2023年度　特定行為	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連													
①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整											1		1
2. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連													
②侵襲的陽圧換気の設定の変更		1					2		2				5
③非侵襲的陽圧換気の設定の変更			1	1	1	1	1	2		1			8
④人工呼吸器管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整							1						1
⑤人工呼吸器からの離脱													0
13. 動脈血液ガス分析関連													
㉒ 直接動脈穿刺法による採血	15	11	12	8	15	17	9	11	17	13	13	12	153
㉓橈骨動脈ラインの確保				1			2		5		2		10
15. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連													
㉕脱水症状に対する輸液による補正							1					1	2
20. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連													
㉟抗けいれん剤の臨時の投与													0
合　　計	15	12	13	10	16	18	16	13	24	14	16	13	180

指　導

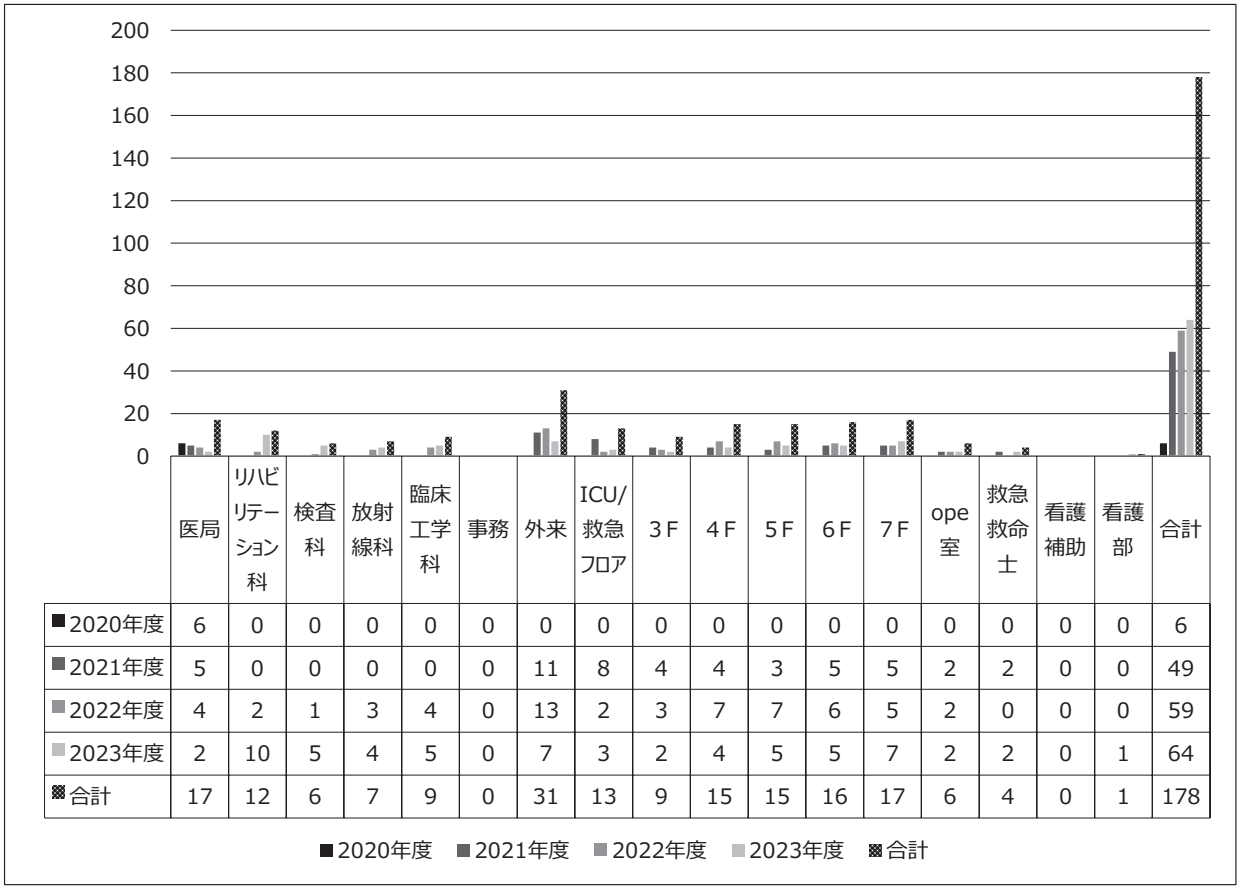
〈院内〉

院内における二次救命処置（ICLS）指導

院内での二次救命処置技術を向上、アルゴリズムの周知を目標に実施した。

2023 年 5 月、6 月、7 月、8 月、9 月、10 月、12 月、2024 年 2 月、3 月の 9 回の院内 ICLS 研修会を開催した。

受講者数、職種等はグラフを参照してください。



	医局	リハビリテーション科	検査科	放射線科	臨床工学科	事務	外来	ICU/救急フロア	3F	4F	5F	6F	7F	ope室	救急救命士	看護補助	看護部	合計
■2020年度	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
■2021年度	5	0	0	0	0	0	11	8	4	4	3	5	5	2	2	0	0	49
■2022年度	4	2	1	3	4	0	13	2	3	7	7	6	5	2	0	0	0	59
■2023年度	2	10	5	4	5	0	7	3	2	4	5	5	7	2	2	0	1	64
■合計	17	12	6	7	9	0	31	13	9	15	15	16	17	6	4	0	1	178

院内における新卒看護師・看護助手に対する BLS 研修会開催

院内での一次救命処置技術を向上、アルゴリズムの周知を目標に実施した。

新卒看護師に対するフィジカルアセスメント・急変前対応研修会開催

新卒看護師の必須研修として実施した。。

院内看護師向け研修会開催

2023 年 8 月　　ラダーⅠ～Ⅱ対象 「心筋梗塞について」　　参加者：16 名

2023 年 5、7、9、10 月、2024 年 1 月　　小児科外来　症例検討会

RRT（Rapid Response Team）の立ち上げ

要請部署・件数

	ICU	3F	4F	5F	6F	7F	ER	外来	内視鏡	カテ室	その他	全件数
2021年度	1	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	10
2022年度	13	0	13	6	9	1	0	1	0	0	4	47
2023年度	1	3	22	3	19	2	0	0	0	0	0	50

〈院外〉

外傷・災害コース（DTLS）インストラクター

2022 年度以降は、COVID-19 により開催なく、参加なし。

二次救命処置（大阪 ACLS）インストラクター

2023 年 6 月　　第 37 回京都第一赤十字病院 ICLS コース
2023 年 11 月　　第 38 回京都第一赤十字病院 ICLS コース
2024 年 1 月　　第 63 回箕面市立病院 ICLS コース

東洋医療専門学校の実習生の指導

2020 年より、救急救命士が ER 業務に参入し、共に救急医療を担っており、共に学生指導を協力して、救急救命士からの視点、病院内でおける医療、看護についてより多くの経験、知識、技術を得られるように指導を行っていく。

研究発表会

第 25 回日本救急看護学会

研究名「救急高齢患者の転帰を含めたトリアージ　―Acutely Presenting Older Patient screener（APOP）を用いた検証―」の共同研究者として帯同

院外講師

◎大阪府看護協会主催

「一般病棟において予兆をとらえて急変を防ぐ観察と看護のポイント」

対象者：保健師・看護師・助産師・准看護師

定　員：200 名

日　時：2023 年 10 月 5 日（木）　10：00 ～ 16：00 オンライン開催

【相談】

スタッフより救急領域におけるコンサルテーション

日常業務において、救急領域におけるコンサルテーション全般に対して相談を受け、解決に向けて協力を行った。現状として、病態変化における注意点、観察項目等の振り返りがメインであり、当事者であるスタッフと共に反省点などを検討した。

(3)院内研修一覧

2023年

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
4/3	新採用者 オリエンテーション	職員教育研修委員会	• 当院の理念と概要 • 病院組織について • 北摂総合病院行動指針 • 当院の就業規則と労働時間管理 • 当院の情報システムについて • 個人情報保護法について • 防災について(実施・現場確認) • 医療廃棄物処理　について • 医療安全管理・院内感染防止対策 • 職員の安全及び衛生管理について • 臨床倫理 • 病院における接遇とマナー • 放射線基礎 • 問題解決へのプロセスについて • 各部門紹介 (診療技術部・事務局・看護部) • 医療従事者として望まれること	理事長・病院長 各部門・部署担当者

看護部　新採用者オリエンテーション・新人教育研修・ラダーI研修

4/4	看護部　新採用者 オリエンテーション	看護部教育委員会	看護部の基本方針　看護部教育方針と体制 看護部のコンセプトEGAOについて 北摂ラダー制度について 年間プログラム	田尻看護部長 各委員会・担当者
		教育委員会	目標管理	西村看護副部長
			研修レポート / 今後の研修・ナーシングスキルについて	実地指導者
			接遇・コミュニケーション	
4/5	新入職者研修	教育委員会	看護を考える	西村看護副部長
4/6	感染管理 医療安全	教育委員会	感染防止対策について	感染管理認定看護師 馬場師長
			医療安全について	医療安全管理者 松江師長
4/7	スキンケア	教育委員会	スキンケア・おむつの当て方・陰部洗浄 弾性ストッキング	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
4/10	医原性褥瘡	教育委員会	褥瘡とは、体圧分散・ポジショニング	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
4/12	採血研修	教育委員会	採血（検体取り扱い）・注射	実地指導者委員会
5/1	フォローアップ研修	NQM	フィジカルアセスメント・急変時看護・心電図	救急看護認定看護師 小西師長
			BLS 研修	
5/2	医療機器安全管理研修	教育委員会	輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い	臨床工学技士
5/29	看護必要度研修	教育委員会	看護必要度について	看護必要度研修者
5/31	シミレーション研修	教育委員会	シュミレーション研修①	教育委員担当者 実地指導者
8/31			シミュレーション研修②	
11/29			シミュレーション研修③	
6/14	フィジカルアセスメント		フィジカルアセスメントについて	集中ケア認定看護師 中口主任

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
6/15	高齢者看護	教育委員会	高齢者看護の概要	在宅看護専門看護師 野口師長
	認知症看護		認知症について	認知症看護認定看護師 染田主任
7/31	シスター会		新人とシスターの交流	実地指導担当者
10/2	褥瘡について	褥瘡委員会	褥瘡とは /DESIGN/ 褥瘡記録の書き方	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
12/4	がん・緩和研修	NQM		がん性疼痛看護認定看護師 京林係長 がん化学療法認定看護師 増井主任
3/12	成果発表会	新人教育担当者	1年の振り返り	教育委員担当者

ラダーⅡ研修

4/1 ～ 3/31	バリテス研修	教育委員会 NQM	退院支援研修 STEP3- 5	在宅看護専門看護師 野口師長
5/8 ～ 1/31			慢性心不全看護	慢性心不全認定看護師 三井主任
7/1 ～ 10/31			中心・抹消静脈　カテーテルの管理 ①感染経路・効果的な消毒と輸液作成	感染管理認定看護師 馬場師長
7/12	ナラティブと看護の接点	教育委員会	看護体験を語ろう	教育担当者
8/2	病態生理		急性心筋梗塞	クリティカルケア認定看護師 床尾主任
7/7	メンバーシップ① フォロワーシップ		メンバーシップとフォロワーシップを学ぶ	教育委員担当者
9/27	メンバーシップ② フォロワーシップ		リーダシップマインドを持って実践できる	
6/15	緩和ケア研修	NQM	①オピオイドの特徴と適正使用	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
7/20			②痛みの包括評価の方法	
8/17			③症状マネジメント （呼吸器症状・消化器症状）	
9/21			④苦痛緩和のための鎮静の妥当性と倫理的検討方法	
7/10	せん妄研修		せん妄発生の機序・要因や薬物療法	
9/4	看護倫理		行動制限と看護倫理(管理者の倫理綱領)	
10/4・11	医療安全		KYT	医療安全管理者 松江師長
7/26	集中ケア		フィジカルアセスメント①呼吸	集中ケア認定看護師 中口主任
8/3			フィジカルアセスメント②循環	
9/11			フィジカルアセスメント③意識	
10/25			フィジカルアセスメント④体温	
11/16	中心・末梢静脈 カテーテルの管理②		CVC、末梢静脈挿入中の観察と管理	感染管理認定看護師 馬場師長
11/6	シミレーション研修	教育委員会	ショックの観察と対応高熱と悪寒戦慄	教育委員担当者
3/18	目標管理		目標管理基礎編	西村副部長

ラダーⅢ研修

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
4/1 ～ 3/31	バリテス研修	NQM	退院支援研修 STEP3- 5	在宅看護専門看護師 野口看護師長
5/8 ～ 1/31			慢性心不全看護	慢性心不全認定看護師 三井主任
7/1 ～ 10/31			中心静脈カテーテルの管理	感染管理認定看護師 馬場師長
7/8	実地指導	教育委員会	思考力を伸ばす指導	山中主任
9/20	アンガー マネジメント研修		事前課題：ナーシングスキル動画視聴 怒りで失敗しないために	立花主任
6/15	緩和ケア研修①	NQM	オピオイドの特徴と適正使用	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
7/20	緩和ケア研修②		痛みの包括評価の方法	
8/17	緩和ケア研修③		症状マネジメント (呼吸器症状・消化器症状)	
9/21	緩和ケア研修④		苦痛緩和のための鎮静の妥当性と倫理的検討方法	
7/10	せん妄研修		せん妄発生の機序・要因や薬物療法	
9/4	看護倫理		行動制限と看護倫理 (管理者の倫理綱領)	
11/16	ラダーⅢ研修 カテーテルの管理②		CVC、末梢静脈挿入中の観察と管理	感染管理認定看護師 馬場師長
9/20	アンガー マネジメント研修		事前課題：ナーシングスキル動画視聴 怒りで失敗しないために	立花主任
11/8・22	医療安全研修		RCA分析	医療安全管理者 松江師長
12/18・・25			チームSTEPPS	

ラダーⅣ研修

4/1 ～ 3/31	バリテス研修	教育委員会 NQM	退院支援研修 STEP3- 5	在宅看護専門看護師 野口看護師長
5/8 ～ 1/31			慢性心不全看護	慢性心不全認定看護師 三井主任
6/28	目標管理	教育委員会	目標管理	西村副部長
10/20			目標管理面談・育成面談	
7/8	実地指導		思考力を伸ばす指導	山中主任
9/7	スタッフ管理		人事考課ケーススタディ みんなで考えよう	萩原診療技術副部長 西村副部長
1/18	感染管理	NQM	流行性疾患・耐性菌出現時の感染管理と暴露後対策	感染管理認定看護師 馬場師長

看護補助者研修

6/6･9･30	目標管理	看護部教育委員会 NQM	目標管理の基礎	西村副部長
10.11/16	救急看護		BLS	救急看護認定看護師 小西師長

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
7/5	褥瘡対策員会	看護部教育委員会 NQM	スキンケア・スキンテア、おむつの当て方	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
8/9・21	ポジショニング		体圧分散とポジショニングの実際	
9/6・25	医療安全		危険予知トレーニング	医療安全管理者 松江師長
8/9・21	感染防止		個人防護具と手指衛生実施のタイミング	感染管理認定看護師 馬場師長

全体（全レベル）研修

4/1～3/31	バリテス研修	NQM	レポートの書き方	在宅看護専門看護師 野口師長
4/1～3/31			高齢者ケア	
4/1～3/31			退院支援研修 STEP1−2	
4/1～12/31			RRT 研修	集中ケア認定看護師 中口主任
6/1～7/25			フィジカルアセスメント概論	
6/9～7/23			認知症病態生理概論	認知症認定看護師 染田主任
1/1～3/31			ABSD 評価	クリティカルケア認定看護師 床尾主任
1/1～3/31			意識レベル評価	
1/1～3/31			臨床推論	
毎月第1日曜日	救急看護		ICLS コース	救急看護認定看護師 小西師長 クリティカルケア認定看護師 床尾主任
7/7・8/7	緩和研修		苦痛スクリーニング	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
7/10	せん妄研修		せん妄と認知症の違いその他	
9/4	看護倫理		行動制限と看護倫理(管理者の倫理綱領)	
9/1～9/30	バリテス研修	認知症ケア委員会	認知症とは　パーソン・センタード・ケア	認知症認定看護師 染田主任
2/29	認知症看護	認知症ケア委員会	認知症患者の食生活支援	立花主任・栄養科岡本係長
7/5	スキンケア	褥瘡委員会	オムツの当て方	褥瘡対策委員会 皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
11/1	褥瘡予防		体圧分散・ポジショニング	
9/13	褥瘡予防		「DESIGN-R」の評価	
1/17	褥瘡ケアの実際		褥瘡ケアに必要な基本的なケア技術	

専門領域コース別研修（NQM）

5/8～1/31	バリテス研修	ラダーⅢ以上	心不全療養指導士	慢性心不全認定看護師 三井主任
7/1～7/31		ラダーⅡ以上	がん化学療法看護基礎①	がん化学療法認定看護師 増井主任
7/31	ストーマケア ベーシック	全レベル	①解剖生理・手技	豊田消化器外科 主任部長

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
8/28	ストーマケア ベーシック	全レベル	②術前・術後のストーマケア	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
10/16			③ストーマケアの実際（実技あり）	
11/1			④ストーマサイトマーキング、退院支援	
7/3～ 7/31	がん化学療法看護	ラダーⅡ・Ⅲ	①薬剤の特徴・ 化学療法オリエンテーション	がん化学療法認定看護師 増井主任
8/16		ラダーⅡ・Ⅲ	②ドリップアイ・閉鎖式ルートの取り扱いについて	
10/1～		ラダーⅡ・Ⅲ	①有害事象：過敏症・インフュージョンリアクション	
2/5		ラダーⅡ・Ⅲ	②シミュレーション研修	
7/3・ 8/7	がん性疼痛看護	全レベル	苦痛スクリーニング	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
6/15	緩和ケア研修	ラダーⅡ以上	①オピオイドの特徴と適正使用	
7/20		ラダーⅡ以上	②痛みの包括評価の方法	
8/17		ラダーⅡ以上	③症状マネジメント （呼吸器症状・消化器症状）	
9/21		ラダーⅡ以上	④苦痛緩和のための鎮静の妥当性と倫理的検討方法	
9/4		ラダーⅡ以上	行動制限と看護倫理研修	
7/10	せん妄研修	ラダーⅡ以上	せん妄と認知症の違いその他	認知症看護認定看護師 染田主任
6/16	認知症看護	ラダーⅡ以上	認知症の人の理解・看護における倫理認知症機能症状とアセスメントの看護	
7/21		ラダーⅡ以上	認知症患者の日常生活の アセスメントとケア	
7/24		ラダーⅡ以上	認知症の人に関わる時に必要な視点	
9/15		ラダーⅡ以上	①コミュニケーション	
11/17		ラダーⅡ以上	②食事	
1/19		ラダーⅡ以上	③排泄	

（4）院外研修出張一覧

項目	研　修　名	主　催	開催日	参加者
看護管理	認定看護管理教育課程サードレベル	大阪府看護協会	9/5～11/29	西村直代
	認定看護管理教育課程セカンドレベル	大阪府看護協会	6/1～8/9	笹井文子
	認定看護管理教育課程ファーストレベル	大阪府看護協会	5/16～6/28	田中理恵
	認定看護管理教育課程ファーストレベル	藍野大学キャリア開発・研究センター	10/26～12/16	河口泰子
	認定看護管理教育課程ファーストレベル（フォローアップ研修）	藍野大学キャリア開発・研究センター	7/1	山中清香
認定・特定	感染管理認定看護師教育課程（特定行為含む）	大阪府看護協会	9/1～6/21	森 あずみ
	特定行為研修	大阪府看護協会	4/6～2/7	門戸典子
	特定行為研修指導者講習会（オンライン）	日本病院協会	9/10	馬場恵美
	糖尿病・重症化予防	和歌山県看護協会	10/21～22	松山清美
臨地実習	臨地実習指導者①	大阪府看護協会	6/1・6	東加奈
	実習指導者講習会フォローアップ研修	大阪府看護協会	3/12	福島有紀子
実地指導	実地指導者の役割 新人看護職員の理解と新人看護職員の具体的、指導のあり方（コーチングとティーチング）	大阪医科大学附属病院看護部	9/1・14・29、10/12	大谷和弘、森本圭以、大岸由季、岡香央里、米原華織、下園佳甫、寺村実沙子、三宅伶奈、竹下純平、横山奈海、才巻美月
	効果的な技術指導のあり方 （シミュレーション演習）		11/10・24、12/1・11	
	PNSマインドのある新人看護職員指導について （ロールプレイ演習）		1/29・30、2/22・27	
	新人看護職員研修における評価のあり方		2/28・29、3/4・11	
	新人看護師のメンタルサポートと自己のストレスマネジメント	大阪医科大学附属病院看護部	9/25・28、10/2	大磯沙也加、枚田真侑、大倉梓、林　由美、篠田美里、廣瀬未奈、武本凪沙
	PNSマインドのある 新人看護職員指導について		10/16、11/6 11/9・13	
新人教育	スキルアップ「BLS」「グリーフケア」	大阪医科大学附属病院看護部	5/12・19	北村天音、小山七海、廣澤有里、東山想、岡部絢香、福本晏未、友實由梨、杉山美月、伊地知夕、大南香帆、和田美華
	いきいきナースを目指して		6/21・22・28	
	倫理的感性を高めよう		7/11・25	
	医療安全のための基礎知識 ～安全な輸血療法～		7/21・31	
	「ストレスとうまく付き合おう」		9/7・12	
新人教育担当者研修	第1回ガイドラインの要点と新人教育担当者の役割	大阪医科大学附属病院看護部	9/27	中村菜摘、新井萌子、三好尚美、小西菜美、坂江麻実
	第2回臨床におけるメンタルヘルス支援		10/4	
	第3回PNSマインドのある新人看護師職員指導について		11/17	
	第4回指導体制における調整役としての役割と問題解決方法		12/22	
	第5回教育計画と評価		3/6	
看護共通	介護職のキャリアパス導入・運営について	大阪府私立病院協会看護部会	6/13	田尻愛子、西村直代 礒川浩美、柏　明美
	緩和ケアとコミュニティー・パートナーシップ	JECCS研修センター	6/25	三井巳奈子
	超高齢社会で口から食べる幸せを支えるために	大阪府私立病院協会看護部会	7/11	田尻愛子、西村直代

項目	研　修　名	主　催	開催日	参加者
看護共通	「看護の動向」①看護協会の立場から②看護行政の立場から「大阪府における地域医療構想について」	大阪府看護部長会	7/12	田尻愛子
	どう書く：小論文・課題レポート	藍野大学 キャリアサポートセンター	7/15	下垣内順子、木原未央、三好尚美、大谷和弘、武本凪沙、早河麻美
	フレームワークをどう使う	藍野大学 キャリアサポートセンター	7/15	木原未央、三好尚美、大谷和弘
	令和5年度「災害支援ナース養成研修」について看護管理者説明会	大阪府看護協会	7/21	田尻愛子
	共に育つための教育の基本的知識 ～教育方法～	大阪府看護協会	6/14	武本凪沙、米原華織
	入退院支援の実際	大阪府私立病院 協看護部会	9/12	田尻愛子、野口　忍
	嚥下・摂食障害のある患者の看護と実際を学ぶ	大阪府看護協会	7/14	林　由美、納富優子
	高齢者の「食」を考える ～肺炎を予防するための知識と実際～	大阪府看護協会	10/15	林　由美、納富優子
	嚥下・摂食障害のある患者看護のアドバンスト	大阪府看護協会	1/23・24	納富優子
	ACPに基づいた穏やかでその人らしい最期を迎える見守る見る取りのケア	大阪府看護協会	10/16	米原華織
	がん放射線治療を受ける患者の看護	大阪府看護協会	12/6	米原華織
	精神疾患を持つ患者の捉え方 ～精神的苦痛の寄り添う看護へ～	大阪府看護協会	11/30	米原華織
	意思決定を支えるケア	大阪府私立病院 協看護部会	11/14	田尻愛子、野口　忍、笹井文子、山中清香
	リーダーは、プライドを捨てて弱みをみせろ	大阪府看護部長会	9/15	田尻愛子、西村直代
	看護チームにおけるリーダーシップ	大阪府看護協会	11/6	福島有紀子
	DX時代の看護記録改革に関する研修会	大阪府私立病院 協看護部会	12/12	田尻愛子、笹井文子、園山真由美、柏原真寿美
	シンポジウム:現任教育	大阪府私立病院 協看護部会	2/13	西村直代、笹井文子、田中理恵
	第33回機能評価受審支援セミナー（WEB）	全日本病院協会	3/10	奥村友子、馬場恵美、松江さつき、小西ゆかり
	データを制する看護管理者を目指す	大阪府看護協会	2/10	古川美香
	大人のための発達障害～共に働くために～	大阪府看護協会	2/21	田中理恵
	2023年度大阪府看護職員　認知症対応力向上研修①②③	大阪府看護部長会	1/9・11・16	榎本則子
	看護に活かす臨床推論	大阪府看護協会	12/5	山田洋子
	現場で活かせる！質的研究入門	大阪府看護協会 府北支部	12/23	田尻愛子、小西ゆかり、古川美香、青山　楓
	看護の専門性を発揮しつつ多職種連携で進めるタスクシフト・シエア	大阪府看護協会	11/9	西村直代
	大阪府看護職員認知症対応力向上研修	大阪府看護協会	1/9・11・16	稲垣亜由美、榎本則子
	摂食・嚥下障害のある患者看護のアドバイスト	大阪府看護協会	1/23～24	木田育美
災害	BCPを策定し、災害に備えよう	大阪府看護協会	6/14	濱畑綾乃、太田由紀、河村　茜
	災害支援ナース育成研修	大阪府看護協会	1/18～19	河村　茜

項目	研　修　名	主　催	開催日	参加者
安全	医療事故防止の基本と医療事故防止行動	大阪府看護協会	11/13	山下雄大
	医療安全管理体制相互評価者養成講習会	全日本病院協会	8/5～6	松江さつき
	医療安全管理者に必要な知識の修得(WEB)	大阪府看護協会	12/14	松江さつき
	医療安全推進指導者講習会	大阪府医師会	2/4	松江さつき
	医療安全管理者フォローアップ研修会	大阪府看護協会	3/15	松江さつき
感染	感染管理の基礎知識	大阪府看護協会	6/6	森あずみ
	知っておきたい海外への人との 従来に伴う感染症	大阪府看護協会	10/6	笹井文子
	第5回エンド・オブ・ライフ・ケア 看護師教育プログラム（ELNEC-J)	大阪医科大学附属病院	12/9～10	京林裕美、猪飼利恵子、 早河麻美、中村菜摘、 永井真弥、岸本真奈

各種学会　等

学会	日本看護倫理学会第16回年次大会（発表）	東京都看護協会	6/3～4	野口　忍
	第28回日本緩和医療学会学術大会（発表）	日本緩和医療学会	6/30～7/1	野口　忍、京林裕美
	日本心臓リハビリテーション学会学術集会 （オンデマンド参加）	日本心臓リハビリテーション学会	7/15～16	三井巳奈子
	第22回大阪病院学会	大阪病院学会	10/8	田尻愛子、西村直代、 笹井文子、稲垣亜由美、 園山真由美、山中清香、 武本凪沙、立花　悠、 廣瀬　遥、岸本真奈、 楠田岬生、神崎悠希
	第35回日本生命倫理学会年次大会	日本生命倫理学会	12/9～10	野口　忍
	第25回日本救急看護学会学術集会	日本救急看護学会	11/24～25	小西ゆかり、床尾羊翼、 大倉　梓
	骨粗鬆症学会		11/5	田中理恵
	第26回日本腎不全看護学会学術集会	日本腎不全看護学会	11/18～19	中道和歌子
	グローバルヘルス合同大会		11/24～26	西岡香穂理
	第18回医療の質学会、安全学会		11/25～26	松江さつき
	第11回大阪府看護学会	大阪府看護協会	12/2	田尻愛子、宗澤　桂、 守谷奈々美、稲守綾子、 森本圭以、三宅伶奈
	第51回日本集中治療医学会学術集会	日本集中治療医学会	1/15～16	中口　愛
	第88回循環器学会学術集会	循環器学会	3/8～9	三井巳奈子
	三島保健医療協議会	茨木保健所	7/26	田尻愛子
	施設（就職）説明会	高槻市医師会看護学校	8/26	田尻愛子、西村直代
	看護職リカレント教育・就職・転職相談会	大阪医科薬科大学	10/20	西村直代
	高槻市医師会 49回生基礎実習の打合せ	高槻市医師会看護専門学校 准看護課程　実習オリエンテーション	10/18	稲垣亜由美

(5)活動実績と看護学生臨床実習受け入れ実績

活動実績

【院外・地域活動】

高槻ハーフマラソン救護
地域イベントへの看護師派遣（救護班派遣）
プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦　救護（看護師派遣）

【看護学生等臨床実習】

高槻市医師会看護専門学校　准看護学科
藍野大学看護学部（成人看護学）
藍野大学短期大学部（小児看護学）
大阪保健福祉看護専門学校　通信課程
大阪病院協会看護専門学校　通信課程
東洋医療専門学校（救急救命士）

22. 中央手術センター　(1)科別・術式別(手術室)手術件数

診療科	手術術式	件数
一般消化器外	腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）	38
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）両側	1
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）ヘルニア解除（右）	1
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）・水腫摘出	1
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術（TAPP）	32
	腹腔鏡下両側鼠径ヘルニア根治術（TAPP）	5
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術（前方アプローチ）	1
	腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹壁瘢痕ヘルニア修復術	1
	腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術（IPOM+）	2
	腹腔鏡下虫垂切除術（膿瘍形成あり）臍ヘルニア修復術	1
	腹腔鏡下イレウス解除術	3
	腹腔鏡下イレウス解除術（腸切除）	2
	腹腔鏡下イレウス解除術（腸管切除を伴わないもの）	1
	腹腔鏡下虫垂切除術	23
	腹腔鏡下虫垂切除術（膿瘍形成あり）	10
	腹腔鏡下虫垂切除術（膿瘍形成なし）	12
	腹腔鏡下虫垂切除術（膿瘍形成を伴う）	2
	腹腔鏡下虫垂切除術、腹腔ドレナージ術	1
	腹腔鏡下虫垂切除術、ドレナージ（膿瘍形成あり）	1
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	82
	腹腔鏡下胆嚢摘出術　亜全摘術	3
	腹腔鏡下胆嚢摘出術（膿瘍形成あり）	1
	腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔ドレナージ	1
	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1
	腹腔鏡補助下ストーマ造設術	2
	腹腔鏡補助下Ｓ状結腸切除術	2
	腹腔鏡補助下Ｓ状結腸切除術、ストーマ造設術（結腸）	1
	腹腔鏡下Ｓ状結腸切除術	7
	腹腔鏡下Ｓ状下行結腸切除術	1
	腹腔鏡下Ｓ状結腸切除術、胆嚢摘出術	1
	腹腔鏡下Ｓ状結腸切除術、膀胱瘻閉鎖術	1
	腹腔鏡下右側結腸切除	1
	腹腔鏡下右側結腸切除、リンパ節郭清	2
	腹腔鏡下右半結腸切除	8
	腹腔鏡下右半結腸切除、リンパ節郭清	1
	腹腔鏡下右半結腸切除、D3 リンパ節郭清	1
	腹腔鏡下右半結腸切除・腹腔鏡下胃亜全摘出術ビルⅡ・腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
	腹腔鏡下左半結腸切除	6

腹腔鏡下左側結腸切除	1
腹腔鏡下左側結腸切除、人工肛門造設術	1
腹腔鏡下拡大右半結腸切除	2
腹腔鏡下拡大右半切除術・腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下バイパス術	1
腹腔鏡下胃・空腸バイパス術	2
腹腔鏡下胃部分切除	1
腹腔鏡下噴門側胃切除	1
腹腔鏡下胃全摘 / 腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下胃亜全摘、胆摘、リンパ節郭清	1
腹腔鏡下回盲部切除術	9
腹腔鏡下回盲部切除術（膿瘍あり）	1
腹腔鏡下ドレナージ術	1
腹腔鏡下ドレナージ　膀胱修復術	1
腹腔鏡下ドレナージ・回腸ストーマ造設	1
腹腔鏡下高位前方切除術	4
腹腔鏡下前方切除術	2
腹腔鏡下横行結腸切除術	1
腹腔鏡下横行結腸ストーマ造設術	1
腹腔鏡下幽門側胃切除術	3
腹腔鏡下幽門側胃切除　胆嚢摘出術	3
腹腔鏡下幽門側胃切除（B- Ⅱ、ブラウン吻合)、胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下幽門側胃切除　Bil Ⅱ + 胆嚢摘出術（横行結腸間膜浸潤）	1
腹腔鏡下低位前方切除術	9
腹腔鏡下低位前方切除　ストーマ造設	1
腹腔鏡下低位前方切除 + リンパ節郭清術　（D3+216）	1
腹腔鏡下低位前方切除（K740-2: 開腹移行）+ 人工肛門造設、子宮悪性腫瘍手術（K879）	1
腹腔鏡下超低位前方切除、一時的人工肛門造設術 + 腹腔鏡下虫垂切除術 + 腹腔鏡下癒着剥離術	1
腹腔鏡下小腸切除術	2
腹腔鏡下癒着剥離術	2
腹腔鏡下癒着剥離術、小腸部分切除	1
腹腔鏡下癒着剥離術、右半結腸切除	1
腹腔鏡下リンパ節生検	1
腹腔鏡下盲腸切除術	2
腹腔鏡下止血術	1
腹腔鏡下人工肛門造設術	6
腹腔鏡下大網充填術、腹腔トレナージ	1
腹腔鏡下絞扼解除、小腸部分切除術	1

審査腹腔鏡	1
審査腹腔鏡、前方アプローチ	1
審査腹腔鏡、腹腔ドレナージ術	3
審査腹腔鏡、腹腔ドレナージ術、捻転解除	1
審査腹腔鏡、小腸部分切除	2
審査腹腔鏡、イレウス解除	1
審査腹腔鏡、イレウス管挿入術、空腸―上行結腸バイパス術、横行結腸人工肛門造設術	1
審査腹腔鏡、腹腔鏡補助下ハルトマン手術	1
審査腹腔鏡、結腸部分切除を伴う人工肛門形成術	1
審査腹腔鏡、急性汎発性腹膜炎手術	1
審査腹腔鏡、開腹膵体尾部切除術（脾臓切除含む）、リンパ節郭清	1
前方アプローチ	2
ストーマ造設	1
ストーマ造設・ドレナージ術	2
ストーマ閉鎖術（腸管切除を伴う）	2
ストーマ閉鎖術（腸管切除を伴う）、ヘルニア修復術	1
ストーマ閉鎖術・小腸部分切除	1
開腹臍ヘルニア修復術	1
開腹ヘルニア嵌頓修復	1
開腹イレウス解除術	1
開腹イレウス解除術（腸切除を伴うもの）	2
開腹Ｓ状結腸ストマ部分切除、ストマ形成術（K-720）	1
開腹Ｓ状結腸切除　腹腔ドレナージ　下行結腸ストマ造設	1
開腹 : 高位前方切除 + 膀胱壁部分切除	1
開腹ハルトマン手術	1
開腹絞扼解除	1
開腹小腸切除術　+　ドレナージ術	1
開腹胃亜全摘　B-Ⅱ法　ブラウン吻合	1
虫垂切除、腹腔ドレナージ	1
臍ヘルニア修復術	1
腹壁瘢痕ヘルニア修復術	1
鼠径ヘルニア修復術（前方アプローチ）	1
鼠径ヘルニア修復術（メッシュプラグ法）	1
鼠径ヘルニア根治術（前方アプローチ）	3
腫瘤摘出術	6
脂肪腫摘出術	1
粉瘤摘出術	2
左乳房部分切除、左腋窩リンパ節郭清術　K476-4	2
右乳房部分切除、右腋窩センチネルリンパ節生検	1

	左乳房部分切除、左腋窩センチネルリンパ節生検	2
	左乳房部分切除、左腋窩センチネルリンパ節生検　K476-2+ 注 2	1
	左乳房部分切除、左腋窩センチネルリンパ節生検 右乳房部分切除、右腋窩センチネルリンパ節生検	1
	右乳房全切除　K476-2	1
	右乳房温存部分切除（郭清なし）、右腋窩センチネルリンパ節生検 K476-2+ 注 2	1
	左腋窩リンパ節摘出術、K626-2	1
	左乳腺切除、左腋窩郭清	1
	乳腺腫瘍摘出術　直径 5cm 以上　K-474-2	1
	左マイクロドチェクトミー	1
	開創、血腫除去、止血術	2
	開腹止血術	1
	術後血腫除去術	1
	切開排膿	1
	切開 / 排膿、ドレナージ術（皮切 6 カ所）	1
	痔核根治術	3
	痔瘻根治術（シートン法）	1
	痔瘻根治術（コアリングアウト + シートン法（6 時））	1
	痔核手術　結紮術（K743-3）	1
	開腹人工肛門閉鎖術	1
	人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）	3
	小腸人工肛門造設	1
	両側付属器摘出術	1
	Miles 術	1
	リンパ節摘出術長径 3cm 未満	1
	胃空腸バイパス術　ブラウン吻合	1
	胸壁リポーマ（縦 6.5cm、横 5.3cm、高さ 3cm）	1
	拡大右半結腸切除	1
	一般消化外集計	**421**
眼科	ECCE（右）	2
	ECCE+IOL 挿入術（左）	1
	PEA（右）	2
	PEA+IOL 挿入術（右）	63
	PEA+IOL 挿入術（左）	61
	PEA+IOL 挿入術（左）、CTR 挿入	1
	アイリーア硝子体注射（右）	63
	アイリーア硝子体注射（左）	19
	バビースモ硝子体注射（右）	18

	バビースモ硝子体注射（左）	28
	右ラニビズマブ BS 硝子体内注射	32
	左ラニビズマブ BS 硝子体内注射	21
	右ルセンティス硝子体内注射	17
	左ルセンティス硝子体内注射	14
	水晶体再建術（右）	55
	水晶体再建術（左）	57
	水晶体再建術（右） 梅毒＋	1
	水晶体再建術（左） 梅毒＋	1
	水晶体再建術（右） ジアグノ使用	1
	水晶体再建術（左） ジアグノ使用	1
	水晶体再建術（右）＋右結膜腫瘍摘出術	1
	水晶体再建術（右）＋アイリーア硝子体注射	1
	結膜嚢部分形成術（右） K223-1	1
	結膜嚢部分形成術（左） K223-1	2
	翼状片切除術（右）	2
	右眼眼内レンズ縫着術（右）	1
	右虹彩整復術	1
	前房穿刺（顕微鏡下）（J087）（左）	1
	眼科集計	**468**
呼吸器外科	右鼠径リンパ節生検	1
	開胸右下葉切除	1
	胸腔鏡下右胸膜生検	2
	胸腔鏡下右胸膜生検、状況により肺門、縦隔のリンパ節生検	1
	胸腔鏡下右胸膜生検、肺部分切除	1
	胸腔鏡下左胸膜生検	1
	胸腔鏡下右肺上葉切除＋リンパ節郭清	1
	胸腔鏡下右肺上葉部分切除術・胸腔鏡下右下葉部分切除術	1
	胸腔鏡下右肺下葉部分切除術	1
	胸腔鏡下右肺下葉切除術＋リンパ節郭清	1
	胸腔鏡下右肺ブラ切除術	2
	胸腔鏡下右肺胸膜結節、右肺上葉部分切除術	1
	胸腔鏡下右肺 S3 区域切除術＋リンパ節郭清術	1
	胸腔鏡下右肺 S6 区域切除＋リンパ節切除術	1
	胸腔鏡下左肺ブラ切除術	4
	胸腔鏡下左肺上葉切除術＋リンパ節郭清術	1
	胸腔鏡下左肺上葉部分切除術	1
	胸腔鏡下右中葉・下葉部分切除術	1
	胸腔鏡下右膿胸腔掻爬術	1

	胸腔鏡下前縦隔腫瘍切除術	1
	局所麻酔下右胸壁腫瘍切除	1
	左胸腔鏡下掻爬術	1
	呼吸器外科集計	**27**
循環器内科	ジェネレータ交換術	7
	ペースメーカージェネレータ交換	1
	ペースメーカー交換術	1
	ペースメーカー植え込み術	5
	右シャント作成手術	1
	右シャント作成手術（人工血管）	1
	右シャント作成手術（人工血管）再手術	1
	左シャント作成手術	3
	左肘シャント閉鎖術	1
	循環器内科集計	**21**
心臓血管外	右小伏在静脈血管内焼灼術	1
	右小伏在静脈血管抜去術	1
	右小伏在静脈抜去術	3
	右小伏在静脈抜去術、静脈瘤切除（右大腿背側）、皮下腫瘤切除術（左大腿背側）	1
	右小伏在静脈抜去術＋静脈瘤切除術	1
	右大伏在静脈抜去術	1
	右大伏在静脈抜去術＋静脈瘤切除術	1
	右大伏在静脈血管内焼灼術	4
	右大伏在静脈血管内焼灼術　静脈瘤切除術	11
	右大伏在静脈血管抜去術、静脈瘤切除術	1
	右大伏在静脈高位結紮術＋静脈瘤切除術	1
	左小伏在静脈抜去術	2
	左小伏在静脈抜去術＋静脈瘤切除	3
	左小伏在静脈血管高位結紮術	1
	左小伏在静脈血管内焼灼術	2
	左小伏在静脈血管抜去術	1
	左小伏在静脈高位結紮術	1
	左大伏在静脈血管内焼灼術	10
	左大伏在静脈血管内焼灼術、静脈瘤切除術	5
	左大伏在静脈高位結紮術	1
	左大伏在静脈膝部穿通枝結紮術	1
	左大伏在静脈血管内焼灼術＋静脈瘤切除術＋高位結紮術	1
	左大伏在静脈血管内焼灼術＋穿通枝結紮	1

	右下腿部大伏在静脈高位結紮術	1
	右下腿部大伏在静脈穿通枝結紮術	2
	左下腿部大伏在静脈血管抜去術	1
	静脈瘤切除術	1
	硬化療法	3
	ペースメーカー植え込み術	1
	心臓血管外集計	**64**
整形外科	BHA（右大腿骨）	15
	BHA（左大腿骨）	18
	ORIF　右足	3
	ORIF　右大腿骨	19
	ORIF　右大腿骨（インプラント周囲骨折に対するもの）	2
	ORIF　右膝	3
	ORIF　右膝蓋骨	3
	ORIF　右股関節	7
	ORIF　右下腿	3
	ORIF　右下腿× 2	1
	ORIF　右足関節	1
	ORIF　右足関節× 2	2
	ORIF　右脛骨	2
	ORIF　右踵骨	3
	ORIF　右肩	1
	ORIF　右鎖骨	7
	ORIF　右上腕	7
	ORIF　右上腕・人工骨移植	1
	ORIF　右肘	2
	ORIF　右前腕	3
	ORIF　右前腕× 2	1
	ORIF　右手	8
	ORIF　右手関節	5
	ORIF　左大腿骨	14
	ORIF　左大腿骨　創傷処理　デブリードマン（右大腿）10cm 以上	1
	ORIF　左股関節	4
	ORIF　左膝	4
	ORIF　左膝蓋骨	2
	ORIF　左下腿	1
	ORIF　左下腿× 2	1
	ORIF　左足	1
	ORIF　左足関節	2

ORIF　左足関節× 2、関節鏡下遊離体摘出術	1
ORIF　左肩	3
ORIF　左鎖骨	4
ORIF　左上腕	8
ORIF　左肘	4
ORIF　左前腕	7
ORIF　左手	3
ORIF　左手関節	7
ORIF　左中手骨	1
ORIF　左橈骨	3
ORIF × 2　両膝	1
ORIF　右上腕　右前腕	1
ORIF × 2　右大腿、右上腕	1
ORIF × 2　左膝、左足関節内	1
ORIF × 2　右大腿骨　右橈骨	1
ORIF（右膝）、脊椎固定術後方固定（Th11~L2）	1
ORIF（左前腕）+ 非観血的橈骨頭脱臼整復術	1
ORIF（左脛骨）、 経皮ピンニング（左腓骨）	1
ORIF（左腓骨） 関節鏡視下遊離体摘出術	1
ORIF（鎖骨）、関節鏡下 ORIF（肩甲骨）	1
ORIF、経皮的鋼線刺入固定術（L 手関節）	1
ORIF × 1、観血的脱臼整復術	1
ORIF × 2　靭帯修復術（右足関節）	1
ORIF　TFCC 靭帯修復	1
関節内 ORIF（右上腕）	2
関節内 ORIF（右前腕）	1
関節内 ORIF（右小指）	1
関節内 ORIF（右踵骨）	1
関節内 ORIF（左下腿）	2
関節内 ORIF（左踵骨）	1
関節内 ORIF　左脛骨　+　左足関節病巣掻爬	1
関節内 ORIF（左上腕骨・肘）	1
関節内 ORIF（左前腕）	1
関節内 ORIF（左肘）	1
関節内 ORIF（左橈骨）	1
関節内 ORIF （左手指）	1
関節内 ORIF × 2 （左手）	1
MED（L3/4 右）	1
MED（L4/5 右）	1
MED（L4/5 右）	1

MED（右 L5/S）	1
THA（右股関節）	8
THA（右股関節）ナビゲーションシステム使用	1
THA（右股関節）＋骨移植術（大腿骨から骨盤へ）	2
THA（右股関節）・自家骨移植（大腿骨から寛骨臼に）	1
THA（左股関節）	6
THA（左股関節）ナビゲーションシステム使用	2
THA（左股関節）、骨移植術（大腿骨から寛骨臼）	1
THA（左股関節） 骨折観血的手術（左大腿骨）	1
TKA（R 膝関節）	15
TKA（R 膝関節） ナビゲーションシステム使用	5
TKA（R 膝関節）＋骨内異物除去（R 大腿骨）	1
TKA（R 膝関節） 滑膜切除術	1
TKA（R 膝関節） 軟部腫瘍摘出術	1
TKA（L 膝関節）	13
TKA（L 膝関節） ナビゲーションシステム使用	8
TKA（L 膝関節）＋骨内異物除去（大腿骨）	1
UKA（右膝）	3
UKA（右膝）ナビゲーションシステム使用	2
UKA（左膝）	3
UKA（左膝）ナビゲーションシステム使用	7
アキレス腱縫合術 右足	5
アキレス腱縫合術 左足	2
腱縫合術（右小指）	2
腱縫合術（指）× 2	1
腱縫合術 神経縫合（左母指）	1
腱縫合術（右示指）＋靱帯縫合術	1
腱縫合術（右手・母指）・腱移植術	1
腱縫合術（右足）	1
腱縫合術（左足）	2
腱縫合術・神経再生誘導術（R 示指）k182-3 1 指（手）	1
靱帯断裂形成手術（K079-3）（指）	1
ガングリオン摘出術（R 手関節）	1
ガングリオン摘出術（R 中指）	4
ガングリオン摘出術（R 母指）	2
ガングリオン摘出術（L 中指）	1
ガングリオン摘出術（L 足） 腱滑膜切除術	1
デュプイトラン拘縮手術（R 手部・小指）	1
デュプイトラン拘縮手術（R 環指・小指）	1
デュプイトラン拘縮手術（R 手部 :2 指）	1

デュプイトラン拘縮手術（L 小指）	1
デュプイトラン拘縮手術（L 環指・小指）	1
人工骨頭挿入術（右大腿骨）	7
人工骨頭挿入術（右股間節）	10
人工骨頭挿入術（左大腿骨）	5
人工骨頭挿入術（左股間節）	7
人工骨頭置換術	1
右人工骨頭置換術、右肘 ORIF	1
人工頭骨頭挿入術　観血的肘関節制動術	1
骨内異物除去術	8
骨内異物除去術（左大腿）	2
骨内異物除去術（左下腿）	3
骨内異物除去術（左下腿）× 2	2
骨内異物除去術（左下腿）　関節鏡（L 膝）	1
骨内異物除去術（左足関節）	1
骨内異物除去術（左足）	1
骨内異物除去術（左膝蓋骨）	1
骨内異物除去術（左鎖骨）	4
骨内異物除去術（左上腕）	1
骨内異物除去術（左前腕）	12
骨内異物除去術（左前腕）× 2	1
骨内異物除去術（左肘関節）・肘関節授動術	1
骨内異物除去術（左橈骨）	2
骨内異物除去術（左橈尺骨）x2	1
骨内異物除去術（左尺骨）	3
骨内異物除去術（左尺骨）　拘縮解離術（左肘）	1
骨内異物除去術（左手関節）	7
骨内異物除去術（左指）	1
骨内異物除去術（左中手骨）　K-wire6 本	1
骨内異物除去術（左環指）	1
骨内異物除去術（左小指）	1
骨内異物除去術（左小指）+ 関節授動術（PIP）	1
骨内異物除去術（右大腿骨）	1
骨内異物除去術（右下腿）	3
骨内異物除去術（右下腿）　関節鏡	1
骨内異物除去術（右膝）	2
骨内異物除去術（右膝蓋骨）	3
骨内異物除去術（右足関節）× 2	2
骨内異物除去術（右足関節）	1
骨内異物除去術（右足）	2

骨内異物除去術（右足） デブリードマン（左足）	1
骨内異物除去術（右脛骨）× 2	1
骨内異物除去術（右母趾）	1
骨内異物除去術（右鎖骨）	2
骨内異物除去術（右上腕骨）	1
骨内異物除去術（右前腕）	7
骨内異物除去術（右橈骨）	3
骨内異物除去術（右手関節）	11
骨内異物除去術（R 手関節）+ 瘢痕拘縮形成手術	1
骨内異物除去術（右手）	2
骨内異物除去術（右指）	5
骨内異物除去術（右環指）	1
骨内異物除去術（右小指）	1
骨内異物除去術（右小指）+ 関節授動術、腱剥離術（2 皮切）	1
骨内異物除去術（鎖骨）	6
骨内異物除去術 + 拘縮解離術	2
①骨内異物除去術（L 環指・小指 PIP 関節）× 2 ②関節授動術（PIP）× 2	1
①骨内異物除去術（R 小指） ②腱剥離術（K035）	1
①骨内異物除去術× 2（L 脛骨腓骨） ②軟部腫瘍摘出術（R 肘） ③軟部腫瘍摘出術（R 中指）	1
2 皮切 ①骨内異物除去術（L 小指） ②関節授動術（MP,PIP）	1
骨内異物除去術、MP 関節拘縮関節内授動術	1
骨内異物除去術、偽関節手術（R 膝蓋骨）	1
骨内異物除去術 + 人工股関節置換術（左大腿）	1
骨内異物除去術 + 腱剥離術（R 小指）	1
骨内異物除去術× 2（① L 肘 ② R 膝）、術後瘢痕拘縮形成術	1
骨内異物除去術 創外固定（右手関節）	1
骨内異物除去術 + 腱剥離術（R 母指）（関節授動術）	1
異物除去術（右中指）	1
異物切除術（R 母指）	1
骨内異物（挿入物）除去術 （R 橈骨）	1
骨内異物（挿入物）除去術（R 手部）	1
骨内異物（挿入物）除去術、その後骨折観血的手術（右手関節）	1
リバース型人工肩関節置換術（右 RTSA）	1
リバース型人工肩関節置換術（左肩）	2
ヘルニア摘出術	1
化膿性関節炎手術（L 膝）人工関節再置換術	1
化膿性関節炎手術（左足）・デブリードマン（右母趾）	1
化膿性関節炎手術（病巣掻爬術） 足関節	1

関節滑膜切除術（L 環指）	1
関節滑膜切除術（L 示指）	1
関節滑膜切除術（L 小指 DIP 関節）	1
関節滑膜切除術（R 環指）	1
関節滑膜切除術（R 中指）	1
関節滑膜切除術（R 小指）	2
関節滑膜切除術（R 第 3 趾）	1
関節滑膜切除術・骨掻爬術（R 環指）	1
関節内滑膜切除術　右指（小指・示指）	2
関節鏡下滑膜切除術（右足関節）	1
関節鏡下滑膜切除術（右肩）	1
関節鏡下滑膜切除術（左足関節、距骨下関節）	1
関節鏡下滑膜切除術（右膝）	11
関節鏡視下手根管開放術（L 手）	12
関節鏡視下手根管開放術（L 手根管）	2
関節鏡視下手根管開放術（R 手）	17
関節鏡視下手根管開放術（R 手根管）	4
関節鏡視下手根管開放術 + 腱鞘切開術（右中指）	1
①関節鏡視下手根管開放術（R 手）+ ②腱鞘切開術（R 母指）	1
関節鏡視下半月板切除術　右膝	1
関節鏡視下半月板切除術　左膝	4
関節鏡視下半月板縫合術　右膝	3
関節鏡視下半月板縫合術　左膝	3
関節鏡下靭帯修復術（R 足関節）	1
関節鏡下靭帯再建術　骨片摘出（左足関節）	1
関節鏡下靱帯再建術（右足関節）　遊離体摘出術	1
関節鏡視下靭帯修復術　骨片摘出術（R 足関節）	1
関節鏡視下 ACL 再建術　右膝	2
関節鏡視下 ACL 再建術 + 半月板縫合術　右膝	1
①関節鏡視下 ACL 再建術　②関節鏡下半月板縫合術　右膝	1
関節鏡視下外側半月板切除術　右膝	1
関節鏡視下外側半月板縫合　左膝	1
関節鏡下拘縮解離術	1
関節鏡視下 STT 関節形成術（R 手）	1
関節鏡視下関節唇修復術（左肩）	1
関節鏡視下肘関節授動術・尺骨神経移行術（左肘）	1
関節鏡視下遊離体摘出術（R 足関節）	1
下腿骨切り術　関節鏡下滑膜切除	3
下腿切断術（R）	1
下腿切断術（B/Kamputation）	1

足部切断（左足）	2
足部切断、踵部創傷処理 （筋肉、臓器に達しない）（長径 5cm未満）（右足）	1
足趾切断術（右第 5 足趾）+ デブリードマン（右下腿）	1
第 1 中手骨外転対立骨切り術	2
橈骨短縮骨切り術	1
右高位脛骨骨切り術、関節鏡　右膝	1
左遠位大腿骨骨切り術、関節鏡視下滑膜切除術	1
①人工関節置換術②ボタンホール変形矯正腱形成・短縮術（L 小指）	1
PIP 関節人工関節置換術（左環指）	1
骨接合術	1
骨部分切除術（R 手関節）	1
有鉤骨鉤切除術（L 手）偽関節手術	1
観血的骨接合術（大腿骨）	11
観血的骨接合術（上腕骨）	2
観血的骨接合術（上腕）、右関節内骨折観血的手術（肘）	1
観血的骨接合術（肩）	1
観血的骨接合術（下腿）+ デブリードマン（100cm2未満）× 2	1
観血的骨接合術（L 大腿骨）	6
観血的骨接合術（L 股関節）	2
観血的骨接合術（R 大腿骨）	6
観血的骨接合術（R 下腿骨）	1
観血的骨接合術（R 足関節）	1
観血的脱臼整復術（L 肩）	1
観血的脱臼整復術（L 足関節）	1
観血的脱臼整復術（橈骨頭　L 肘）	1
観血的脱臼整復術（R 肩）	1
観血的脱臼整復術（R 母趾）	1
観血的脱臼整復術（R 示指）	1
観血的脱臼整復術（R 小指）	1
観血的脱臼整復術（R 母指）	1
観血的脱臼整復術、骨折観血的手術（R 足）	1
観血的脱臼整復術（第 4CM 関節）、関節内骨折観血的手術　※別皮切	1
観血的脱臼整復固定術（R 中指）	1
観血的骨折手術（上腕）	2
関節観血的脱臼手術 k063-2・経皮的鋼線刺入固定術（第 5CM 関節）	1
一時的創外固定骨折治療術（骨盤）	1
一時的創外固定設置術 + 経皮的鋼線刺入固定術（脛腓骨）	1
観血的整復固定術（右母趾）	1
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	1

観血的整復固定術× 2	1
観血的関節制動術（右肘）	1
創傷処理（左手関節）K000-1	1
創傷処理　5cm以上 / 筋肉に達する　デブリードマン（右足）	1
創傷処理　10cm 未満 / 筋肉に達する　デブリードマン（右足）	1
創傷処理（右下腿）K000-3- ロ	1
悪性腫瘍手術（広範囲切除）（右下腿）・腓腹筋弁・遊離植皮術	1
母指 CM 切除関節形成術（L 母指）（LRSA）	1
母指 CM 関節形成術（L 母指）LRSA	3
母指 CM 切除関節形成術（R 母指）（LRSA）	1
母指 CM 関節形成術（R 母指）LRSA	6
手関節形成術　腱移行（L 環指・L 小指）3 皮切	1
関節形成術（L 母趾）	2
関節形成術（L 第 5 趾）	1
関節形成術（関節鏡視下）（右肘関節）	1
関節形成術（L 手）骨軟骨移植 + 左膝から骨軟骨採取　K059-1	1
外反母趾矯正手術（右足）	1
靭帯断裂縫合術（左足関節）× 2、骨折観血的手術	1
関節内骨折観血的手術（L 下腿）	1
関節内骨折観血的手術（L 足）	1
関節内骨折観血的手術（L 膝関節）	1
関節内骨折観血的手術（L 足関節）+ 骨内異物除去術（下腿）	1
関節内骨折観血的手術（L 母趾）	1
関節内骨折観血的手術（L 肘）	1
関節内骨折観血的手術（L 肘）× 2	1
関節内骨折観血的手術 + 肘関節制動術（L 肘関節）	1
関節内骨折観血的手術 + 外側靭帯修復術（L 肘関節）	1
関節内骨折観血的手術（L 手関節）	9
関節内骨折観血的手術（L 手関節）遠位橈尺関節制動術	1
関節内骨折観血的手術（L 手関節）TFCC 靱帯修復　手関節制動術	1
関節内骨折観血的手術（L 尺骨）・靱帯修復術	1
関節内骨折観血的手術（L 橈骨）・遠位橈尺関節制動術（肘上ギブス）	1
関節内骨折観血的手術（L 母指）	1
関節内骨折観血的手術（L 示指）	1
関節内骨折観血的手術（L 示指 MP 関節）	1
関節内骨折観血的手術（L 示指）経皮ピンニング	1
関節内骨折観血的手術（L 小指）	1
関節内骨折観血的手術（R 前腕）	1
関節内骨折観血的手術（R 手）	2
関節内骨折観血的手術（R 尺骨）	1

関節内骨折観血的手術（R 橈骨）	1
関節内骨折観血的手術（R 手関節）	10
関節内骨折観血的手術、骨折観血的手術（R 手関節）	1
関節内骨折観血的手術（R 母指）	1
関節内骨折観血的手術・腱縫合術（R 母指）	1
関節内骨折観血的手術（R 示指）	1
関節内骨折観血的手術（R 中指）	1
関節内骨折観血的手術（R 環指）	1
関節内骨折観血的手術（R 小指）＋創外固定	1
関節内骨折観血的手術（R 小指）	1
関節内骨折観血的手術・観血的脱臼整復術（R 第 4・5CM 関節） 2 皮切	1
関節内骨折観血的手術（手関節）	8
関節内骨折観血的手術（手関節）＋骨折観血的手術（下腿）	1
関節内骨折観血的手術（肩関節）＋骨移植術（人工骨）	1
関節内骨折観血的手術（前腕）× 2	1
関節内骨折観血的手術（3 皮切）	1
関節内骨折観血的手術（膝）＋経皮的鋼線刺入固定術（手指）	1
骨折観血的手術	8
骨折観血的手術× 2	4
骨折観血的手術（左大腿骨）	8
骨折観血的手術（大腿骨）	14
骨折観血的手術（大腿骨）× 2	1
骨折観血的手術（左股関節）	2
骨折観血的手術（股関節）	2
骨折観血的手術（中足骨）	1
骨折観血的手術（膝蓋骨）	4
骨折観血的手術（左足）	1
骨折観血的手術（左足関節）	4
骨折観血的手術（鎖骨）	13
骨折観血的手術（左鎖骨）	2
骨折観血的手術（左上腕骨）	2
骨折観血的手術（踵骨）	2
骨折観血的手術（上腕）	6
骨折観血的手術（前腕）	9
骨折観血的手術（前腕）× 2	4
骨折観血的手術（左前腕）	2
骨折観血的手術（左肘）	3
骨折観血的手術（手）	1
骨折観血的手術（左手）	1
骨折観血的手術（左手関節）	6

骨折観血的手術（左手舟状骨）	1
骨折観血的手術（or 経皮的鋼線刺入固定術） × 2（左橈尺骨）	1
骨折観血的手術（手指）	2
骨折観血的手術（左第 2 中手骨）	2
骨折観血的手術（左環指）	1
骨折観血的手術（右下腿）	3
骨折観血的手術（足）	1
骨折観血的手術（下腿）	5
骨折観血的手術（下腿）× 2	3
骨折観血的手術（右股関節）	3
骨折観血的手術（右踵骨）	2
骨折観血的手術（右距骨）	1
骨折観血的手術（右肩）	1
骨折観血的手術（右上腕）	2
骨折観血的手術（右前腕）	1
骨折観血的手術（右肘関節内）	1
骨折観血的手術（右上腕）	2
骨折観血的手術（右鎖骨）	1
骨折観血的手術（右手）	4
骨折観血的手術（右手関節）	3
骨折観血的手術（右橈骨）	1
骨折観血的手術（右手舟状骨）	3
骨折観血的手術（右有鉤骨）	1
骨折観血的手術（右指）	2
骨折観血的手術（右母指）	1
骨折観血的手術（右小指）	1
骨折観血的手術（右下腿）+ 骨折観血的手術（右足）	1
骨折観血的手術（指）× 1　関節内骨折観血的手術 × 2	1
骨折観血的手術（上腕骨）+ 関節内骨折観血的手術（肘関節）	1
骨折観血的手術（左上腕）+ 骨折観血的手術（左前腕）	1
骨折観血的手術（左前腕）、骨折観血的手術（左大腿）	1
骨折観血的手術（左第 1-3 中手骨）4 皮切	1
①骨折観血的手術　② MP 関節橈側側副靭帯修復術（L 母指）	1
骨折観血的手術（関節内）鋼線刺入固定術（石黒法）右小指	1
骨折観血的手術 × 2（左手関節、左上腕骨）	1
骨折観血的手術 × 2（右足関節）	1
骨折観血的手術（前腕）× 2+（一時的創外固定設置）	1
骨折観血的手術（足）、骨折観血的手術（下腿）	1
骨折観血的手術（指）・経皮的鋼線刺入術（指）	1
骨盤骨折観血的手術	1

骨盤骨折観血的手術　（ナビ使用）	1
右 HTO　関節鏡滑膜切除術　（右膝）	1
偽関節手術	1
偽関節手術（右上腕骨遠位）＋骨移植術（骨盤＋人工骨）	1
偽関節手術（右手舟状骨）＋骨移植術（右橈骨）	1
偽関節手術＋骨移植術（K059　3-ロ）（左手舟状骨）	1
偽関節手術　環指・小指屈筋剥離術　K-056-3	1
偽関節手術（左下腿）、骨移植術（自家骨と人工骨移植の併施）（腸骨・下腿へ）	1
関節脱臼観血的手術 K063-2・経皮的鋼線刺入固定術（第 5CM 関節）	1
関節脱臼観血的整復術、経皮的鋼線刺入術（左手）	1
経皮的鋼線刺入固定術	3
経皮的鋼線刺入固定術（左示指）	1
経皮的鋼線刺入固定術（右母指）	1
経皮的鋼線刺入固定術（左小指）	1
経皮的鋼線刺入固定術（右小指）	1
経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	1
経皮的鋼線刺入固定術（橈骨）	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）	3
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（右示指）	2
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（右中指）	2
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（右環指）	4
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（右小指）	2
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（左環指）	5
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（左小指）	2
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）× 2（左中指）（左環指）	1
経皮的鋼線刺入固定術 +Schiller 法	1
経皮的鋼線刺入術	4
経皮的鋼線刺入術× 2	2
経皮的鋼線刺入術（左上腕）	1
経皮的鋼線刺入術（左前腕）	1
経皮的鋼線刺入術（左手指）	1
経皮的鋼線刺入術（左小指）	1
経皮的鋼線刺入術（左母趾）	1
経皮的鋼線刺入術（右上腕）	1
経皮的鋼線刺入術（右手）	1
経皮的鋼線刺入術（右手指）	4
経皮的鋼線刺入術（右第 5 中手骨）	1
経皮的鋼線挿入固定術（R 母趾）	1
経皮的刺入固定術（右小指）	1

椎弓形成術	1
椎弓形成術（4 椎弓）	1
椎弓形成術（5 椎弓）	1
椎弓形成術（C3/4-6/7）5 椎弓　術中エコー使用	1
椎弓形成術（C3-4）	1
椎弓形成術（3 椎弓）	1
椎弓形成術（C3-5）	1
胸椎椎弓切除術（2 椎弓）	1
椎弓切除術（3 椎弓）	3
椎弓切除術（L2,3,4　3 椎弓）	2
椎弓切除術（4 椎弓）	2
椎弓切除術（L3-S）2 椎弓 + 脊椎後方椎体間固定術（L4/5）1 椎間	1
椎弓切除術（L4/5/S）	1
軟部腫瘍摘出術	4
軟部腫瘍摘出術（L 足）	1
軟部腫瘍摘出術（L 手部）	2
軟部腫瘍摘出術（L 母指）	1
軟部腫瘍摘出術（L 示指）	2
軟部腫瘍摘出術（L 中指）	1
軟部腫瘍摘出術（L 環指）	3
軟部腫瘍摘出術（R 足関節）	1
軟部腫瘍摘出術（R 手部）	1
軟部腫瘍摘出術（R 母指）	2
軟部腫瘍摘出術（R 示指）	1
軟部腫瘍摘出術（R 中指）	1
軟部腫瘍摘出術（R 環指）	3
軟部腫瘍摘出術（R 小指）	1
①軟部腫瘍摘出術（L 母指）+ ②腱鞘切開術（L 母指）	1
抜釘術　左大腿	1
抜釘術　左下腿	2
抜釘術　左膝	2
抜釘術　左鎖骨	1
抜釘術　左手	2
抜釘術　左肘	2
抜釘術　左橈骨	1
抜釘術　左手関節	4
抜釘術　右足	1
抜釘術　右膝	1
抜釘術　右足関節	4
抜釘術　右鎖骨	3

抜釘術　右肩	1
抜釘術　右上腕	1
抜釘術　右手	1
抜釘術　右手関節	5
抜釘術、関節鏡視下滑膜切除術　右膝	3
抜釘術　拘縮解離　右肘	1
抜釘術　拘縮解離　左手指	1
骨腫瘍切除術（L 環指）	1
骨腫瘍切除術（L 中指）	1
骨腫瘍切除術（L 大腿骨遠位）	1
骨腫瘍切除術（R 中指）	1
骨腫瘍切除術（R 母指）	1
骨腫瘍切除術 + 人工骨移植 + 自家骨移植（腸骨）+ 矯正骨切り術	1
骨腫瘍切除術 + 人工骨移植術（R 第 5 中手骨）	1
腰椎後方椎体間固定術（L1-4）	1
腰椎後方椎体間固定術（1 椎間）、腰椎後側方固定術（2 椎間）	1
腰椎後方椎体間固定術（TLIF）（L4/5）ナビ使用	1
腰椎後方椎体間固定術（TLIF）（L4/5）1 椎間	1
腰椎後方椎体間固定術（TLIF）（L5/S 右）	1
腰椎後方椎体間固定術（TLIF）L2/3、4/5、5/S（3 椎間）、後側方固定 L3/4	1
腰椎後方椎体間固定術 L5/S（TLIF）1 椎間、L4/5 後側方固定術 1 椎間	1
腰椎後方椎体間固定術（1 椎間）、腰椎後側方固定術（2 椎間）	1
左 OWHTO　関節鏡滑膜切除術　左膝	3
左 HTO、関節鏡視下滑膜切除術　左膝	1
左 HybidHTO+ 関節鏡下滑膜切除術　左膝	1
左 MPFL 再建術　左膝	2
顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術	6
顕微鏡下脊柱管拡大減圧術（エコー使用あり）	1
経皮ピンニング　左小指	1
経皮ピンニング　右第 3 趾 × 2	1
寛骨臼移動術	1
寛骨臼骨折観血的手術　（ナビゲーションあり）	1
経皮的椎体形成術（BKP）	2
経皮的椎体形成術（L1）	1
血腫除去術　左膝	1
血腫除去術　右膝　皮膚切開 1cm	1
血腫除去術 + 血管結紮術　K-607（2）	1
脊椎前方後方同時固定術（2 椎間）+ 自家骨移植、椎体間固定（1 椎間）、後側方固定（1 椎間）	1

脊椎前方後方固定術　3 椎間、後側方固定 1 椎間（ナビあり）	1
脊椎後方椎体間固定術（3 椎間）+ 後側方固定術（1 椎間）ナビ使用	1
脊椎後側方固定（5 椎間）	1
脊椎後側方固定術　6 椎間	2
脊椎後側方固定術（6 椎間・ナビ使用）	1
脊椎後側方固定術（S1S2 の AI）	1
脊椎前方後方固定術　前方 L2-5：LLIF3 椎間　後方：L5/STLIF1 椎間 S1/S2 後側方固定 1 椎間	1
脊椎後側方固定術（8 椎間）ナビゲーション使用	1
1 椎間脊椎後方椎体間固定術 +1 椎間後側方固定術	1
脊椎後方固定術（Th8-L1）+ 椎弓から骨移植	1
脊椎後方椎体間固定術（L2-S　4 椎間）　自家骨移植	1
脊椎後方椎体間固定術（L4/5）、自家骨移植	1
脊椎前方固定術（3 椎間）同種骨移植・非生体その他	1
脊椎前方後方固定術　2 椎間　非人工骨移植	1
脊椎前方後方固定術 L4/5　1 椎間　自家骨移植	1
BKP　脊椎後方固定術（T10-L1）	1
経皮的脊椎後方固定術（3 椎間）	1
脊椎後方固定術　4 椎間固定　ナビ使用	1
脊椎後方固定術（Th7-L2）　創傷処理（5cm 未満　臓器に達する）	1
脊椎後方固定術（2 椎間）	1
脊椎後方固定術（5 椎間）	2
脊椎後方固定術（7 椎間）	1
脊椎後方固定術（T8-L2）	1
脊椎後方固定術（Th7~L2）	1
脊椎後方固定術（Th7-L1）	1
脊椎後方固定術 3 椎間	2
脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）+ 後方固定術（3 椎間）（ナビ使用）	1
脊椎後方椎体間固定術（1 椎間固定）	1
脊椎後方椎体間固定術（L1/2、L3/4、L4/5）3 椎間	1
脊椎後方除圧固定術（7 椎間）Th7~L2	1
脊椎前方後方固定術	1
脊椎前方後方固定術（L3/44/5）	1
脊椎前方固定術 /4 椎間	1
頚椎胸椎後方固定（8 椎間）	1
頸椎後方固定術（C5/6）ナビ使用	1
後方摘出術	1
腰椎椎間板ヘルニア摘出術	2
腰椎椎間板摘出術（後方摘出術）	1
腰椎椎体間固定術　LLIF　（L3/4.4/5）	1

腱鞘切開術	8
腱鞘切開術（指）	1
腱鞘切開術（指）× 2	1
腱鞘切開術（L 母指）	6
①腱鞘切開術（L 母指）②ガングリオン摘出術（L 母指）	1
腱鞘切開術（L 示指）　術後線状瘢痕あり　斜めかくの字切開	1
腱鞘切開術（L 手指）	2
腱鞘切開術（L 示指）	1
腱鞘切開術（L 示指、環指）	1
腱鞘切開術（L 中指）	6
腱鞘切開術（L 中指）＋骨腫瘍切除術（L 小指）	1
腱鞘切開術（L 環指）	3
腱鞘切開術（L 小指）	1
腱鞘切開術（R 手関節）	7
腱鞘切開術、軟部腫瘍摘出術（R 手関節）	1
腱鞘切開術（R 母指）	13
腱鞘切開術（R 示指）	5
腱鞘切開術（R 示指、R 中指）	1
腱鞘切開術（R 中指）	8
腱鞘切開術（R 中指・環指）	1
腱鞘切開術（R 環指）	5
腱鞘切開術（R 小指）	2
腱鞘滑膜切除	1
腱鞘滑膜切除術（R 手指）	2
腱鞘修復	1
関節腱剥離術（左小指）K035	1
骨軟骨移植術　右膝	1
骨移植術（腸骨＋人工骨）＋関節固定術（L 母趾）	1
尺骨神経移行術（L 肘）	6
尺骨神経移行術（R 肘）	6
尺骨神経移行術（皮下前方移行術）	1
尺骨神経移行術（R 肘）　・ガングリオン摘出術（R 肘関節）	1
尺側靭帯縫合術（L 母指）	1
指伸筋腱脱臼観血的整復術（K040-2）	1
伸筋腱移行術（R 環指・小指）腱移植術（示指）	1
伸筋腱再建術（腱移行術）（L 母指）	1
伸筋腱再建術（腱移行術）（R 母指）	2
伸筋腱修復術（L 示指）	1
伸筋腱脱臼整復固定術（L 中指）	2
伸筋腱腱縫合術（R 母指）　複雑	1

長母指伸筋腱再建術（左） 2
神経腫切除術 2
神経腫切除術（L 肘） 1
変形治癒矯正手術（左手関節） 1
変形治癒骨折矯正手術 1
変形治癒骨折矯正手術（L 小指） K057　3 1
変形治癒骨折矯正手術 X2（L 橈骨　L 踵骨） 1
変形癒合矯正手術（R 中指） 1
変形癒合矯正術（R 手関節） 1
手関節鏡＋遠位橈尺関節制動術（L 手関節） 3
手関節鏡＋観血的関節制動術（L 手関節） 1
手関節鏡＋橈尺関節制動術 1
靭帯再建術（L 足） 2
靭帯再建術（R 足） 1
靭帯修復術（R 母指） 2
靭帯修復術・肘関節制動術 1
病巣掻爬（左膝） 1
病巣掻爬、経皮的鋼線刺入術 1
病巣掻爬＋骨内異物除去術（右踵） 1
病巣掻爬術 1
病巣掻爬術（右足関節） 1
病巣掻爬術（場合によりインプラント抜去、セメントスペーサー）　左膝 1
病巣掻爬術（腱鞘・関節滑膜切除）＋
洗浄＋ドレナージ手術　K002-1　注 3　深部デブリード加算 1
掻爬術　洗浄　左膝 1
腱移行術 1
腱移行術　踵骨骨切り術　靱帯再建術　（L 足） 1
腱移行術＋手関節形成術（R 手関節） 1
腱移植術（R 母指）、骨内異物除去　（R 手関節） 1
腱制動術（左足関節） 1
腱剥離術（K035） 1
腱板断裂手術（鏡視下腱板修復術） 1
神経剥離術（R 手関節）手根管開放術 1
神経剥離術（R 手部）K188-2 1
神経剥離術・腱鞘滑膜切除術　2 皮切 1
正中神経剥離術（L 手根管 /K188-2） 1
正中神経剥離術（R 手根管） 1
右正中神経剥離術＋滑膜切除術（別皮切） 1
神経移植術（左膝） 1
神経縫合術（R 小指） 1

	深指屈筋縫合術× 4（R 示指・中指）・神経縫合術× 7（マイクロ使用）	1
	①右尺骨短縮骨切り術　②骨内異物除去術（右橈骨）	1
	K013-2-2 全層植皮術 +K016 筋弁術	1
	K030-2　四肢躯幹軟部腫瘍摘出術　× 2	1
	K144　体外式脊椎固定術	1
	遠位橈尺関節制動術（L 手関節）	1
	基節骨剥離骨折観血的手術（左母指）・MP 関節尺側側副靭帯修復術（左母指）	1
	鏡視下関節内遊離体摘出術	1
	屈筋腱修復術・腱縫合術　（L 環指）	1
	切開ドレナージ　腱滑膜切除術（左足）	1
	切開ドレナージ（右下腿）　10cm	1
	左手根管開放手術（L 手根管）　OCTR	1
	三頭筋腱再建術（肘）・肘頭 ORIF	1
	手掌異物肉芽腫切除術（K-097）	1
	手掌部異物除去術（L 示指）	1
	上腕二頭筋腱縫合術（R 上腕）	1
	創洗浄	1
	創部洗浄、骨内異物除去術（下腿）× 2、化膿性関節炎掻爬術	1
	皮下腫瘍摘出術（R 上腕）（K005-2）	1
	皮下腫瘍摘出術（R 足背）	1
	皮下腫瘍摘出術（R 大腿部）皮切 3.5cm	1
	皮下腫瘍摘出術（R 腸骨）	1
	皮下腫瘍摘出中術（L 肩）	1
	皮膚、皮下腫瘍摘出術（L 上腕）K006-4	1
	皮膚皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（右背部）（K006-3）	1
	足関節固定術、距骨下関節固定術 + 骨移植術（右腸骨 + 人工骨）	1
	体外式脊椎固定術	1
	断端形成術（右母指）K086-1	1
	椎体形成術	1
	肘関節制動術	1
	瘢痕拘縮形成術（R 中指）	1
	瘢痕拘縮形成術（R 母指）	1
	整形外科集計	**1,325**
泌尿器科	TUR-Bt	68
	TUR-Bt　尿道拡張術	1
	TUR-Bt+ 尿管ステント抜去	1
	TUR-P	18
	TUR-P（尿道病変と前立腺切除）	1

	TUR-BT、左尿管ステント留置	1
	TUC	1
	右内シャント造設術	2
	左内シャント造設術	7
	腹腔鏡下左腎尿管全摘除術　膀胱部分切除術	1
	右腎尿管全摘（腹腔鏡）	1
	膀胱瘻造設術	1
	根治術	3
	右高位精巣摘除	1
	右精巣摘出術	1
	左精液瘤根治術	1
	泌尿器科集計	**109**
婦人科	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（細径）	6
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（細径）生食使用	8
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（従来径）	10
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術＋子宮筋腫切除術	1
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術→　腹腔鏡下右付属器切除術	1
	子宮内膜掻爬術	1
	子宮内膜全面掻爬術	2
	子宮頚部円錐切除術	4
	子宮鏡下内膜腫瘤切除（従来径）	1
	子宮悪性腫瘍手術＋癒着剥離術	1
	外陰部コンジローマ焼灼術	1
	外陰部・肛門尖圭コンジローマ焼灼術	1
	外陰部・膣壁尖圭コンジローマ焼灼術	1
	外陰部腫瘍切除術	1
	外陰部膿瘍嚢胞摘出術	1
	腹腔鏡下子宮全摘術＋両側付属器切除術	1
	腹腔鏡下子宮全摘術＋両側付属器切除術　癒着剥離	1
	腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術	3
	腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術＋癒着剥離術	3
	腹腔鏡下子宮筋腫切除術	2
	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術＋腹腔鏡下癒着剥離術	1
	腹腔鏡下膣式子宮全摘術＋両側卵管切除術	2
	腹腔鏡下腟式子宮全摘術＋両側卵管切除術（両側卵巣は温存）＋癒着剥離術	4
	腹腔鏡下腟式子宮全摘術＋両側卵管切除術（両側卵巣は温存）	3
	腹腔鏡下腟式子宮全摘術＋両側付属器切除術	1
	腹腔鏡下腟式子宮全摘術＋両側付属器切除術＋癒着剥離術	1

腹腔鏡下両側卵管切除術	1
腹腔鏡下右卵管切除術	1
腹腔鏡下左卵管切除術　癒着剥離術	1
腹腔鏡下両側付属器切除術	4
腹腔鏡下両側付属器切除術　癒着剥離術	1
腹腔鏡下左付属器切除術	2
腹腔鏡下左付属器切除術、癒着剥離術	1
腹腔鏡下左付属器切除術＋右卵巣腫瘍切除＋子宮頚管ポリープ切除術	1
腹腔鏡下右付属器切除術	1
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術	5
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術＋癒着剥離術	1
腹腔鏡補助下筋腫切除術	1
腹腔鏡補助下卵巣腫瘍切除術	1
腹腔鏡補助下卵巣腫瘍切除術　癒着剥離術	1
腹式子宮筋腫切除術	1
腹式単純子宮全摘術＋両側付属器切除術・癒着剥離術	1
腹腔鏡下腹腔内出血止血術、ドレナージ	1
バルトリン腺嚢胞造袋術	1
婦人科集計	**88**

総計	**2,523**

(2)科別麻酔手技別件数

麻酔法	一般 消化外	眼科	呼吸器 外科	循環器 内科	心臓 血管外	整形 外科	泌尿 器科	婦人科	総計
全身麻酔(吸入)	345		14			801	35	35	1,230
全身麻酔(TIVA)	17					112	1	17	147
全身麻酔(吸入)＋硬・脊、伝麻	52		11			170	2	5	240
全身麻酔(TIVA)＋硬・脊、伝麻	1					5		2	8
脊髄くも膜下麻酔							62	25	87
その他	6	468	2	21	64	237	9	4	811
総計	421	468	27	21	64	1,325	109	88	2,523

23. 内視鏡センター 内視鏡的検査及び処置・手術件数（月別・手技別）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部内視鏡	経口	104	121	121	137	119	113	115	131	134	112	128	116	1,451
	経鼻	82	85	100	101	109	82	113	100	120	101	91	110	1,194
	小腸	1	0	0	4	1	0	3	2	0	0	0	0	11
	生検	33	45	48	48	42	30	45	37	46	44	51	60	529
	ピロリテック	6	6	3	9	13	10	10	4	11	7	8	11	98
	EMR	0	1	2	0	4	2	0	1	2	1	2	1	16
	ESD	1	2	2	2	0	0	1	3	2	2	4	1	20
	EUS	6	4	2	3	1	2	2	2	2	5	5	5	39
	FNA	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	5
	EIS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	EVL	3	3	3	0	1	3	1	1	2	0	2	0	19
	PEG（造設）	1	1	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	8
	PEG（交換）	3	2	3	1	2	2	4	3	4	3	2	3	32
	止血術	6	11	6	16	16	12	4	11	10	10	16	9	127
	異物除去	1	0	0	1	0	2	1	0	0	1	1	2	9
	拡張術	0	0	1	3	1	0	0	0	0	1	0	0	6
	ステント	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	イレウス管	2	2	2	2	3	3	7	4	6	3	2	4	40
	緊急（時間外）	1	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	7
下部内視鏡	EUS	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	5
	CF	132	142	126	155	128	120	139	138	172	114	114	145	1,625
	生検	40	42	45	52	52	40	55	38	53	39	32	52	540
	EMR	33	19	22	50	38	32	38	39	52	38	32	42	435
	ESD	0	19	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	25
	止血術	0	6	6	4	1	5	9	0	1	0	3	2	37
	ステント留置	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	7
	異物除去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	拡張術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イレウス管	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	緊急（時間外）	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
ERCP他	ERCP	9	12	15	8	7	15	15	6	15	11	11	14	138
	EST	3	5	7	2	2	6	10	2	6	3	6	7	59
	結石除去	2	5	8	3	3	7	10	5	2	3	6	3	57
	ステント挿入	5	6	11	4	5	10	10	1	11	3	7	10	83
	ENBD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
PTCD他	PTCD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PTGBD	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	肝生検	3	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	7
	PEIT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ステント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	瘻孔造影	1	1	2	0	6	2	2	5	4	1	3	1	28
	拡張術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポート植込術	1	0	2	0	1	1	3	2	1	4	1	1	17
	カプセル内視鏡	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	PICC	3	5	2	2	7	5	6	3	6	6	4	6	55
気管支鏡	ブロンコ	5	4	5	1	2	1	3	5	3	4	2	3	38
	生検	4	2	4	1	2	1	2	1	2	4	1	2	26
	EUS	1	2	2	0	1	0	1	0	1	3	0	2	13

24. カテーテル治療センター 月別検査・治療件数

カテーテル検査件数														
2023～24年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器系	CAG	12	13	7	6	19	13	13	10	15	13	12	12	145
	(FFR)	3	3	1	2	4	3	1	2	1	0	4	4	28
	(OCT)	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	(NIRS+IVUS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	RHC	0	1	4	1	1	0	2	2	0	0	0	1	12
	PCI	4	12	6	1	11	5	5	6	10	11	8	7	86
	下肢AG	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	0	6
	EVT	0	2	2	2	1	2	0	2	3	0	0	1	15
	IVUS	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	シャント造影	0	0	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	6
	シャントPTA	1	2	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	7
	IVCフィルター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	EPS/ABL	2	0	2	2	1	1	3	2	4	0	1	2	20
	一時ペーシング	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	6
	IABP	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	6
	PCPS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	other	2	2	3	0	2	0	3	3	2	0	0	3	20
	緊急件数	7	9	4	3	10	5	6	3	6	5	4	5	67
	(em-CAG)	6	8	4	2	10	5	6	3	6	5	4	4	63
	(内、PCI)	2	6	1	0	7	2	3	1	3	5	4	3	37

25. 薬剤科 （1）処方箋枚数・剤数及び薬剤管理指導件数

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	年間合計
薬剤管理指導件数（合計）	638	221	14	61	2	7	0	110	118	128	107	118	127	1,524
薬剤管理指導料1件数（ハイリスク）	150	40	7	18	0	2	0	28	26	27	23	20	28	341
薬剤管理指導料2件数（通常）	183	107	1	15	2	4	0	27	37	37	32	41	41	486
退院時薬剤情報管理指導料件数	300	70	5	26	0	1	0	54	54	61	51	56	57	678
麻薬管理指導件数	5	4	1	2	0	0	0	1	1	3	1	1	2	19
病棟薬剤業務実施加算2	100	99	120	122	185	173	144	115	166	179	153	144	150	901
連携充実加算	37	43	39	37	37	37	34	43	43	43	40	43	42	212
退院時薬剤情報連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定薬剤治療管理料1	48	61	63	81	76	64	88	46	70	63	86	70	68	816
特定薬剤治療管理料2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外処方箋発行枚数	5,066	5,038	5,385	5,232	5,550	5,196	5,168	5,208	5,536	5,004	5,143	5,155	5,223	62,681
院外処方箋発行率	96.6%	96.3%	96.9%	96.0%	96.8%	97.0%	98.7%	97.3%	96.9%	96.4%	96.9%	97.6%	96.8%	96.8%
時間外等院内処方枚数	179	194	174	220	183	160	157	146	180	185	166	126	173	2,070
時間外等院内処方1日平均枚数	6.0	6.3	5.8	7.1	5.9	5.3	5.1	4.9	5.8	6.0	5.7	4.1	5.7	68
時間外等院内処方剤数	243	253	230	340	263	246	235	206	260	257	241	185	247	2,959
時間外等院内処方1日平均剤数	8.1	8.2	7.7	11.0	8.5	8.2	7.6	6.9	8.4	8.3	8.3	6.0	8.1	97
入院処方箋枚数	2,968	2,874	3,138	3,211	3,379	3,101	2,947	3,027	3,218	3,010	3,122	3,249	3,104	37,244
入院処方箋1日平均枚数	98.9	92.7	104.6	103.6	109.0	103.4	95.1	100.9	103.8	97.1	107.7	104.8	101.8	1,222
入院処方箋剤数	5,733	5,364	5,639	6,058	6,279	6,130	5,982	6,077	6,610	5,983	5,959	6,316	6,011	72,130
入院処方箋1日平均剤数	191.1	173.0	188.0	195.4	202.5	204.3	193.0	202.6	213.2	193.0	205.5	203.7	197.1	2,365
注射処方箋枚数	3,393	2,925	3,372	3,491	4,063	3,833	3,728	4,093	3,941	3,588	3,241	3,513	3,598	43,181
注射処方箋1日平均枚数	113.1	94.4	112.4	116.4	131.1	127.8	120.3	136.4	127.1	115.7	111.8	113.3	118.3	1,420
TDM件数	1	0	3	7	6	6	26	1	6	1	10	7	5.7	74
持参薬鑑別件数	348	350	346	343	360	304	231	339	355	277	312	295	401.3	4,815
入院化学療法注射箋枚数	15	25	62	54	68	59	60	68	58	62	64	58	54	653
外来化学療法注射箋枚数	70	66	18	11	15	15	5	5	19	16	17	13	23	270
外来化学療法加算1件数	1	1	2	1	1	1	2	2	0	1	1	1	1	14
無菌製剤処理件数1（イ）	51	23	57	44	47	38	54	34	69	79	46	10	46	552
無菌製剤処理件数1（ロ）	3	2	3	1	0	37	8	4	3	1	2	5	6	69
無菌製剤処理件数2	216	117	191	137	255	144	249	183	225	266	201	190	198	2,374
後発医薬品指数　90%以上	91.6%	94.5%	93.9%	92.9%	94.7%	92.7%	89.8%	91.6%	93.3%	94.1%	94.6%	94.2%	93.0%	
後発医薬品カットオフ値　50%以上	58.9%	57.6%	57.2%	55.8%	57.7%	55.8%	54.1%	56.1%	55.4%	56.8%	58.9%	57.9%	56.9%	56.9%

(2)採用・削除医薬品集計

2023年度	新規採用医薬品数				小計	院外専用採用医薬品数			小計	合計	削除医薬品数				計
	内服剤	外用剤	注射剤	その他		内服剤	外用剤	その他			内服剤	外用剤	注射剤	その他	
2023年 4月	1	0	1	0	2	0	1	0	1	3	0	2	1	0	3
2023年 5月	2	0	0	0	2	0	2	0	2	4	3	1	0	0	4
2023年 6月	0	2	0	0	2	3	2	0	5	7	3	0	0	0	3
2023年 7月	2	0	0	0	2	3	0	0	3	5	8	0	0	0	8
2023年 8月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	1	0	0	6
2023年 9月	0	1	3	0	4	2	4	0	6	10	1	2	0	0	3
2023年10月	1	2	0	0	3	1	0	0	1	4	2	2	0	0	4
2023年11月	1	1	0	0	2	0	0	0	0	2	4	0	0	0	4
2023年12月	3	0	2	0	5	1	0	0	1	6	5	0	3	0	8
2024年 1月	2	0	1	0	3	0	0	0	0	3	1	1	1	0	3
2024年 2月	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2	1	0	4	0	5
2024年 3月	5	0	1	0	6	0	2	0	2	8	4	1	1	0	6
合計	18	6	10	0	34	10	11	0	21	55	37	10	10	0	57

(3)持参薬件数

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	年間合計件数
持参薬鑑別件数	348	350	346	343	360	304	231	339	355	277	312	295	322	3,860
持参薬鑑別種類	2,540	2,538	2,715	2,524	2,672	2,197	2,433	2,528	2,630	2,002	2,333	2,100	2,434	29,212
持参薬処理(再調剤)件数	207	208	257	241	225	201	211	218	231	188	208	199	216	2,594
持参薬処理(再調剤)種類	1,167	1,227	1,443	1,440	1,365	1,204	1,237	1,275	1,444	1,102	1,321	1,174	1,283	15,399

(4)学会発表・学術研修会参加実績

年月日	学会・研修会・勉強会名	主催・内容
2022年 7月23日～ 7月24日	第9回日本糖尿病協会年次学術集会	日本糖尿病協会
2023年 5月 9日～ 5月10日	第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会	日本臨床栄養代謝学会
2023年 5月11日～ 5月13日	第66回日本糖尿病学会年次学術集会	糖尿病学会
2023年 9月 2日～ 9月 3日	第11回日本くすりと糖尿病学会学術集会	日本くすりと糖尿病学会
2023年10月19日～10月21日	第61回癌治療学会学術集会	癌治療学会
2023年11月16日～11月18日	第28回日本薬剤免疫学会学術集会	日本薬剤免疫学会
2023年12月14日～12月16日	第44回日本臨床薬理学会学術総会	日本臨床薬理学会
2024年 1月27日～ 1月28日	第45回日本病院薬剤師会近畿学術大会	日本病院薬剤師会
2024年 2月15日～ 2月16日	第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会	日本臨床栄養代謝学会
2024年 2月16日～ 2月17日	第58回糖尿病の進歩	日本糖尿病学会
2024年 2月22日～ 2月24日	第21回日本臨床腫瘍学会学術大会	日本臨床腫瘍学会
2024年 3月 2日～ 3月 3日	第44回日本臨床腫瘍薬学会学術大会	日本臨床腫瘍薬学会

(5)実務実習受入れ実績

大学名	人数	実習期間	
大阪医科薬科大学	1名	2023年 2月20日～ 5月 7日	実施
大阪医科薬科大学	1名	2023年 5月22日～ 8月 6日	実施

(6)職員向け研修会実績

年月日	研修会名	研修内容	対象	研修方法
2023年 4月15日	採用者オリエンテーション	毒物・劇物の取扱いとその他の管理薬剤(麻薬等)について	新入職員	バリテス
2023年 7月18日	医療安全研修	麻薬・向精神薬の取り扱について	全職員	バリテス

(7)薬剤科内研修実績

年月日	研修内容	参加人数
2023年 5月28日	RevMate適正管理手順	10
2023年 6月 2日	エクアシールド取扱い	8

26. 放射線科　（1）年間活動報告

学術研修会・参加実績・科内勉強会

年	月	学術研修会･参加実績
2023	4月	日本放射線技術学会
	5月	関西造影CT研究会
	6月	関西GEHealthCareCT研究会
		バイエル画像診断カンファレンス
		匠に学ぶ今日から始める大腸CT
	8月	GlobalStandard
		第16回岐阜県X線撮影技術読影研究会
	9月	多摩画像研究会
		STAT画像研究会
		大阪医科大学病院　医療安全研修
	10月	潟Qミーティングプログラム
		首都圏キャノンCTユーザー会
		テクノロジストウェビナー
	11月	Kansai Magnemo Workshop
		骨粗鬆治療の継続を考える会
		臨床画像研究会
	12月	FLASH　Seminar
2024	1月	関西GEHealthCareCT研究会
	2月	ファイザー　MeetThe Specialists
	3月	Casebooklive 撮影技術の臨床意義
		第103回多摩画像研究会
		GEHealthCareCT友の会
		関西CT技術シンポジウム
		西播支部学術研究会

年	月	放射線科主催院内研修
2023	4月	放射線安全管理研修（新入職員）
2024	2月	放射線業務従事者研修会

年	月	科内勉強会
2023	4月	大動脈解離
		STAT画像概要
	5月	腸管閉塞
		脳梗塞
		肺血栓塞栓症
	6月	NOMI
		脳出血
		消化管穿孔
		op室ポータブル通信障害対応
	7月	上腸間膜動脈狭窄症
		結核
		大動脈解離瘤
		心筋梗塞
	9月	急性腹症
		DXA撮影、解析ポイント
	10月	STAT報告9月症例振り返り
	11月	STAT報告9月症例漏れ振り返り
	12月	STAT報告10月症例振り返り
		STAT報告10月症例漏れ振り返り
2024	1月	STAT報告11月症例振り返り
		院内学会デモ発表（STAT画像報告）
	2月	PTCD、PTGBDデバイス選択
	3月	STAT報告11月症例漏れ振り返り
		STAT報告11月症例漏れ振り返り
		CTにおけるDEでの色調整方法

(2)月別 検査件数

一般撮影、マンモグラフィ検査件数

年月		総撮影件数	撮影人数	入院人数	外来人数	病室撮影	手術室撮影	MMG	骨塩定量	院内健診
2023	4月	3,281	2,048	554	1,494	174	37	38	58	489
	5月	3,235	2,079	574	1,505	171	30	64	67	9
	6月	3,385	2,178	569	1,609	200	28	61	62	0
	7月	3,519	2,236	647	1,589	166	35	68	69	0
	8月	3,386	2,206	660	1,546	206	39	58	60	0
	9月	3,258	2,046	570	1,476	170	30	83	45	0
	10月	3,529	2,214	595	1,619	222	43	69	51	399
	11月	3,338	2,135	579	1,556	160	38	86	74	3
	12月	3,455	2,165	660	1,505	250	35	49	85	0
2024	1月	3,274	2,103	640	1,463	250	50	56	69	4
	2月	3,329	2,072	583	1,489	261	37	25	79	0
	3月	3,464	2,144	598	1,546	225	35	34	85	0
合計		40,453	25,626	7,229	18,397	2,455	437	691	804	904

CT検査件数

年月		頭・頚		胸		胸−腹		腹		CTC		四肢・股		脊椎	乳腺		冠動脈		入院患者	紹介	単純	造影	総件数		1日平均
		P	E	P	E	P	E	P	E	P	E	P	E	P	P	E	P	E							
2023	4月	122	7	142	6	451	66	128	32	1	0	115	3	33	0	0	0	32	304	142	992	146	1,138	4月	47
	5月	136	5	172	3	405	58	142	29	1	0	105	5	38	0	1	0	32	323	139	999	133	1,132	5月	47
	6月	146	5	181	4	481	55	152	36	3	0	120	0	34	0	4	1	31	358	159	1,118	135	1,253	6月	48
	7月	162	9	176	1	472	53	140	31	5	0	156	2	39	0	0	1	27	371	126	1,151	123	1,274	7月	51
	8月	151	9	198	0	469	64	139	27	4	0	140	3	34	0	2	1	33	381	132	1,136	138	1,274	8月	49
	9月	133	7	160	3	420	55	187	36	2	0	130	7	31	0	2	1	35	329	146	1,064	145	1,209	9月	50
	10月	151	8	148	5	407	56	170	37	2	0	128	7	29	2	1	0	22	315	157	1,037	136	1,173	10月	47
	11月	145	4	152	3	416	49	146	26	2	0	115	3	25	1	3	0	27	337	122	1,002	115	1,117	11月	47
	12月	143	14	209	6	469	63	163	27	7	0	123	4	37	0	0	0	28	386	152	1,151	142	1,293	12月	50
2024	1月	135	8	180	3	393	61	153	23	2	0	131	0	40	0	0	0	29	313	121	1,034	124	1,158	1月	46
	2月	126	3	157	2	403	54	164	21	1	0	135	3	45	0	6	1	32	300	148	1,032	121	1,153	2月	50
	3月	121	9	163	4	399	44	179	31	4	0	134	1	38	0	0	0	32	336	165	1,038	121	1,159	3月	46
総件数		1,671	88	2,038	40	5,185	678	1,863	356	34	0	1,532	38	423	3	19	5	360	4,053	1,709	12,754	1,579	14,333	合計	48

MRI検査件数

年月		頭部・脳頚	頚部	乳腺	心臓	胸部	腹部	骨盤	脊椎	四肢	下肢血管	総件数	紹介	単純	造影	入院		1日平均
2023	4月	148	5	20	1	2	64	27	108	91	2	468	214	433	35	34	4月	19.5
	5月	165	4	11	0	3	63	25	100	91	1	463	212	425	38	26	5月	19.3
	6月	155	2	10	1	2	91	31	106	97	1	496	229	462	34	40	6月	19.1
	7月	132	3	14	2	3	66	37	106	116	1	480	215	448	32	29	7月	19.2
	8月	134	4	17	0	2	65	27	80	97	3	429	179	399	30	25	8月	16.5
	9月	166	1	15	0	3	56	27	110	93	4	475	226	447	28	33	9月	19.8
	10月	169	3	18	0	3	73	27	71	81	1	446	224	421	25	17	10月	17.8
	11月	162	6	12	1	2	73	25	81	89	1	452	195	425	27	23	11月	18.8
	12月	174	3	15	0	0	70	31	82	81	2	458	189	424	34	29	12月	18.3
2024	1月	146	3	18	1	1	56	24	87	68	2	406	186	381	25	25	1月	17.7
	2月	146	2	17	0	3	61	27	93	94	0	443	230	411	32	26	2月	19.3
	3月	137	2	9	0	1	77	45	107	89	3	470	225	442	28	22	3月	18.8
総件数		1,834	38	176	6	25	815	353	1,131	1,087	21	5,486	2,524	5,118	368	329	年間	18.7

透視撮影件数

年月		ERCP	イレウス管	PTCD・PTGBD	ポート・PICC	瘻孔	胃透視	注腸	肝生検	内科その他	ブロンコ	HSG	外科透視	整復	整形その他	泌尿器科系	耳鼻科	小児	合計
2023	4月	10	3	0	4	0	2	1	3	6	5	0	3	19	0	14	0	0	70
	5月	12	5	1	5	1	9	2	2	9	4	0	4	14	0	13	0	0	81
	6月	15	3	0	4	0	8	0	0	6	6	0	2	15	0	13	0	0	72
	7月	10	6	0	2	0	11	2	0	11	1	0	7	11	0	17	0	0	78
	8月	7	11	0	9	0	5	1	2	22	2	0	4	13	0	20	0	0	96
	9月	16	5	0	7	0	5	5	0	10	1	0	1	15	0	18	0	0	83
	10月	15	10	0	11	0	1	3	6	12	3	0	10	12	0	18	0	0	101
	11月	7	9	0	7	0	6	7	1	7	5	0	4	9	0	17	0	0	79
	12月	15	10	0	9	0	1	0	0	7	2	0	3	9	0	18	0	0	74
2024	1月	11	6	0	10	0	1	3	0	4	4	0	5	9	0	13	0	0	66
	2月	10	5	0	7	0	5	2	0	7	3	0	4	1	0	17	0	0	61
	3月	13	8	1	7	0	2	7	0	3	3	0	1	10	0	13	0	0	68
合計		141	81	2	82	1	56	33	14	104	39	0	48	137	0	191	0	0	929

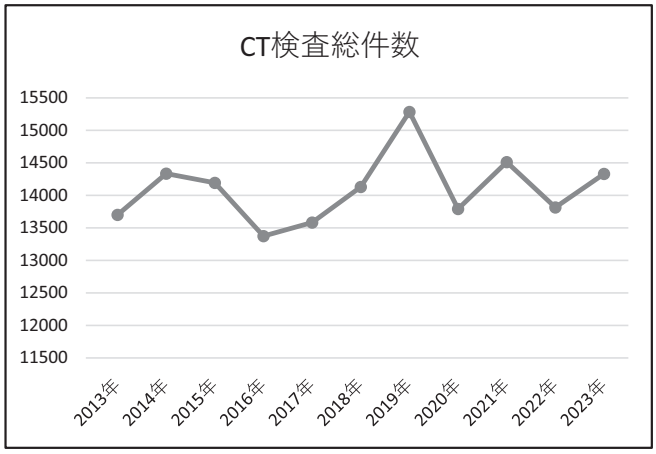
カテーテル検査件数

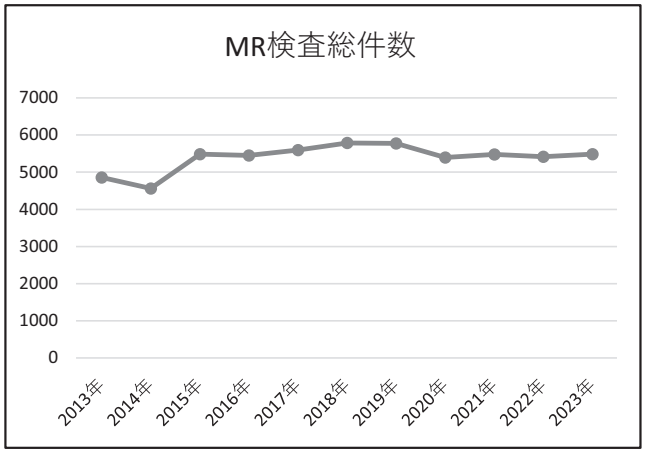
	2023									2024			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
CAG	12	13	7	6	19	13	13	10	15	13	12	12	145
(FFR)	3	3	1	2	4	3	1	2	1	0	4	4	28
(OCT)	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
(NIRS+IVUS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
RHC	0	1	4	1	1	0	2	2	0	0	0	1	12
PCI	4	12	6	1	11	5	5	6	10	11	8	7	86
下肢AG	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	0	6
EVT	0	2	2	2	1	2	0	2	3	0	0	1	15
IVUS	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
シャント造影	0	0	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	6
シャントPTA	1	2	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	7
IVCフィルター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
EPS/ABL	2	0	2	2	1	1	3	2	4	0	1	2	20
一時ペーシング	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	6
IABP	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	6
PCPS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
other	2	2	3	0	2	0	3	3	2	0	0	3	20
緊急件数	7	9	4	3	10	5	6	3	6	5	4	5	67
(em-CAG)	6	8	4	2	10	5	6	3	6	5	4	4	63
(内、PCI)	2	6	1	0	7	2	3	1	3	5	4	3	37

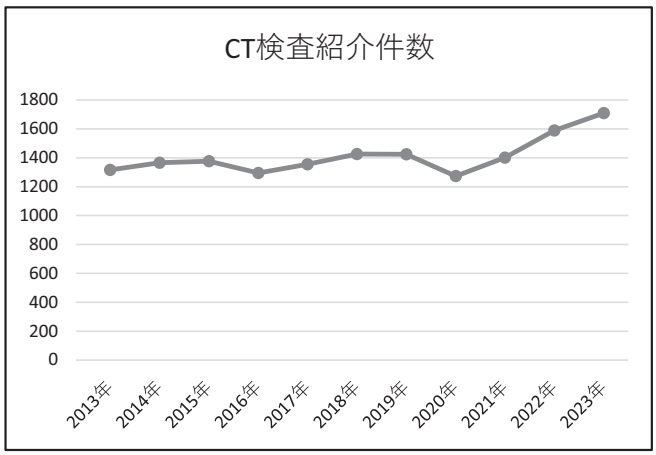
CT MRI 検査年度別　総検査件数と紹介検査件数と検査紹介率推移

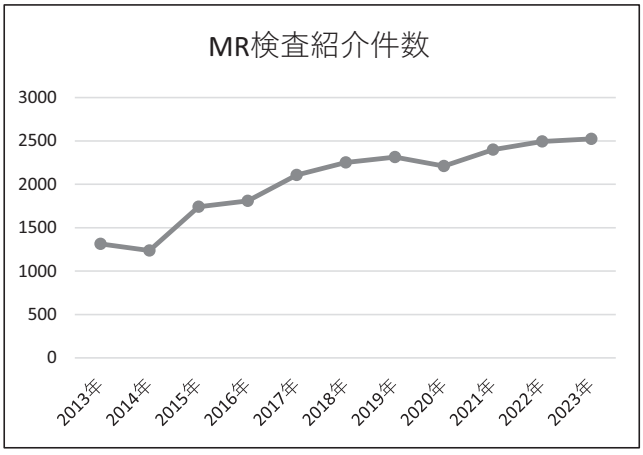
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
CT総件数	13,700	14,334	14,194	13,374	13,582	14,132	15,286	13,793	14,511	13,814	14,333
CT紹介	1,317	1,365	1,376	1,295	1,355	1,426	1,425	1,273	1,401	1,589	1,709
紹介率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	12%	12%
			MRI3T導入					CT装置更新			
MR総件数	4,860	4,564	5,489	5,448	5,595	5,786	5,773	5,399	5,476	5,417	5,486
MR紹介	1,313	1,237	1,740	1,810	2,106	2,251	2,313	2,212	2,399	2,493	2,524
紹介率	27%	27%	32%	33%	38%	39%	40%	41%	44%	46%	46%

※ 2023 年度は CT・MRI ともに紹介件数・紹介率が過去最高となった









27. 臨床検査科　（1）年間活動報告

1）学術集会、研究会、勉強会等　参加実績

開催日		研修会名	テーマ、主な内容	主催団体
2023年	4月 3日	企業主催勉強会	ハートチームが欲しい術後エコーデータ徹底解説 僧帽弁閉鎖不全症	GEヘルスケア・ジャパン
	4月13日	企業主催勉強会	Learning Program for lmmunohematology 2023	オーソ
	4月18日	企業主催勉強会	変化の時代に成果を出すリーダーシップのコツ	abbott
	4月29日	企業主催勉強会	尿検査フォーラム2023	シーメンス
	5月 9日	企業主催勉強会	QMS×ITでどうなる? システムを活用した是正処置管理	SYSMEX
	6月 3日	The Echo Live	Open your eyes!	日本超音波医学会
	6月 4日	第17回寄生虫検査法技術講習会	寄生虫	公益社団法人日本臨床検査同学院
	6月 5日	企業主催勉強会	尿沈渣　上皮細胞の七変化	シーメンス
	6月 8日	企業主催勉強会	Hemostasis Seminar FMCを活用した抗凝固療法適正運用と医療経済効果の期待　等	SYSMEX
	6月 8日	企業主催勉強会	非小細胞肺癌におけるマルチプレックス検査の重要性と取り組み	ノバルティスファーマ
	6月11日	みなとみらいフォーラム2023	大学病院で30年に及ぶ尿沈渣経験から得られた技術を伝承	栄研
	6月15日	企業主催勉強会	血栓止血検査学について	SYSMEX
	6月20日	企業主催勉強会	第36回Philips超音波診断装置webセミナー	Philips
	6月24日	第2回認定寄生虫検査技師養成プログラム	寄生虫	日本臨床一般検査学会
	6月29日	企業主催勉強会	変わりゆく循環器診療と当院の今 2型糖尿病におけるトータルケア	MSD株式会社
	7月 6日	企業主催勉強会	臨床検査セミナー2023 尿沈渣から考える糖尿病腎症 糖尿病腎症の課題と展望	アークレイ
	7月 8日	関西心エコーリサーチクラブ	心筋症と心エコー 心臓MRIの基礎の基礎:画像の見方から最近の話題まで	関西心エコーリサーチクラブ
	7月 8日	企業主催勉強会	脳波講習会	フクダ電子
	7月19日	技師会主催勉強会	髄液検査	大阪府臨床検査技師会
	8月26日	企業主催勉強会	基本から積み上げる血液形態検査について	SYSMEX
	9月21日	WEB超音波セミナー	肝臓	USワールド
	10月 4日	企業主催勉強会	フォトトレーニング～鑑別困難な成分	SYSMEX
	10月 5日	WEB超音波セミナー	腎臓、副腎、膀胱	USワールド
	10月 6日	JACLaS	世界に誇る最先端の技術を	日本臨床検査機器・試薬・システム新興協会
	10月 6日	大阪府医療安全webセミナー	「疫学的視点からみたウイルス肝炎の現状と課題」	アッヴィ合同会社

2023年	10月18日	企業主催勉強会	肺癌マルチ検査の遺伝子変異検出と治療を考える会 1.肺癌遺伝子検査成功への道:臨床現場で必要な知識と注意点 2.症例発表	ノバルティスファーマ
	10月19日	WEB超音波セミナー	胆道系・胆嚢・膵を中心に	USワールド
	11月12日	企業主催勉強会	ユリナリシスセミナー2023	SYSMEX
	11月13日	企業主催勉強会	ガイドラインからみた卵巣癌腫瘍マーカーの位置づけと 経過観察におけるHE4の有用性	abbott
2024年	1月25日	北摂四医師会三島感染症研究会	「化学療法による皮膚障害に対するケア」「抗がん剤曝露対策 ～CSTD とDARWIN Chemo～」	三島圏域がん研究会
	1月25日	企業主催勉強会	エリアで診る循環器セミナー in 久留米 アミロイドーシスを拾い上げ 等	ファイザー
	1月26日	イムノロジーセミナー2023	認知症領域における臨床検査技師の関わり 等	SYSMEX
	2月 2日	企業主催勉強会	循環器画像スキルアップセミナー ～治療可能な心筋症を見逃さない～ もう迷わない!心エコー図で紐解く心アミロイドーシス解体心書! 等	ファイザー
	2月 3日	臨床検査業務委員会報告会	品質保証施設認証制度についてモチベーション向上を目指した人材育成	全国病院経営管理学会
	2月 9日	第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会	微生物	日本臨床微生物学会
	2月11日	大臨技医学検査学会	コロナ対策等	大阪府臨床検査技師会
	2月16日	企業主催勉強会	循環器スキルアップセミナー2024 ～エコーを駆使し、治療可能な心筋症・心不全を見逃さない～ 心アミロイドーシス経過観察のポイント 等	ファイザー
	2月18日	日本心臓病学会 教育セミナー	ファンダメンタル コース 循環器診療の必須検査	日本心臓病学会
	2月25日	日本心臓病学会 教育セミナー	アドバンス コース 循環器診療の最新トピックス	日本心臓病学会

2）学術集会、研究会、勉強会等発表、講演実績

開催日		上段：学会、研修会名（開催場所）、中段：演題名、下段：○発表者、共同演者
2023年	9月22日	第73回日本病院学会（宮城） 肝炎ウイルス検査陽性患者全員へ適切な対応を ○山村 佳子
	10月 8日	第22回大阪病院学会（大阪） 肝炎ウイルス検査陽性患者全員へ適切な対応を ○山村 佳子
2024年	1月28日	第15回院内学会（大阪） 検査異常値報告体制の整備 ○宜保 明李

3）臨床検査臨地実習受け入れ実績

開催日		要請団体	視察内容	人 数
2024年	1月11日～ 3月 6日	玉田学園 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科	臨床検査業務全般の実習	1名

4）他施設視察、研修実績

開催日		視察先	視察内容	主催団体
2023年	6月15日	大阪医科薬科大学病院 中央検査部	規則と運営の確認	当院臨床検査科

5）科内勉強会実績（外部招聘）

開催日		テーマ、内容	主催団体、講演者
2023年	8月 9日	品質の担保とリスクマネジメント	ロシュ
	9月15日	UF-5000（尿検査機器）説明	SYSMEX
	12月 2日	梅毒の判断基準	極東製薬
2024年	1月18日	CN-6000（止血機器）説明	SYSMEX

6）科内勉強会実績（当院臨床検査技師）

開催日		テーマ、内容	担当検査技師
2023年	4月	鉄欠乏性貧血	里 もみじ
	5月	肝炎ウイルス報告	山村 佳子
	6月	薬物中毒	宜保 明李
	7月	マイクロピペット使用法	齊藤 潤
	8月	発疹	大橋 暁子
	9月	下肢静脈瘤	土方 とも子
	10月	B型肝炎	在間 由香
	11月	貧血とビタミンB1	坂本 良子
	12月	心電図の体位による変化	齊藤 潤
2024年	1月	感染性心内膜炎	大貫 さほ
	2月	尿路感染症	石井 裕季子
	3月	婦人科領域の細胞診	中間 愛

7）新規採用、及び更新機器

設置日		機器名称	規格･形式	メーカー
2023年	9月	全自動尿分析装置	AX-4061	ARKREY
	9月	全自動尿中有形成分分析装置	UF-5000	SYSMEX
	12月	呼気NO測定装置	NobreathV2	原田産業
2024年	3月	全自動血液凝固測定装置	CN-6000	SYSMEX

8）新規実施検査項目

開始日		項目名称	使用検査機器	メーカー
2023年	12月	呼気NO濃度	NobreathV2	原田産業

9）精度管理･情報管理

①外部精度管理

施行月		主催団体	内容・項目	評点
外部団体による臨床検査精度管理調査				
2023年	6月	日本臨床検査技師会	臨床検査項目全般	（A+B） 98.1%
	9月	日本医師会	臨床検査項目全般	94.3点
	11月	大阪府医師会	臨床検査項目全般	98.6点

試薬・機器メーカーによる精度管理調査			
2023年	6月	極東製薬工業社	梅毒TPLA・RPR
	6月	ミナリス	脂質、腎、糖尿病関連項目
	6月	関東化学社	酵素系項目
	8月	SYSMEX社	止血
	11月	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス社	血液ガス項目
	12月	シノテスト	UIBC
2024年	2月	ニットーボー社	CRP、PreALB
	3月	日本臨床検査標準協議会	ID NOW

試薬メーカーによる精度管理データ統計分析		
年12回	シスメックス社（QAP）	血液検査、生化学検査項目
年12回	シーメンス社（シーメンスQC）	血液ガス項目
年12回	シスメックス社（CA-NETTⅡ）	CBC・止血機能検査項目

②内部精度管理

施行日	対象	内容・項目
毎日	各種検査機器	標準物質を用いた各種検査機器の精度管理

③情報管理

施行日	対象	内容・項目
毎　月	院内感染情報	臨床検査部門サーベランス
毎　月	院内感染情報	耐性菌検出状況
毎　月	院内感染情報	結核菌検出状況
毎　月	血液製剤使用統計情報	RBC、FFP、PC、自己血等使用数、廃棄数

10）治験・共同研究項目

開始日		治験・共同研究名称	実施検査
2021年	10月	PEMA-CORE研究	対象患者なし

（2）月別 検体検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
総検査件数（注1）	2023	100,271	92,328	99,493	98,309	103,983	98,299	99,258	94,978	97,955	94,140	92,781	93,901	1,165,696
	2022	106,780	91,593	94,847	91,835	93,785	95,431	99,298	93,493	94,884	87,927	89,766	97,092	1,136,731
外来検査件数	2023	62,424	65,306	68,488	68,205	68,321	64,294	63,758	65,138	65,512	61,119	63,402	63,740	779,707
	2022	67,028	63,916	66,891	63,251	64,454	66,453	64,914	64,079	63,751	60,044	60,163	68,141	773,085
入院検査件数	2023	25,524	23,989	27,554	26,602	32,751	30,557	27,291	26,385	29,713	30,355	26,941	27,903	335,565
	2022	26,768	25,452	25,594	26,217	26,690	26,511	26,760	26,771	28,482	25,105	26,903	26,713	317,966
ドック、健診	2023	12,323	3,033	3,451	3,502	2,911	3,448	8,209	3,455	2,730	2,666	2,438	2,258	50,424
	2022	12,983	2,225	2,362	2,367	2,641	2,467	7,624	2,643	2,651	2,778	2,700	2,238	45,679
院内検査件数	2023	86,576	87,425	94,129	93,407	99,793	93,702	90,282	90,497	94,083	90,391	89,271	90,741	1,100,297
	2022	92,213	87,880	90,831	88,049	89,868	91,587	91,152	89,733	91,180	84,257	86,014	93,526	1,076,290
委託検査件数	2023	13,695	4,903	5,364	4,902	4,190	4,597	8,976	4,481	3,872	3,749	3,510	3,160	65,399
	2022	14,567	3,713	4,016	3,786	3,917	3,844	8,146	3,760	3,704	3,670	3,752	3,566	60,441
検査依頼患者数	2023	5,389	4,699	5,055	5,078	5,422	5,180	5,263	4,850	5,043	4,901	4,727	4,812	60,419
	2022	5,847	5,188	5,283	5,599	5,715	5,387	5,727	5,280	5,580	5,098	4,953	5,344	65,001
至急検査件数	2023	2,619	2,640	2,776	2,898	3,134	3,062	2,709	2,782	2,960	2,764	2,697	2,825	33,866
	2022	3,001	2,777	2,976	2,983	2,944	3,000	2,960	2,855	3,138	2,844	2,816	3,009	35,303
委託検査率（%）	2023	13.7	5.3	5.4	5.0	4.0	4.7	9.0	4.7	4.0	4.0	3.8	3.4	5.6
	2022	13.6	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0	8.2	4.0	3.9	4.2	4.2	3.7	5.3
至急検査率（%）	2023	48.6	56.2	54.9	57.1	57.8	59.1	51.5	57.4	58.7	56.4	57.1	58.7	56.1
	2022	51.3	53.5	56.3	53.3	51.5	55.7	51.7	54.1	56.2	55.8	56.9	56.3	54.3

（注1）　総検査件数:生理機能、微生物、細胞診、病理、輸血をのぞく
4-6月・10月の職員健診を委託件数に含む
至急件数に救急外来の一部を含まない

2021年1月臨床検査システム更新
検査依頼および至急検査件数は依頼人数に変更

（3）月別 その他検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
血液製剤依頼件数（注2）	2023	65	66	56	44	59	58	45	55	69	62	51	63	693
	2022	64	56	55	60	53	87	60	61	55	58	70	79	758
自己血件数（注2）	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
微生物検査件数	2023	1,138	1,151	1,243	1,258	1,473	1,410	1,315	1,170	1,421	1,147	1,155	1,300	15,181
	2022	1,145	1,057	1,080	1,281	1,031	1,119	1,275	1,163	971	928	950	1,214	13,214
生理機能検査件数	2023	1,855	1,742	1,906	1,914	1,836	1,760	2,143	1,845	1,940	1,768	1,836	1,951	22,496
	2022	2,022	1,734	1,705	1,558	1,598	1,704	2,121	1,643	1,727	1,573	1,723	1,874	20,982
病理検査件数	2023	190	197	184	198	226	182	214	204	220	194	199	215	2,423
	2022	275	261	257	245	254	233	252	254	224	215	211	235	2,916
迅速病理検査件数	2023	7	6	9	8	8	4	6	2	5	7	4	5	71
	2022	5	8	5	4	5	3	3	5	3	8	6	9	64
迅速細胞診件数	2023	2	5	6	4	5	1	5	3	3	7	4	2	47
	2022	7	9	3	3	4	0	3	5	3	9	4	7	57
産婦人科細胞診件数	2023	76	92	88	97	88	94	117	114	85	75	93	71	1,090
	2022	63	103	82	85	100	82	106	103	92	90	73	80	1,059
その他細胞診件数	2023	37	28	37	33	37	43	42	38	32	30	33	31	421
	2022	47	51	52	38	18	30	37	32	35	39	28	34	441

（注2）　輸血、自己血：1依頼書1件

（4）月別 生理機能検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
心電図	2023	1,171	943	1,050	1,034	1,033	919	1,228	984	1,023	914	933	931	12,163
	2022	1,250	983	953	890	897	945	1,301	906	971	876	951	1,014	11,937
歩行負荷心電図	2023	9	10	9	4	11	12	15	6	14	14	14	6	124
	2022	9	9	17	19	10	19	24	9	12	7	11	12	158
ホルター心電図	2023	36	29	33	17	24	21	22	26	15	22	31	31	307
	2022	39	27	35	22	24	31	42	20	24	29	28	33	354
24時間血圧測定	2023	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	2022	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
心臓エコー	2023	217	219	253	264	256	213	230	247	257	214	256	234	2,860
	2022	262	253	273	230	241	263	248	247	242	215	246	272	2,992
経食道エコー	2023	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	7
	2022	3	1	3	0	0	1	3	3	2	0	7	2	25
ストレスエコー	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トレッドミル	2023	5	5	4	3	2	1	1	3	2	5	5	3	39
	2022	4	2	7	4	3	2	4	2	1	5	8	1	43
脳波	2023	4	2	4	2	3	3	0	1	6	3	0	2	30
	2022	2	3	5	1	1	4	3	2	4	4	1	2	32
肺機能検査	2023	21	110	155	166	145	160	178	145	149	147	158	197	1,731
	2022	5	8	8	4	4	5	10	6	4	10	15	11	90
気道可逆試験	2023	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	5
	2022	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	5
心臓・下肢造影 など	2023	18	27	21	14	25	21	21	22	27	16	19	20	251
	2022	35	30	16	20	10	23	26	25	27	19	26	23	280
ABI（血圧脈波）	2023	48	44	34	41	53	33	47	42	55	51	46	61	555
	2022	49	49	46	41	58	47	57	50	54	40	41	52	584
SRPP	2023	3	1	1	3	2	1	3	2	5	0	2	2	25
	2022	6	7	2	3	3	1	4	1	3	1	1	2	34
頚動脈エコー	2023	36	26	21	21	28	17	35	14	31	27	23	41	320
	2022	33	21	25	22	21	31	36	37	25	28	21	11	311
腹部エコー	2023	60	61	81	80	77	92	72	81	76	79	82	99	940
	2022	76	92	97	83	98	89	102	80	90	83	97	121	1,108
甲状腺エコー	2023	13	20	17	20	25	15	20	13	21	24	18	17	223
	2022	12	9	4	9	9	5	9	16	11	11	10	12	117
下肢静脈エコー	2023	36	57	56	41	41	49	44	59	51	37	45	55	571
	2022	56	53	46	50	44	52	56	46	46	42	48	54	593
術前下肢静脈エコー	2023	66	59	53	91	76	73	90	70	86	75	70	84	893
	2022	70	68	62	63	66	71	66	75	67	67	71	78	824
その他エコー	2023	3	6	3	6	3	4	4	2	2	2	3	4	42
	2022	5	4	4	12	0	3	2	3	2	2	0	3	40
純音聴力測定	2023	87	93	97	84	9	100	102	108	99	99	95	118	1,091
	2022	83	91	83	70	95	90	108	92	116	113	110	139	1,190
チンパノメトリー	2023	4	14	5	9	11	9	12	8	7	10	8	7	104
	2022	11	7	9	6	3	7	6	7	17	9	14	15	111
耳小骨筋反射測定	2023	6	7	4	4	5	5	5	3	3	4	2	7	55
	2022	5	5	6	4	3	3	3	5	5	4	5	6	54
電気味覚検査	2023	2	1	0	2	1	0	2	1	1	1	0	3	14
	2022	0	2	0	0	1	2	1	0	0	3	3	1	13
語音聴力測定	2023	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	5
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

耳鳴検査	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自記オージオ	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
睡眠時無呼吸試験	2023	3	2	0	3	0	3	4	4	2	1	0	0	22
	2022	1	4	1	4	2	2	5	3	0	2	2	1	27
終夜睡眠ポリグラフィー	2023	1	2	0	0	1	1	3	2	1	0	1	2	14
	2022	2	1	1	0	1	1	1	2	1	2	1	3	16
CPX心肺運動負荷試験	2023	4	3	3	2	2	5	3	2	5	2	4	1	36
	2022	4	5	2	1	4	6	4	4	2	0	5	3	40
呼気NO検査	2023										19	21	26	66
	2022													0

(5)眼科機器別検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
視力検査	2023	421	401	470	415	395	395	395	415	403	349	378	389	4,826
	2022	436	454	516	437	381	451	450	426	436	381	409	487	5,264
眼圧検査	2023	429	405	473	418	401	406	407	433	418	364	396	417	4,967
	2022	452	463	528	445	388	461	454	428	431	380	413	491	5,334
Goldmann視野計	2023	35	22	21	20	15	25	25	25	14	12	13	16	243
	2022	33	27	31	24	29	25	27	29	27	27	31	38	348
Humphrey視野計	2023	22	16	33	31	33	30	26	30	20	18	16	27	302
	2022	24	34	29	23	25	31	25	23	28	22	14	26	304
眼位(HESS)	2023	13	8	15	10	5	10	16	25	16	10	11	13	152
	2022	9	6	10	4	12	5	7	5	9	12	12	12	103
中心CFF	2023	8	8	4	1	1	4	3	5	5	5	4	2	50
	2022	8	6	9	6	5	6	2	3	6	4	7	6	68
スペキュラーマイクロスコープ	2023	18	25	19	10	11	9	20	17	12	15	17	13	186
	2022	21	24	16	20	21	19	20	19	9	15	23	25	232
アムスラーチャート	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	2022	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
眼軸長測定(IOLマスター・Aモード)	2023	14	20	17	7	10	7	17	15	10	14	15	14	160
	2022	17	19	16	15	19	18	19	17	9	14	15	21	199
Bモード	2023	0	1	2	3	2	1	0	6	3	2	1	1	22
	2022	4	3	10	0	2	1	0	1	1	0	0	5	27
光干渉断層計	2023	186	200	224	195	188	197	186	198	182	172	182	164	2,274
	2022	203	196	218	191	159	214	194	186	200	191	150	242	2,344
眼底カメラ	2023	72	70	73	63	55	54	54	62	51	50	54	51	709
	2022	83	86	88	73	56	78	100	93	101	88	73	117	1,036
蛍光眼底造影(FA・IA)	2023	2	6	2	3	4	5	5	1	9	4	7	0	48
	2022	9	15	9	7	2	5	10	1	8	5	3	5	79
自発蛍光撮影	2023	2	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	7
	2022	2	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	8
光干渉断層血管撮影	2023	2	0	1	0	3	2	4	1	2	0	1	2	18
	2022						2	6	1	2	3	1	5	20

(6)臨床検査科設置主要機器一覧

分類	機器名称	規格･形式	メーカー
検体検査部門			
システム	検体検査システム端末	Caresphere LWS､QM	C.N.A
一般	全自動尿中有形成分分析装置	UF-5000	Sysmex
	全自動尿分析装置	AX-4061	ARKREY
	全自動血液ガス分析装置	RapidPoint 500e	SIEMENS
血液･輸血	全自動血液型分析装置	Vision	Ortho-Clinical Diagnostics
	多項目自動血球測定装置	XR-1000	Sysmex
	全自動血液凝固測定装置	CN-6000	Sysmex
	全自動赤沈計	Smart Rate20	常光
生化･免疫	生化学自動分析装置	JCA-BM9130	日本電子
	生化学自動分析装置	DimensionXpandplus	SIEMENS
	血中アンモニア測定装置	ポケットケムBA　PA-4140	アークレイ
	全自動免疫化学発光測定装置	cobas e 601	Roche
細菌検査部門			
細菌	微生物総合管理システム端末	SMILE	SIEMENS
	細菌自動分析装置	WA DxM1040	BECKMAN COULTER
	全自動血液培養装置	BACT/ALERT 3D	BIOMERIEUX JAPAN
PCR	全自動遺伝子解析装置	GeneXpertシステムGX-Ⅱ	BECKMAN COULTER
	新型コロナウイルス遺伝子検査機器	ID NOW	Abbott
	リアルタイム濁度測定装置	Loopamp	栄研
	新型コロナウイルス遺伝子検査機器	Liat	Roche
生理機能検査部門			
生理	自動解析心電図計	Cardiomax7 ECP-8700等	フクダ電子
	デジタルホルター記録器	FM-1300等	フクダ電子
	電子式スパイロメーター	spiro sift SP370	フクダ電子
	呼気NO濃度測定器	NObreathV2	原田産業
	ABI測定装置	form PWV/ABI	コーリン
	皮膚灌流圧測定装置	Nahri　MV monitor	NEXIS
	脳波計	EEG-1200	日本光電
	簡易型睡眠評価装置	LS-140	フクダ電子
	終夜睡眠ポリグラフシステム	Alice 6 LDE	PHILIPS･RESPIRONICS合同会社
	トレッドミルベルト	MAT-2700	フクダ電子
	全自動血圧脈波計	tangoM2	フクダ電子
エコー	超音波診断装置(循環器)	vivid E95	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S60	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S60	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S70	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S5	GE
	携帯型超音波診断装置(汎用)	Vscan Extend	GE
	超音波診断装置(腹部･体表臓器)	Logiq S8	GE
	超音波診断装置(腹部･体表臓器)	Logiq P6	GE
聴力	オージオメータ	AA-M1A	RION
	インピーダンスオージオメータ	RS-22	RION
	電気味覚測定装置	TR06	RION
CPx	運動負荷心電図測定装置	STS-2100	日本光電
	運動負荷血圧監視装置	tangoM2	エス･エム･アイ･ジャパン

設置場所	機器名称	メーカー	規格・形式
CPx	エルゴメータ	STB-3400	日本光電
	呼気ガス分析装置	エアロモニタAE310s	ミナト医科学
病理検査部門			
病理	迅速凍結切片作成装置	Polar-D	サクラファインテックジャパン
眼科検査部門			
眼科検査室	マルチファンクションレフラクトメーター	MR-6000	TOMEY
	字づまり視力検査器	CV-5000	TOMEY
	スペキュラーマイクロスコープ	EM-4000	TOMEY
	レンズメーター	TL-7000	TOMEY
	近代式中心フリッカー値測定器		ヤガミ
	超音波画像診断装置	UD-8000	TOMEY
	眼軸長・角膜厚測定装置	AL-4000	TOMEY
	IOLマスター	500	ZEISS
	ハンフリーフィールドアナライザー	HFAⅢ　840	ZEISS
	ゴールドマン視野計		イナミ
	HESS	ヘススクリーンMKⅡ	ジャパンフォーカス
	共焦点走査型ダイオードレーザ検眼鏡	Mirante	NIDEK
	アイケア	ic200	エムイーテクニカ

28. 臨床工学科

(1)業務

2023 年度（2023 年 4 月～ 2024 年 3 月）における臨床工学科の主な業務内容を示す。

臨床工学科では医療機器を介する連携業務を軸とし、カテーテル治療センター、内視鏡センターでは介助業務などを実施。また 2024 年 1 月 23 日より手術室業務を新たに開始した。

- 血液浄化センター 関連業務
- 病棟・ICU 関連業務
- 人工呼吸器及び麻酔器 関連業務
- 輸液ポンプ、シリンジポンプなど ME 機器管理（貸出 / 返却、日常 / 定期 / 保守点検）関連業務
- カテーテル治療センター 関連業務
- ペースメーカ（植込術・外来）関連業務
- 内視鏡センター 関連業務
- ME 管理機器（保守 / 定期 / 日常）点検、修理等の機器管理業務
- 手術室 関連業務

(2)医療機器 安全管理体制

2023年度 臨床工学科における管理医療機器は総数645台となっている。内訳は、輸液ポンプ87→85台(内Drip Eye 20 台、内 PCA 用ポンプ 1 台)、シリンジポンプ 63 → 70 台（内 PCA 用ポンプ 3 台)、除細動器 12 台、人工呼吸器 13 → 12 台（内、ServoS 5 → 4 台、Servoi 1 台、V60 3 台、Airvo2 3 台、ParaPAC 1 台、なお NIP-V および ASV はレンタル機のため含めず)、補助循環装置 3 台（ECMO2 → 1 台、IABP 2 台)、血液浄化関連装置 11 台（透析用監視装置 8 台、供給装置 1 台、溶解装置 1 台、透析用水作成装置 1 台)、麻酔器 5 台、生体情報モニター（セントラルモニター 10 台、ベッドサイドモニター 110 → 112 台、送信機 77 → 82 台)、手動式血圧計 113 → 122 台、パルスオキシメーター 126 → 138 台 等となった。台数減少の機種については、故障によるメーカー修理不可能な機種であり新規購入を見送った。一方、シリンジポンプの台数増加については、故障により減少した台数をレンタルで賄っていたが、レンタル台数が増加したため、減少分を補充した。また、故障した人工呼吸器 ServoS は、1 日の稼働数が少なく且つ上位機種の ServoI が使用できるため新規購入を見合わせた。

当院における特定保守管理医療機器のうち保守点検が必要とされる機器は、①補助循環装置（ECMO・IABP） ②人工呼吸器 ③血液浄化装置 ④除細動装置（AED を除く）であり、保守点検計画を策定し実施した。その他の機器の保守点検として、⑤輸液ポンプ ⑥シリンジポンプ ⑦麻酔器 ⑧モニター（関連機器を含む） ⑨その他の保守点検計画を策定し実施した。

2023 年度における各機器の定期点検・保守点検回数を下記表 1. ～ 2. に示す。表 1. 表 2. に機種毎の定期点検・保守点検数、表 3. に臨床工学科へ依頼された修理依頼数およびメーカー修理依頼数を記した。

表1. 特定保守管理医療機器の（定期/保守）点検数

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①補助循環装置（ECMO･IABP）	8/0	16/1	12/0	16/1	8/1	13/0	9/0	12/0	5/0	9/0	9/1	9/1	126/5
②人工呼吸器	11/1	13/0	13/2	10/6	19/3	15/1	19/0	12/2	17/0	18/1	9/0	20/0	176/16
③血液浄化装置	25/0	27/10	25/1	26/0	27/11	25/1	26/0	26/10	27/1	26/0	25/10	25/1	311/45
④除細動器	0	3	6	3	0	0	0	8	4	0	0	0	24

※血液浄化装置：RO装置の日常、定期点検を含む
※除細動器：院内ME保守点検数

表2. その他医療機器の（定期/保守）点検数

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
⑤輸液ポンプ	111/13	112/5	111/5	117/9	165/11	126/8	132/6	126/4	163/1	152/2	125/6	93/2	1,543/72
⑥シリンジポンプ	128/7	99/7	144/0	122/5	126/7	133/7	131/0	129/7	143/2	141/5	112/4	120/0	1,525/51
ドリップアイ	94/0	87/1	101/3	89/2	90/1	83/3	80/3	88/1	74/0	81/0	65/2	54/0	986/16
⑦麻酔器	20/0	20/0	20/0	25/5	15/0	25/0	21/0	20/0	25/0	20/0	20/0	20/0	251/5

表3. 年間修理依頼数およびメーカー修理依頼数

2023～24年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
補助循環装置（ECMO･IABP）	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
人工呼吸器	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
血液浄化装置（関連機器含む）	院内ME修理数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
除細動器	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
輸液ポンプ	院内ME修理数	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
	メーカー修理数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
シリンジポンプ	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔器	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	4
モニター（関連機器含む）	院内ME修理数	2	2	7	3	1	2	2	3	3	5	3	3	36
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他（SpO2/血圧計など）	院内ME修理数	7	6	7	6	5	4	6	2	4	4	2	3	56
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

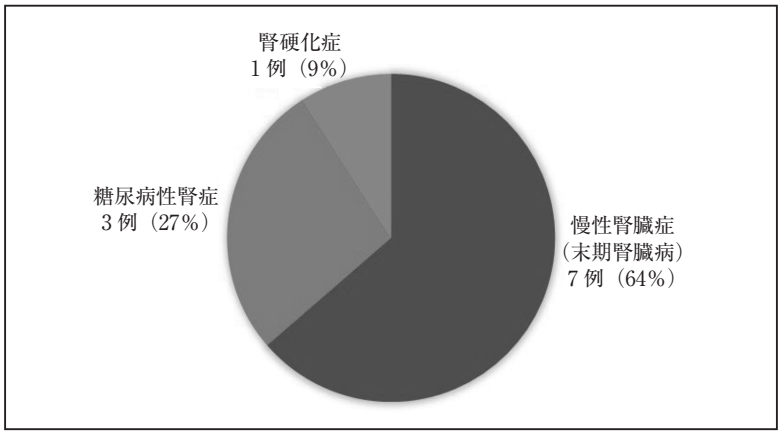
(3)血液浄化室業務

2023年度における血液浄化療法件数を下記表4.に記す。2022年5月にオンラインHDFを開始すると共に、2024年2月よりI-HDFを新たに開始した。また、多くの勉強会を実施し資料の作成にも取り組んだ。

表4. 2023年度における血液浄化療法数

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析回数	127	160	149	141	152	144	139	152	165	134	124	145	1,732
入院透析回数	69	72	90	49	88	69	68	60	71	65	80	44	825
透析導入患者数	1	2	0	0	2	1	1	0	0	1	1	2	11
持続的腎代替療法/(CRRT)実施件数	2	4	6	0	5	3	3	6	4	14	24	13	84
潰瘍性大腸炎に対する自己免疫吸着療法回数(G-CAP)実施件数	0	1	3	2	0	0	0	0	0	2	7	5	20
腹水濃縮潅流法(CART)実施件数	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	6

図1. 2023年度透析導入疾患



(4)人工呼吸器業務

人工呼吸器業務において、使用中日常点検、開始前の始業点検（定期点検含む）を実施した。点検業務を実施することで、使用中の故障は無く安全に使用できた。また、非侵襲的陽圧換気（NPPV・ASV・V60 ベンチレータ）も人工呼吸器として日常・定期・保守点検業務を行った。2023 年度における人工呼吸器関連の使用台数を下記表 5. 記す。

表5. 2023年度における人工呼吸器使用数

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Servo S/I	2	6	5	9	3	0	12	9	43	16	13	12	130
V60	14	27	33	8	22	17	32	30	38	23	11	50	305
ネーザルハイフロー(Airvo2)	10	28	39	18	11	40	12	2	8	24	57	18	267
NIP_V/ASV	1	20	14	25	47	0	0	1	5	22	32	52	222

(5)カテーテル治療センター業務

カテーテル治療センターにおける関連業務を中心に補助循環装置の操作、管理を行った。対応人数の増加も課題であったため、依然教育中であるが 4 → 6 名と増員した。

2023 年度は育成も進め、新たに 1 名を追加し、合計 6 名（清潔介助 2 名、外回り 4 名）で業務を実施した。下記、表 6. に ME 関連機器の使用件数を記す。

表6. 2023年度におけるカテーテル治療センターME関連機器の使用件数

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時ペーシング	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	6
IABP	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	6
ECMO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(6)ペースメーカ業務

2023 年度のペースメーカ外来では、プログラマー操作を主業務に、ペースメーカ植え込み術、および交換術を実施。 また、ペースメーカ植込み患者の MRI 実施前後の準備及び設定変更、実施中の管理など行った。以前より実施していた遠隔モニタリングも対応メーカーを拡大し、2022 年 11 月 Medtronic、2023 年 2 月 Abbott（旧 SJM)、2024 年 3 月 Micro Port と対応メーカーを 1 社から 4 社へ拡大した。

表7. 2023年度におけるペースメーカ関連件数

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカ外来患者	25	19	37	36	44	27	30	25	23	32	29	20	347
新規植込	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
ジェネレータ本体交換	0	0	0	1	0	2	2	1	1	0	0	2	9

（※緊急及び臨時で行ったペースメーカチェックは含まず）

(7)内視鏡センター業務

2023 年度の内視鏡センターにおける月別件数を下記 . 表 8 に記す。内視鏡センターでは、洗浄業務や医師介助業務等を実施。

表8. 2023年度における内視鏡センターにおける月別件数

2023～24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部消化器内視鏡検査	173	185	202	213	205	187	216	198	221	184	183	208	2,375
上部消化管異物除去	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1	1	7
PEG交換/造設術	6	3	2	6	4	3	6	5	7	3	2	4	51
上部消化管内視鏡的粘膜切除術(EMR)	0	1	1	0	3	2	0	1	2	1	2	1	14
上下部消化管粘膜下層剥離術(ESD)	1	2	3	3	0	1	2	3	3	4	5	2	29
下部消化管内視鏡検査	106	113	106	126	108	97	105	115	137	89	91	116	1,309
下部消化管内視鏡的粘膜切除術(EMR)	19	15	14	22	17	23	27	23	25	22	17	20	244
硬化療法(EVL/EIS)	4	3	4	0	2	3	2	2	2	0	6	1	29
内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)	10	12	15	9	6	15	15	7	15	12	10	13	139
ESU/FNA	6	5	5	5	4	3	5	4	3	5	5	5	55
上部消化管止血術	6	13	10	18	12	15	3	19	12	18	12	10	148
下部消化管止血術	8	13	8	6	5	4	10	2	10	3	7	5	81
イレウス管挿入(経鼻)	2	2	2	2	4	3	6	4	6	3	3	4	41

(8)研修・学会活動 等

① 医療機器新規および更新等による勉強会

- 新規採用　TEC-5600 除細動器取り扱い（2023/12/11～2024/3/31　対象：7 階病棟看護師）
- 新規配置変更 TEC-5600 除細動器取り扱い（2024/2/19～3/31　対象：6 階病棟 / 手術室　看護師）
- 新規採用　除細動器 EMS-1052 取り扱い（2024/2/19～3/31 対象：救急救命士）
- 新規配置変更除細動器取り扱い研修（2024/3/1、3/5、3/12 対象：6 階病棟 , 手術室 , 救急救命士）
- 新規採用　JMS(3 連)シリンジポンプ取扱い説明会（2024/3/27～29　対象:ICU/ER/ 手術室 看護師）
- 新規採用　NPPV 用 Javalla（ジャバラ）マスク説明会（2023/11/4～2024/3/31 対象：全入院病棟、手術室看護師）

② （院内）医療機器安全管理研修

- 新入職員対象　輸液ポンプ・シリンジポンプの標準取り扱い（2023/5/2）
- 除細動器の基本的な取扱い（2023/6/1～7/31　対象：新入職員、2022 年度実施後の中途採用者）
- 中途採用職員対象　除細動器の基本的な取り扱い（2023/11/1～2023/11/30）
- 中途採用職員対象　輸液ポンプ・シリンジポンプの標準取り扱い（2023/11/1～11/30）
- 人工呼吸器　医療機器安全管理研修（2023/12/20～2024/3/31 対象：5F 病棟看護師）
- 人工呼吸器(IPPV 取扱い)　医療機器安全管理研修(2024/1/1～3/31　対象:ICU/ER･3F 病棟看護師）
- 人工呼吸器（NPPV 取扱い）　医療機器安全管理研修（2024/1/1～3/31　対象：全入院病棟看護師）

③ 院外学会 / 院外研修

- 令和 4 年度 医療機器安全基礎研修会（2022/9/7　1 名研修修了）

④ 認定士取得

- 消化器内視鏡技師　1 名
- 認定医療機器管理臨床工学技士（検定試験合格、資格免許単位取得中）　1 名

⑤ 臨床工学科内及び関連部署勉強会

- 血液浄化センター勉強会（ダーブロック）　2023/4/5、4/26
- 血液浄化センター　2023 年度透析従事スタッフ研修　2023/7/1～7/31
- 血液浄化センター勉強会（透析入門と透析患者の栄養管理）　2023/7/19、7/26
- 科内 人工呼吸器　教科書　（非同調によるトラブルシューティング）　2023/8/1～8/31
- 血液浄化センター勉強会（シャント管理）　203/8/25、8/30
- 血液浄化センター勉強会（エムラクリーム）　2023/10/18、10/26
- 血液浄化センター勉強会（フットケア）　2023/12/20、12/26
- カテーテル治療センター　Prelude SYNC 止血術　2024 年 1 月
- カテーテル治療センター　Ultreon 導入説明・勉強会　2024 年 1 月
- 臨床工学科内　遠隔モニタリング（Micro Port）説明・勉強会　2024 年 3 月

29. リハビリテーション科

スタッフ

医師 1 名、理学療法士：9 名、作業療法士 4 名（非常勤 1 名）

（1）施設基準 等

運動器リハビリテーション料　（Ⅰ）
呼吸器　：　（Ⅰ）
心大血管疾患　：　（Ⅰ）
脳血管疾患　：　（Ⅱ）
廃用症候群　：　（Ⅱ）
がん患者　：
HCU 早期離床リハビリテーション加算

（2）認定資格

1）理学療法

一般社団法人　日本理学療法士協会認定　認定理学療法士（循環器）
一般社団法人　日本理学療法士協会認定　認定理学療法士（地域）
日本循環器学会　心不全療養指導士
3 学会合同呼吸療法士
がんリハビリテーション研修終了
心臓リハビリテーション指導士（日本心臓リハ学会）
介護支援専門員
第一種衛生管理者
大阪糖尿病療法指導士
福祉用具プランナー
福祉用具専門相談員（厚生大臣指定研修終了）
福祉住環境コーディネーター　2 級
地域包括ケア推進リーダー（日本理学療法士協会認定）
介護予防推進リーダー（日本理学療法士協会認定）
視覚障碍者リハビリテーション基準研修終了（日本ライトハウス）
理学・作業療法士養成教員講習課程修了（厚生省）
臨床実習指導者講習修了

2）作業療法

一般社団法人　日本作業療法士協会認定　認定作業療法士
一般社団法人　日本作業療法士協会認定　専門作業療法士（手）
一般社団法人　日本ハンドセラピイ学会認定　認定ハンドセラピスト
SW-test　講習会終了
AMPS 認定評価者
福祉住環境コーディネーター　2 級
理学・作業療法士養成教員講習課程修了（厚生省）
臨床実習指導者講習修了

(3)学術集会・研究会・勉強会等 参加実績

■参加実績

開催日		学会・研修会	テーマ	開催場所
2023年	4月27日	第35回日本ハンドセラピィ学会学術集会	学術集会	オンデマンド
	4月20・21日	第67回日本手外科学術集会	学術集会	オンライン
	5月14日	第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	学術集会	オンライン
	6月2日	大阪府作業療法学会:抄録の書き方	研修会	オンライン
	6月4日	大阪府作業療法学会:事例検討	研集会	オンライン
	6月10日	第42回　京都ハンドセラピィ症例検討会	研集会	オンライン
	6月23日	大阪府作業療法学会	学術集会	オンライン
	6月24日	日本ハンドセラピィ学会　養成カリキュラム　研究法セミナー	研修会	
	6月30日	令和5年度第1回南信地区ハンドセラピィ勉強会	研修会	オンライン
	7月8日	日本ハンドセラピィ学会　養成カリキュラム　研究法セミナー	学術集会	オンデマンド
	7月19日	日本理学療法士協会　生涯学習センター主催研修会	研修会	オンライン
	7月26日	日本理学療法士協会　生涯学習センター主催研修会	研修会	大阪
	8月5～6日	臨床実習指導者研修会	講習会	オンライン
	8月26日	日本ハンドセラピィ学会　養成カリキュラム　ハンドスプリント ベーシックセミナー	学術集会	オンライン
	9月2～3日	理学・作業療法士臨床実習指導者講習会	学術集会	オンライン
	9月2～3日	日本呼吸・循環器理学療法学術大会2023	学術大会	オンライン
	9月4～29日	第28回3学会合同呼吸療法認定士　認定講習会	講習会	オンライン
	9月9日	日本末梢神経学会	学術集会	オンライン
	9月10日	第4回日本ハンドセラピィ全国研修会	研修会	大阪
	9月12日	南加賀心臓リハビリテーションを考える会	講習会	オンデマンド
	9月24日	表面筋電図セミナー	講習会	オンライン
	10月1日	日本ハンドセラピィ学会　養成カリキュラム　骨折・炎症性疾患セミナー	講習会	オンデマンド
	10月7日	中部整形・災害外科学会	学術集会	オンライン
	10月14日	枚方市理学療法士会主催　心リハ勉強会　「心リハにおけるリスク管理」	学術集会	オンライン
	10月15日	第39回東海北陸理学療法士協会学術大会	学術集会	オンライン
	10月29日	第22回福島県理学療法士協会学術大会	学術大会	オンライン
	11月3日	手関節外科ワークショップ	講習会	オンライン
	11月11～12日	日本精神・心理領域学術大会	学術集会	オンライン
	11月17日	大阪府作業療法学会　大阪市北ブロック研修会　手関節のリハビリテーション	研修会	大阪
	11月18日	第8回門真市理学療法士協会研修会	研修会	オンライン
	11月18日	北摂手の外科談話会	研修会	大阪
	11月19日	日本ハンドセラピィ学会　認定ハンドセラピィスト養成カリキュラム　ハンドスプリントアドバンスセミナー	講習会	オンライン
	12月6日	高槻市理学療法士会　研修会	研修会	オンライン
	12月16日	第2回北海道理学療法士協会　職能部会	研修会	オンライン
	12月16～17日	地域理学療法学術大会	学術集会	大阪

開催日		学会・研修会	テーマ	開催場所
2024年	1月12日	令和5年度　南信地区ハンドセラピィ勉強会	研修会	オンライン
	1月14日	令和5年度　第3回　現職者共通研修	研修会	オンライン
	1月14日	第4回大阪北支部新人症例発表会	学術大会	オンライン
	1月26日	中部日本手外科学会	学術大会	オンライン
	1月26日	ハンドセラピィ研究会	研修会	オンライン
	1月28日	日本老年療法学会　第3回学術研修会	研修会	オンライン
	2月4日	第63回　近畿理学療法学術大会	学術大会	
	2月9日	高槻市理学療法士会　研修会	研修会	オンライン
	2月18日	第40回神奈川県理学療法士協会学術大会	学術集会	大阪
	3月10日	第28回愛媛県理学療法士学術集会	学術大会	
	3月15日	山梨県理学療法士研修会	研修会	オンライン
	3月24日	高知県理学療法士学術大会	学術大会	オンライン

開催日		発表、講演	テーマ	開催場所
2023年	4月23日	第33回 日本ハンドセラピィ学会学術集会	特発性手根管症候群患者の日常生活動作障害に影響する機能障害の検討	オンデマンド
	4月23日	第33回 日本ハンドセラピィ学会学術集会	橈骨遠位端骨折における関節可動域とADL困難感の関係性に関する調査	
	6月2日	富田地区福祉委員会主催	リハビリテーション体操	
	7月30日	北摂総合病院主催：於　富田健やかテラス	認知症リハビリテーション	
	10月21日	庄栄地区福祉委員会主催	骨粗鬆症とリハビリテーション	
	11月10日	第57回　日本作業療法学会	母指・小指運動時における母指球筋と小指球筋の筋活動に関する筋電図学的検討	沖縄
	11月14日	寿栄川添地区福祉委員会主催	便秘とフレイルについて	
	11月29日	北摂総合病院主催：於　芝生健やかテラス	骨粗鬆症とリハビリテーション	
	12月14日	北摂総合病院主催：於　富田健やかテラス	膝関節症とリハビリテーション	
2024年	1月19日	なにわハンドセラピィ研究会	ダイナミックス　スプリントの力学	沖縄
	1月19日	なにわハンドセラピィ研究会	スプリント基礎と力学	
	2月3日	酒井医療なにわハンドセラピィ研究会主催　スプリントワークショップ2024	ダイナミックス　スプリントの力学	島根
	2月3日	酒井医療なにわハンドセラピィ研究会主催　スプリントワークショップ2024	スプリント基礎と力学	
	3月11日	北摂総合病院主催：於　芝生健やかテラス	変形性膝関節症とリハビリテーションについて	オンライン

＜院外活動＞
大阪理学療法士協会　大阪北支部新人症例発表会実行委員
一般社団法人 高槻市理学療法士会　副会長（学術局理事）

(4)実習生受け入れ実績

実習期間	養成校名	学年/人数
2023年 5月 8日～2023年 5月31日	京都医健専門学校　作業療法学科	4年/1名
2023年 6月12日～2023年 8月 4日	仏教大学　作業療法学科	4年/1名
2023年 7月24日～2023年 9月22日	京都医健専門学校　作業療法学科	4年/1名
2023年 8月28日～2023年 9月 1日	履正社医療スポーツ専門学校　理学療法学科	2年/1名
2023年 8月28日～2023年10月21日	藍野大学　理学療法学科	4年/1名
2023年 9月 4日～2023年 9月22日	関西医科大学　作業療法学科	3年/1名
2023年11月 6日～2023年12月 2日	藍野大学　理学療法学科	3年/1名
2024年 1月15日～2024年 2月 9日	京都医健専門学校　作業療法学科	3年/1名
2024年 2月26日～2024年 3月 2日	大阪川崎リハビリテーション大学　理学療法学科	1年/1名

■リハビリテーション科　カンファレンス・ミーティング

毎日　リハビリテーション科全スタッフ　モーニングミーティング

毎週火曜日　リハビリテーション科内　カンファレンス（リハ医、PT、OT）

4F　毎週水・土曜日（退院支援カンファ）

5F　毎週火曜（退院支援カンファ）木曜（外科カンファ）金曜（緩和カンファ）

6F　毎週水曜（退院支援カンファ）

7F　毎週火曜日（循環器カンファ）

HCU 毎日（早期離床、早期リハビリテーションカンファ）

(5)月別・理学療法実績

2023年度			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運動器															
入院	Ⅰ	単位	1,321	1,335	1,489	1,326	1,317	1,321	1,181	1,285	1,490	1,390	1,374	1,429	16,258
外来	Ⅰ	単位	1,259	1,365	1,381	1,483	1,501	1,398	1,639	1,575	1,540	1,305	1,344	1,377	17,167
単位数			2,580	2,700	2,870	2,809	2,818	2,719	2,820	2,860	3,030	2,695	2,718	2,806	33,425
呼吸器															
入院	Ⅰ	単位	257	143	292	232	318	286	295	274	230	257	212	213	3,009
外来	Ⅰ	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			257	143	292	232	318	286	295	274	230	257	212	213	3,009
脳血管															
入院	Ⅱ	単位	25	0	0	0	0	26	14	0	0	9	27	13	114
外来	Ⅱ	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			25	0	0	0	0	26	14	0	0	9	27	13	114
早期リハ															
件数			2,166	1,956	2,497	2,441	2,667	2,386	2,059	2,211	2,458	2,256	2,157	2,150	27,404
初期加算															
件数			1,441	1,378	1,789	1,743	1,767	1,537	1,481	1,523	1,657	1,483	1,523	1,453	18,775
摂食機能療法															
件数			0	0	0	0	0	103	158	162	110	150	161	85	929
外来リハビリテーション診療料															
1	件数		0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
2	件数		274	330	310	325	328	317	332	342	315	329	332	337	3,871
単位数			274	330	310	325	328	317	332	342	315	329	332	337	3,871
がんリハ															
入院	単位		156	92	106	128	172	76	149	92	104	188	124	95	1,482
外来	単位		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			156	92	106	128	172	76	149	92	104	188	124	95	1,482
廃用症候群リハ															
入院	Ⅱ	単位	451	532	682	647	868	798	708	582	546	605	525	571	7,515
外来	Ⅱ	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			451	532	682	647	868	798	708	582	546	605	525	571	7,515
心リハ															
入院	Ⅰ	単位	397	327	334	490	490	264	294	333	374	389	340	317	4,349
外来	Ⅰ	単位	123	133	147	128	124	122	149	106	63	106	108	110	1,419
単位数			520	460	481	618	614	386	443	439	437	495	448	427	5,768
早期離床・リハビリテーション加算（ハイケア）															
件数			19	35	43	71	107	115	102	82	102	135	103	80	994

リハビリテーション総合計画書　4,271件
退院時リハビリテーション指導　1,073件
精密知覚機能検査　313件
装具作成　687件

30. 地域医療連携室 （1）市町村別 登録医届出数

高槻市	225
茨木市	189
摂津市	18
その他の市町村	59
合計	491

（2024年3月末）

（2）登録医新規届出数

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新　規	2	1	4	2	1	2	0	0	0	3	1	0	16
閉　院	0	0	2	1	2	0	0	0	2	0	0	1	8
届出総数	485	486	488	489	488	490	490	490	488	491	492	491	

（3）紹介患者総数

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介患者総数	1,186	1,207	1,304	1,283	1,269	1,182	1,246	1,192	1,218	1,105	1,177	1,271	14,640
再掲）うち入院紹介患者数	342	353	380	414	387	325	343	364	359	305	293	349	4,214
再掲）うち外来紹介患者数	553	561	624	584	557	557	611	585	593	544	546	568	6,883
再掲）うち検査紹介患者数	413	404	449	414	389	417	444	377	406	352	436	462	4,963

注）紹介患者総数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注）ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

（4）登録医紹介患者数

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録医紹介患者総数	961	981	1,063	1,044	997	968	1,023	1,003	969	888	968	1,040	11,905
再掲）うち入院紹介患者数	291	285	308	347	320	263	274	313	283	249	234	275	3,442
再掲）うち外来紹介患者数	392	384	427	392	372	411	432	364	391	336	417	449	4,767
再掲）うち検査紹介患者数	379	390	438	401	348	381	432	432	398	375	390	391	4,755
入院紹介登録医実数	123	123	126	133	132	119	109	131	118	115	110	121	1,460
外来紹介登録医実数	123	136	138	124	120	133	141	132	129	129	130	132	1,567
検査紹介登録医実数	80	72	72	75	76	75	81	67	82	72	79	76	907

注）登録医紹介患者総数及び紹介登録医実数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注）ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

（5）登録医回診数

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回診延べ回数	9	1	5	6	5	4	2	6	10	2	4	6	60
被回診患者実数	8	1	5	6	3	3	2	6	10	2	4	6	56
回診登録医実数	3	1	5	3	2	3	2	4	5	1	3	5	37

（6）介護・福祉施設・その他医療機関からの紹介患者数

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護福祉施設その他医療機関からの紹介患者数	225	226	241	239	272	214	223	189	249	217	209	231	2,735
再掲）うち入院紹介患者数	51	68	72	67	67	62	69	51	76	56	59	74	772
再掲）うち外来紹介患者数	174	171	186	183	209	176	179	153	195	169	156	177	2,128
再掲）うち検査紹介患者数	21	20	22	22	17	6	12	13	15	16	19	13	196

注）紹介患者総数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注）ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

（7）逆紹介数

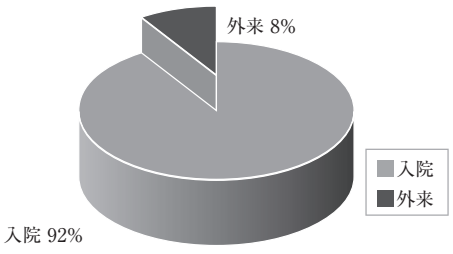
2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
逆紹介患者数	492	431	437	502	452	426	499	426	486	434	437	519	5,541

注）逆紹介患者数は、診療情報提供料に基づく件数であること。

（8）MSW業務実績

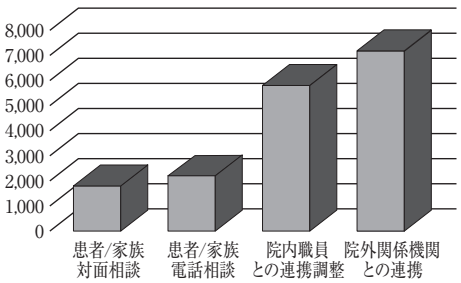
入外別・相談患者数

2023年度	実績	%
入　院	990	92%
外　来	90	8%
合　計	1,080	100%



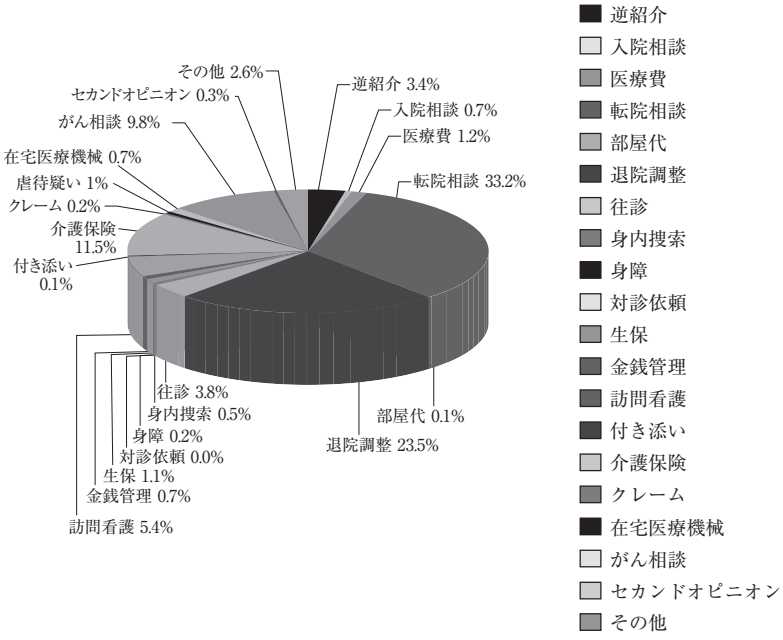
援助形態別・のべ相談件数

患者/家族 対面相談	2,205	12.3%
患者/家族 電話相談	2,616	14.6%
院内職員との連携調整	5,959	33.3%
院外関係機関との連携	7,107	39.7%
合　計	17,887	100.0%



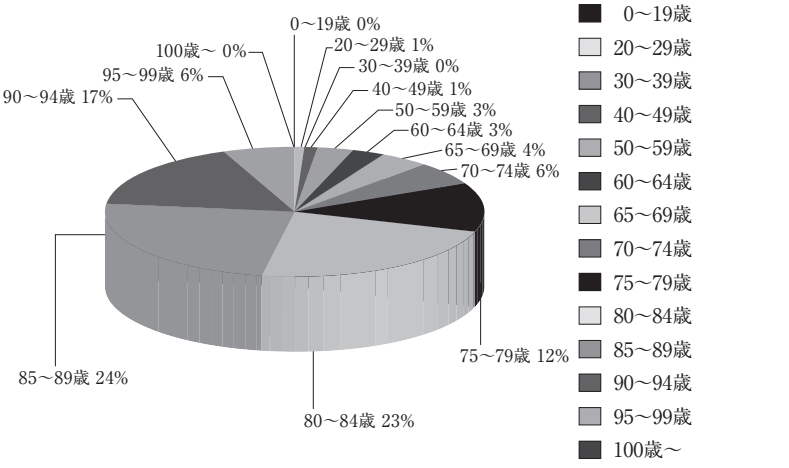
相談内容別・のべ相談件数

相談内容	件数	%
逆紹介	64	3.40%
入院相談	13	0.69%
医療費	23	1.22%
転院相談	624	33.19%
部屋代	1	0.05%
退院調整	442	23.51%
往診	72	3.83%
身内捜索	9	0.48%
身障	4	0.21%
対診依頼	0	0.00%
生保	20	1.06%
金銭管理	14	0.74%
訪問看護	102	5.43%
付き添い	2	0.11%
介護保険	216	11.49%
クレーム	3	0.16%
在宅医療機械	14	0.74%
虐待疑い	19	1.01%
がん相談	184	9.79%
セカンドオピニオン	6	0.32%
その他	48	2.55%
合　計	1,880	100.00%



年齢別・相談患者数

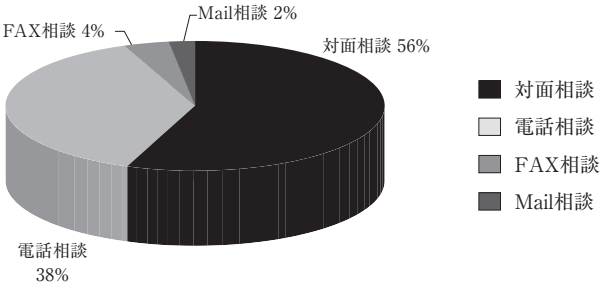
年齢別	患者件数	%
0～19歳	2	0.2%
20～29歳	5	0.5%
30～39歳	4	0.4%
40～49歳	15	1.4%
50～59歳	37	3.4%
60～64歳	28	2.6%
65～69歳	40	3.7%
70～74歳	64	5.9%
75～79歳	129	11.9%
80～84歳	246	22.8%
85～89歳	262	24.3%
90～94歳	178	16.5%
95～99歳	65	6.0%
100歳～	5	0.5%
合　計	1,080	100.0%



がん相談件数

がん相談患者数合計：184 人

相談方法	件数	%
対面相談	294	55%
電話相談	202	38%
FAX相談	23	4%
Mail相談	11	2%
合計	530	100%



(9)登録医向け情報誌「Link」発刊実績

Vol.272　2023.4-6
● 2023 年度新体制のご案内
病院長代理・医局長
整形外科 主任部長・手外科センター センター長　植田 直樹
内視鏡センター センター長　消化器内科医長　碕山 直邦
整形外科医長　池田 邦明
眼科医長　丸山 会里
消化器内科医長　坂口 奈々子
●「胃と腸」編集委員、関西早期大腸癌勉強会代表世話人の就任にあたって
病院長補佐・消化器内科主任部長　佐野村 誠
●新入職員（訪問看護ステーション）のご紹介

Vol.273　2023.6-7
●循環器内科部長　永松 航
「CoroFlow 検査 導入」
●第 26 回　登録医会議・懇親会開催のご案内

Vol.274　2023.11-12
●病院長補佐 兼 整形外科部長　整形外科　劉 長勘
「ナビゲーションシステムによる安全で正確な手術を目指して」
●第 26 回 登録医会議・懇親会　開催報告
●新入職医師のご紹介

Vol.275　2024.1
● 2024 年度 北摂総合病院行動指針
「岐路に立つ、途中困難最後必勝」
新年のご挨拶
理事長
病院長
病院長補佐 兼 看護部長
病院長補佐 兼 事務局長
地域医療連携室
訪問看護ステーション
ケアプランセンター

Vol.276　2024.3
●副院長 兼 救急診療科部長 兼 集中治療科部長 兼 循環器科 兼 災害対策室 室長
兼 救急体制管理室 室長　森井 功
「登録医との連携からはじまる地域に根ざした ER 診療」
●「“ スーパーエイド ” と呼ばれた時代から病院の顔となる時代へ」
民間認定救急救命士　藤井 紳伍
救急看護認定看護師　小西 ゆかり

(10)登録医会議・懇親会

＊令和5年9月25日（月）17時より、ホテルグランヴィア大阪20F（一部；鳳凰の間、二部；名庭の間）にて第26回登録医会議・懇親会を開催。

＊当日参加者は、登録医71名、職員61名の合計132名。

＊会議内容

2022年度実績報告

……病院長補佐 兼 事務局局長　坂部 博志

婦人科部長挨拶

……婦人科部長　田中 理恵

「当院での大腿骨近位部骨折の取り組み」

……病院長代理 兼 整形外科主任部長　植田 直樹

「アフターコロナこそ、病診連携がより重要になる」

……内視鏡センター長 兼 消化器内科医長　碕山 直邦

「CoroFlowによる新たな冠動脈疾患診療への取り組み」

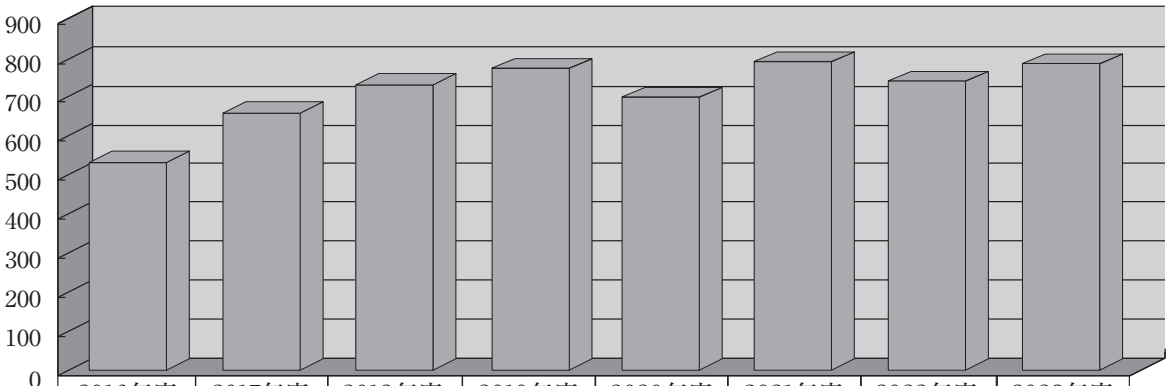
……副院長 兼 循環器科　森井　功

31. 健康事業室（1）ドック種別・月別 受検者数

月別	日帰り人間ドック		脳ドック		肺癌ドック		乳癌ドック	PET健診		企業健診		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	男性	女性	男性	女性	
4月	17	5	5	3	3	0	4			0	0	37
5月	16	6	2	4	0	1	3			5	1	38
6月	26	11	5	3	3	1	5			0	0	54
7月	34	7	2	6	2	1	3			0	8	63
8月	28	16	4	2	1	1	8			8	7	75
9月	34	14	6	3	3	1	7			0	0	68
10月	24	13	11	5	4	3	7			0	0	67
11月	28	19	9	5	0	0	9			0	0	70
12月	25	18	12	10	4	2	8			1	1	81
1月	22	23	6	6	2	3	15			2	0	79
2月	30	17	4	4	3	1	9			0	0	68
3月	38	21	6	1	1	1	12			0	0	80
小計	322	170	72	52	26	15	90			16	17	780
合計	492		124		41		90	0		33		

※脳ドック・肺癌ドック・乳癌ドック・PET健診は人間ドックとのセットも含む　※ドック経由の特定健診数は省く

ドック・企業健診受検者数（過去8年間の実績）



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受検者数	520	685	728	796	719	807	757	780

（2）人間ドック結果要精密検査数

総合判定要精密検査数	C		D		E		F		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
身体測定（身長・体重・BMI）	193	55	0	0	0	0	0	0	248
血圧	58	18	22	5	1	0	0	0	104
呼吸機能（肺機能検査・胸部X線）	83	44	26	14	0	0	0	0	167
聴力	15	5	69	12	0	0	0	0	101
循環器系検査（安静時心電図）	66	22	5	1	1	0	1	0	96
眼科（視力・眼底・眼圧）	23	21	50	20	1	0	40	15	170
腹部超音波検査	291	152	16	5	0	0	1	0	465
胃部検査（胃部X線・胃部内視鏡）	268	139	7	6	6	5	0	0	431
前立腺検査（PSA）	0		4		0		0		4
婦人科検査（子宮頚部細胞診・超音波）		3		4		0		0	7
大腸検査（便潜血）	0	0	20	6	0	0	0	0	26
血液検査	229	134	141	53	0	0	0	0	557
尿検査	54	61	14	12	0	0	6	0	147

判定基準　C：経過観察　日常生活に注意を要し、経過の観察が必要。医師の指導を。　E：要治療
D：再検・精検　異常を認め、再検査・精密検査が必要。必ず受診を。　F：治療中

(3)ドック種別 個人負担別受検者数

	日帰り人間ドック	脳ドック	肺癌ドック	乳癌ドック	PET検診	企業健診
全額自己負担	150	74	24	21		0
一部自己負担	240	40	10	53		0
自己負担なし	102	10	7	16		33
合　計	492	124	41	90		33

32. 栄養科

①月別食種別件数及び入外別栄養指導実績

月	食数（加算+非加算）	非加算	加算	栄養指導			
				入院	外来	集団実施	計
4	12,682	7,691	4,991	282	27	0	309
5	11,339	6,321	5,018	288	17	0	305
6	12,690	7,459	5,231	254	21	0	275
7	13,126	7,798	5,328	326	16	0	342
8	15,148	9,448	5,700	254	14	0	268
9	14,472	9,053	5,419	249	27	0	276
10	13,055	8,158	4,897	261	20	0	281
11	12,856	7,609	5,247	265	19	0	284
12	13,317	7,380	5,937	280	18	0	298
1	13,745	7,887	5,858	284	12	0	296
2	12,269	7,409	4,860	262	11	0	273
3	13,660	8,571	5,089	286	12	0	298
合計	158,359	94,784	63,575	3,291	214	0	3,505

②栄養士介入件数

月	件数
4	99
5	89
6	105
7	94
8	99
9	109
10	84
11	91
12	119
1	98
2	101
3	97
合計	1,185

③NST加算件数

月	件数
4	40
5	9
6	48
7	15
8	9
9	29
10	12
11	8
12	16
1	0
2	14
3	7
合計	207

④栄養サマリー作成数

月	件数
4	62
5	53
6	61
7	45
8	63
9	69
10	64
11	53
12	84
1	47
2	56
3	56
合計	713

⑤栄養情報提供加算数

月	件数
4	39
5	35
6	19
7	33
8	19
9	25
10	18
11	27
12	36
1	24
2	19
3	28
合計	322

⑥早期栄養介入加算件数

月	件数
4	6
5	12
6	4
7	4
8	8
9	4
10	13
11	5
12	3
1	3
2	4
3	8
合計	74

33. 医療秘書係

診断書・証明書等代行記載実績

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発生数	348	344	422	413	428	367	389	375	384	373	394	422	4,659
代行数	348	344	422	413	428	367	389	375	384	373	393	421	4,657
代行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%	99.8%	99.96%

退院時サマリー代行記載実績

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発生数	444	437	476	484	492	458	486	446	503	396	427	494	5,543
代行数	397	392	430	458	460	426	454	418	465	354	393	440	5,087
代行率	89.4%	89.7%	90.3%	94.6%	93.5%	93.0%	93.4%	93.7%	92.4%	89.4%	92.0%	89.1%	91.7%

ORION救急情報登録実績（総件数:3,560件）

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急搬入数	263	306	318	377	383	284	260	267	305	273	237	287	3,560

消化管病理診断 所見確認漏れ支援

画像診断　緊急確認所見報告実績（2023年4月から2024年3月）

全所見数	緊急所見数	緊急所見率
16,181	316	1.95%

消化管病理診断　positive/suspicious 所見報告実績

全所見数	pos. or sus.数	悪性所見率
1,549	286	18.5%

NCD登録実績（2023年1月~2023年12月）

（心臓血管外科手術2023年1月~12月）

対　象	登録数
外科手術	444
呼吸器外科手術	30
泌尿器科手術	98
J-PCI症例	87
J-EVT/SHD症例	26
心臓血管外科手術(PMI)	17
心臓血管外科手術(下肢静脈)	66
合　計	768

院内がん登録実績

（2023年診断症例）
登録件数
集計未

胃がん登録実績

（2023年診断症例）
登録件数
集計未

34. 訪問看護ステーション

(1)利用状況

2023年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実訪問者数	132	133	128	135	133	121	118	123	122	120	122	121	1,508
訪問件数	486	502	516	540	535	487	464	505	527	463	478	478	5,981
介護保険利用者数	111	115	109	111	105	102	100	103	102	103	100	103	1,264
介護訪問回数	401	416	419	406	401	359	361	370	393	370	348	374	4,618
医療保険利用者数	21	18	19	24	28	19	18	20	20	17	22	18	244
医療訪問回数	85	86	97	134	134	128	103	135	134	93	130	104	1,363
新規件数	11	7	6	10	8	7	7	8	10	9	6	14	103
終了件数	2	6	11	8	15	10	6	7	11	7	17	10	110
入院等中断者	5	10	8	6	10	9	5	10	11	12	5	10	101
在宅死	0	1	2	1	3	4	1	2	4	3	7	3	31
病院死(末期以外も含む)	0	0	3	1	5	5	1	2	1	2	2	0	22
死後の処置件数	0	1	2	0	3	3	1	2	3	3	2	2	22

(2)実習受け入れ状況

学校名	実習期間
梅花女子大学看護学部	2023年 4月18日 ～ 27日　2名
	2023年 5月 9日 ～ 18日　2名
	2023年 6月 6日 ～ 15日　2名
	2023年 6月20日 ～ 29日　2名
大手前国際看護学部 (在宅看護学実習)	2023年 7月 3日 ～ 7日　2名
	2023年 7月18日 ～ 21日　2名
高槻市医師会看護専門学校	2023年 9月25日 ～ 26日　3名
	2023年 9月28日 ～ 29日　2名
	2023年10月 2日 ～ 3日　3名
	2023年10月 5日 ～ 6日　2名
大阪医科薬科大学看護学部 (在宅看護学実習)	2023年 9月20日 ～ 9月29日　2名
	2023年10月30日 ～ 11月10日　2名
	2023年12月12日 ～ 12月22日　2名
	2024年 1月30日 ～ 2月 9日　2名

(3)地域活動

○大阪府訪問看護ステーション協会三島ブロック副ブロック長　上戸

○健康教室　2023年　4月25日　寿栄川添コミュニティーセンター「骨粗しょう症について」 上戸
2023年　5月10日　西河原公民館「便秘について」 原
2023年　9月17日　津之江公民館「熱中症について」 上戸
2023年10月11日　西太田自治会館「骨粗しょう症について」 上戸
2023年10月15日　桜ヶ丘公民館「骨粗しょう症について」 上戸
2023年11月14日　寿栄川添コミュニティーセンター「便秘について」 冨山
2023年12月19日　寿栄川添コミュニティーセンター「尿漏れについて」 矢作
2024年　3月　1日　昭和台自治会館「尿漏れについて」 上戸

35. ケアプランセンター（1）居宅介護支援・委託業務実績

	2023年									2024年			計（延）
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ケアプラン作成数	264	262	272	272	272	273	264	271	259	250	262	259	3,180
新規介護相談件数	36	34	31	27	40	30	20	36	35	34	32	30	385
内訳：院内（病棟など）	29	26	28	23	33	21	18	28	29	25	28	26	314
地域包括支援センター	2	2	1	0	0	1	0	0	0	2	1	2	11
直接相談（本人・家族）	5	6	0	4	7	7	0	4	6	7	3	2	51
登録医・他医療機関・施設	0	0	2	0	0	1	2	4	0	0	0	0	9
お断り（外部）	2	3	1	1	2	4	0	0	3	4	1	2	23

（2）地域活動マネジメント（地域住民対象）

出前健康教室・認知症カフェ開催

対象エリア―高槻市（柳川・寿栄川添・富田・津之江・芝生地区）

茨木市（三島・西河原・白川・庄栄・茨木東地区）

＊実績詳細については総務ページ参照

健康だより配布―配布枚数―600 枚 / 月

（3）地域役員・地域ケア会議参加実績

○高槻市介護保険事業者協議会　理事（坂本）　居宅介護支援部会　部会長（坂本）

○認知症サポーター養成講座講師（吉田・樋尻）

○茨木市高齢者サービス事業所連絡会　相談支援部会　副部会長（坂本）

○三島圏域リハビリテーション連絡会　ケアマネジャー連絡会　会長（坂本）

○高槻・島本嚥下栄養研究会　世話人（坂本）

○富田・富田南・三箇牧地域包括支援センター　地域ケア会議参加（全員）

（4）実習受入実績

○実習受入人数―2 人

○担当科目「アセスメント」「プランニング」「サービス担当者会議」「モニタリング」「給付管理」

36. 各種委員会活動 (1)医療安全対策室／医療安全管理委員会

室　長 兼 医療安全管理委員会委員長　:竹内 徹（医療安全管理担当診療部部長）
副室長 兼 医療安全管理委員会委員　:松江 さつき（専従医療安全担当看護師看護師長）
:濱畑 耕造（放射線科係長）
医薬品安全管理責任者　:岩村 恭子（薬剤科係長）
医療機器安全管理責任者　:西村 岳洋（臨床工学科科長）
リスクマネジャー　:各所属に配置

1. 定例会議、及び委員会

医療安全管理委員会、及び医療安全対策室会議を毎月 1 回開催した。

2. 医療安全対策室の活動内容

院内各所から提出される「インシデント、アクシデントレポート」の原因分析、及び再発防止に関する検討を行い、防止策を立案し、医療安全管理委員会へ報告、提案。
発生事例に応じて各関係職員と事例の検討会を実施
事故内容に対して、安全対策実施内容の決定と実施状況の評価
死亡事例報告書のチェック実施
診断報告書確認の実施
M & M カンファレンス実施
院内採用医療器具に対する安全管理面の評価
随時各部署のカンファレンスに参加
安全対策に関する周知の必要に応じて、経営幹部会や診療部医長会、医局会での伝達
全職員に対する安全管理必修研修会の実施（年 2 回）

3. 医療安全管理委員会の活動内容

医療安全対策会議より報告、提案された医療安全管理対策の評価、承認及び実行
状況に応じた事例検討会の開催

4. 医療安全対策地域連携ラウンドの実施

1-1 連携合同カンファレンス実施
2024 年 1 月・2 月　社会医療法人　愛仁会　高槻病院と相互評価を実施
1-2 連携合同カンファレンス実施
2023 年 11 月　社会医療法人　美杉会　佐藤病院、男山病院の評価を実施
2024 年 3 月　医療法人　庸愛会　富田町病院の評価を実施

5. 具体的決定事項

5 月　・医療安全対策 NEWS「薬剤の取り違い事故発生の注意喚起」、『薬剤の確認 3 回を徹底する！（手にした時、吸い上げ時、捨てる時)』
6 月　・医療安全対策 NEWS「ミダゾラムの組成統一」、処置時のミダゾラムの組成を統一。

9月　・「世界患者安全の日イベント実施」
三島医療圏医療安全ネットワークと共催し、取り組みを実施。ポスター掲示やポケットティッシュの配布、職員のテーマカラーのオレンジ色マスクの着用

11月　・医療安全対策NEWS「医療安全推進週間」、『患者誤認防止に取り組みます』

1月　・医療安全対策NEWS「外来患者の転倒急増」、外来のポスター掲示、外来患者一覧画面のメモ機能を活用し、医事課とともに転倒リスクのある患者の共有。

6. 院内安全管理研修会

①各部門、各職種対象

“新採用者オリエンテーション　医療安全管理について”（新入職員・中途採用対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2023年4月

“看護新入職オリエンテーション　医療安全について”
【医療安全概論】【薬剤管理】【弾性ストッキング装着管理】（看護部新採用者対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2023年4月

“看護補助研修　ノンテクニカルスキルについて”（看護補助対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2023年9月

“新採用者フォローアップ研修　ノンテクニカルスキルについて”（新入職員対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）2023年10月

“臨床研修医医療安全研修”（臨床研修医対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）2023年10月

“看護部ラダー研修”（看護部看護ラダー取得者対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2023年10・11・12月

“中途採用者オリエンテーション　医療安全について”（全職種中途採用対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2023年12月

②全職員対象

○医療従事者必修研修　年2回

・「医療安全情報（報告書管理体制加算、処置時の鎮静・鎮痛、世界患者安全の日）」
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2023年7月・e-ラーニング

・「発生した院内事例から対策を学ぶ」
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2024年2月・e-ラーニング

③ Web 配信視聴研修

・医療安全研修会 「世界患者安全の日」

（三島医療圏医療安全ネットワーク共催）

2023 年 9 月　ZOOM　ウェビナー形式

7. 学会・講演会等参加、他院外医療安全活動実績

◎第 33 回　VHJ 職員交流研修会　分科会「医療安全～安全文化構築の取り組み～」

2023 年 11 月 18 日

竹内 徹　医療安全対策室室長

◎全日本病院協会　第 1 回　医療安全管理体制相互評価者養成講習会

2023 年 8 月 6 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎日本医療安全調査機構　第 4 回　医療事故調査・支援センター主催研修

2023 年 11 月 11 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎医療の質・安全学会　第 17 回　医療の質・安全学会学術集会

2023 年 11 月 25.26 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

岩村 恭子　医薬品安全管理責任者

◎全日本病院協会　医療安全対策講習会

2023 年 12 月 14 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎大阪府医師会　医療安全推進指導者講習会

2023 年 12 月 2 日、2024 年 1 月 20 日、2 月 3 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎大阪府看護協会　医療安全管理者フォローアップ研修

2024 年 3 月 15 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎大阪府医師会　医療安全推進指導者講習会

2024 年 1 月 20 日

濱畑 耕造　医療安全対策室副室長

◎大阪府医師会　医療安全推進指導者講習会

2024 年 12 月 2 日

岩村 恭子　医薬品安全管理責任者

◎大阪府医師会　医療安全推進指導者講習会

2023 年 11 月 11 日

釜我 永治　臨床工学技士

◎医療機器安全基礎講習会

2023 年 9 月 28 日

河野 靖史　臨床工学技士

◎府北支部医療安全交流会　ZOOM 開催

2023 年 6 月 14 日、9 月 13 日、12 月 13 日、2024 年 3 月 13 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎三島圏域医療安全ネットワーク会議　ZOOM 開催

2023 年 5 月 17 日、6 月 30 日、7 月 21 日、8 月 29 日、10 月 18 日、12 月 20 日

竹内 徹　医療安全対策室室長

松江 さつき　医療安全対策室副室長

8. 医療事故統計（2023 年度）

2023 年 4 月～ 2024 年 3 月報告件数

インシデント：1,111 件　アクシデント：13 件　合併症報告：13 件　　計：1,137 件

	投薬 点滴	転倒 転落	治療 関係	ライン トラブル	検査 関係	手術 関係	医療 機器	事務 関係	その他	合併症 報告	合 計
インシデント	330	260	36	141	67	27	47	9	194	0	1,111
アクシデント	0	9	2	0	0	0	0	0	2	0	13
合併症報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
合 計	330	269	38	141	67	27	47	9	196	13	1,137

(2)クリニカルパス委員会

1998年にクリニカルパス委員会を立ち上げ、25年が経過した。2023年度は、患者用パスの見直しを行うと共に、新規パスの作成・修正の効率化をはかった。第37回クリニカルパス大会を開催し、「FLS（骨折リエゾンサービス）について」「FLSパスについて」や「CVポートパスについて」発表した。今後も新規パス作成、現行のパス改訂のスピードアップを図りながら、新たに院内の様々な職種による、エビデンスや最新の知識を取り入れた多職種連携パスの作成を目指していきたい。

委 員 長　福井 浩一（整形外科 リハビリテーション部長）
副委員長　山中 清香（現 消化器センター病棟 看護係長）
事 務 局　黒岩 正司（医療情報課 課長）
　　井貫 由美子（地域医療連携室 主任）
メンバー　各部署に配置

＊定例委員会

毎月第3火曜日　14：30 ～ 15：30

＊グループ活動内容

- バリアンス分析：　バリアンス発生事例を集計し、内容を分析。必要に応じパス見直しを検討。
- 監査：　マニュアルに沿って入力、運用できているかを定期的にチェックし、報告を行う。
- マニュアル改訂：　パスに関する院内マニュアルを定期的に見直し、適宜改訂。
- パス大会・パス学会推進：院内パス大会や日本クリニカルパス学術集会への演題発表の推進・支援を行う。
- 委員教育：　パス委員会内部でパスへの知識や理解を深め、院内への普及やチーム医療の推進を図る。
- 教育ツール作成：　委員教育、委員の知識向上に有効なツールの開発、運用
- 現行パス見直し：　現行パス等の見直し、改訂を行う。

＊クリニカルパス大会

◆第37回 クリニカルパス大会

2024年3月13日（水）17：00 ～ 18：00　3階多目的ホール

● FLSについて（看護部 外来フロア　山下 雄大）
● FLSパスについて（看護部 整形小児フロア　門 千尋）
● CVポートパスについて（看護部（現）消化器センター病棟 看護係長　山中 清香）

表1. 電子パスシステム　適用パス一覧（2023）

診療科名	クリニカルパス名称	集計
【一般・消化器外科】	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	1
	OV ソケイヘルニア根治術パス（2 泊 3 日）	82
	OV ソケイヘルニア根治術パス（3 泊 4 日）	2
	OV 大腿骨近位部骨折　骨接合パス	1
	OV 虫垂炎パス	53
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	82
	大腸切除 ERAS パス	81
	肛門疾患パス	8
一般・消化器外科　集計		310
【眼科】	OV白内障1泊2日パス	126
	OV 白内障日帰り（短期滞在手術）パス	101
眼科　集計		227
【呼吸器外科】	BFS 6 階	3
	気胸パス	9
	肺切除術パス	16
呼吸器外科　集計		28
【呼吸器内科】	BFS 6 階	30
	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	1
	OV PSG(睡眠時無呼吸検査)パス	15
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	10
	肺切除術パス	1
呼吸器内科　集計		57
【循環器内科】	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	1
	OV ソケイヘルニア根治術パス（2 泊 3 日）	1
	OV 下肢血管形成術パス	14
	OV 心臓カテーテル（CAG 上肢）パス	35
	OV 心臓カテーテル（PCI 上肢）パス	32
	OV 心臓カテーテル（緊急 PCI 上肢）パス	3
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	1
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス	1
	アブレーションパス	20
	ジェネレーター交換術パス（当日入院）	10
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	94
循環器内科　集計		212
【小児科】	OV 小児腸管感染症（体重 20kg）パス	3
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 05kg 水薬）パス	1
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 08kg 水薬）パス	7

診療科名	クリニカルパス名称	集計
【小児科】	OV 小児肺炎気管支炎（体重 10kg 水薬）パス	7
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 15kg 散剤）パス	2
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 15kg 水薬）パス	9
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 20kg 散剤）パス	6
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 20kg 水薬）パス	1
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 30k 錠剤）パス	1
小児科　集計		37
【消化器内科】	BFS 6 階	1
	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	14
	OV ポリペクパス（成人用・1 泊 2 日）	220
	OV ポリペクパス（成人用・2 泊 3 日）	5
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	1
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス（FLS）	1
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	2
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	91
消化器内科　集計		335
【心臓血管外科】	下肢静脈瘤血管内焼灼術パス	8
	下肢静脈瘤血管内焼灼術パス（当日入院）	31
	下肢静脈瘤手術パス（日帰り）	14
	両下肢静脈瘤	1
心臓血管外科　集計		54
【整形外科】	（当日OP）整形下肢手術パス	42
	（当日 OP）整形上肢・肩甲帯パス	110
	（当日 OP）整形上肢・肩甲帯パス（1 泊 2 日）	24
	（当日 OP）整形上肢・肩甲帯パス（2 泊 3 日）	4
	OV BHA・THA パス	10
	OV（当日 OP）整形手根管パス	35
	OV（当日 OP・小児用）整形上肢・肩甲帯パス	22
	OV（当日小児）整形下肢パス	2
	OV 下肢血管形成術パス	1
	OV 小児・整形下肢パス	4
	OV 小児・整形上肢・肩甲帯パス	23
	OV 整形下肢手術パス	178
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	318
	OV 整形上肢・肩甲帯パス（3 泊 4 日）	6
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス	66
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス（FLS）	34
	OV 大腿骨頚部骨折 BHA・THA パス	55

診療科名	クリニカルパス名称	集計
【整形外科】	OV 大腿骨頚部骨折 BHA・THA パス（FLS）	22
	胸腰椎移行部固定術パス	7
	胸椎固定術パス	1
	腰椎固定術パス	40
	腰部脊柱管狭窄症手術（固定なし）パス	26
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	6
	人工膝関節置換術パス	57
整形外科　集計		1,093
【総合内科】	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	15
総合内科　集計		15
【糖尿病・内分泌内科】	OV 整形下肢手術パス	1
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	4
糖尿病･内分泌内科　集計		5
【泌尿器科】	（訂正版）TUR-Bt パス	72
	OV 整形下肢手術パス	1
	TUR-P パス	1
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	2
泌尿器科　集計		76
【婦人科】	TLH LAVH LM パス（5 泊 6 日）	22
	システクパス	21
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	2
	卵巣、卵管、子宮婦人科 OP（開腹）	5
	腟式手術パス（2 泊 3 日）	10
	腟式手術パス（2 泊 3 日）脊椎麻酔	21
	腟式手術パス（2 泊 3 日）全身麻酔	4
婦人科　集計		85
総　計		2,433

(3)院内学会運営委員会

第15回目の「北摂総合病院　院内学会」は、2024年1月28日（日）に毎日新聞オーバルホールにて開催された。今回は4年ぶりに院外での開催となった。参加職員数248名、発表数24演題となり、各部署から医療の質の向上を目指して1年間取り組んできた改善活動や研究成果の発表が全職員を挙げて行われた。開催は参加者による積極的な質疑応答がなされた。また、今後の院内学会発展のため後日に院内学会アンケートを実施した（アンケート回答数：280名）。

1. 委員会メンバー

○運営委員メンバー

委員長　　植田 直樹

事務局　　早川 小織、大森 尚樹、上松 健司、黒岩 正司、大西 悠里、宇治 秀孝

2. 定例会

運営委員会　第1月曜日　16：00から17：00

3. 第15回　北摂総合病院　院内学会

最優秀賞：放射線科

優秀賞　：循環器センター病棟

入賞①　：臨床検査科

入賞②　：HICT

入賞③　：ICU・救急フロア

発表順番・テーマ一覧表

発表順	部署名	テーマ
1	レディースフロア	新型コロナウイルス感染症対応病棟におけるせん妄対策の遷延
2	栄養調理科	患者満足度･職員満足度のさらなる向上を目標に、 栄養調理科で現在取り組んでいる業務改善策等の報告と分析
3	看護部救急推進担当	救急救命士実習生へ実習指導ファイルを作成し活用したことによる効果
4	中央材料室	意外と知られていない中央材料室業務 『滅菌』をより深く知ってもらい、正しく滅菌物を取り扱う事で安全な 医療提供に繋げる
5	放射線科	STAT画像報告 体制作り
6	栄養科	令和2年度実施した栄養の地域包括ケアに関するアンケート後の地域施設の変遷
7	消化器センター	ストーマケアパンフレットを作成し、早期手技獲得と指導内容の統一を計る
8	循環器センター	BPSDを有する認知症の高齢者に対するサーカディアンリズムに着目した取り組み ～BPSDの改善を目指して～
9	がん診療推進室	当院の終末期がん患者における鎮静の現状と課題
10	病理診断科	当院における2021年以降に腹腔鏡下胆嚢摘出術が施行された 連続200例の病理組織学的解析
11	呼吸器センター	病棟スタッフの統一した看護介入の実践を目指して ～栄養経路の選択に関するマニュアル作成～

12	臨床検査科	パニック値の報告体制の強化について
13	地域医療連携室	医療ソーシャルワーカーとしての支援展開 ～ホームレスの自立支援の事例から考える～
14	臨床工学科	内視鏡センターにおけるME業務　内視鏡洗浄消毒装置の教育動画作成
15	外来フロア	骨折リエゾンサービスによる患者と医療従事者への教育と情報提供
16	HICT	新型コロナウイルス感染症_約4年で得たものと今後の展望
17	整形･小児フロア	在院日数の短縮への取り組み ～管理者とスタッフとの退院支援に対する意識統一を目指して～
18	中央手術センター	術後訪問の定着化について
19	ケアプランセンター	「食べることは生きること～食べたい物食べれていますか～」
20	ICU･救急フロア	ICU･救急フロアにおける災害時の初期対応の知識や技術の習得に対する取り組み
21	病院サービス課 医療秘書係	書類作成日数短縮に向けての取り組み
22	訪問看護ステーション	在宅看護における訪問看護師と医師の連携についての課題
23	リハビリテーション科	入院患者様の食事に対する作業療法アプローチについて
24	経理課	アナログ経理からデジタル経理へ　～経理DXへの課題と今後展望～

（4）感染防止対策室・院内感染対策委員会

・感染防止対策室（ICT/AST 兼）

室長　貴島 源一（医師 ICD）
副室長　馬場 恵美（専従看護師）
室員　大貫 さほ（臨床検査技師）
大坂 佳史（薬剤師）
森 あずみ（看護師）

・ICT メンバー

越智 薫（医師）
笹井 文子（看護師）
松永 博子（看護補助）

・ICM メンバー

各部署に 1 名配置

当院は、1994 年に院内感染対策委員会、2011 年に ICT（Infection Control Team）、2014 年度に ICM（Infection control Manager）委員会、2018 年度に抗菌薬適正使用支援を目的とした AST（Antimicrobial Stewardship Team）を組織し、院内感染対策推進のために組織的に取り組んでいる。

2023 年度は、2020 年から関与してきた新型コロナウイルス（COVID-19）感染症が一般疾病となり、院内では、平時の感染対策を中心とした院内巡回や直接観察、外来や地域を含めた感染対策および抗菌薬適正使用への活動を行うことを目標として活動した。

2023 年の主な活動内容

1. 院内感染対策委員会（毎月 1 回：計 12 回実施）
   毎月：耐性菌発生状況、COVID-19 発生状況と対策、病院の方針等について周知・決定
2. 院内感染発生時のコンサルテーション・指導
3. 院内感染防止マニュアルの適宜改訂、実施内容の指導・監督
4. 抗菌薬適正使用ガイドライン改訂
5. 各種サーベイランスの実施
   手術部位感染（SSI：JANIS）、中心ライン関連血流感染（CLABSI）、薬剤耐性菌
   手指消毒回数、個人防護具使用量、インフルエンザ・感染性胃腸炎（流行期）
   針刺し損傷・皮膚粘膜曝露、抗菌薬使用量、血液培養 2 セット率
   2022.3 ～カテーテル関連尿路感染ターゲットサーベイランス開始
   J-SIPHE への参加（ほぼすべての項目に参加）
6. 耐性菌情報の発行（週報作成、毎週グループウェア更新）とアンチバイオグラム作成
7. 各種ラウンドおよび巡回
   AST ラウンド計 54 回（毎週火曜：抗菌薬適正使用・耐性菌・無菌材料からの培養陽性例など）
   ICT 環境ラウンド（毎週火曜 ICT 院内巡回および直接観察）
   ICM ラウンド（毎月 1 回各部署：手指衛生手順と 5 つのタイミング唱和、PPE の着脱手順）
8. 薬事審議会での抗菌薬新規採用・削除
   新規採用薬：スルバシリン静注用 0.75g
   削除薬：フィニバックス点滴静注用 0.5g、セフトリアキソンナトリウム静注用 0.5g、ホスホマイシン Na 静注用 2g
   院外専用へ変更：イトラコナゾール 50mg、アベロックス 400mg
9. 患者・家族・地域住民および医療従事者等の感染対策指導、対応
10. 病院職員への教育（e- ラーニング含む）

ICT/AST 必修研修

7/15- 8/18「流行している感染症と対策、抗菌薬適正使用」(530/561 名受講　受講率 94.5%)

1/22- 2/21「医療従事者に必要なワクチンと抗菌薬適正使用」(518/570 名受講　受講率 90.9%)

11. ICT ★ NEWS の発行（5 回）

Vol.43「ゴミの捨て方、間違ってませんか？」

Vol.44「流行している感染症」

Vol.45「手指消毒剤追加しました！！」

Vol.46「高槻市の結核 2023」

Vol.47「The・個人防護具（PPE)」

12. 感染防止対策加算に係る連携病院とのカンファレンスの主催

1-1 連携相互ラウンド：大阪医科薬科大学病院（2023/10/12 受入、2024/2/8 訪問）

1-2.3 連携カンファレンス：三島南病院・富田町病院（6/29,9/5,12/20,3/26 計 4 回実施）

外来連携カンファレンス：26 施設（6/29,12/20）

新興感染症に対する訓練の実施（2023/12/20）

北摂四医師会感染対策ネットワーク看護部世話人会出席（2022/3/27）

13. 学会・研究会・講習会参加

全日本病院協会主催　2023 年度第 1 回看護師特定行為研修指導者講習会　修了（馬場恵美）

14. 新型コロナウイルス感染症対策

2023/ 4/ 1　地域外来検査センター（オープン検査）終了

4/10　発熱外来 1 室体制へ縮小

5/10　入院患者用食器を通常体制へ戻す

職員の療養期間を発症 5 日かつ症状改善 24 時間へ短縮、LAMP 法検査終了

6/ 6　職員の COVID-19 ワクチン接種⑥

COVID-19 対策本部会議を月 1 回に削減

6/27　CO2 濃度測定器導入（院内保育所 1.2F、図書室、多目的ホール）

COVID-19 陽性患者の一般病棟転出を発症 10 日目から 8 日目に短縮

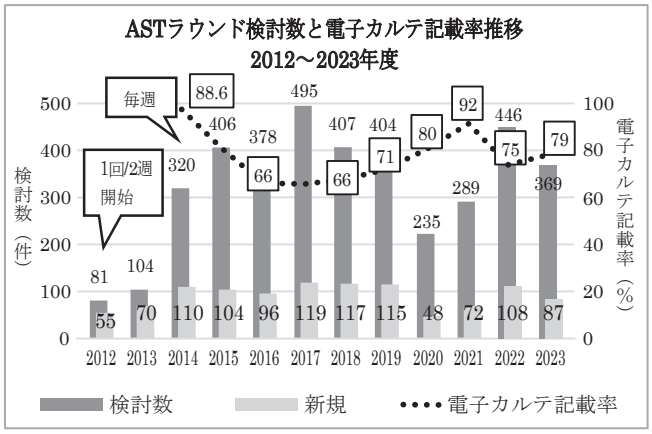
COVID-19 陽性患者対応時の PPE 緩和

11/24　職員の COVID-19 ワクチン接種⑦

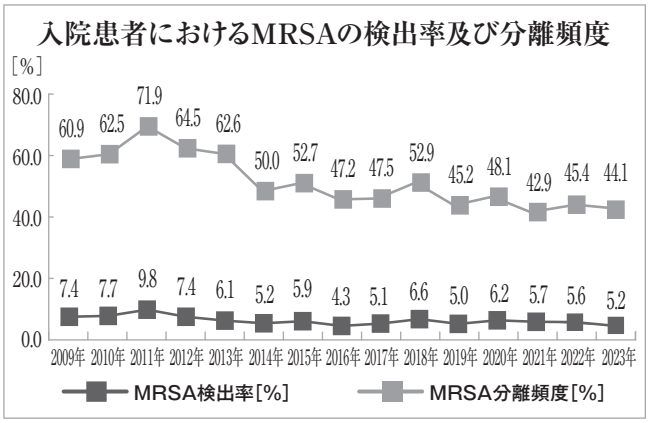
12/ 1　発熱外来の新たな運用（事前検査、陰性は総合内科、陽性は発熱外来）

2024/ 3/27　プレハブ①撤去

1.AST ラウンド実績（ICT 巡回同日開催）

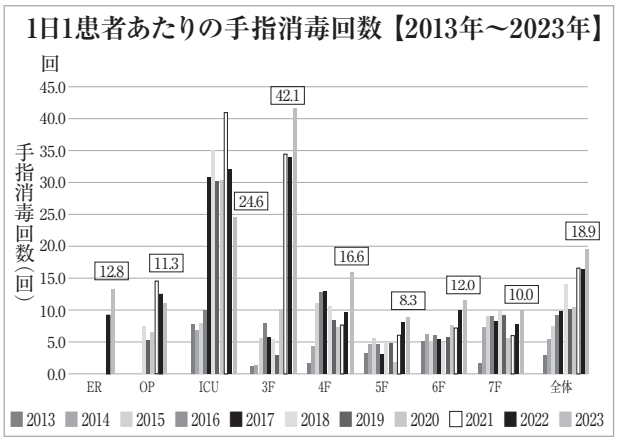


2. 入院感患者における MRSA 検出率及び分離頻度



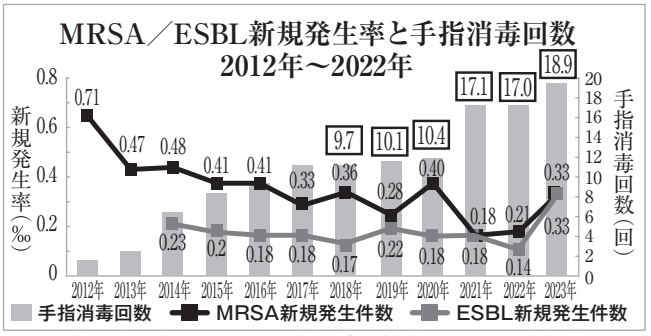
MRSA 検出率[%] =MRSA 検出患者数 / 検体提出患者数
MRSA 分離頻度[%] =MRSA 検出患者数 / S.aureus 検出患者数

3.1 日 1 患者当たりの手指消毒回数推移



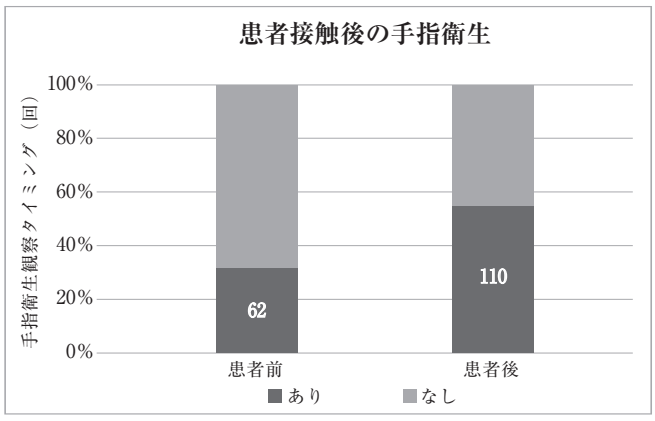
【2023 年度目標】ER=14 回　ICU・3F=25 回　OP = 12 回
4 ～ 7F = 10 回　全体平均= 14 回

4. 入院患者における MRSA/ESBL 産生菌新規発生率と手指消毒回数の比較



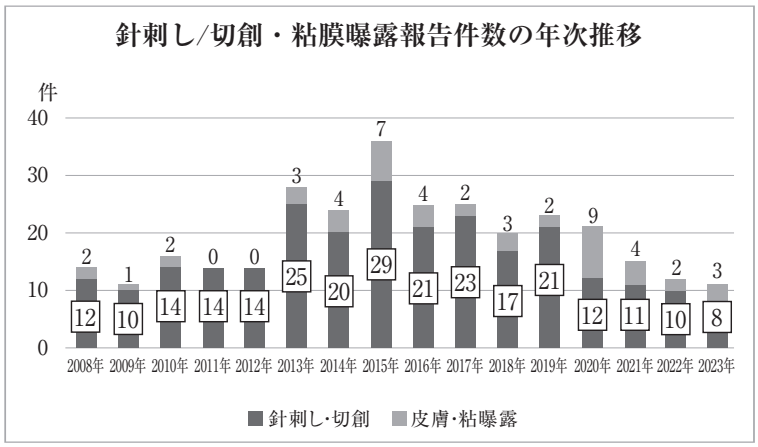
MRSA新規発生率[‰]=(MRSA新規検出件数/のべ入院患者数)/1000

5. 患者接触前後の手指衛生実施率



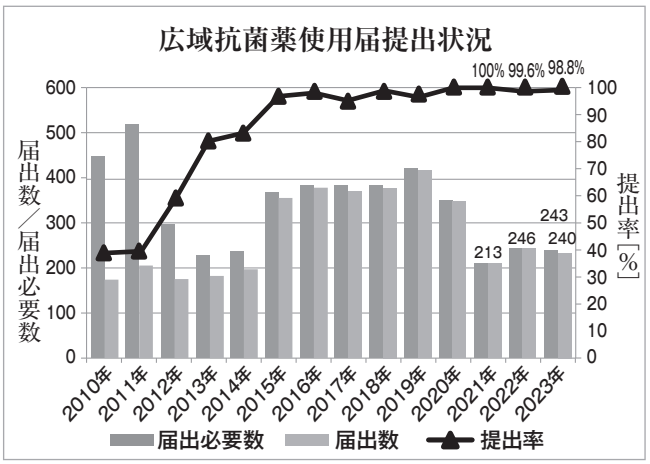
【1 ～ 5. 評価】AST ラウンド件数は増加しており、コロナ禍前に近づきつつある。手指消毒回数の増加もあり、黄色ブドウ球菌における MRSA 分離頻度も減少傾向であったが、新規発生率は MRSA も ESBL 産生菌も増加に転じた。手指衛生実施率は患者前が低く、患者接触後でも 6 割以下であった。次年度は、観察タイミングを増やし、患者接触前後の手指衛生実施率を向上させ、環境整備の徹底と継続を目標として活動する。

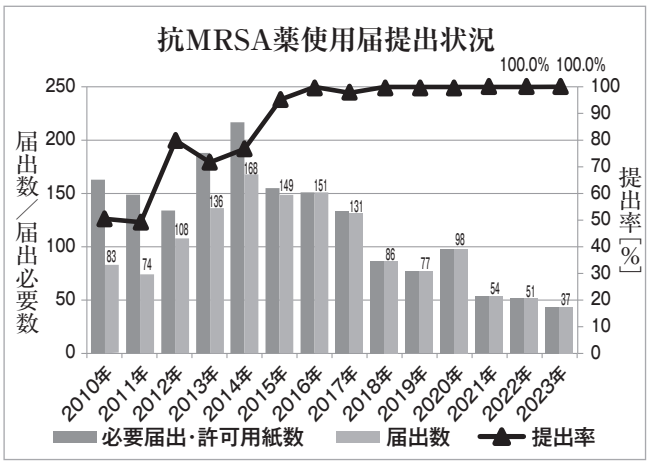
6. 針刺し損傷・皮膚粘膜曝露件数推移



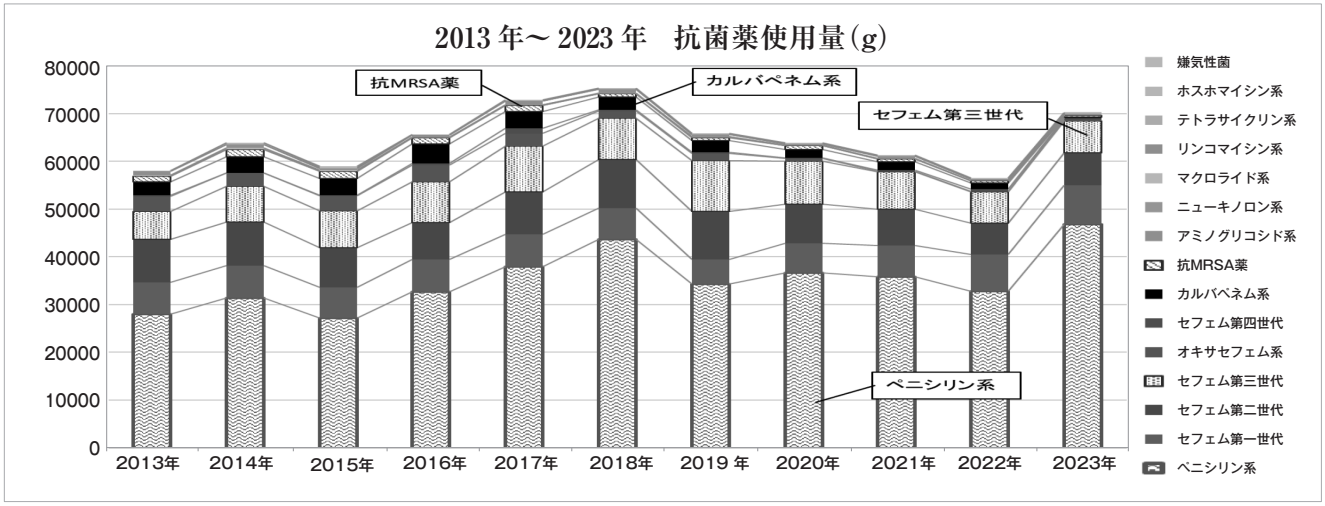
【6. 評価】コロナ禍でアイシールドを装着する機会が増え、粘膜曝露事例は激減し継続している。針刺し切創に関しても減少傾向であるが、患者の予期せぬ体動時の看護師や、手術閉創時の医師の曝露が目立っていた。また、集計には含めていないが院外歯科などの当院以外の医療従事者の切創・血液曝露事例対応も増えてきている。

7－1. 広域抗菌薬・抗 MRSA 薬使用許可申請届提出状況



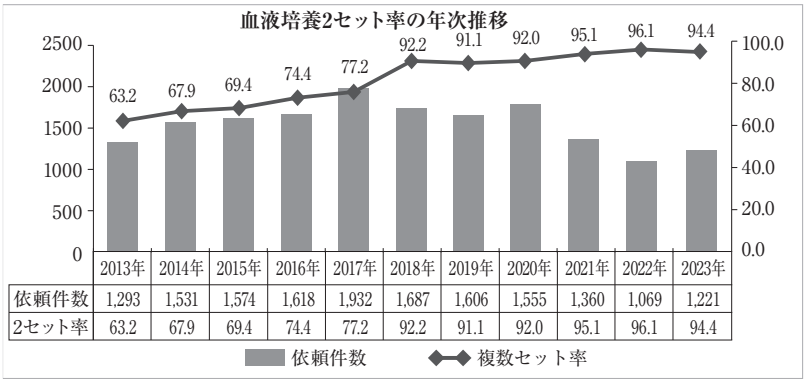


7－2. 抗菌薬の系統別使用量の推移



【7. 評価】届出率は広域抗菌薬も抗 MRSA 薬ともに 100％付近を維持している。抗菌薬使用量はコロナ禍に比較し入院患者数が増加したため、使用量も増加した。どの各抗菌薬も使用割合で比較すると大きな変動は認めず、さらに、届出抗菌薬やカルバペネム系の大幅な増加などは認めなかった。

8. 当院における血液培養 2 セット率推移（入外含む）



【8. 評価】コロナ禍が終了して検査数がやや増加した。採血困難患者に対する 1 カ所採血が数例あるが、2 セットオーダー指示を作成し、「推奨」と目立つオーダー名にするなど 2 セット採取推進への取り組みを継続している。2024 年以降も 100% を目指す。

9. 臨床分離菌　薬剤感受性一覧（2023 年）

			グラム陽性球菌							グラム陰性桿菌																			
		対象菌株数	73	97	8	70	40	70	28	58	322	93	170	16	58	10	16	33	1	16	70	10	16	102	18	12	29	39
系統	略号	一般名	*S.aureus*（*MSSA*）	*S.aureus*（*MRSA*）	*A* 群溶連菌（*S.pyogenes* を含む）	*S.agalactiae*	*S.pneumoniae*	*E.faecalis*	*E.faecium*	*H.influenzae*（*BLNAR* を含む）※1	*E.coli*（*ESBL* 以外）※2	*E.coli ESBL*	*K.pneumoniae*（*ESBL* 以外）※2	*K.pneumoniae ESBL*	*K.oxytoca*（*ESBL* 以外）※3	*Salmonella sp.*	*S.marcescens*	*P.mirabilis*（*ESBL* 以外）	*P.mirabilis ESBL*	*P.vulgaris*	*E.cloacae complex*	*C.freundii*	*M.morganii*	*P.aeruginosa*	*Acineto.baumannii/haem*	*Steno.maltophilia*	*C.jejuni*（参考値）	*Bac.fragilis Gp.*
ペニシリン	PCG	ペンジルペニシリン	37▼		100	100	90▼	100	15▲																			
	ABPC	アンピシリン	33▼					100	14▲	48▼	66					100		85										
	PIPC	ピペラシリン									80		63		60▲		67	100▲			67▼			86▼	100			
βラクタマーゼ阻害薬	SBT/ABPC	スルバクタム / アンピシリン	100								74		92		91	100		100		79			7					92
	CVA/AMPC	クラブラン酸 / アモキシシリン																										
	SBT/CPZ	スルバクタム / セフォペラゾン									100		100		100		100▲			100	0▼			86▼	100			
	TAZ/PIPC	タゾバクタム / ピペラシリン									99		100		100		50▼	100		100	78	100	100	91				
セファロスポリン	CEZ	セファゾリン	100								83		95		40▼			76▼										
	CTX	セフォタキシム									100		100		100	100		100		75▼	73	100▲	50▼					
	CAZ	セフタジジム									99		100		100	100	56	100		100	75▼	80	81▼	89	100	67▲		
	CTRX	セフトリアキソン			100	100				98	99		100		100	100	63	100		43▲	66	78	79▼					
	CFPM	セフェピム									100		100		100	100	100	100		100	100▲	100▲	100	91	100			
セファマイシン	CMZ	セフメタゾール									100	100	99	100	100			100		100			100					64▲
モノバクタム	AZT	アズトレオナム									99		99		100		75▲	96		62▼	67	78▲	86	79▼				
カルバペネム	IPM	イミペネム	100								100	100	100	100	100						67▼			85				97
	MEPM	メロペネム									100	100	100	100	100	100	100	100		100	100	100	100	90	100			95
アミノグリコシド	GM	ゲンタマイシン	81▲	63							95	80	99	75▼	100		100▲	96		100	100	100	93▲	84	100			
	AMK	アミカシン									100	99	100	100	100		100	100		100	100	100	100	96	100			
マクロライド	EM	エリスロマイシン	77	13	100	67		26	33▲																			
	CAM	クラリスロマイシン					16			69▲																		
リンコマイシン	CLDM	クリンダマイシン	81	20	100	79▲																						36
テトラサイクリン	MINO	ミノサイクリン	97	82				29	82▲																100	100		92
フルオロキノロン	LVFX	レボフロキサシン	77	12	88	54	100	94	11	98	68	15	96	56	98	60	75	73▼		100	96	100▲	88	87	100	100	69▲	
サルファ剤	ST	スルファメトキサゾール / トリメトプリム	100	100							88	67▲	94	47	100	100	100▲	88▲		100	93	89▼	86		94	100		
その他	FOM	ホスホマイシン	96	94							87	86	15	31	22	100	31▲	65		50▼	20	78▲	0				34	
グリコペプチド	VCM	バンコマイシン	100	100	100	100		100	100																			
	TEIC	テイコプラニン	100	100				100	100																			
その他	LZD	リネゾリド	100	100				100	100																			

対象菌株数少数のため評価せず

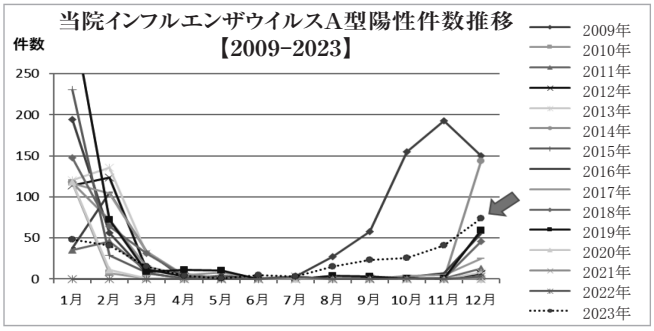
感受性率 ■：80%以上　　■：79%以下　　▲▼前年比（10%以上の差）/ 結果によらず耐性

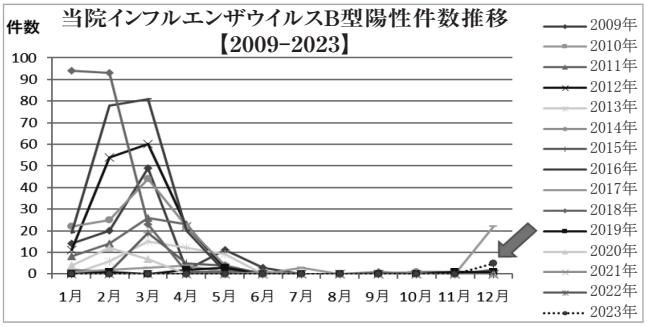
※1　BLNAR の場合に耐性

※2　CPE、クラスCβラクタマーゼ産生菌含む

※3　CPE、クラスCβラクタマーゼ産生菌、K2 βラクタマーゼ疑い K.oxytoca 含む

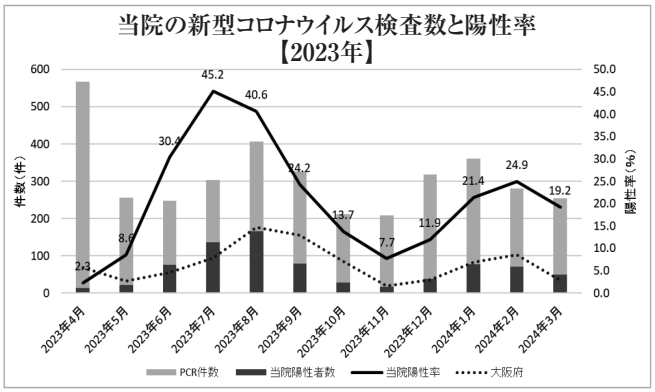
10. 当院におけるインフルエンザ検査状況（入外含む）

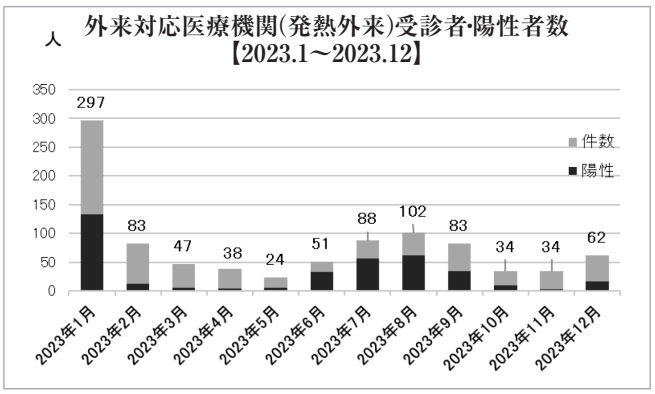




【10. 評価】コロナ禍が終わり、ここ数年で一番多いインフルエンザ患者数であったが、職員や入院患者はじめアウトブレイクもなく経過した。

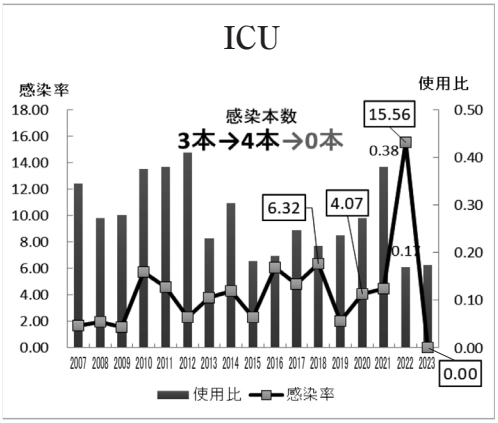
11. 当院における新型コロナウイルス感染症状況

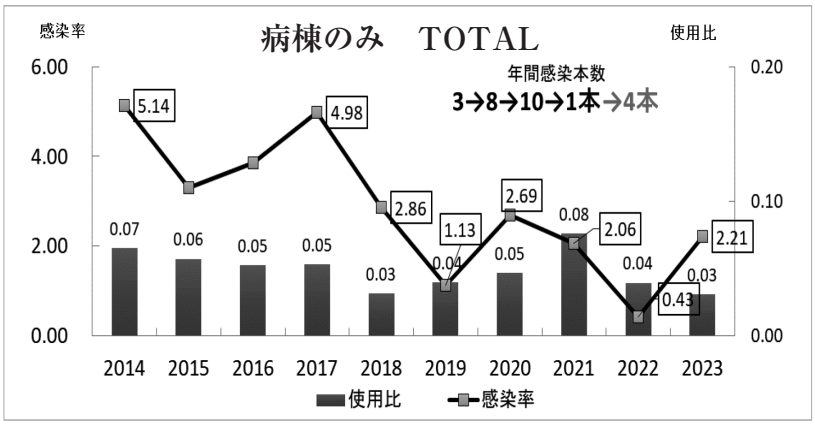


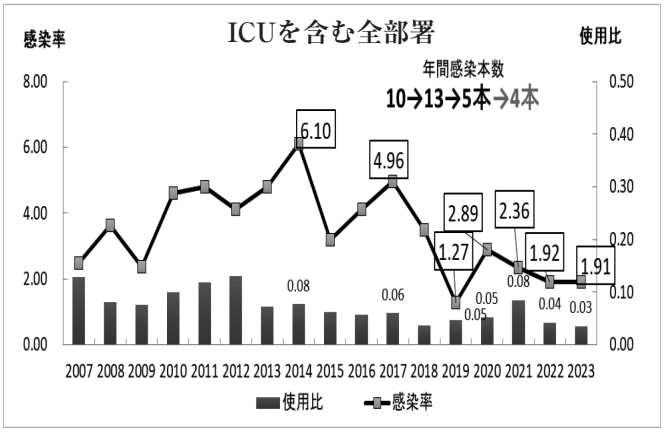


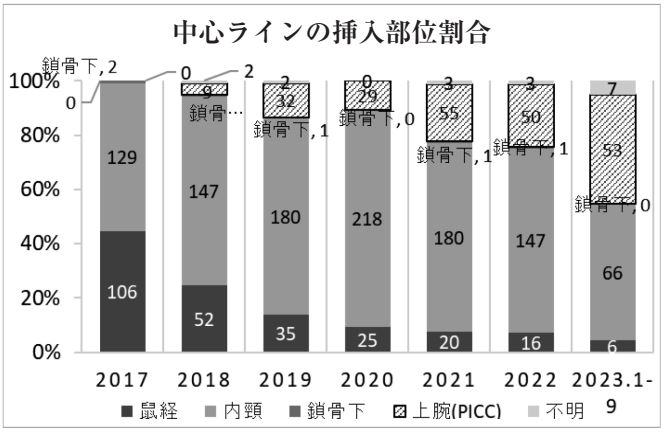
【11. 評価】2020 年 2 月から対応している新型コロナウイルス（COVID-19）感染症は 5 類相当となった。2023 年は、合計 249 名の新型コロナウイルス（COVID-19）感染症患者が入院された。今後は、この対応を風化させることなく、BCP を整備し、有事に迅速に職員と患者の安全を第一に考え対応していく。

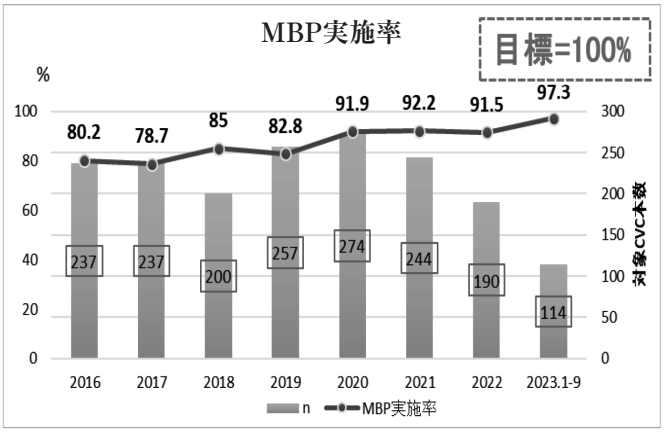
12. 当院における中心ライン関連感染サーベイランス状況（CLABSI）





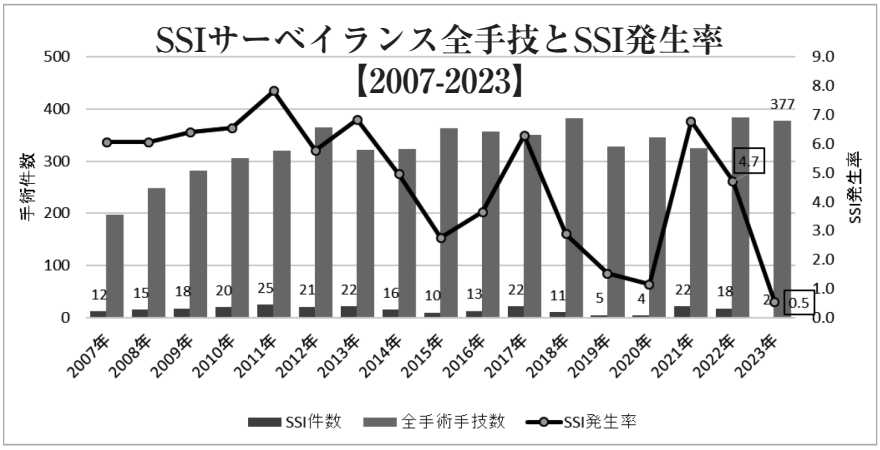


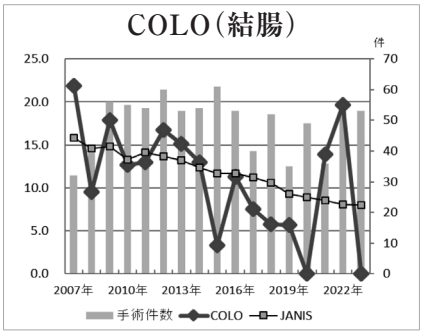


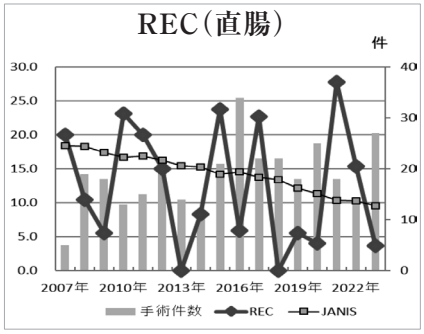


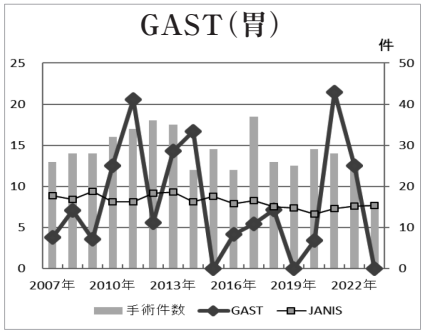
【12. 評価】中心ラインの使用比は年々減少傾向で、ICU における感染は 0 本であったものの病棟では増加した。中心ラインの挿入本数は年々減少し、選択されている中心ラインは PICC の割合が増加している。医師の中心ライン挿入時のマキシマルバリアプリコーション（MBP）は良好であり、目標達成に近い。全体としては閉鎖式輸液ルートを導入後から感染率は低下傾向であるが、引き続きサーベイランスと PICC の管理を含めた清潔な輸液管理を確認・指導し、徹底する必要がある。

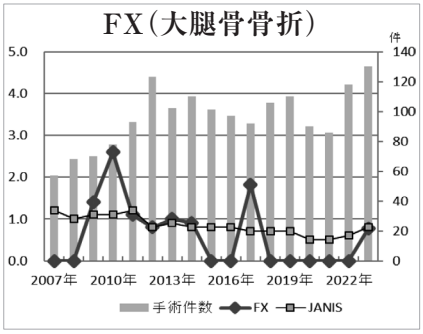
13. 当院における手術部位サーベイランス状況（SSI）

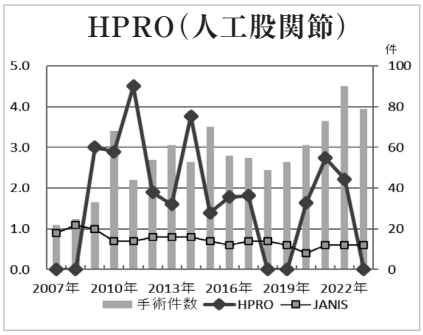


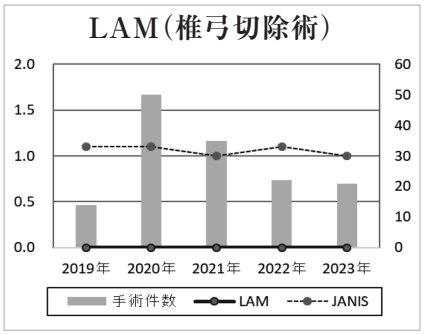


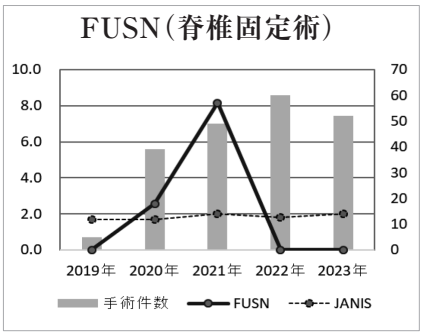












【13. 評価】順調に SSI は低下していたが、2021 年に消化器外科系および人工股関節手術での感染判定が増加し、これまでも約 5 年ごとに増加を繰り返している状況は変わらない。2023 年度は、大腿骨（FX）でのみ SSI 発生率が増加したが、件数は 1 件で Risk Index は 2 の症例であった。観察記録もれなどで判定不可となった症例もあり、記録の徹底と充実をはかる。また、2024 年度は感染管理システムを導入することになり、2025 年以降からはこれまでより多くの手術手技の SSI サーベイランスが可能となる予定である。

(5)薬事審議会

開催日：2023年4月17日　第238回
審議内容：① 3種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討
② 緊急採用薬22種類の依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤3種類の報告
④ 自主回収薬剤1種類の報告
⑤ 販売中止薬剤6種類の報告
→ 先発医薬品へ変更1種
→ 後発医薬品へ変更5種
⑥ 4月期限切れによる採用薬の報告
→ 院外専用薬剤へ変更4種類
→ 要時発注へ変更1種類
→ 削除薬剤3種類

開催日：2023年5月15日　第239回
審議内容：① 4種類新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討
② 緊急採用薬6種類の依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤1種類の報告
④ 供給・出荷停止薬剤1種類の報告
⑤ 採用薬の見直し
→ 後発医薬品へ変更6種類
→ 院外専用薬剤へ変更8種類
→ 削除薬剤2種類
⑥ 5月期限切れによる採用薬の報告
→ 削除薬剤1種類

開催日：2023年6月19日　第240回
審議内容：① 7種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討
② 緊急採用薬20種類の依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤4種類の報告
→ 先発医薬品へ変更1種類
④ 採用薬の見直し
→ 後発医薬品へ変更1種類
⑤ 6月期限切れによる採用薬の報告
→ 院外専用薬への変更1種類
→ 削除薬剤2種類

開催日：2023 年 7 月 24 日　第 241 回

審議内容：① 5 種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討

② 緊急採用薬 14 種類の依頼申請報告

③ 供給制限のある薬剤 12 種類の報告

④ 販売中止薬剤 2 種類の報告

⑤ 採用薬の見直し

→　削除薬剤 8 種類

⑥ 7 月期限切れによる採用薬の報告

→　院外専用薬への変更 5 種類

→　要時発注へ変更 1 種類

開催日：2023 年 8 月 21 日　第 242 回

審議内容：① 1 種類の新規医薬品採用薬検討

② 緊急採用薬 15 種類の依頼申請報告

③ 供給制限のある薬剤 3 種類の報告

④ 販売中止薬 1 種類の報告

→　削除薬剤 1 種類

⑤ 採用薬の見直し

→　院外専用薬剤へ変更 2 種類

→　削除薬剤 5 種類

⑥ 8 月期限切れによる採用薬なし

開催日：2023 年 9 月 25 日　第 243 回

審議内容：① 10 種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討

② 緊急採用薬 14 種類の依頼申請報告

③ 供給制限のある薬剤 8 種類の報告

④ 販売中止薬 3 種類の報告

→　先発医薬品へ変更 1 種類

→　採用薬変更へ 2 種類

⑤ 採用薬の見直し

→　後発医薬品へ変更 1 種類

→　削除薬剤 2 種類

⑥ 9 月期限切れによる採用薬の報告

→　要時発注へ変更 1 種類

→　削除薬剤 1 種類

開催日：2023 年 10 月 16 日　第 244 回
審議内容：① 4 種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討
② 緊急採用薬 13 種類依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤 7 種類の報告
→先発医薬品へ変更 2 種類
④ 自主回収薬剤 1 種類の報告
⑤ 販売中止薬 4 種類の報告
→　後発医薬品へ変更 2 種類
⑥ 採用薬の見直し
→　削除薬剤 2 種類
⑦ 10 月期限切れによる採用薬の報告
→　院外専用への変更 1 種類
→　要時発注へ 1 種類
→　削除薬剤 2 種類

開催日：2023 年 11 月 27 日　第 245 回
審議内容：① 2 種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討
② 緊急採用薬 19 種類の依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤 10 種類の報告
④ 販売中止薬 3 種類の報告
→　後発医薬品へ変更 1 種類
→　採用薬変更へ 1 種類
⑤ 採用薬の見直し
→　後発医薬品へ変更 1 種類
→　削除医薬品 2 種類
⑥ 11 月期限切れによる採用薬の報告
→　削除薬剤 2 種類

開催日：2023 年 12 月 18 日　第 246 回
審議内容：① 6 種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討
② 緊急採用薬 37 種類依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤 10 種類の報告
④ 採用薬の見直し
→　後発医薬品へ変更 12 種類
→　院外専用医薬品へ変更 9 種類
→　メーカー変更 3 種類
→　削除薬剤 8 種類
⑤ 12 月期限切れによる採用薬の報告
→　院外専用薬への変更 2 種類

開催日：2024 年 1 月 16 日　第 247 回
審議内容：① 3 種類の新規医薬品採用申請薬検討
② 緊急採用薬 20 種類依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤 7 種類の報告
④ 販売中止の薬剤 3 種の報告
→　削除薬剤 2 種類
→　採用薬変更 1 種類
⑤ 供給・出荷停止の薬剤 1 種類の報告
⑥ 採用薬の見直し
→　後発医薬品へ変更 10 種類
→　メーカー変更の薬剤 2 種
⑦ 1 月期限切れ薬剤 2 種類の報告
→　院外専用へ変更 1 種類
→　削除薬剤 1 種類

開催日：2024 年 2 月 19 日　第 248 回
審議内容：① 2 種類の新規医薬品採用申請薬検討
② 緊急採用薬 18 種類依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤 16 種類の報告
④ 販売中止の薬剤 4 種類の報告
→　採用薬変更 2 種類
→　削除薬剤 2 種類
⑤ 出荷停止の薬剤 1 種類の報告
⑥ 採用薬の見直し
→　後発医薬品へ変更 7 種類
→　院外専用へ変更 6 種類
→　削除薬剤 1 種類
⑦ 2 月期限切れによる採用薬 3 種の報告
→　院外専用薬へ変更 1 種類
→　削除薬剤 2 種

開催日：2024 年 3 月 18 日　第 249 回
審議内容：① 8 種類の新規医薬品採用・院外専用薬申請薬検討
② 緊急採用薬 14 種類依頼申請報告
③ 供給制限のある薬剤 15 種類の報告
④ 販売中止の薬剤 6 種類の報告
→　先発医薬品へ変更 2 類
→　後発医薬品へ変更 1 種類

→　採用薬変更１種類

→　削除薬剤２種類

⑤ 供給・出荷停止の薬剤２種類の報告

⑥ 採用薬の見直し

→　メーカー変更の５種類

→　後発医薬品へ変更４種類

→　削除薬品３種類

⑦ ３月期限切れによる採用薬３種の報告

→　院外専用薬への変更１種類

→　要時購入へ変更１種

→　削除薬剤１種類

(6)救急委員会

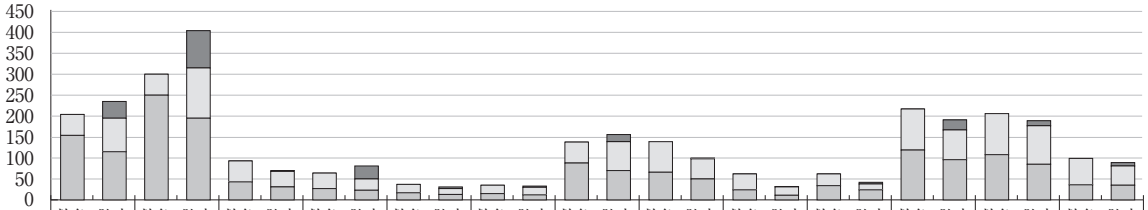
毎月第2金曜日　開催　午後4時00分～4時30分

【定期活動内容】

※救急搬送数、搬入数の報告、お断り件数・お断り理由の確認

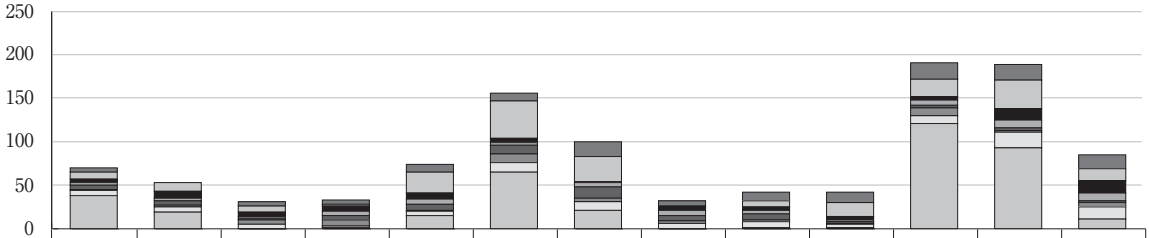
※ ER、ICU、手術室、各病棟、薬剤科、放射線科、検査科等で起こったコードブルー事例報告及び検討・振り返り、各部署の研修会

救急隊別救急搬入お断り件数



	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内
	2023.3		2023.4		2023.5		2023.6		2023.7		2023.8		2023.9		2023.10		2023.11		2023.12		2024.1		2024.2		2024.3	
■その他	0	40	0	89	0	2	0	31	0	4	0	3	0	17	0	2	0	1	0	4	0	24	0	12	0	8
□茨　木	50	80	50	120	50	37	37	27	20	14	20	18	50	69	73	48	38	20	28	14	98	71	98	92	63	46
□高　槻	154	115	250	195	43	31	27	23	17	13	15	12	88	70	66	50	24	11	34	24	119	96	108	85	36	35

お断り件数内訳



	2023.3	2023.4	2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3
■その他	5	0	5	5	9	9	17	6	10	12	19	18	16
□ER満床	8	10	7	2	24	43	29	1	7	16	20	33	14
■専門医	4	8	5	6	7	5	1	4	4	4	4	13	14
□かかりつけ	3	3	2	5	6	3	5	6	4	2	6	9	9
■精神・アル中	5	5	2	5	7	10	13	6	7	2	3	3	2
■手術・処置中等	1	2	5	7	1	10	4	3	2	1	9	2	5
□脳外適応	6	6	5	2	5	11	10	6	7	4	9	18	14
□病棟満床	38	19	0	1	15	65	21	0	1	1	121	93	11

【評価】

今年度は5月以降新型コロナウイルスが5類に変更になった影響で、前年度に比べ救急車のお断り件数が減少傾向であった。

※コードブルー事例は19件の報告がなされ、それぞれの事例に対し検討をした。

【定期活動以外の検討事項】

児童虐待チームによる事例共有

(7)褥瘡対策委員会

メンバー（2023 年度）

委 員 長：芳川 た江子（医師）

副委員長：門戸 典子（ＷＯＣナース）

委　　員：看　護　師　担当師長…… 中道

外来…… 猪飼

７Ｆ…… 岸本（竹ノ内・佐藤）

６Ｆ…… 納富（羽渕）

５Ｆ…… 袖長（高木）

４Ｆ…… 高井（岡・川口）

３Ｆ…… 中田

ER/ICU …… 佐藤（村井）

手術室…… 清水（福島）

看護補助…… 平山

栄　養　科 …… 岡本・山本

薬　剤　科 …… 洪・葭中

リ ハ ビ リ …… 良田・遠近

地　　域 …… 上田

医 療 情 報 …… 金谷・大田

〈2023 年度の活動〉

(1) 褥瘡回診

毎週 1 回、各病棟を回り、褥瘡患者さんのチェックやマットの使用状況のチェックなどを行っています。又、毎月第 2・4 水曜日の 15 時から褥瘡対策チームで回診を行っています。

今年 1 年間で、当院入院患者さんの中で褥瘡のできている人は 138 名おられ、そのうち持ち込みは 130 名、院内発生は 8 名おられました。昨年度と比べて、持ち込みの褥瘡は増えていますが、院内発生はかなり減少しています。

医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）は、6 名でした。

医療関連機器とは、弾性ストッキング・NPPV・V60 マスク・胃管カテーテル・イレウス管などがあります。

褥瘡対策委員会の最大の目標は、院内発生数を限りなく 0 に近づけることです。

(2) 褥瘡対策委員会

毎月第 1 水曜日 15 時から、3F 多目的ホールで開催しています。各病棟の褥瘡患者さんの症例を電子カルテを通して、スクリーンに映し出して、皆で検討しています。

(3) 今年度開催した院内勉強会（15 時から、褥瘡対策委員会内で）

①12 月　6 日（水）「褥瘡に関する栄養・薬剤」

② 1 月 17 日（水）「糖尿病足病変」

(4) 今年度開催した院内勉強会（17：30 ～多目的ホールで）

① 7月 5日（水）「スキンケア、スキンテア、おむつの当て方」
② 9月13日（水）「DESIGN-R　2020評価」
③11月 1日（水）「体圧分散寝具の取り扱い方法」
④ 1月17日（水）「褥瘡ケアの実際」

(5) 今年度参加した褥瘡に関するセミナー・学会

① 5月24日（水） 19：00 ～ 20：00　褥瘡対策 Webinar
② 8月10日（木） 19：00 ～ 20：00　創傷ケア WEB セミナー（コンバテックジャパン）
③ 8月29日（火）～ 9月 12日（火）　床ずれ対策オンラインセミナー（CAPE）
④ 9月 1日（金） 2日（土）第25回日本褥瘡学会学術集会（神戸にて）
⑤11月 1日（水）～ 11月10日（金）CAPE 褥瘡対策セミナー 2023
⑥ 1月23日（火） 19：00 ～ 20：00　栄養ケアステーションと褥瘡
⑦ 3月 3日（日） 日本褥瘡学会近畿地方会

(6) 今後の課題

褥瘡の患者さんというのは、本来いないのが理想的なのですが、全身状態、栄養状態にも左右され、又、他院や在宅などからの持ち込みも多く、なかなかケアが大変なことが多いです。

又、2014年8月より全ての入院患者さんに褥瘡対策に関する診療計画書をあげて、褥瘡予防に努めていて、又、院内発生がかなり少ないことが評価されたのか、今年度の病院機能評価でもS判定をいただけました。今後も、全ての入院患者さんの褥瘡予防に努め、院内発生数を限りなくゼロに近づけたいと思います。

(8)労働安全衛生委員会

1.目　的

本委員会は、労働安全衛生法に基づき、労働災害防止を労使一体となって、職員の災害防止、安全を守り、快適な職場環境の形成を促進。また、疾病予防および健康増進に関する事項審議調査し必要な措置を行うための健康診断や､心の健康診断「ストレスチェック」を実施。また､外部業者㈱セーフティーネットの「こころとカラダの健康相談窓口」を開設し、心身ともに安全と健康で働きやすい職場環境整備することを目的に設置されています。

2.委員会メンバー構成

＜委員長＞　1名　　＜副委員長＞　1名　　＜産業医＞　1名
＜委　員＞　看護師　3名・他技師等　10名　　＜事務局＞　人事課より2名

3.2023年度における委員会の主な取り組み

※定期健康診断・ストレスチェックと予防接種

4月	6月	9月	10月	11月			2月
定期健康診断（全職員）	新型コロナワクチン接種	麻疹･風疹･ムンプス･水痘ワクチン接種	定期健康診断（特定業務従事者）	インフルエンザワクチン接種	ストレスチェック（全職員）	新型コロナワクチン接種	麻疹･風疹･ムンプス･水痘ワクチン接種

※「こころとカラダの健康相談窓口」による電話相談

外部業者㈱セーフティーネットと契約。フリーダイヤル24時間365日利用可能。
職場・仕事・健康以外に家庭問題なども相談ができる。年度内の利用件数は2回

※HBワクチン接種

	対象者	接種月	接種月	接種月
第1回	2023年1～5月入職者	6月	7月	12月
第2回	5月～11月入職者	12月	1月	6月

※毎月の職場巡回

職員の働きやすい職場環境を維持する為に、産業医、衛生管理者が職場の巡回を実施

4月	年度初めにつき次月にまとめて実施	10月	整形・小児フロア
5月	祝日と重なるため、次月実施	11月	消化器センター
6月	保育所	12月	呼吸器センター
7月	有機溶剤取り扱いの巡回報告	1月	年末年始休みと重なるため次月実施
8月	臨床検査科	2月	外来フロア（バックヤード含む）
9月	放射線科	3月	訪問看護ステーション・ケアプランセンター

４. 委員会における主な審議内容（月１回 開催）

- 職場巡回実施後の職場環境の改善策（本年は病棟の巡回で全病棟共通の設備等の問題あり）
- 職員健診、ワクチン接種の業務改善を検討
- 長時間労働による労働者の健康障害防止について状況把握
  （特に医師の時間外労働は年間累計を把握。面接指導実施医師による面接実施も準備ができた）
- 年次有給休暇の取得率を共有、把握
- 食堂内設置の意見箱から投書された問題の改善点を検討
  （業務改善項目を同意見箱で追加受付開始）
- 「動画撮影・録音禁止」のポスターを作成し掲示。改めて来院者に呼びかける
- 有機溶剤取り扱いについて特定化学物質、有機溶剤の作業主任者やマニュル等を再確認

(9)臨床検査管理運営委員会

Ⅰ　定例委員会

毎月第3水曜日　16：30 ～

目　　的：臨床検査の精度及び効率の向上並びに標準化を図る

委員会構成メンバー：

- 諏訪 道博…… 臨床検査科部長（委員長）
- 斉藤 潤…… 臨床検査科科長
- 米村 里美…… 臨床検査科係長
- 中島 典子…… 3F レディースフロア看護師長
- 馬場 恵美…… 感染防止対策室副室長 兼 看護師長
- 中道 和歌子…… 外来フロア看護師長
- 橋本 シオリ…… 病院サービス課職員

Ⅱ　主な議題と検討内容

◎精度管理、機器、試薬等の検討

- 止血機器更新
  止血機器をシスメックス社 CS2100 からシスメックス社 CN6000 に更新
  1/11（木）機器の仮設置済　2/1（木）本設置。
  機器更新の際 APTT 試薬の変更も同時に行った。
- 尿検査機器更新予定
  尿検査機器を 9 月 27 日に更新。UF1000 から UF5000（全自動尿中有形成分分析装置）と AX4061（全自動尿分析装置）に変更した。返却データには大きな変更は無し。
- NRBC（赤芽球）高値への対応
  2023 年 3 月の血液検査機器更新に伴い NRBC の割合を結果として返却している。
  血液外来医師と検討した結果、1％を超えた場合、血液像を確認するべきとの意見を頂き、5/15 より正式に運用を開始した。
- 呼気 NO 濃度測定開始
  呼気 NO 測定機器 NObreath を導入した。1/4 より呼吸器内科からの依頼で測定を開始している。
  測定は 12 秒間一定の速度で呼出を行うのみで現在は問題なく検査を行っている。

◎業務改善、効率化、運用

- 針刺し後の検査不備
  針刺し後の職員の検査に医師が電子カルテから HIV 検査を依頼し、そのままデータが返却された事例あり（HIV は本来検査科のシステムで依頼し、本人に結果返却）。
  検査科内で規則の再周知を行った。
- 肺機能検査再開
  コロナ蔓延に伴い、術前の肺機能検査を中止していたが、5/8 よりウイルス対策を徹底した上で検査を開始した。
- 特定健診の枠増加
  特定健診では採血、心電図検査、便ヒトヘモグロビン説明に時間を要し、特定健診実施日は早朝の採血の待ち時間が長くなっていた。特定健診の採血は診察実施後に行うこととした。患者待ち時間は減少したと考えている。

• 大阪医科薬科大学病院見学
6/15 に大阪医科薬科大学病院の臨床検査部門を見学。医大は ISO を取得しており、新棟に移転したばかりであり、今後の検査科の体制整備に参考になる情報を取得できたと考えている。
• 検体容器の破損について
検体採取容器の破損あり。検体漏れの原因となる為、病院全体に注意をお願いした。
検査科でも受け取りの際確認するように周知した。
• 尿定量オーダ中止
尿の細菌検査依頼があった場合、一般塗抹鏡検、一般培養・同定、尿定量培養をセットで実施していた。しかし、尿定量培養のみオーダされることがあり、検査科で尿一般培養を含めたオーダに変更する必要が生じていた。
現在は一般培養・同定のオーダがあれば、尿定量培養も同時に実行することとし、尿定量のオーダを削除している。
• 抗酸菌塗抹の夜間実施について
本来結核疑い患者の隔離解除は 3 日連続の喀痰塗抹検査の実施や PCR 検査を実施した上で行われる。夜間の結核疑い患者についても要請があれば、夜間当直者が実施していたが、精度確保・隔離基準の厳格化、当直者の負担軽減の為、結核疑い患者については基本的に夜間の検査は実施せず、翌朝至急で担当者が実施することとなった。
結核を疑う場合はコメントに「結核疑い」とコメント入力をお願いした。
• 視能訓練士の産休（12/18 ～）に伴う外来業務調整
眼科メディカルスタッフ 4 名中 2 名が同時に産休に入った。
人員拡充が見込めない場合を想定し、残った 2 名で業務を行う計画を検討し、見込みが立っている。
各部署に今後の協力を要請した。
• 保健所監査指摘事項
「劇毒物については定期的に確認作業をしたほうがいい。」との指摘あり。
これまでは使用時の確認のみであったが、月 1 回　期限や残量の確認を行う体制を整備した。
• 検査異常値報告方法の変更について
1. 緊急対応依頼値報告専用電話を設置
12/18 より緊急対応依頼値に限り検査結果の緊急連絡専用電話（PHS:3296）を使用して連絡している。診察中であっても、本電話より連絡があった際はできるだけ電話に出ていただき、電話に出られない時は検体検査室か報告専用電話に折り返し連絡を頂くよう案内した。
• 新入職員の健診実施体制
労働安全衛生委員会にて新入職員の採血について検討し看護師、看護補助者については各部署で採血、その他職員については指定時間を変更し、採血室で採血を実施。心電図については時間を変更し採血室で実施することとした。

◎その他
• 学生実習予定
1/11 ～ 3/6 学生の実習を行った。
学生実習指導要綱の改訂に伴い、内視鏡室の見学も実施。
3 ヶ月の実習を終えている。来年度は実習規則の改定により期間延長される予定であるが、受け入れを予定している。

（10）輸血管理委員会

Ⅰ　定例委員会

第 3 月曜日　16：00 ～ 16：30

2023 年度より　第 1 火曜日 16：00 ～ 16：30

Ⅱ　活動内容

1. 血液製剤の適正使用および安全な輸血業務が行えることを目的に活動し検討を行った。

- 血液製剤の取り扱いについて
- 血液製剤払い出し、保管管理方法について
- 血液製剤と交差適合試験成績書の確認の徹底について
- 輸血中止時の連絡の徹底
- 血液製剤依頼箋の誤記防止に関する啓蒙
- 血液製剤、血液分画製剤の年間使用量、廃棄数、廃棄率の報告検討
- C/T 比の報告
- 血液センターより輸血情報の提供
- アルブミン製剤、グロブリン製剤の適正使用
- 輸血・血液製剤査定減点率の検討
- 輸血諸経費削減について
- 輸血前後の感染症検査実施
- 輸血後情報に基づく遡及調査について
- 輸血指示確認の徹底について
- 同意書確認の徹底について
- 輸血施行時のバイタルチェックの徹底と確認
- 血漿交換について
- 輸血療法の実施に関する指針、血液製剤使用指針改定について
- 危機的出血への対応ガイドライン、フローチャートについて
- 外来輸血運用方法、グループウエア施設予約利用について
- 自己血院内保管管理について
- HLA 抗体保持患者への ABO 異型 HLA 適合血小板の輸血について
- 輸血手順、ベッドサイドでの血液製剤照合の徹底
- Ｔ＆Ｓの推進と血液製剤院内在庫の実施について
- 輸血の効果判定について
- 緊急輸血の実施手順について
- 頻回輸血患者の定期的輸血後感染症検査実施
- 自己血貯血時の迷走神経反射について
- 宗教的理由による輸血拒否患者に対する基本方針について

2. 輸血副作用報告

- 赤血球液（RBC）による副作用報告 1 件。血圧低下と嘔気あり。
  血液センターでの精査は実施せず。

3. 血液センター遡及調査
- 本年度なし

4. 本年度検討および報告事項
- 救急救命士の血液製剤払い出しについて、輸血製剤のダブルチェック、受け取りを認めることとした。
- 麻酔科医非常勤体制に変更に伴い、血液製剤の発注や取り扱い、前任麻酔科医との取り決めなどをまとめ周知した。
- 輸血終了時の看護記録について、定型文を改訂し終了時の記載をする体制を整え、同時に副作用の観察項目を体温表 / 観察表に追加し、継続した観察を実施した。
- 自己血貯血パックの発注について、使用頻度減少に伴い、婦人科使用分は必要時発注とした。
- 輸血中止の医師指示について、指示入力がない場合は、看護師に加えて臨床検査技師からも依頼することとした。
- 輸血同意書の改訂と輸血および血漿分画製剤使用説明文の改訂を行った。使用開始は 2024 年 4 月 1 日とした。
- 輸血後感染症検査の実施は医師が必要と判断した場合に実施するとして、全例実施は廃止し、上記同意書に記載した。
- 血液製剤副作用報告書の改訂と報告方法を見直し、チェックボックス方式で容易に報告可能とした。
- 危機的出血で異型適合血を輸血した患者の事例を報告した。
  本事例を踏まえて危機的出血のフローチャート改訂を検討した。
- FFP 溶解に関して、溶解容器や溶解機器購入の検討を行った。
- 自己血有効期限の延長を検討した。血液センター RBC の有効期限が 21 日から 28 日に延長され問題の発生なく、貯血パックの有効期限内である 28 日に延長した。2024 年 4 月 1 日より実施とした。
- 自己血貯血前検査の HTLV1 検査法を変更し、依頼書も修正した。
- 輸血管理料Ⅱの取得に向けて資料を配布し検討した。
- 手術終了時に手術中に出庫した RBC を使用せず、病棟に保管し廃棄となった事例あり、取り扱い方法の周知徹底を行った。
- 血液製剤血管外濾出について、点滴漏れ等の対応と同じなので新たに輸血のマニュアルとして追記は不要とした。
- TS 対応可の手術で、不規則抗体未検査のまま手術を実施した事例が数件あり、発覚時に検査実施し対応した。整形カンファレンスでも周知いただいた。

5. 血液センター輸血情報
- 輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 2022 年
- 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 2022 年
- 輸血用血液製剤取り扱いマニュアル 2023 年 5 月改訂版の配布
- 輸血用血液製剤の添付文書改訂

6. 輸血管理委員会勉強会
- 2 ～ 3 月「血液製剤の使用指針について」参加者は看護部 193 名、診療技術部 49 名、事務局 25 名、診療部 13 名の計 280 名であった。

Ⅲ　輸血統計

血液製剤使用状況（単位数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
RBC 使用単位数	2023	168	193	160	120	154	188	116	172	199	196	142	171	1,979
	2022	190	144	155	163	144	255	154	188	130	172	194	230	2,119
RBC 廃棄単位数	2023	0	2	0	4	6	0	4	10	4	0	0	0	30
	2022	8	16	10	4	14	4	2	4	14	10	4	8	98
RBC 廃棄率（%）	2023	0.0	1.0	0.0	3.2	3.8	0.0	3.3	5.5	2.0	0.0	0.0	0.0	1.5
	2022	4.0	10.0	6.1	2.4	8.9	1.5	1.3	2.1	9.7	5.5	2.0	3.4	4.4
FFP(全て)使用単位数	2023	8	4	0	0	0	8	8	6	0	2	6	2	44
	2022	4	0	0	4	0	20	6	6	0	2	10	8	60
FFP(血漿交換)使用単位数	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PC 使用単位数	2023	0	0	0	10	0	0	0	20	0	0	10	0	40
	2022	40	10	30	50	40	20	30	40	30	40	0	20	350
自己血 貯血パック数	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
自己血 廃棄パック数	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＊自己血の廃棄は貯血した翌月の場合あり　＊2023.03　RBC有効期限28日に延長

血液分画製剤使用状況（本数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アブラキサン点滴静注	2023	6	14	6	4	4	4	12	12	14	16	9	7	108
	2022	21	16	14	10	14	22	34	16	12	18	30	26	233
献血アルブミン25%　50ml	2023	23	59	65	53	30	19	17	20	46	40	52	38	462
	2022	70	54	57	28	28	52	31	19	42	44	82	54	561
献血グロベニン-I　5g	2023	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
	2022	10	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	19
ヴェノグロブリンIH　5g/100mL	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヴェノグロブリンIH　5g/50mL	2023	4	7	9	6	0	6	3	0	10	0	0	6	51
	2022	0	0	6	1	3	3	3	0	3	6	4	1	30
タコシール（ハーフ、レギュラー）	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	2022	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
ノイアート　1500単位	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハプトグロビン　2000単位	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィブリノゲンHT　1g	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィブロガミンP	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
献血アルブミネート4.4%　静注250ml	2023	2	1	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	9
	2022	2	0	0	0	1	9	8	1	0	0	2	1	24
乾燥HBグロブリン　200単位	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
抗D人免疫グロブリン	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破傷風グロブリン　250単位	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリプラストPコンビセット　組織接着用	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリプラストPコンビセット　5ml	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリプラストPコンビセット　3ml	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フロシール　5ml	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フロシール　10ml	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注射用ヘブスブリンIH　1000単位	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アコアラン静注用　600	2023	0	0	15	12	0	0	4	0	0	0	8	0	39
	2022	45	0	0	3	0	6	6	0	9	9	9	0	87
献血ノンスロン　1500注射用	2023	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	2022	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	10
ヘムライブラ皮下注　90mg/0.6ml	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘムライブラ皮下注　105mg/0.7ml	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボルヒール組織接着用　3mL4瓶	2023	0	1	2	0	1	0	2	0	3	2	3	0	14
	2022	2	2	2	0	2	0	0	2	0	1	0	3	14

輸血後検査実施状況（件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
輸血後検査実施件数	2023	11	18	14	20	16	16	11	7	13	12	15	12	165
	2022	13	7	12	15	18	6	11	7	19	14	7	14	143
	2021	9	15	10	10	11	16	10	10	19	9	16	14	149
	2020	10	17	29	21	14	17	15	18	11	11	6	13	182
	2019	13	24	17	21	13	19	13	20	13	27	21	22	223
	2018	11	17	8	19	12	16	22	12	17	29	15	19	197
	2017	15	22	24	12	19	21	15	14	18	11	19	21	211
	2016	12	19	19	13	20	13	16	15	16	10	14	21	188
	2015	3	0	1	2	3	2	10	12	18	19	14	12	96
	2014	4	1	2	1	0	3	2	3	1	1	2	2	22
	2013	0	1	1	1	4	1	2	3	3	2	5	1	24
	2012	1	0	1	2	2	6	4	0	2	2	1	3	24
	2011	3	0	2	1	1	1	6	2	0	3	1	3	23

※2024.04より輸血後検査は医師が必要と判断したときのみ実施

（11）治験審査委員会

審査委員会委員

委 員 長：芳川 た江子

外部委員：髙野 正子

院内委員：碕山 直邦、田尻 愛子、岩村 恭子、齊藤 潤、坂部 博志、三嶋 信二、石井 麻美、平田 浩紀

現在、実施中の治験はないため治験審査委員会の開催はなし。

(12)職員教育研修委員会

令和５年度活動実績

１.目　的

職員教育研修委員会は、全職員共通の理解・認識を要するテーマについて企画・運営する。

具体的には、階層別研修（新入職員研修、中途採用研修、昇進者研修　等）や、医療施設職員として必要とされる内容（感染・医療安全・倫理・接遇等）に鑑み、企画・実施します。また各部門別・委員会別研修については、支援・調整等を図り、職員教育並びに人財育成の更なる向上を促進してまいります。

２.委員会メンバー（委員名は令和５年度のもの）

①委 員 長　植田病院長代理
②副委員長　田尻病院長補佐、坂部病院長補佐
③委　　員　西村看護副部長、野口師長、三嶋課長、奥田室長、古澤係長
④事 務 局　誉田課長、村田係長、上松

３.委員会の開催

毎月１回（原則、第１金曜日 16：00 ～ 16：30）特別会議室

４.今年度の実績

①研修の実施

研修科目		実施日	講　師	対象者	受講人数	内　容
基礎教育Ⅰ	①信条学習会	全2回で年2回	理事長（DVD+講話）	新入職者	32名	• 当院の信条及び経営理念の理解･浸透
基礎教育Ⅰ	②新規採用職員オリエンテーション	4月3日	理事長 病院長 委員会講師 等	新入職者	54名	• 当院の概要と展望、医療安全管理･感染対策など基本的事項の周知（※集合研修+eラーニング）
基礎教育Ⅰ	③中途採用職員オリエンテーション	12月21日	理事長 病院長 委員会講師 等	新入職者	26名	• 当院の概要と展望、医療安全管理･感染対策など基本的事項の周知（※集合研修+eラーニング）
基礎研修Ⅱ	フォローアップ研修	10月25日	委員会及び対策室	4月新入職員	16名	• 基礎知識の再確認 • 同期グループによるディスカッション
基礎研修Ⅱ	フォローアップ研修	11月2日	委員会及び対策室	4月新入職員	15名	• 基礎知識の再確認 • 同期グループによるディスカッション
役職者研修	新昇進者研修	7月2日	理事長 病院長 他	新昇進者（主任対象）	6名	• 管理者としてのあり方、マネジメント能力の向上
倫理研修	臨床現場における倫理的関わり	上期:10月15日 下期:1月22日	上期:木野理事長 下期:高槻市社協	全職員	上期:578名 下期:579名	上期:「病院理念を考える」 下期:「社協の対応事例を通した倫理観について」

②必修研修の受講実績管理

研修科目		実施日(集合研修)	講　師	対象者	受講人数	内　容
医療安全& 感染対策合同研修	上期	eラーニング	各対策室	561名	530名	• 医療安全…「医療安全情報」 • 感染…「新型コロナ対策を振り返ろう&薬剤耐性菌対策について考えよう」 • 受講率94.4%
	下期	eラーニング	各対策室	570名	522名	• 医療安全…「発生した院内事例から対策を学ぶ」 • 感染…「医療従事者に必要なワクチン接種と抗菌薬適性使用」 • 受講率91.5%
情報セキュリティ研修		eラーニング	医療 情報課	566名	507名	• 「個人情報保護法の基本、個人情報の取扱いルール、ランサムウェアとは?」 • 受講率89.5%
放射線従事者研修		eラーニング	放射線科	120名	118名	• 「放射線の基礎研修」 • 放射線線量計(ルミネスバッジ)着用者対象 • 受講率98.3%
ハラスメント研修		• 集合研修 • eラーニング	人事課	553名	500名	• 「職場におけるハラスメントについて知識を身につけ理解を深める」 • 受講率90.4%
医療安全ガス		eラーニング	医療ガス 安全管理 委員会	475名	300名	• 「当院の医療安全ガスについて」 • 受講率63.1%
骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について		eラーニング	FLS 委員会	528名	204名	• 「骨折リエゾンサービス(FLS)とは何か?」 • 受講率38.6%

※対象者・受講者とも、期間中の休職者(産休・育休者等)・退職者除く

（13）病床・ICU運営管理委員会

本委員会は平成19年4月より毎月第1火曜日の診療部医長会での開催を基本とし、病院全体の社会資源である病床の有効的利用の観点から、病床状況の報告・問題点の検討・調整を行う場としている。

議　長：小林病院長
司　会：坂部病院長補佐
委　員：診療部医長会出席者　事務局：病院サービス課入退院係

主な報告検討内容

開催日：2023年4月4日（火）第260回
- 2023年3月診療分病床管理状況報告（科別入院、退院、在院、入院経路前年比較・曜日別入退院比・曜日別入院経路別新入院、退院数）
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023年5月9日（火）第261回
- 2023年4月分診療分病床管理状況報告（※月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較、新入院科別計画対実績前年比較、日別入退院・在院患者数推移、日別入退院比、曜日別入院経路別新入院・退院数）
- 4月末からゴールデンウイークの新入院・予約入院の前年度比較による新入院確保。
- 5月8日より有効病床数182床運用（HCU稼働病床数10床へ）
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023年6月6日（火）第262回
- 2023年5月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位20位前年同月比較と救急車お断り件数と詳細
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 5月初旬よりERで入室基準として「NEWSスコア」を使用開始

開催日：2023年7月4日（火）第263回
- 2023年6月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位20位前年同月比較と救急車お断り件数と詳細
- 救急車お断りについて、当院以外での搬送先提示の検討
- 在院患者維持のためDPC入院期間Ⅱの退院の協力依頼
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023年8月8日（火）第264回
- 2023年7月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位20位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- BenriWEBの有効病床数表示の検討（コロナ陽性患者発生により変動するため）
- コロナ陽性患者増加に伴い、3階病棟コロナ患者の一般病棟への転棟について
- 7月12日より191床運用
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023 年 9 月 5 日（火）第 265 回

- 2023 年 8 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- 2023 年 4 月～ 8 月 3 階病棟月別入退院数・病床利用率
- 月、火曜日に予約入院が集中ため、パス使用患者を日・月曜日の予約入院への検討
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023 年 10 月 10 日（火）第 266 回

- 2023 年 9 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- 2023 年 4 月～ 8 月 3 階病棟月別入退院数・病床利用率
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023 年 11 月 7 日（火）第 267 回

- 2023 年 10 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- 2023 年 4 月～ 8 月 3 階病棟月別入退院数・病床利用率
- 2023 年 4 月～ 10 月新入院数・在院患者数と平均在院日数・在院患者数入院単価推移
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 3 階病棟の利用について、当面はコロナ患者（8 床）と一般患者で利用。今後は 3 階病棟の有効利用を考慮し病床利用を検討

開催日：2023 年 12 月 5 日（火）第 268 回

- 2023 年 11 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 「NEWS スコア」についての概要説明と現在の利用状況

開催日：2024 年 1 月 9 日（火）第 269 回

- 2023 年 12 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- 予約入院が火曜日に集中するため、週明けの退院に協力依頼
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024 年 2 月 6 日（火）第 270 回

- 2024 年 1 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- 火曜日に予約入院が集中に伴い、病床が逼迫しお断りも増加傾向のため退院の推奨依頼
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024 年 3 月 6 日（火）第 271 回

- 2024 年 2 月病床状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- 入院オーダー指示漏れ、入院キャンセルのオーダー取消漏れが無いよう協力依頼

- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 2 月 3 日より HCU12 床運用開始

開催日：2024 年 4 月 9 日（火）第 272 回

- 2024 年 3 月病床状況報告（※同様）
- 救急搬送疾患別上位 20 位前年同月比較と救急車お断り件数と未搬入の搬送先詳細
- 緊急入院受入れのための迅速な退院指示の依頼
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 6 月の診療報報酬改定による HCU 加算算定についての今後の検討
- クループウエアに当日の目標と累計の目標入院数を表示開始

■ 2023 年度曜日別新入院・退院・在院　※コロナの影響により有効利用病床数の変動あり

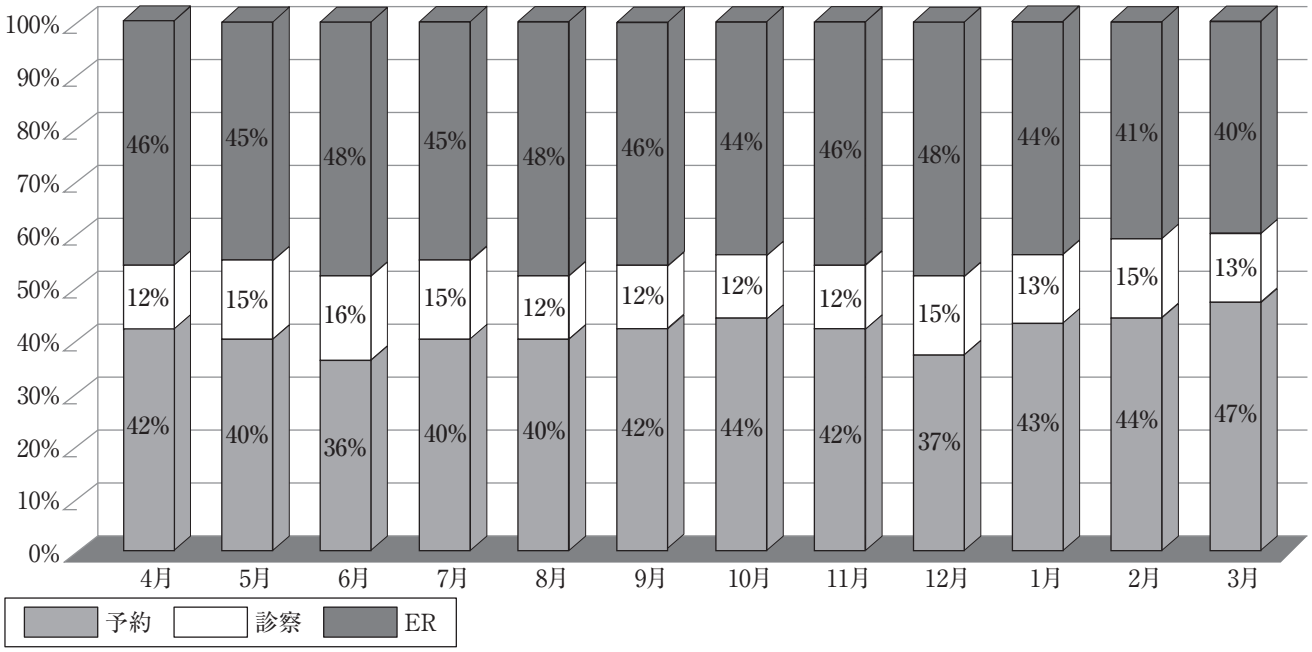
	日	月	火	水	木	金	土	総 計
入　院	385	1,054	1,167	851	821	715	584	5,577
退　院	258	626	850	978	939	836	1,087	5,574
在院延べ数	8,500	8,774	9,091	8,964	8,846	8,725	8,373	61,273
曜　日	53	52	52	52	52	52	53	366

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
予約	180	182	176	206	203	181	211	197	175	185	191	229	2,316
診察	52	67	79	76	60	51	55	58	72	54	66	61	751
ER	196	205	232	228	241	201	211	213	224	189	176	194	2,510
合計	428	454	487	510	504	433	477	468	471	428	433	484	5,577

■ 2023 年度 月別入院経路別構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予 約	42%	40%	36%	40%	40%	42%	44%	42%	37%	43%	44%	47%
診 察	12%	15%	16%	15%	12%	12%	12%	12%	15%	13%	15%	13%
E R	46%	45%	48%	45%	48%	46%	44%	46%	48%	44%	41%	40%

A：予約……予約入院
B：診察……外来診察後即日入院
C：ＥＲ……ＥＲ診察後即日入院
※診察・ＥＲ・予約のそれぞれに紹介を含む



(14)地域医療支援病院運営委員会

当院は2008年11月21日付けで大阪府より地域医療支援病院に承認され、承認後はかかりつけ医師・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬局等からの要請に適切に対応し、地域医療の確保に必要な支援等を行うことが求められる。また、規定に挙げた8項（下記参照）の目的達成のため、業務の遂行状況を審議し、当院管理者へ意見を述べ地域医療支援病院として適切な運営を行うことを目的として設置された。

(1) 施設・設備の共同利用の実施
(2) 救急医療の提供
(3) 地域の医療従事者に対する研修の実施
(4) 諸記録の管理
(5) 諸記録の閲覧
(6) 紹介患者に対する医療提供
(7) 患者に対する相談体制
(8) その他

委員名簿

〈外部委員〉

委　員	所　属	役　職	氏　名
外部委員	高槻市医師会	理事	島津 保生
外部委員	高槻市歯科医師会	相談役	美濃 律
外部委員	高槻市薬剤師会	名誉会長	松尾 浩
外部委員	高槻市保健所	所長	森定 一稔
外部委員	高槻市消防本部	救急課長	津田 裕士
外部委員	茨木市医師会	理事	中島 周三
外部委員	摂津市医師会	理事	馬場 義親
外部委員	高槻警察署	警備課長	濱村 克巳
外部委員	茨木市消防署	救急救助課長	倉橋 亘
外部委員	茨木保健所	所長	永井 仁美

〈院内委員〉

委　員	所　属	役　職	氏　名
院内委員	北摂総合病院	理事長	木野 昌也
院内委員	北摂総合病院	病院長	小林 一朗
院内委員	北摂総合病院	病院長代理	植田 直樹
院内委員	北摂総合病院	副院長	森井 功
院内委員	北摂総合病院	病院長補佐･看護部長	田尻 愛子
院内委員	北摂総合病院	病院長補佐･事務局長	坂部 博志
院内委員	北摂総合病院	副事務局長	筒水 貴弘
事務局	北摂総合病院	経営企画室 室長	池田 健士
事務局	北摂総合病院	経営企画室 室長	奥田 利典

活動内容

開催日

□令和 5 年 7 月 13 日（木） 14：00 ～ 15：00

議案

議題 1　地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績の年度推移について

議題 2　紹介患者数実績の年度推移について

議題 3　2022 年度の地域研修実績について

議題 4　2019 ～ 2022 年度の救急応需状況について

議題 5　2019 ～ 2022 年度の他医療機関への救急転送目的の救急車利用について

議題 6　その他

開催日

□令和 5 年 10 月 12 日（木） 14：00 ～ 15：00

議案

議題 1　2023 年度 7 ～ 9 月　地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績報告

議題 2　2023 年度 7 ～ 9 月　紹介患者数実績報告について

議題 3　2023 年度 7 ～ 9 月　地域研修実績について

議題 4　2023 年度 7 ～ 9 月　救急応需状況について

議題 5　2023 年度 7 ～ 9 月　他医療機関への救急転送目的の救急車利用について

議題 6　その他　（前回委員会で高槻警察濱村委員より協力要請があった特殊詐欺対策啓発への協力依頼対応について、事務局より報告）

開催日

□令和 6 年 1 月 11 日（木） 14：00 ～ 15：00

議案

議題 1　2023 年度 10 ～ 12 月　地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績報告

議題 2　2023 年度 10 ～ 12 月　紹介患者数実績報告について

議題 3　2023 年度 10 ～ 12 月　地域研修実績について

議題 4　2023 年度 10 ～ 12 月　救急応需状況について

議題 5　2023 年度 10 ～ 12 月　他医療機関への救急転送目的の救急車利用について

議題 6　その他

開催日

□令和 6 年 3 月 14 日（木） 14：00 ～ 15：00

議案

議題 1　2023 年度 1 ～ 2 月　地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績報告

議題 2　2023 年度 1 ～ 2 月　紹介患者数実績報告について

議題 3　2023 年度 1 ～ 2 月　地域研修実績について

議題 4　2023 年度 1 ～ 2 月　救急応需状況について

議題 5　2023 年度 1 ～ 2 月　他医療機関への救急転送目的の救急車利用について

議題 6　その他　次年度からの議長選出方法について

（15）がん治療・化学療法委員会、緩和ケア委員会及びレジメン管理委員会

本委員会は、がん治療及び化学療法に関する事項を専門的に評価・検討し、レジメンの審査等を含め、当院における集学的ながん治療の促進・質向上を図ると共に、医療の質向上を目的に設置された。

開催日

□毎月第 4 金曜日　16：30 ～

委員名簿

□佐野村（委員長）・西谷（副委員長）・京林・増井・小川・大塚・新井・北平・管・永井・岸本・森・松谷・仁熊・野口・野口・毛利・岡本・山﨑・大西・草留・金澤（事務局）

活動・検討内容等

□緩和ケア回診の報告
□外来がん化学療法について
□がん診療推進室より
□がん相談支援センターにて
　センターの院内周知　リーフレット作製　パンフレット配布
□オピオイド適正管理について
□レスキュー自己管理について
□オキシコドン内服液の外来診療のみで新規採用
□医師からの診断結果や病状の説明時及び治療方針の決定時等の看護師同席の義務化
□がん患者カンファレンスの定着化
□全医療従事者による院内がん患者の苦痛の把握と緩和ケアの提供
□医療用麻薬使用時の指導の統一
□医療用麻薬製剤の外来レスキュー使用について
□大阪府がん診療連携拠点病院更新に向けて
□苦痛スクリーニングの評価
□北摂がんフォーラムについて
□レジメン管理委員会　新規レジメンついて

■北摂総合病院緩和ケア研修会

開　催　日：2024 年 1 月 21 日（日）
参 加 人 数：6 名（医師）・10 名（医師以外）
集合研修主催責任者：小林 一朗 病院長
集合研修企画責任者：緩和ケアセンター長 佐野村 誠 先生
集合研修協力者：大阪医科薬科大学病院 緩和ケアセンター 浅石 健 先生
　　大阪医科薬科大学病院 精神神経科 木下 真也 先生
　　緩和ケア副センター長 西谷 仁 先生
　　緩和ケアセンター 松尾 奈々子 先生

入退院支援 看護師 野口 忍
緩和ケア副センター長 京林 裕美
がん相談支援センター 大西 悠里
集合研修事務担当 経営企画室 池田 健士
経営企画室 奥田 利典
病院サービス課 草留 絵美

■北摂血液連携セミナー
開 催 日 時：2023 年 4 月 12 日 18：30 ～ 19：30
多目的ホール・WEB 配信（ZOOM Webinar）
【総合司会】佐野村 誠 先生 北摂総合病院 病院長補佐
【OpeningRemarks】山下 浩平 先生 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 准教授
【特別講演】高折 晃史 先生 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授
「血液疾患におけるゲノム医療」

■北摂がんフォーラム
開 催 日 時：2023 年 9 月 29 日（金） 17：00 ～
開 会 の 辞：佐野村 誠
演題 1「当院のがんリハビリテーションについて」
リハビリテーション科：理学療法士 野口 晃一
演題 2「病院で実践するがん患者等の社会的な問題への支援～就労支援を中心に～」
地域医療連携室：医療ソーシャルワーカー 大西 悠里
演題 3「がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に対する基本的な考え方」
看　護　部：がん性疼痛看護認定看護師 京林 裕美

■北摂総合病院がんサロン
開 催 日 時：2023 年 9 月 9 日（土） 14：00 ～
開 催 日 時：2024 年 3 月 23 日（土） 14：00 ～

■大阪医大合同がんサロン
開　催　日：2024 年 1 月 20 日（土）
開 催 場 所：大阪医科薬科大学病院

■がん治療と仕事の両立支援講演会
開 催 日 時：2024 年 2 月 3 日（土）14：00 ～ 15：15
第 1 部：【病院で相談できるお金のこと・暮らしの事】
北摂総合病院 がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー 大西 悠里

■第 29 回 三島圏域がん研究会

開　催　日：2023 年 05 月 18 日（木）
方　　法：WEB 配信（ZOOM ウェビナー）
対　　象：医療従事者（医師、薬剤師、看護師、栄養士など）
当番世話人 高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生
開会挨拶（18：30 ～ 18：35）
高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生
Session 1 基調講演（18:35 ～ 19：05）
座　　長：第一東和会病院 副院長 / 内視鏡外科センター長 佐藤 功 先生
「がん患者の呼吸器症状に対する 当院 緩和ケア病棟におけるケアの実際」
高槻赤十字病院 看護部 がん性疼痛看護認定師 髙塚 恵民 先生
「骨転移の疼痛コントロールについて～チーム取り組みを含め」
大阪医科薬科大学病院 薬剤部 森谷 直子 先生
Session 2 特別講演（19：05 ～ 20：05）
座　　長：高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生
「がん患者の呼吸器症状へ対応～ 現在のエビデンス今後課題～」
演　　者：神戸大学医学部附属病院 緩和支持治療科 特命教授 山口 崇 先生
閉会の挨拶（20：05 ～ 20：10）
大阪医科薬科大学病院 がん医療総合医療センター 副センター長 後藤 昌弘 先生

■第 30 回 三島圏域がん研究会

開　催　日：2023 年 09 月 21 日（木）18：30 ～ 20：10
方　　法：ZOOM ウェビナー
対　　象：医療従事者（医師、看護師、薬剤師、MSW、理学療法士など）
当番世話人 大阪医科薬科大学病院 後藤 昌弘 先生
開会挨拶（18：30 ～ 18：35）大阪医科大学付属病院 後藤 昌弘 先生
Session 1 一般演題（18：35 ～ 19：05）［テーマ：irAE］
座　　長：高槻病院 船田 泰弘 先生
「当院における irAE の現状 」
大阪医科薬科大学病院 薬剤部 主任 がん専門薬剤師 細見 誠 先生
Session 2 特別講演（19：05 ～ 20：05）［テーマ：食道癌薬物療法］
座　　長：大阪医科薬科大学病院 後藤 昌弘 先生
「食道癌に対する新しい薬物療法 ～実臨床からみえてきたこと～ 」
国立がん研究センター中央病院 頭頸部・食道内科 科長 / 消化管内科 科長 加藤 健 先生
閉会挨拶（20：05 ～ 20：10）
第一東和会病院 佐藤 功 先生

■第 31 回 三島圏域がん研究会

開　催　日：2024 年 01 月 25 日（木）18：30 ～ 20：10

方　　法：ZOOM ウェビナー

対　　象：医療従事者（医師、看護師、薬剤師、MSW、理学療法士など）

当番世話人 第一東和会病院 副院長 / 内視鏡外科センター長 佐藤 功 先生

開会挨拶（18：30 ～ 18：35）第一東和会病院 副院長 / 内視鏡外科センター長 佐藤 功 先生

Session 1 一般演題（18：35 ～ 19：05）［テーマ：irAE］

座　　長 : 高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生

「化学療法による皮膚障害に対するケア 」

高槻赤十字病院 看護部 諏訪 亜希子 先生

「抗がん剤曝露対策～ CSTD と DARWIN　Chemo ～」

大阪医科薬科大学病院 薬剤部 坂井 紀水 先生

Session 2 特別講演（19：05 ～ 20：05）

座　　長：第一東和会病院 副院長 / 内視鏡外科センター長 佐藤 功 先生

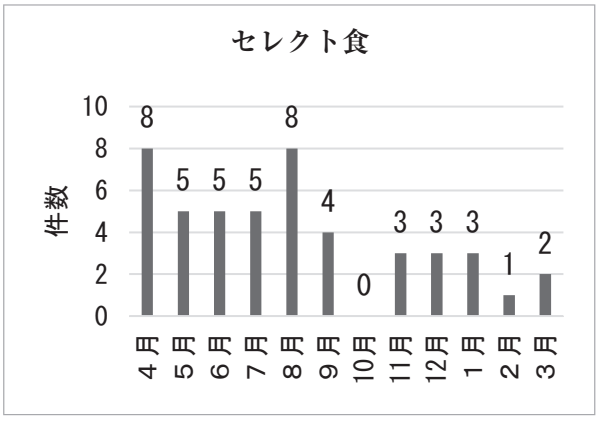
「神経内分泌腫瘍の診断と治療 ～これから始まる新たな癌治療 Theranostics ～ 」

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 学内講師 重川 稔 先生

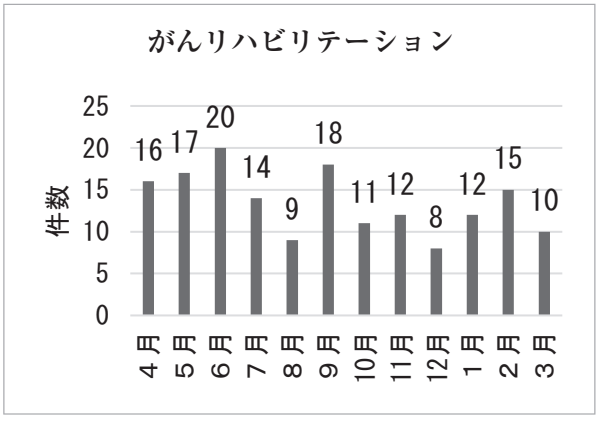
閉会挨拶（20：05 ～ 20：10）

愛仁会 高槻病院 統括主任部長 船田 泰弘 先生

【セレクト食】



【がんリハビリテーション】

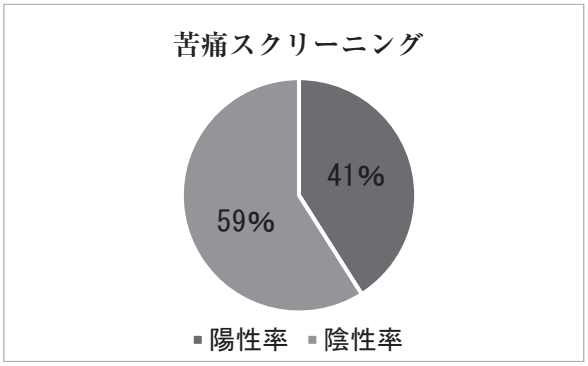


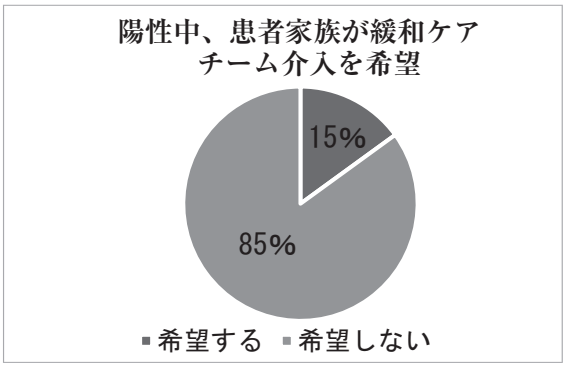
【連携充実加算】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	52	45	51	47	45	45	43	40	39	39	40	43

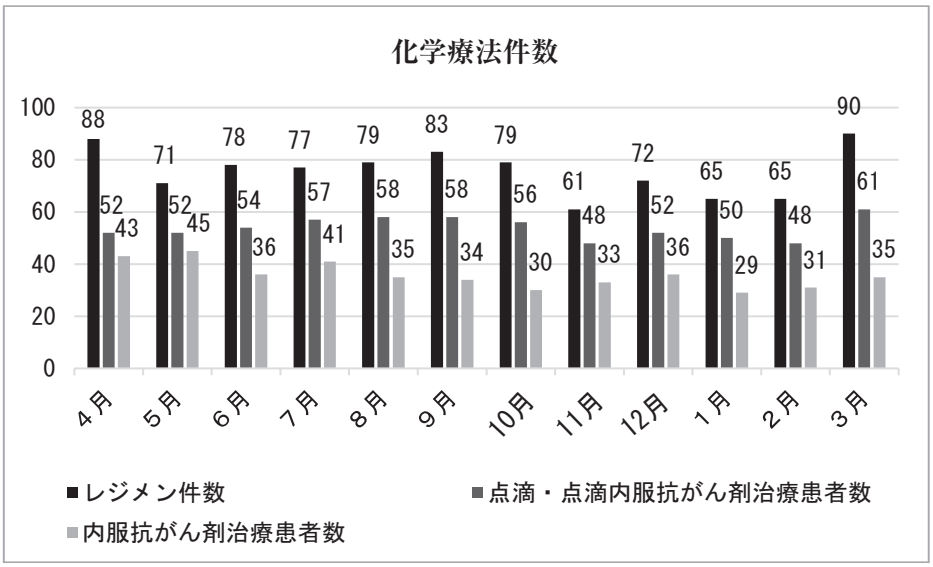
【緩和ケアチーム新規介入】：95 名

【苦痛スクリーニング】：700 件　入院：540 件、外来：160 件





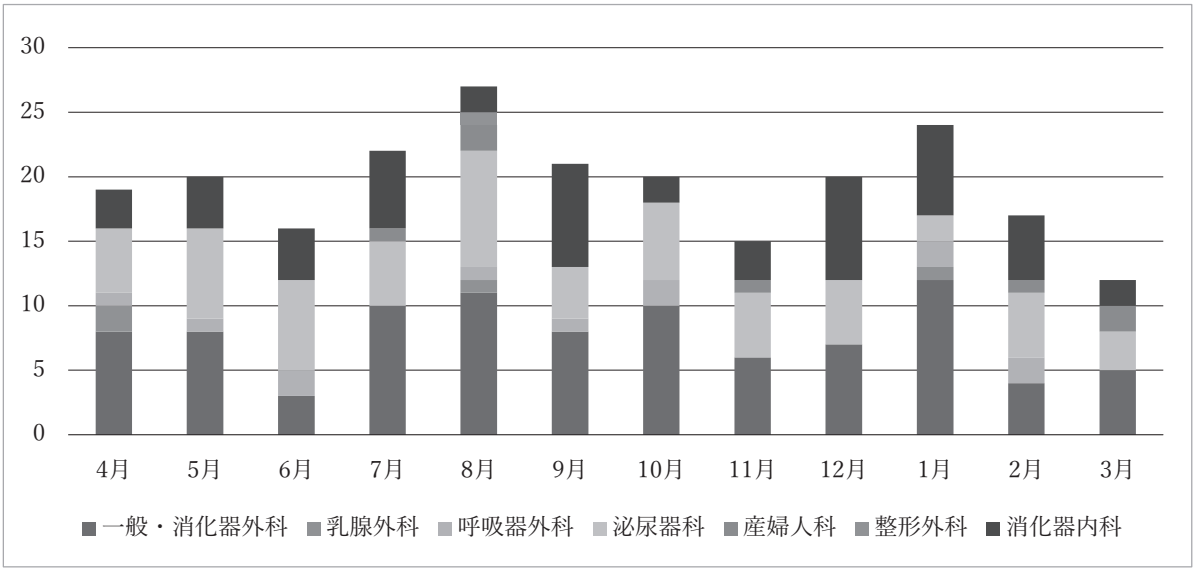
【化学療法】化学療法レジメン件数



のべ人数

- レジメン件数：908 人
- 点滴・内服併用：646 人
- 内服単剤治療：428 人

【手術】がん治療手術件数



（16）診療録管理（監査）委員会

1. 委員会メンバー

委 員 長：諏訪 道博
副委員長：奥村 友子
事 務 局：黒岩 正司
委　　員：柏原 真須美、松本 恵子、金谷 悠里

2. 定期開催日時

毎月第1木曜　15:30 ～

3. 活動内容

□診療記録内容の適切性
□入院診療記録量的監査
□入院診療記録質的監査
□診療・看護記録記載の負担軽減・効率化

4. 活動実績

医療情報課が主となり全退院患者に対して診療録量的監査業務（入院診療計画書、病名、手術記録、退院サマリ、追認、退院サマリ）を行った。また当委員会にて、主に医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリテーションの記録に対して診療録質的監査を実施した。コンプライアンスの徹底を図るため、不備のある診療録は該当職種に修正依頼を行い、開示に耐えうる診療録を目指した。

第150回（令和5年5月11日）：4月詳細不明コード発生率：6.89%
：4月診療録開示状況：3件
：カルテ質的監査：4名
第151回（令和5年6月1日）：5月詳細不明コード発生率：5.98%
：5月診療録開示状況：0件
：カルテ質的監査：2名
第152回（令和5年7月6日）：6月詳細不明コード発生率：8.12%
：6月診療録開示状況：7件
：カルテ質的監査：0名
第153回（令和5年8月3日）：7月詳細不明コード発生率：9.22%
：7月診療録開示状況：3件
：カルテ質的監査：4名
第154回（令和5年9月7日）：8月詳細不明コード発生率：7.55%
：8月診療録開示状況：6件
：カルテ質的監査：4名
第155回（令和5年10月5日）：9月詳細不明コード発生率：7.73%
：9月診療録開示状況：1件

：カルテ質的監査：4 名

第 156 回（令和 5 年 11 月 2 日）：10 月詳細不明コード発生率：6.59%
：10 月診療録開示状況：8 件
：カルテ質的監査：4 名

第 157 回（令和 5 年 12 月 7 日）：11 月詳細不明コード発生率：8.43%
：11 月診療録開示状況：2 件
：カルテ質的監査：4 名

第 158 回（令和 6 年 2 月 1 日）：12 月詳細不明コード発生率：7.76%
：1 月診療録開示状況：5 件
：カルテ質的監査：8 名

第 159 回（令和 6 年 3 月 7 日）：1 月詳細不明コード発生率：4.66%
：2 月診療録開示状況：3 件
：カルテ質的監査：4 名

- 2023 年度詳細不明コード発生率：7.2%
- 2023 年度開示状況：45 件
- 2023 年度カルテ質的監査：38 名

（17）診療報酬適正化委員会

当院が提供する医療・看護をはじめ、病院サービスのほぼ全ての対価は厚生労働省が定める診療報酬制度に則り請求されている。従って、診療報酬請求の適正化に努めることは、提供する病院サービスの適切な対価を確保することであり、同時にコンプライアンスの徹底を図ることでもある。加えて、2008 年 4 月の DPC 対象病院への移行後は、DPC コーディングの適切性を院内で精査・監査することも求められている。これらの背景を踏まえ、2008 年度より委員会を設置、診療報酬減点・過誤・返戻の評価・検討、および DPC コーディングの精査・監査を継続的・組織的に行い、当院における診療報酬請求の適切性を確保・維持する目的で活動を行っている。

【委員会の構成】

委 員 長　　医師
委　　員　　看護師
　　薬剤師
　　事務局職員

委員会での主な検討事項

- 当月・過誤減点および返戻状況の報告、対策の立案・実行
- DPC 制度の正しい理解と周知方法の検討
- 適切なコーディング、DPC 請求のための事例検討
- 当委員会で報告した内容を診療部長会へフィードバック

■第 69 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 4 月 14 日（金）15:00 ～ 15:30
議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（アルコール性肝硬変・門脈塞栓症）
議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（急呼呼吸不全・敗血症性ショック）
議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（急性腎障害・腎後性腎不全・末期腎不全）
議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（心房粗動・冠状動脈狭窄症）

■第 70 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 5 月 12 日（金）15:00 ～ 15:30
議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（レビー小体型認知症・誤嚥性肺炎）
議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（低ナトリウム血症・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群）
議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（胆嚢結石症・胆石性急性胆嚢炎）
議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（慢性心不全・胸水貯留・自然気胸）
議題 5 ：適切なコーディングに関する検討（貧血・大腸癌疑い・十二指腸炎・消化管出血・小腸出血）

■第 71 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 6 月 9 日（金）15:00 ～ 15:30
議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（単径ヘルニア・小腸壊死・小腸穿孔）

議題２：適切なコーディングに関する検討（上部消化管出血・CD 腸炎）
議題３：適切なコーディングに関する検討（尿路感染症・グラム陽性球菌感染症・菌血症）
議題４：適切なコーディングに関する検討（カテーテル感染症・ぶどう球菌感染症）

■第 72 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和５年７月 14 日（金）15:00 ～ 15:30
議題１：適切なコーディングに関する検討（尿管結石・尿路感染症）
議題２：適切なコーディングに関する検討（胃癌術後・大腸ポリープ）
議題３：適切なコーディングに関する検討（心不全・MRSA 肺炎）
議題４：適切なコーディングに関する検討（急性下壁心筋梗塞・冠攣縮性狭心症）
議題５：適切なコーディングに関する検討（気管支肺炎・肺炎球菌感染症・急性咽頭炎）

■第 73 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和５年８月 18 日（金）15:00 ～ 15:30
議題１：適切なコーディングに関する検討（腎盂腎炎・てんかん重責状態）
議題２：適切なコーディングに関する検討（細菌性腸炎・敗血症）
議題３：適切なコーディングに関する検討（嘔吐症）
議題４：適切なコーディングに関する検討（多発性肝のう胞）
議題５：適切なコーディングに関する検討（精索水腫・精索腫瘍・精索腫瘤）

■第 74 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和５年９月８日（金）15:00 ～ 15:30
議題１：適切なコーディングに関する検討（上行結腸癌・イレウス）
議題２：適切なコーディングに関する検討（肝膿瘍・多発性肝血管腫）
議題３：適切なコーディングに関する検討（心不全・貧血・糖尿病）
議題４：適切なコーディングに関する検討（心筋梗塞疑い・急性腎障害）
議題５：適切なコーディングに関する疑問点（貧血・間質性肺炎）
　　※部位不明・詳細不明コードについて

■第 75 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和５年 10 月 13 日（金）15:00 ～ 15:30
議題１：適切なコーディングに関する検討（恥骨骨折・関節リウマチ性間質肺炎）
議題２：適切なコーディングに関する検討（うつ病・急性腎障害・高 Na 血症）
議題 3-1：適切なコーディングに関する検討（慢性腎不全・腎前性腎不全）
議題 3-2：適切なコーディングに関する検討（慢性腎不全・腎前性腎不全）
　　※「慢性腎不全」「急性腎前性腎不全」のコーディングに関する疑問
議題４：適切なコーディングに関する検討（慢性心不全・低アルブミン血症・廃用症候群）
議題５：適切なコーディングに関する検討（心筋梗塞･びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫･急性腎不全）

■第 76 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 11 月 10 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（乳癌・癌性リンパ管症）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（膵癌・胸水貯留）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（直腸癌・大腸ポリープ）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（腰椎化膿性椎間板炎・慢性骨髄性白血病）

議題 5-1：適切なコーディングに関する検討（S 状結腸憩室炎・膿瘍性 S 状結腸憩室）

議題 5-2：適切なコーディングに関する検討（上行結腸憩室炎・上行結腸憩室穿孔）

※「結腸憩室炎」と「膿瘍性結腸憩室、結腸憩室穿孔」の DPC の違いについて

■第 77 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 12 月 8 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（低カリウム血症・脱水症・電解質異常）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（洞不全症候群・門脈血栓症）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（誤嚥性肺炎・誤嚥性気管支炎）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（気腫性膀胱炎・複雑性尿路感染症）

議題 5 ：適切なコーディングに関する検討（結核性腹膜炎の疑い・癌性腹膜炎）

■第 78 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 6 年 1 月 12 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（肝硬変・肝障害・肝性脳症）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（肺癌・薬剤性間質性肺炎）

議題 3-1：適切なコーディングに関する検討（インフルエンザ・気管支肺炎）

議題 3-2：適切なコーディングに関する検討（インフルエンザ・脱水症・横紋筋融解）

※インフルエンザの DPC について

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（胃瘻抜去）

議題 5 ：適切なコーディングに関する検討（慢性心不全・深部静脈血栓症）

■第 79 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 6 年 2 月 9 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（貧血・関節リウマチ・特発性好中球減少症疑い）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（腰腹痛・便秘症）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（溶連菌感染急性扁桃腺炎 ・急性口蓋扁桃腺炎 ・連鎖球菌性扁桃炎）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（末梢循環不全・脱水症・電解質異常・低栄養）

議題 5 ：適切なコーディングに関する検討（C 型肝硬変・食道静脈瘤・肝性脳症・糖尿病）

■第 80 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 6 年 3 月 8 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（腹部膨満感・上腹部痛・大腸癌疑い）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（内ヘルニア・絞扼性イレウス）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（デュラフォイ潰瘍・菌血症・化膿性椎間板炎）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（大動脈弁狭窄症・僧帽弁狭窄症・肺高血圧症）

議題 5 ：適切なコーディングに関する検討（脱水症･心内血栓症･心室頻拍･慢性心不全･化膿性脊椎炎）

(18)栄養委員会

〈目的〉

本委員会は、入院治療の一端を担う病院食について、特に栄養管理など治療の観点から、その適切性について検討し、治療効果及び患者様の満足度向上を図る。またNST活動を通じて低栄養患者を抽出し栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施しQOL向上に努める。

〈メンバー〉

委員長	糖尿病・内分泌内科	竹内
副委員長	一般・消化器外科	川﨑
	栄養科	岡本
	栄養科全員：管理栄養士	（山崎、狩野、山本、小林、米満）
	ICU病棟	下垣内、森、青山
	3病棟	中田
	4病棟	高井、岡
	5病棟	荒金、齋藤
	6病棟	有田、納富
	7病棟	竹ノ内、佐藤、初田、横峰
	リハビリ	小栗山、福田
	薬剤師	森、葭中、洪
	臨床検査技師	坂本
	医療ソーシャルワーカー	井町
	医事	上山
	調理師	山口、山岡

〈定例委員会〉

第2月曜日	15：00～（多目的ホール）
NSTカンファレンス・回診	毎週金曜日　15：00～

〈開催日〉

●第1回　令和5年4月10日

1. 3月嗜好調査集計報告
2. 令和5年度栄養委員会概要
3. NST回診実績
4. 退院時栄養サマリー作成実績
5. 令和5年度年間計画
6. 栄養委員会ファイル変更（組織表）
7. DPCについて
8. 給食管理システム変更について
9. ジョア・ヤクルト廃止

●第 2 回　　令和 5 年 5 月 8 日

1. 4 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. DPC について
6. 給食管理システム変更について
7. 栄養委員会内ミニ勉強会について
8. 機能評価について

●第 3 回　　令和 5 年 6 月 12 日

1. 5 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. ミニ勉強会スケジュール配布
6. BCP 対応について
7. 給食管理ソフト変更について
8. 免疫賦活栄養剤廃止について
9. 学生受け入れ（7/3 ～ 7/15 甲南女子大学）

●第 4 回　　令和 5 年 7 月 10 日

1. 6 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. ミニ勉強会（4F）
6. BCP 対応について
7. 給食管理ソフト変更について

●第 5 回　　令和 5 年 8 月 14 日

1. 7 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. ミニ勉強会（ICU・3F）
6. 給食管理ソフト変更について

●第 6 回　　令和 5 年 9 月 11 日

1. 8 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. ミニ勉強会（リハ科・医事）
6. 選択食廃止について
7. 給食管理ソフト変更について
8. 学生受け入れ（9/4 ～ 9/16 梅花女子大学）

●第 7 回　　令和 5 年 10 月 16 日

1. 9 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. ミニ勉強会（7F・調理科）
6. 保健所監査について
7. 栄養調理科から

●第 8 回　　令和 5 年 11 月 13 日

1. 10 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. ミニ勉強会（5F・6F・検査科）
6. 保健所監査報告について
7. 栄養調理科から

●第 9 回　　令和 5 年 12 月 11 日

1. 11 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 手作り栄養剤について
6. 栄養調理科より
7. 1 月の栄養委員会中止について
8. 診療科担当制メンバー変更について
9. 栄養委員会主催勉強会について

10. 栄養管理計画書内容の変更について

●第 10 回　令和 6 年 1 月 15 日※中止

●第 11 回　令和 6 年 2 月 19 日

1. 12・1 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 栄養委員会主催勉強会アンケートについて
6. 診療担当制変更について
7. 実習生受け入れについて

●第 12 回　令和 6 年 3 月 11 日

1. 2 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 手作り栄養剤について
6. 診療報酬改定について
7. 来年度の栄養委員会について

〈学会・講演会など〉

● 2023 年 8 月 26 日（土）

甲子園大学　臨床栄養療法コース

「急性期病院の管理栄養士はどんな仕事をしているの？」口演

演者：小林 佑輝

● 2023 年 9 月 9 日（土）

第 2 回北摂がん患者・家族サロン

「食事のお話」口演

演者：岡本 大尚

● 2023 年 9 月 21 日（木）

第 43 回なにわ NST 倶楽部（NNC）

「消化態栄養剤のメリットと半消化態栄養剤への切り替えのタイミングについて」口演

演者：岡本 大尚

● 2023 年 10 月 8 日（日）
第 22 回大阪病院学会
「食欲不振患者のより良い栄養管理への取り組み」口演
演者：小林 佑輝

● 2023 年 10 月 14 日（土）
日本がんチーム医療研究会　第 32 回研究集会
「当院での化学療法患者に対するセレクト食の評価」口演
演者：小林 佑輝

● 2024 年 3 月 2 日（土）
栄養セミナー（ZOOM 講演）
「当院における周術期の栄養管理に対する取り組み」口演
演者：山本 修平

● 2024 年 3 月 9 日（土）
第 27 回大阪府栄養士会研究発表会
「当院での化学療法患者に対するセレクト食の評価」口演
演者：小林 佑輝

● 2024 年 3 月 23 日（土）
第 14 回南大阪・紀北 NST 研究会
「打ち合わせのない症例検討会」パネリスト
演者：小林 佑輝

・講義
● 2023 年 10 月～ 2023 年 12 月　計 9 講義
高槻市医師会看護学校　准看護学科 2 年生
講師：岡本 大尚

● 2024 年 1 月～ 2024 年 3 月　計 7 講義
高槻市医師会看護学校　准看護学科 1 年生
講師：狩野 慎太郎

・取材・執筆など
●ニュートリションケア第 16 巻 11 号
株式会社メディカ出版
テーマ「常食から治療食へのアレンジがわかる。献立展開の工夫」項目④
執筆：岡本 大尚

・資格

●心臓リハビリテーション指導士（日本心臓リハビリテーション学会）

取得者：狩野 慎太郎

・派遣

●令和6年能登半島地震（2/17～2/21）

派遣者：小林 佑輝

・実習生受け入れ

甲南女子大学　2名
梅花女子大学　2名
青山大学　　2名

（19）診療材料委員会

〈目的〉

診療材料の標準化・共有を図る

〈開催日〉

第 3 水曜日　16:30 ～（特別会議室）

〈2023 年度　診療材料委員会メンバー構成〉

【診療部】	救急診療科	森井副院長（委員長）
	整形外科	劉病院長補佐（副委員長）
【看護部】		西村看護副部長
	外来フロア	中道看護師長
	中央手術センター	古川看護師長
【診療技術部】	臨床工学科	西村科長
	放射線科	上山主任
	臨床検査科	在間検査技士
【事務局】	病院サービス課	古鉄主任
	資材器財課	吉本事務局員
	資材器財課	古賀事務局員

〈随時〉

新規・サンプル・緊急採用診療材料申請者

●第 140 回診療材料委員会　令和 5 年 4 月 19 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	眼科	丸山医長	アクリソフマルチピース/マルチピースナチュラル（眼内レンズ）
2	資材器財課	吉本事務局員	ニプロ社　輸液セット　1式
3	資材器財課	吉本事務局員	フットクリーン（防滑タイプ印刷）

●第 141 回診療材料委員会　令和 5 年 5 月 17 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	感染防止対策室	馬場副室長	ウェルパスフォームZERO　360ml（手指消毒）

●第 142 回診療材料委員会　令和 5 年 6 月 21 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	メディキット　スーパーシース（心臓用カテーテルイントロデュースキット）
2	中央手術センター	古川看護師長	キープシルク　No50（伸縮性テープ）
3	外来フロア	市川看護係長	グロウジェクターL（ワクチン用注入器）
4	臨床検査科	齊藤係長	Droppers　10ml　vials（輸血検査用ドロッパー）
5	臨床検査科	齊藤係長	ACUR30　6KG（恒温槽循環液）

●第 143 回診療材料委員会　令和 5 年 7 月 19 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	外来フロア	市川看護係長	グロウジェクターL（ワクチン用注入器）
2	医療安全対策室	松江看護師長	延長チューブ（クレンメ無）
3	感染防止対策室	馬場看護師長	潤滑ゼリー（潤滑剤）

●第 144 回診療材料委員会　令和 5 年 8 月 16 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	Amvi Sky（植込み型ペースメーカー）
2	臨床工学科	山出係長	シースイントロデューサー（血液造影用シースイントロデューサー）
3	中央手術センター	古川看護師長	ノバジル　ラテックス・フリー（血栓除去カテーテル）
4	臨床検査科	室主任	ルシカ GA R1（グリコアルブミン測定試薬）
5	外来フロア	松山看護係長	Credo コーンカッター　M4 FOT-13-0001（角質除去用コーンカッター）
6	外来フロア	松山看護係長	Credo コーンカッター替刃（角質除去用替刃）

●第 145 回診療材料委員会　令和 5 年 9 月 20 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	iDevice Javalla JVM（人工呼吸器用マスク）
2	臨床検査科	大貫主任	Xpert　MRSA/SA　BC（体外診断用試薬）
3	小児科	水谷先生	テガダームI.V.コンフォート（フィルムドレッシング）
4	業務委員会	長尾看護係長	トップ保護栓　Fタイプエアベント付（保護栓）

●第 146 回診療材料委員会　令和 5 年 10 月 18 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	iDevice Javalla JVM（人工呼吸器用マスク）
2	臨床検査科	大貫主任	Xpert　MRSA/SA　BC（対外診断用医薬品）
3	小児科	水谷先生	テガダームI.V.コンフォート　フィルムドレッシング（フィルム粘着剤）
4	業務委員会	長尾看護係長	トップ保護栓　Fタイプエアベント付（ルアーコネクター）
5	婦人科	田中医長	SANDマニピュレーターラージタイプ　29110820（子宮操作セット）
6	ICU・救急フロア	奥村看護師長	ベーテルF 500ml（清拭・洗浄料）
7	中央手術センター	古川看護師長	ラッププロテクター　FF1005S（創縁保護器具）

●第 147 回診療材料委員会　令和 5 年 11 月 15 日（水）

・サンプルのみ

●第 148 回診療材料委員会　令和 5 年 12 月 20 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	消化器内科	碕山医長	JETTLLY　Colomic stent（大腸用ステント）
2	リハビリテーション科	冨田科長	レジスティブエクササイズバンド（リハビリ用バンド）
3	中央手術センター	古川看護師長	スキンマーカー普通　定期付（手術用スキンマーカー）
4	臨床工学科	西村科長	プローブフィットワイド（体外表面用超音波プローブカバー）
5	臨床検査科	大貫主任	トリプトソイブロス（粉末培地）
6	臨床検査科	大貫主任	ラピッドテスタ　ストレップA（体外診断用医薬品）
7	臨床検査科	大貫主任	ヘモフィルス鑑別培地（寒天培地）

●第 149 回診療材料委員会　令和 6 年 1 月 17 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	中央手術センター	古川看護師長	キュットベルト（手術台抑制帯）
2	臨床検査科	齊藤係長	イムノエース　アデノ（アデノウイルス試薬）
3	放射線科	松元主任	Filder25　アングル（内視鏡ガイドワイヤー）
4	資材器財課	吉本事務局員	テーパーガードエバック気管チューブ（スタイレット付）

●第 150 回診療材料委員会　令和 6 年 2 月 21 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	資材器財課	吉本事務局員	材料切替え7品目(エプロン･マスク･清拭含む)

●第 151 回診療材料委員会　令和 6 年 3 月 27 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	放射線科	西垣主任	SAFEGUARD　カーフガード（圧迫止血）
2	臨床工学科	山出係長	PreludesSYNC　DISTAL　抹消橈骨動脈用　止血デバイス(右手･左手)
3	褥瘡防止対策室	門戸副室長	エセンタ被膜スプレー（被膜スプレー）
4	褥瘡防止対策室	門戸副室長	エセンタ剥離スプレー（剥離スプレー）
5	資材器財課	吉本事務局員	コンビキャップ　ホワイト（オス･メスルアー両用保護栓）

【報告事項】
○新規診療材料　　計47点
○試用申請材料　　計39点
○資材器財課提案材料　計10点

今後も診療材料委員会では、下記項目を考慮し、検討と承認を行います。
･医療の質を下げることなく、コンプライアンスを遵守した材料の採用
･コスト削減（削減の提案を強化）、業務改善（治療･検査時短等）
･物価高騰対策とし、資材器財課では6件／年のコスト削減案を提出する。
･採用診療材料の1増1減

(20)病院情報管理運営委員会

1．目　　的

病院情報システムを含む全ての情報の管理・運営、及び診療記録の適正な保管管理と活用促進を目的とする。

2．委員会メンバー

委 員 長　山口 茂（循環器科 医長）
副委員長　黒岩 正司（医療情報課 課長）
委　　員　結城 雅子（放射線科 部長）
小西 ゆかり（救急推進担当 看護師長）
松江 さつき（医療安全対策室　副室長）
米村 里美（臨床検査科 係長）
齊籐 潤（臨床検査科 係長）
西村 岳洋（臨床工学科 科長）
萩原 崇晴（放射線科 科長）
濱畑 耕造（放射線科 係長）
狩野 慎太郎（栄養科）
岩村 恭子（薬剤科 係長）
大森 尚樹（リハビリテーション科 係長）
満永 留奈（病院サービス課 医療秘書係）
事 務 局　溝手 亨（医療情報課員）

3．定例会議

毎月第３月曜日　15：00 ～ 15：30

4．主な活動実績

- 病院情報システム運用における課題検討と改善（システム改修・機能追加）
- 病院情報システム不具合事例の対策検討・改善
- 病院情報システム定期メンテナンス
- サイバー攻撃への注意喚起
- 院内便利ツール “BenriWEB” の機能追加等
- 全館停電点検による病院情報システム関連動作検証
- システム改修
- 2022 年度システム導入対応

（21）勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善委員会

本委員会は、勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善に関する事項を評価・検討し、多職種から役割分担を推進し勤務医及び看護職員の負担軽減を図ると共に業務を明確にさせることを目的に設置された。

開催日

□不定期

委員メンバー

委員長： 小林 一朗

委　員： 植田 直樹、永松 航、竹内 徹
坂部 博志、田尻 愛子、誉田 亨、萩原 崇晴
岩村 恭子、森 智沙、冨田 賢次
齊藤 潤、奥田 利典、三嶋 信二

事務局：草留 絵美

開催日：令和 5 年 12 月 16 日（土曜日）14：00 ～ 14：30

□勤務医・看護職員の勤務状況の把握等について

- 2023 年度 上期の医師・看護師の残業時間、有給消化等
- 2023 年度 医師労働時間短縮計画
  1. 労働時間数
  2. 労働時間短縮に向けた取り組み

□ 2023 年度 勤務医・看護職員の負担軽減及び処遇の改善に係る計画　評価

- 医師事務作業補助体制加算
- 地域医療体制確保加算
- 夜間看護体制加算

開催日：令和 6 年 3 月 30 日（土曜日）14：00 ～ 14：30

□勤務医・看護職員の勤務状況の把握等について

- 2023 年度 下期の医師・看護師の残業時間、有給消化等
- 2023 年度 医師労働時間短縮計画
  1. 労働時間数
  2. 労働時間短縮に向けた取り組み

□ 2024 年度 勤務医・看護職員の負担軽減及び処遇の改善に係る計画　作成

- 医師事務作業補助体制加算
- 地域医療体制確保加算
- 夜間看護体制加算

(22)FLS委員会

□目的

本委員会は二次性骨折予防に向けて、骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年度版に基づき、対象患者の特定・二次骨折リスクの評価・投薬を含む治療の開始・フォローアップと同時に、患者と医療従事者への教育と情報提供を実施することを目的に、2023 年 1 月にチーム立ち上げを行いました。他職種で連携し活動を実践することで、健康寿命の延伸に繋がるよう努めています。

□委員会構成メンバー

医　　師：劉 長萬　日本骨粗鬆症学会認定医
外来看護師：田中 理恵　骨粗鬆症マネージャー
病棟看護師：垣崎 英紀子　骨粗鬆症マネージャー
薬　剤　師：岩村 恭子
管理栄養士：山崎 真由美
リ ハ ビ リ：大森 尚樹
放射線技師：松元 良太
病院サービス課　外来：石井 麻美
病院サービス課　入院：殿内 法子
医療秘書課：久保田 絵理奈
医療情報課：黒岩 正司
経営企画室：池田 健士・奥田 利典

□開催日時

土曜日　16：00 ～（1 時間）　1 回 /2 ～ 3 ヶ月

□活動内容

- 大腿骨近位部骨折クリティカルパスの作成
- 年 1 回　施設内職員に対し、研修実施
- 地域のコミュニティセンターにて、健康教室開催
- 骨ドック導入の検討

□ 2023 年度二次性骨折予防継続管理料　及び緊急整復固定・緊急挿入加算実績

期間：2023 年 4 月～ 2024 年 3 月

名称	点数	件数	合計点数	合計診療報酬額
二次性骨折予防継続管理料1	1000	160	160,000	1,600,000
二次性骨折予防継続管理料3	500	343	171,500	1,715,000
緊急整復固定加算（骨折観血的手術）	4000	32	128,000	1,280,000
緊急挿入加算（人工骨頭挿入術）	4000	14	56,000	560,000

合計　¥5,155,000

37. 学会実績報告　各種学会・論文・講演会等実績

詳細は各部門を参照

日本病院学会

■第 73 回 日本病院学会　2023 年 9 月 21 日・22 日
宮城県仙台市　仙台国際センター

演題 / 発表者

訪問看護師による ACP の啓発への取り組み	原 典子（訪問看護ステーション）
肝炎ウイルス検査陽性患者全員に適切な対応がなされる体制確立	山村 佳子（臨床検査科）
紹介データを活用した地域連携活動	池田 健士（経営企画室）

大阪病院学会

■第 22 回 大阪病院学会　2023 年 10 月 8 日
大阪国際会議場

演題 / 発表者

コロナ禍での看取り	武本 凪沙（レディースフロア）
病棟看護師の職場ストレスの実態調査〜働きやすい職場環境を目指して〜	岸本 真奈（循環器センター）
夜勤前残業の変革	立花 悠（消化器センター）
院内救急救命士による搬送事例報告	楠田 岬生（救急推進担当）
食欲不振患者のより良い栄養管理への取り組み	小林 佑輝（栄養科）
肝炎ウイルス検査陽性患者全員へ適切な対応を	山村 佳子（臨床検査科）
職員の処遇改善取り組みについて	誉田 亨（人事課）
紹介データを活用した地域連携活動	池田 健士（経営企画室）
広報の活用によるブランディング戦略	奥田 利典※（経営企画室）

※経営企画室　奥田室長の発表が「病院管理」セッションにおいて優秀演題に選出されました。

38. 病院見学等受入実績

○2023年度　北摂総合病院病院見学受入等実績

年月日		病院名	所在地	見学目的等	見学人数
1	2023年8月17日	協仁会小松病院	大阪府	診療情報管理	3名
2	2024年3月6日	洛和会丸太町病院	京都府	地域医療連携	3名

39. 国際医学医療研修受入実績

今年度、受け入れなし。

40. 信条学習会

期	開催期間	開催数	参加人数				
				看護部	業務部	総務部	診療部
第1期 ～40期	1994年10月～2014年 3月	各期 全5回	1,103	691	266	130	16
				看護部	診療技術部	事務局	診療部
41期	2014年 5月～2014年 9月	全5回	24	11	7	6	－
42期	2014年11月～2015年 3月	全5回	18	12	1	5	－
43期	2015年 5月～2015年 9月	全5回	27	14	6	7	－
44期	2015年11月～2016年 3月	全5回	24	14	3	7	－
45期	2016年 5月～2016年 9月	全5回	36	21	7	8	－
46期	2016年 8月～2016年12月	全5回	19	14	2	3	－
47期	2016年12月～2017年 4月	全5回	18	14	1	3	－
48期	2017年 5月～2017年 9月	全5回	24	12	8	4	－
49期	2017年10月～2018年 2月	全5回	24	19	2	3	－
50期	2018年 5月～2018年 9月	全5回	36	20	4	12	－
51期	2018年10月～2019年 2月	全5回	23	16	1	6	－
52期	2019年 5月～2019年 9月	全5回	30	18	4	8	－
53期	2019年10月～2020年 2月	全5回	15	12	2	1	－
54期	2020年 7月～2020年 9月	全2回	27	15	5	7	－
55期	2020年 8月～2020年 9月	全2回	29	18	5	6	－
56期	2021年 8月～2021年 9月	全2回	18	11	4	3	－
57期	2021年 8月～2021年 9月	全2回	18	12	3	3	－
58期	2022年 7月～2022年 8月	全2回	11	8	3	0	－
59期	2022年 8月～2022年10月	全2回	35	20	7	8	－
60期	2023年 4月～2023年 5月	全2回	32	21	6	5	－
			1,591	993	582		16

※信条学習会は、仙養会の信条（幸せを築きます）実現のため、モラロジーの学問を通じて品性の完成・幸福への基盤づくりを行っています。

仙養会 信条

一、私達は医療奉公、医術の向上に努めます　【私達の大きな使命です】
一、私達は誠意と親切、責任を完うします　【日々の目標です】
一、私達は任務を通し、幸せを築きます　【私達の念願です】

41. 病院機関誌「ほくせつ」

発行年月	VOL.	掲載記事内容	
2023年6月	131	表紙・裏表紙	表紙「佐野村病院長補佐 イラスト」 裏表紙「田尻病院長補佐 令和5年度大阪府看護事業功労表彰」「編集後記」
		がん検診について	早期発見でがんの9割の人が治る!? 病院長補佐/消化器内科主任部長/がん診療推進室 室長　佐野村 誠 看護部係長/がん性疼痛認定看護師/がん診療推進室 副室長　京林 裕美
		家庭で出来る運動のすすめ	①ひざ伸ばし運動 ②つま先立ち運動
		教えて!やさい先生～	夏を乗り切る 夏野菜たっぷりカレー　レシピ
		登録医紹介	◇つむぎの森ホームクリニック　院長　野原 悠貴 ◇ほくせつデンタルクリニック　院長　堀内 裕子 副院長　堀内（中嶋）信子
2023年12月	132	表紙・裏表紙	表紙「永松部長　イラスト」 裏表紙「病院機能評価3rdG：Ver2.0認定」「編集後記」
		胸痛の原因を調べる	心不全パンデミックに備える 循環器部長/カテーテル治療センター長　永松　航
		家庭で出来る運動のすすめ	①足首グルグル ②足首曲げ伸ばし ③膝裏伸ばし
		教えて!やさい先生～	旨味で減塩 しょうが香る減塩豚汁　レシピ
		登録医紹介	◇なかじま整形外科　院長　中嶋　洋 副院長　中嶋 哲史 ◇いまい内科ハートクリニック　院長　今井 道生

※「ほくせつ」は、1971年10月に第1号を発行。以来病院の機関紙として医療関係や地域住民の方々を対象に、北摂総合病院のニュースや情報・活動状況等を発表し、“患者様の満足と安心”の一助の役割を果たすために発行しています。

42. 奉仕活動

（1）出前健康教室の実績

地域医療支援病院として、「健康を地域に届ける」ことを目的に、2017 年より地域のコミュニティセンター等に出向き出前健康教室を開催している。

コロナ前は年間延べ 1000 人以上の地域住民の方に参加頂いたが、コロナを境に開催自体が困難となり、その間は「健康だより」という紙面媒体により健康を届ける方向に転換した。

地域住民からの一定の評価を頂き、コロナ明けも健康だより配布は継続している。

23 年度より本格的に再開し、24 年度は認知症カフェ含め当院主催での企画を増やしていく予定である。

年月	回数	講座内容	会場	参加人数
2023年4月	1	骨粗鬆症	寿栄川添コミセン	61
2023年5月	1	便秘について	西太田自治会館	35
2023年6月	0			
2023年7月	2	熱中症のおはなし	寿栄川添コミセン	58
		認知症+リハビリ体操	とんだすこやかテラス	50
2023年8月	1	熱中症のおはなし	アーデル東太田集会所	18
2023年9月	3	リハビリ体操	昭和台自治会館	31
		暑さ対策/特殊詐欺被害	津之江北町自治会館	52
		認知症	玉川牧田コミュニティセンター	21
2023年10月	5	骨粗鬆症	西太田自治会館	25
		骨粗鬆症	桜ケ丘公民館	24
		認知症	玉川牧田コミュニティセンター	28
		骨粗鬆症	庄コミセン	30
		インフルエンザ/検査	寿栄川添コミセン	41
2023年11月	3	認知症	柳川コミセン	35
		便秘について/リハビリ体操	寿栄川添コミセン	42
		骨粗鬆症	芝生すこやかテラス	55
2023年12月	3	福祉用具について	昭和台自治会館	34
		膝関節症	とんだすこやかテラス	45
		尿漏れ	寿栄川添コミセン	70
2024年1月	0			
2024年2月	0			
2024年3月	3	尿漏れ	昭和台自治会館	30
		膝関節症	芝生すこやかテラス	55
		高齢者の食事の特徴	寿栄川添コミセン	56
合計	22			785

（2）認知症カフェの開催実績

認知症カフェは、『認知症と家族等の居場所つくり』を目的に始めました。

認知症基本法でも、共生社会の実現を期待しております。よって、認知症カフェは、認知症であっても認知症でなくても、共有した時間を過ごすことを目指しています。

年月	回数	主催団体名	会場	参加人数
2024年1月	1	富田地区福祉委員会	昭和台自治会館	7
2024年2月	1	北摂総合病院	富田･笹井屋	10
合計	2			17

(3)献血奉仕活動

年　月	会　場	時　間	受付人数	採血人数
2023年4月	松坂屋高槻店	コロナ禍により中止	—	—
5月	北摂総合病院(団体献血)		—	—
5月	松坂屋高槻店		—	—
6月	松坂屋高槻店		—	—
7月	松坂屋高槻店		—	—
8月	松坂屋高槻店		—	—
9月	松坂屋高槻店		—	—
10月	松坂屋高槻店		—	—
11月	松坂屋高槻店		—	—
12月	松坂屋高槻店		—	—
2024年1月	松坂屋高槻店		—	—
1月	北摂総合病院(団体献血)	13：30～16：30	33	27
2月	松坂屋高槻店	コロナ禍により中止	—	—
3月	松坂屋高槻店		—	—
計			33	27

年　度	奉仕参加回数	団体献血
1985年度～2012年度	306	53
2013年度	12	2
2014年度	12	2
2015年度	12	2
2016年度	12	2
2017年度	12	2
2018年度	12	2
2019年度	9	2
2020年度	0	0
2021年度	0	0
2022年度	0	0
2023年度	0	1
計	387	68

※奉仕参加：開設20周年の記念行事として1985年8月16日より参加。各会場で献血の呼びかけをしています。
※団体献血：当院が会場となり、職員及び地域の方々が献血しています。
※ 2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しております。

(4)「小さな親切」運動

①使用済み切手

年　月	送付枚数
2023年 4月	—
5月	—
6月	1,498
7月	—
8月	—
9月	1,635
10月	—
11月	—
12月	—
2024年 1月	—
2月	—
3月	—
計	3,133

年　度	送付枚数
1995年～2014年	300,245
2015年	9,830
2016年	10,681
2017年	8,570
2018年	6,988
2019年	3,960
2020年	5,850
2021年	5,142
2022年	5,807
2023年	3,133
計	360,206

②プリペイドカード

年　月	送付枚数
2023年 4月	—
5月	—
6月	0
7月	—
8月	—
9月	3
10月	—
11月	—
12月	—
2024年 1月	—
2月	—
3月	—
計	3

年　度	送付枚数
2000年～2014年	10,497
2015年	193
2016年	164
2017年	73
2018年	196
2019年	67
2020年	26
2021年	15
2022年	0
2023年	3
計	11,234

※使用済み切手：1996年1月より毎月「小さな親切」運動大阪本部からJOCSに届けられ、東南アジアの人々の健康を守るための事業資金として役立てられ、2015年4月からは公益社団法人「小さな親切」運動本部(東京)から、ジョイセフ及び日本キリスト教海外医療協力会に寄贈され役立てられています。
※プリペイドカード：2000年7月より毎月東京の日本国際ボランティアセンターへ送付し、カンボジアの農村開発・技術学校運営などの支援活動資金として、又、2007年2月からは、「誕生日ありがとう運動」本部へ送付し、知力ハンディキャップの問題の社会啓発資金として役立てられました。2015年4月より公益社団法人「小さな親切」運動本部(東京)から緑の地球防衛基金へ、2016年10月からは日本国際ボランティアセンターへ寄贈され役立てられています。

43. 院内コンサート

入院中の患者様とそのご家族、外来の患者様、又地域の皆様を対象に音楽を通して、心和む癒しと安らぎのひとときを過ごしていただくことを目的に、病院１Ｆ待合ロビーを開放し病院新築移転の年、平成 18 年 11 月よりスタート。

毎回、職員を含め 100 人前後の方々が参加され、楽しみなイベントとなっています。

※令和２年より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しています。

開催実績

回	日　時	テーマ	内　容	場　所
1	平成 18 年 11 月 19 日（日） PM 2：00 ～ 3：00	心に癒しと安らぎを ～弦楽四重奏を通して～	弦楽四重奏	1F待合ロビー
2	平成 19 年 3 月 21 日（祝） PM 3：00 ～ 4：00	室内音楽をあなたに……	弦楽四重奏 + フルート	1F待合ロビー
3	平成 19 年 11 月 18 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	午後のひとときを 弦楽四重奏とともに	弦楽四重奏	1F待合ロビー
4	平成 20 年 4 月 20 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	マリンバとともに	マリンバアンサンブル	1F待合ロビー
5	平成 20 年 11 月 30 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	弦楽四重奏と共に ～心の安らぎをあなたに～	弦楽四重奏	1F待合ロビー
6	平成 21 年 4 月 26 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	春	フルート三重奏	1F待合ロビー
7	平成 22 年 9 月 12 日（日） PM 2：00 ～ 3：00	和楽器が奏でる癒しの音色	お琴・尺八の合奏及び独奏	1F待合ロビー
8	平成 23 年 4 月 24 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	沖縄民謡で楽しみましょう	沖縄唄三線 & ギター	1F待合ロビー
9	平成 23 年 10 月 23 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	秋色の調べ	ヘルマンハープ演奏 （ドイツ生まれの弦楽器）	1F待合ロビー
10	平成 24 年 5 月 27 日（日） PM 2：00 ～ 2：50	中国琵琶とのふれあい	中国琵琶 独奏	1F待合ロビー
11	平成 24 年 11 月 4 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	バイオリンとビオラのミニコンサート	バイオリン・ビオラ デュオ	1F待合ロビー
12	平成 25 年 5 月 12 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	笑いと健康	落語・漫才・健康体操 （理学療法士兼社会人落語家）	1F待合ロビー
13	平成 25 年 11 月 24 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	憩いと癒しのひと時を	バイオリン・オカリナ サロンコンサート	1F待合ロビー
14	平成 26 年 4 月 20 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	癒しと安らぎのひとときを	ジャズコンサート （楽々クラブ）	1F待合ロビー
15	平成 26 年 11 月 30 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	「しの笛」の奏でる 懐かしく心に染る音色	しの笛演奏 （大阪しの笛協会）	1F待合ロビー
16	平成 28 年 3 月 27 日（日） PM 1：30 ～ 2：10	楽しいオカリナ演奏 みんなで歌おう!	オカリナコンサート （SA茨木オカリナサークル“風”）	1F待合ロビー

回	日　時	テーマ	内　容	場　所
17	平成 28 年 11 月 6 日（日） PM 1：30 ～ 2：10	癒しと安らぎのひとときを！	マンドリンコンサート （千里マンドリンアンサンブル）	1F待合ロビー
18	令和 1 年 11 月 3 日（日） PM 1：30 ～ 2：10	オカリナコンサート	オカリナコンサート （かざぐるま）	1F待合ロビー
19	令和 2 年度	コロナ禍により中止		
20	令和 3 年度	コロナ禍により中止		
21	令和 4 年度	コロナ禍により中止		
22	令和 5 年度	コロナ禍により中止		

44. ホームページ閲覧件数

URL　https://www.hokusetsu-hp.jp/index.html

1999 年　開設
2006 年　8 月　メインページリニューアル
2007 年　4 月　メインページリニューアル
2008 年　4 月　研修医専用サイト開設
2008 年 10 月　看護部専用サイト開設
2009 年　3 月　看護部専用サイトリニューアル
2010 年　2 月　看護部専用サイトリニューアル
2012 年　4 月　メインページリニューアル
2012 年　4 月　研修医専用サイトリニューアル
2012 年 12 月　研修医・看護部公式 Facebook 開設
2014 年　5 月　産科公式 Facebook 開設
2019 年　2 月　メインページ・看護部サイトリニューアル
（ナビゲーションメニュー、情報バリアフリー対応、マルチデバイス対応）
2020 年　4 月　病院長挨拶ページ開設
2023 年　3 月　外来化学療法センターサイト開設

当院ホームページ閲覧件数
2023 年度　112,941 PV（前年より、10,997 減）

【北摂総合病院ポータルサイト】

【北摂総合病院　部門紹介サイト】

【北摂総合病院　外来化学療法センター】

外来化学療法センター

当院では、外来通院しながら安全にがん薬物療法を受けていただける「外来化学療法センター」を開設しています。
センター内には8台のリクライニングチェア・4台のベッド・テレビを配置し、安全・安楽に抗がん剤治療を受けていただける環境を用意しています。いつもと変わらない日常生活を送りながら、治療を継続していただけるように医師・看護師・薬剤師などの専門職種がご支援します。

外来化学療法とは

がん薬物療法とは、注射や内服薬などの殺細胞性抗がん薬・分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬などの投薬によって体内のがん細胞の増殖を抑えたり、がん細胞を破壊したりする治療法です。
従来は入院して抗がん剤治療を行うことが一般的でしたが、現在は新しい抗がん剤の開発や副作用対策の薬剤開発、投与方法の工夫により外来でも安心してがん薬物療法が受けられるようになりました。
現在当院では、食道・胃・大腸・膵臓・胆道・肝臓の消化器がんを中心に薬物療法を行っています。血液がんの薬物療法は京都大学血液腫瘍内科の協力のもと、非常勤の血液内科専門の先生方と診療を行っています。また大阪医科薬科大学病院呼吸器内科・呼吸器外科との連携により肺がんの薬物療法も実施しています。婦人科がん、原発不明がんなどの稀少がんの薬物療法も外来化学療法センターで実施しています。

チームでサポート

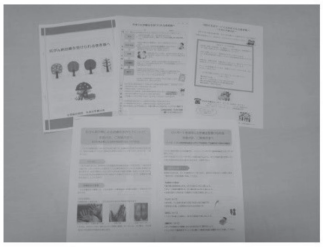
外来化学療法センターでは、患者さまご家族さまが安心して治療に取り組めるようチームでご支援します。

医師

当院は規模で言えば大病院ではありません。その特性を活かしてみなさんと近い距離で向き合うことができると考えています。とはいえ医療レベルが大病院に劣っていては意味がありません。適切な治療を家庭的な雰囲気でできればと考えております。科学的根拠とみなさんの希望、我々の経験から最適と思われる治療を相談していきます。

看護師（がん化学療法看護認定看護師）

各診療科医師・薬剤師と連携し、点滴管理だけではなく副作用や日常生活等で心配なこと・困っていることについて対応します。患者さまご家族さまが納得して治療を受けられるように各種パンフレットを用いた丁寧な説明を行い、日常生活と治療を両立できるよう支援いたします。



【北摂総合病院　看護部サイト】

理事長挨拶

このたびは、北摂総合病院のホームページを訪問していただきありがとうございます。
当院は1965年（昭和40年）に許可病床数80床の医療法人仙養会北摂病院としてこの地に誕生しました。芳川仙作院長、木野猛理事長の傑出したリーダーシップのもと順調に発展を続け、1981年には許可病床数217床の総合病院へと成長しました。
1983年に２代目芳川浩男院長、そして1986年（昭和61年）に私が病院長に就任しました。2000年に病院の名称を北摂総合病院へと変更いたしました。

医療は目覚ましい勢いで進歩しております。
その急速に進歩する医療の成果を日常の診療に取り入れるために卒後教育は欠かせません。
当院は病院設立時以来、医療専門職の育成と卒後教育に努力してまいりました。
高槻市医師会看護学校での看護師の育成、医療チームの重要な役割を担っている薬剤科をはじめとする診療技術部各科、そして医療事務やケースワーカーなど事務局職員の養成等、毎年多数の実習生を受けいれています。
さらに2003年には厚生労働省より臨床研修病院の指定を受け、これまでに多数の臨床研修医を養成してまいりました。

病院長挨拶

この2年あまり、北摂総合病院は「新型コロナウイルス感染症患者への対応と一般急性期医療の両立」を方針に掲げ、地域医療における急性期病院として幾度もの感染拡大の波を乗り越えてきました。これまで、職員全体の積極的な感染対策への取り組みで、幸いにもクラスターを発生させることなく、一般診療への影響も最小限に抑えて地域への医療提供を続けております。

2022年度がスタートしてしばらく経過しましたが、今、私たちはいわゆる"コロナ慢性期"の中にいます。これまでのように日常を抑制するだけではなく、感染リスクを抑えて、コロナを受容しながら少しずつ通常の社会活動を営んでいく「次のステージ」へと移行しつつあるように思います。当然のことながら、まだ安心はできませんが、いかなる困難にも柔軟に対応できる体制を整え、心ひとつにして、北摂総合病院に期待される急性期医療を実践していくことが病院としての役割と責任である考えております。

2022年度の病院の行動指針は、Very Best Hospitalを目指して、「熱意・誠意・創意」としております。コロナ感染対策をはじめとして、診療部、看護部、診療技術部、事務局、さらには訪問看護ステーションやケアプランセンター等、法人のすべての部署に属する多職種の職員が「熱意・誠意・創意」を持って病院業務に不可欠なチームプレーを堅持し、当院の役割と責任を果たしていきます。

引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年7月
病院長　小林一朗

編集・発行
2024 年 9 月

社会医療法人 仙養会 北摂総合病院

〒 569-8585　高槻市北柳川町 6-24
TEL 072-696-2121
FAX 072-690-3061

編　　集：黒岩・金澤（医療情報課）
発行責任者：坂部 博志（事務局長）